

KENWOOD

HDD/DVD/MDシアターナビゲーションシステム

HDV-910

HDD/DVDシアターナビゲーションシステム

HDV-810

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



1▶ 最初にお読みください P.1-1 ~ 1-32

使い始める前に知っておいていただきたいことを説明しています。

2▶ 目的地を見つける P.2-1 ~ 2-39

ドライブの行き先や途中の通過地点などを検索し、登録するまでの操作を説明しています。

3▶ ルート案内を使用する P.3-1 ~ 3-18

ルート案内の開始方法と、案内中の画面や音声ガイドの詳細を説明しています。

4▶ ルートを確認、変更する P.4-1 ~ 4-22

目的地までのルート設定を状況に合わせて変更するための操作を説明しています。

5▶ 情報を表示する P.5-1 ~ 5-40

渋滞を避けるために役に立つVICS情報の表示のしかたや、ドライブガイド、タッチゲームなどの利用のしかたを説明しています。

6▶ 各種の設定をする P.6-1 ~ 6-83

ナビゲーション機能の様々な設定を変更するための操作や画像データ、音楽データなどの管理方法について説明しています。

7▶ AV機能を使用する P.7-1 ~ 7-79

DVD、CD、MD、MP3、テレビ、チューナーなどのAV機能を利用する方法を説明しています。

8▶ AV環境を設定する P.8-1 ~ 8-23

好みに合わせてAV環境を構築するための各種の設定方法を説明しています。

9▶ 音声で操作する P.9-1 ~ 9-16

音声コントローラで、ナビゲーション機能やオーディオ機能をコントロールするための操作方法を説明しています。

10▶ 付録 P.10-1 ~ 10-40

本体の清掃のしかたや、取扱上の注意事項、故障が起きたときの対処のしかたを説明しています。機能を検索するのに便利な用語索引も記載されています。

ナビ操作マップ

目的地を探し、登録し、案内を開始する、ナビの基本操作は、下図の手順で行います。各ステップの詳しい操作方法は参照先ページをご覧ください。

START

STEP 1

NAV

キーでスタート!

目的地を見つけよう



[行きたい場所]メニュー

いろいろな検索方法の中から選択できます。

名称入力

50音キーで施設名を入力して検索 → P.2-4

住所

目的地の住所で検索 → P.2-18

メモリ地点

今までにメモリした地点の中から検索 → P.2-31

番号

電話番号またはマップコードで検索 → P.2-15

自宅

自宅に帰るとき選択 → P.2-28

訪問先

住所と氏名で個人宅を検索 → P.2-21

施設

地域とジャンルで施設を検索 → P.2-12

最寄り

現在地や目的地の最寄りの施設を検索 → P.2-9

地図から

画面の地図を見ながら検索 → P.2-26



[行きたい場所]メニューで検索方法を選択 → P.2-2

STEP 2

目的地を登録!

見つけた場所をメモリ地点や通過点として登録したときはSTEP1へ戻って、もう一度目的地を検索します。



STEP 3

ルート案内スタート!

条件を指定してルートを決めたら
案内 を選択。



見つけた場所の詳しい案内や最寄りの
駐車場を確認してから登録。➡P.2-33

見つけた場所を目的地として登録すると案内開始画面が
表示されます。

検索結果画面

目的地

最終目的地として登録 ➡P.2-39

地点

メモリ地点として登録 ➡P.2-34

詳細

建物などの詳細情報を表示 ➡P.2-37

地図

位置の調整 ➡P.2-38

通過点

途中で立ち寄る場所として登録 ➡P.2-35

最寄り

近くの他の施設を検索 ➡P.2-9

駐車場

提携駐車場を検索 ➡P.2-36

探索結果画面

案内

にタッチしてルート案内開始。

条件を変えてルートを変更すること
もできます。

オーディオ/ビジュアル操作マップ

チューナー、DVD/CD、MDなどのソースを利用する基本操作は、下図の手順で行います。各ステップの詳しい操作方法は参照ページをご覧ください。

START

オーディオの画面に切り替えて使いたいとき

STEP 1

AV キーを押してスタート! → P.7-2



AV キーを押すと、選択中のソースのコントロール画面に切り替わります。
(お買い上げ直後は **STANDBY** 画面が表示されます)。

START

ナビ画面を表示したままオーディオを使いたいとき

STEP 1

PWR SRC キーでソースを切り替える → P.1-26



選択されたソース名が表示されます。

STEP 2

 キーでソースを切り替える→P.1-26



 キーを押すたびに次の順序でソースが切り替わります。

STANDBY すべてのソースがオフになります。

TUNER AM/FM放送が受信されます。

DVD/CD DVDまたはCD、MP3が再生されます。

MD MDが再生されます。 

HDD1/HDD ハードディスクに録音した音楽ソースが再生されます。

HDD2 メモリースティックから読み込んだ音楽ソースが再生されます。 

TV テレビ放送が受信されます。

VIDEO/AUX 外付けのビデオのみまたはAUX音声になります。

DVD、CD、MD (HDV-910) はディスクを挿入すると、すぐに再生が開始されます。

STEP 2



キー、  キーでオーディオを操作する



ボリュームを大きくします。

選択ソースと押す方向によって、AM/FMの切り替え(上下)や受信周波数のサーチ(左右)(TUNER選択時)、再生トラックの切り替え(左右)(DVD/CDソース選択時)などの操作ができます。

ボリュームを小さくします。

INDEX

ナビ操作マップ	ii
オーディオ/ビジュアル操作マップ	iv
目次	vi
安全上のご注意	xii
使用上のご注意	xvi
マニュアルの使い方	xxii

1 最初にお読みください

本体各部の名称と機能	P.1-2
電源のオンとオフ	P.1-4
電源オン	1-4
電源オフ	1-5
操作パネルの開閉と角度の調整	P.1-6
操作パネルの開き方	1-6
操作パネルの角度調整	1-7
操作パネル裏側の各部の名称と機能	P.1-8
DVD/CD/MDの挿入とイジェクト	1-9
メモリースティックのセットと取り外し	
	1-10
ナビ画面の基本操作	P.1-11
現在地の表示	1-11
画面の表示内容	1-12
地図の方位の選択	1-14
ショートカットの表示と選択	1-15
ナビ画面の地図表示	1-16
地図の表示範囲や視点の変更	1-19
地図上の移動	1-21
TOPメニューの表示と選択	1-24
AV画面の基本操作	P.1-25
画質を設定する	P.1-29
映像モードを設定する	P.1-31
タッチパネルを補正する	P.1-32

2 目的地を見つける

検索方法を選択する	P.2-2
名称を入力して検索する	2-4
最寄り施設を検索する	2-9
施設を検索する	2-12
電話番号で検索する	2-15
住所で検索する	2-18
住所と氏名で検索する	2-21

マップコードで検索する	2-24
地図から検索する	2-26
自宅に帰る	2-28
過去の目的地から検索する	2-29
登録メモリ地点から検索する	2-31
地点を登録する	P.2-33
メモリ地点として登録する	2-34
通過点として登録する	2-35
周辺の駐車場を選択する	2-36
検索地点の詳細を見る	2-37
検索位置を調整/変更する	2-38
目的地として設定する	2-39

3 ルート案内を使用する

案内を開始する	P.3-2
ルートを比較選択する	3-4
案内を開始する	3-7
案内時の表示と音声	P.3-8
一般道での案内画面	3-8
高速道での案内画面	3-11
ガイドポイントでの音声案内	3-12
ガイドポイント接近時の画面表示	3-13
ルート外走行時の表示	3-14
ETC使用時の表示	3-15
渋滞時の案内	3-16
ルートのオンルートスクロール	3-18

4 ルートを確認、変更する

ルートの確認/変更方法を選択する	P.4-2
[ルート確認]メニューを表示する	4-2
ルートの確認/変更方法の種類	4-3
ルート全体を探索しなおす	P.4-4
迂回路を探索する	P.4-5
使用道路を変えて探索する	P.4-6
ルートを表示する	P.4-7
ルート全体を表示する	4-7
ルートの詳細を表示する	4-8
ルートの一部を変更する	P.4-9
入口/出口ICを変更する	4-10
通過点の位置を変更する	4-12
通過点の順序を変更する	4-14



通過点を削除する 4-16
 通過点を追加する 4-18
 ルートを削除する 4-20
 案内を中止する P.4-21
 デモンストレーション走行をする P.4-22

5 情報を表示する

VICS情報を表示する P.5-2
 VICS情報とは 5-2
 VICS情報の表示と受信周波数の設定 5-6
 VICS局を選局する 5-9
 一般情報局を選局する 5-14
 VICSの参考資料 5-20
 ドライブガイドを見る P.5-27
 ETCの利用状況を見る P.5-28
 タッチゲームで遊ぶ P.5-29
 スカイガイドを利用する P.5-30
 画像を表示する P.5-31
 画像ファイルを表示する 5-31
 画像をスライド表示する 5-33
 画像のサムネイルを表示する 5-35
 時計を表示する P.5-37
 カレンダーを表示する P.5-38
 電卓で計算する P.5-39
 割り勘機能の使い方 5-40

6 各種の設定をする

設定関連メニューの表示と内容 P.6-2
 ショートカットを設定する P.6-4
 ランドマークを設定する P.6-8
 メンテナンス情報表示を設定する P.6-10
 ユーザー設定項目の追加 6-14
 システムの詳細な設定をする P.6-16
 設定項目一覧 6-18
 地図画面の表示を設定する P.6-24
 地図画面の俯角を設定する P.6-26
 メモリ地点のパターンを設定する P.6-27
 自宅の位置を登録する P.6-28
 平均車速を設定する P.6-30
 本体の動作状態を確認する P.6-31
 音量を設定する P.6-36

車両情報を設定する	P.6-37
ETCを設定する	P.6-39
設定項目一覧	6-40
メモリ地点の情報を編集する	P.6-41
メモリ地点のマークの変更	6-43
メモリ地点へのサウンドの設定	6-45
メモリ地点の名称変更	6-47
メモリ地点の電話番号設定	6-50
メモリ地点の位置の修正	6-51
メモリ地点の削除	6-52
メモリ地点の保存	6-53
メモリ地点の読み込み	6-54
過去の目的地を削除する	P.6-56
セキュリティコードを設定する	P.6-58
[データ管理]メニューの表示と内容	P.6-60
メモリースティックを操作する 	P.6-61
ハードディスクのファイルを編集する	P.6-67
ファイルの移動/コピー	6-73
地点ファイルのメモリースティック への保存 	6-75
オープニング画面とナビメニューの 背景画面を設定する	P.6-77
Gracenote CDDDBデータを更新する	P.6-82

7 AV機能を使用する

ソースを選択する	P.7-2
AM/FM放送を受信する	P.7-4
選局時の動作モード変更	7-6
放送局のプリセット	7-7
DVD映像を再生する	P.7-9
再生中の設定画面の表示	7-11
DVDの再生コントロール	7-13
DVDのリPEAT再生設定	7-14
DVDディスクメニューの表示と選択	7-15
DVD映像のズーム	7-17
DVDのタイトルサーチ	7-18
音楽CDを再生する	P.7-19
CDのいろいろな再生機能	7-22
トラックリストからの選曲	7-24



音楽CDを録音する	P.7-25
MP3データを再生する	P.7-27
MP3のいろいろな再生方法	7-29
ファイルリストからの選曲	7-32
ハードディスク（HDD1/HDD）ソースを再生する	P.7-33
HDD1/HDDのいろいろな再生機能	7-34
プレイリストによる再生	7-37
音楽情報データの編集	7-39
ハードディスク（HDD2）ソースを再生する	P.7-48
HDD2のいろいろな再生機能	7-50
ファイルリストからの選曲	7-53
MDを再生する	P.7-54
MDのいろいろな再生機能	7-56
トラックリストからの選曲	7-59
テレビ放送を受信する	P.7-60
選局時の動作モード変更	7-62
プリセットボタンのセット	7-63
音声多重放送の切り替え	7-65
ビデオ / 外付け装置の映像を表示する	P.7-68
交通情報を受信する	P.7-70
音響効果を設定する	P.7-71
ポジションの選択	7-72
イコライザーの選択	7-74
サラウンド設定	7-76
サブウーファーとフェダー / バランスの調整	7-79

8 AV環境を設定する

AV設定メニュー画面による設定	P.8-2
キャビンサイズを設定する	8-3
スピーカーを設定する	8-6
チャンネルレベルを設定する	8-7
ソースレベルを設定する	8-8
オートボリュームを設定する	8-9
DVDの初期設定をする	8-10
その他の機能を設定する	8-23



9 音声で操作する

ボイスコントロールとは	P.9-2
基本的な操作	P.9-3
ナビゲーションを操作する	P.9-4
タクシー機能を使う	9-4
施設名で検索する	9-5
住所で検索する	9-6
番号で検索する	9-7
タウンページから検索する	9-8
ナビ機能のボイスコマンド一覧	9-9
AV機能を操作する	P.9-12
ソースを切り替える	9-12
音楽を再生する	9-13
AV機能のボイスコマンド一覧	9-14

10 付録

名称入力画面の操作	P.10-2
故障かなと思ったら	P.10-3
MP3について	P.10-18
MD Groupについて 	P.10-20
地図データベースについて	P.10-21
Music Cellar使用許諾契約書	P.10-22
Music Cellarについて	P.10-24
その他の資料	P.10-27
AV用語集	P.10-28
仕様一覧	P.10-31
保証とアフターサービス	P.10-36
用語索引	P.10-37



安全上のご注意

- ・ ご使用の前に、以下の注意事項と「マニュアル」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・ お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

絵表示による注意

このマニュアルでは、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

 注意	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。
 禁止	ⓧ記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
 実施	❶記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

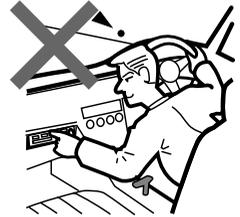
お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。



警告

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- ナビゲーションの操作
- カーオーディオの操作
(音量調節、ディスクの挿入・取り出し など)
- テレビやビデオを見る



実施

運転者は、ナビゲーションの画面に気を取られないでください。交通事故などの原因になります。

走行中に画面を見るときは必要最小限とし、注視するのは避けてください。



禁止

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



実施

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



実施

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。また、ハードディスクは取り外さないでください。



禁止



警告



禁止

画面が表示されない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。



実施

ナビゲーションシステムで探索された経路はあくまでも参考ルートで、道路状態や交通規則などと一致しない場合があります。実際の交通規則を守って走行してください。



実施

万一、異物が入った、水や飲み物がこぼれた、煙が出てくる、変な臭いがするなどの異常が発生した場合は、ただちに使用を中止し、お買い求めの販売店にご相談ください。そのまま使用を続けると、事故、火災、感電の原因となります。



実施

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



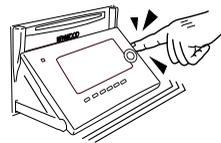
実施

本機の取り付け、取り外し、周辺機器の追加などを行う際は、安全のため、必ずお買い求めの販売店にご依頼ください。取り付け作業には専門技術が必要です。

注意



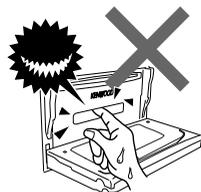
操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。



パネルの開閉時に、シフトレバー操作などの妨げになる場合は、必ず安全な場所に停車して開閉を行ってください。



ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



操作パネルやモニター部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。

硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

傷が付いたり文字が消えることがあります。

安全走行のために

走行中はフロント映像出力に接続されたテレビやビデオの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードまたはTVモードにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送やTV放送以外のソースに切り替えてください。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」(➡P.10-3)を参照して解決方法がないか調べてください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

操作パネルがスライドした状態のときに異常が起こり閉じられない場合は、表示パネルの上部を引き上げながら下部を押すことにより手動で閉めることができます。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてディスクの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

本機で再生できないディスク

以下のディスクは本機では再生できません。

DVD-ROM/ DVD-RAM S-VCD/ HQ-VCD
DVD Audio CDV (音声のみ再生可能)
CD-G/ CD-EG/ CD-EXTRA (音声のみ再生可能)
フォトCD VIDEO CD

また、DVD-R/RW、DVD+R/RWは、DVD-Videoフォーマットに準じて記録されていない場合も再生できません。

本機でプレイ可能な音楽CDは    マークの入ったCDだけです。

前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

ファイナライズ処理を行っていないCD-R/RW、DVD-R/RWおよびDVD+R/RWは再生できません。(ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください)

このほかにもCD-R/RW、DVD-R/RWおよびDVD+R/RWは、記録状態により再生できない場合があります。

使用できるディスク

特殊な形状のディスクは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。



記録面(レーベル面の反対側)が着色してあるものや汚れているディスクは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

レーベル面にシールの貼ってあるディスクを使用すると、ディスクが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるディスクは使用しないでください。

インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWは使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。



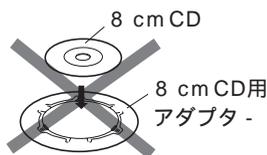
レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

ディスク用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。

8 cm CDアダプターは使用しないでください。8 cm CDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。



データ用のMDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せなくなるなど故障の原因になります。

録音についての注意

本機の故障、誤動作または不具合により録音できなかった録音内容、および消去した音楽・音声データについては保証できません。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをし、音楽データが正しく録音されていることを確認してください。

ACC オンの状態で録音している時に、エンジンスタートすると、録音データが消失するおそれがあります。

録音中はバッテリーを外さないでください。ハードディスクの故障の原因となる場合があります。

リージョン番号

本機で再生できるDVDリージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または2を含むもの）と「ALL」です。

DVDディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

DVDディスクのマーク

記号	内容
	このマークが付いているディスクはどのDVDプレーヤーでも再生できます。リージョン番号を表します。
	収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。
	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32カ国語まで収録できます。
	複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、お好みのアングル（角度）で見ることができます。
	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ（4:3）で見た場合、ワイド映像（16:9）は上下に黒帯の入る（レターボックス）映像となります。

操作規制マークについて

DVDは、再生箇所により本機での再生操作等規制される場合があります。このようなときは右のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクのマニュアルをご覧ください。



ディスクの取り扱いについて

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。

取り扱いは記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です。)

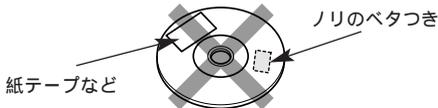


CD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは通常のディスクより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。

詳細な注意事項がディスクのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。

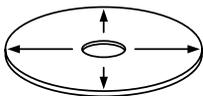
ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障することがあります。



ディスクのお手入れ

ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



ディスクの保存

直射日光があたる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高くなる場所には置かないでください。

特にCD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは通常のディスクに比べて高温、多湿の環境に弱く、車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

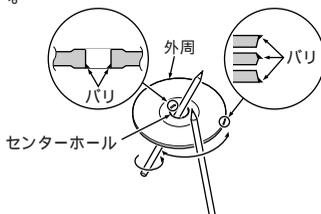
長期間演奏しないときは、本機からディスクを取り出して、ケースに入れて保管してください。

キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

新しいディスクを使うときは

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。

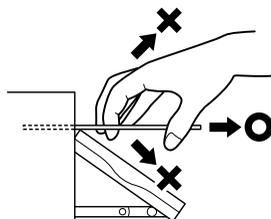
"バリ"がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかつたり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



ディスクの取り出しかた

本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。



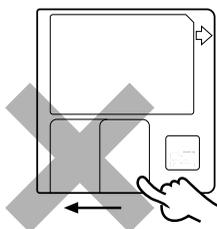
MDのお手入れ

カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布でふき取ってから使用してください。特に油汚れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。また、お手入れされるときは、シャッターを開かないようご注意ください。

MDのシャッターについて

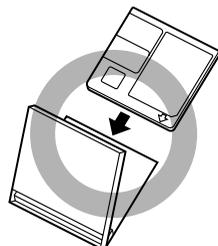
MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。

シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指で触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。



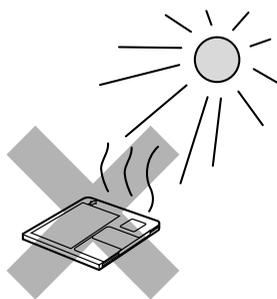
保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。



高温に注意

MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。



マニュアルの使い方

このマニュアルで使用されている表記について説明します。

「選択する」

このマニュアルでは、タッチパネルに表示されたボタンなどにタッチする操作をすべて「～を選択する」と記載しています。

ページの見方

▶▶ **メモリースティックを操作する** P.6-61

Music Cellarプログラムの書き出し

本機で再生する音楽データ (KENWOOD Sound Format形式) を作成するためのプログラムMusic Cellarをメモリースティックに書き出し、メモリースティック経由でパソコンにインストールします。

この操作までの流れ

1 **「Music Cellar書き出し」** を選択します。

2 確認画面で を選択します。

Music Cellarがメモリースティックにコピーされます。

Finish

注意

- ・ Music Cellarのコピー中にメモリースティックを取り外したり、本機の電源をオフにしないでください。データが破損する場合があります。

memo

- ・ Music Cellarをコピーするためには、メモリースティックに約50MBの空き容量が必要です。
- ・ Music Cellarのコピー中は、 を選択する以外の操作はできません。また、他の画面に移動することもできません。
- ・ Music Cellarを保存したメモリースティックをパソコンにセットし、Music Cellarをパソコンにインストールしてください (▶P.10-24)。
- ・ Music Cellarは、KENWOOD Sound Format (KSF) 形式の音楽ファイルだけです。Music Cellarのインストール方法や使用方法についてはP.10-24をご覧ください。
- ・ Music Cellarの書き出しは何度でも行えます。

6-64

このページの操作の1つ前の操作が記載されているタイトルとページ数です。

HDV-910でのみ使用できる機能です。

このページの操作を開始するまでの操作の流れを示します。

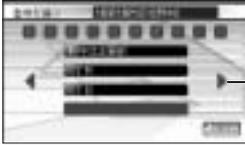
Finish
このページで説明している操作はここで終了です。

注意
特に注意が必要な項目を示します。

memo
操作説明の補足説明や関連情報を記載しています。

▶▶ 検索方法を選択する：住所で検索する

7 番地（丁目）を選択します。

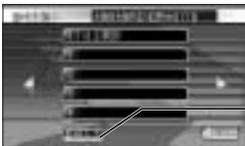


目的の番地が表示されるまで「」を選択します。



・ 地域によって指定できる番地が異なります。

8 画面の表示に従って残りの番地を入力します。



 を選択すると、番地を数字で直接入力できます。

9 検索結果を確認します。



検索結果が目的の場所と異なる場合は、 を選択すると「番地を選ぶ」画面に戻ります。

Finish



- ・ 郡の指定は不要です。都道府県に続けて郡の後に続く住所を指定してください。
- ・ 指定した住所のほぼ中央が表示されます。
- ・ 地域によって指定できる番地は異なります。
- ・ 手順8で  を選択すると、番地の数字をダイレクトに入力できます。



次の操作 **地点を登録する**

P.2-33

2-20

検索された地点を目的地や通過地点などとして登録します。

Hint

操作のヒントを記載します。

次の操作

この操作に続いて行う必要のある操作の参照先を記載しています。



- ・ このマニュアルの画面や操作例は操作説明用に作成したものです。実際の画面とは異なる場合や実際には行えない検索例が記載されている場合があります。

1 最初にお読みください

ここでは、本体各部の名称や、画面の基本操作など、この装置をご使用になる前に知っておいていただきたいことについて解説します。

本体各部の名称と機能	P.1-2
電源のオンとオフ	P.1-4
操作パネルの開閉と角度の調整	P.1-6
操作パネル裏側の各部の名称と機能	P.1-8
ナビ画面の基本操作	P.1-11
AV画面の基本操作	P.1-25
画質を設定する	P.1-29
映像モードを設定する	P.1-31
タッチパネルを補正する	P.1-32



本体各部の名称と機能

以降の説明では、タッチパネルとその周囲のキーを含めた本体正面を「操作パネル」と呼びます。また、ナビゲーション機能を略して「ナビ機能」、チューナー、DVD、CDなどのオーディオ、ビジュアル機能をまとめて「AV機能」と呼びます。

オープン HDV-910
■ TILT

OPEN

操作パネルの開閉、画面角度の調整をします。

イジェクト HDV-810
■ TILT


ディスクのイジェクト、画面角度の調整をします。

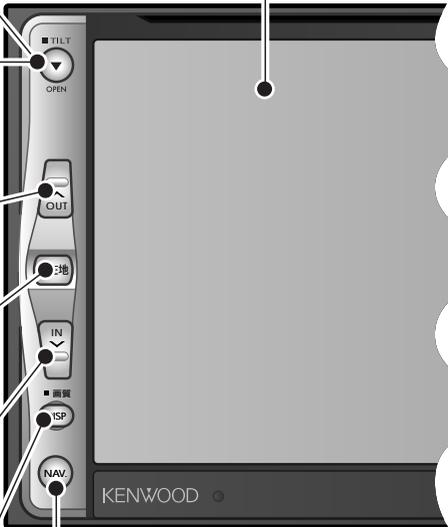
ズームアウト より広い範囲の地図を表示します (➡P.1-19)。


現在地 現在地を示す地図を表示します (➡P.1-11)。


ズームイン より詳細な地図を表示します (➡P.1-19)。


ディスプレイ 短く押すと、ナビ画面では選択中のAVソースを示す子画面が表示され、AV画面では背景画面が切り替わります。押し続けると画質調整画面が表示されます (➡P.1-25)。
■ 画質


タッチパネル



ナビゲーション ナビの設定を行うメニューが表示されます (➡P.1-24)。


ソース/パワー



電源がオフのときには電源がオンになります。電源がオンのときに、短く押すとAVソースが切り替わり、押し続けると電源がオフになります(➡P.1-26)。

ボリュームアップ



AV機能の音量を大きくします。

ナビの音量調整はシステム設定で行います(➡P.6-36)。

十字キー



上下左右および中央の方向に押し使用するキーです。オーディオ機能のコントロールに使用します(➡P.1-27)。

ボリュームダウン



AV機能の音量を小さくします。

ナビの音量調整はシステム設定で行います(➡P.6-36)。

トラフィック
インフォメーション

交通情報放送に切り替わります(➡P.7-70)。

オーディオ/
ビジュアル

押すたびに下図のように切り替わります。ナビ画面に戻るには^(現在地)または^(HOME)を押します。

ナビ画面

AVコントロール画面

AVソースセレクト画面

AV画面の表示後は、押すたびに[AVコントロール]画面と[AVソースセレクト]画面が切り替わります(➡P.7-2)。押し続けると(約2秒)タッチパネル補正を行います。

再生インジケータ

Dolby PLII : サラウンド設定をすると点灯します(➡P.7-76)。
Dolby Digital : Dolby Digitalで記録されたディスクの再生時に点灯します。
dts : dtsで記録されたディスクの再生時に点灯します。



電源のオンとオフ

電源オン

エンジンキーをACCの位置にすると、本機の電源がオンになり起動画面が表示されます。続いて安全走行をお願いするメッセージが表示されます。



- ・ 車のエンジンを切ったまま、本機を使い続けるとバッテリーが上がってしまうおそれがあります。必ずエンジンを始動させてから使用してください。



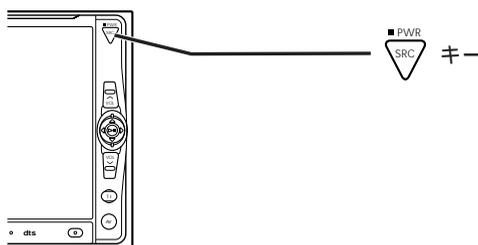
- ・ セキュリティコード (➡P.6-58) を設定すると、本機をバッテリーから外したときやリセットボタンを押したときにパスワード (4桁の数字) を求められます。数字ボタンを選択して、あらかじめ設定しておいたパスワードを入力してください。



電源オフ

エンジンキーをオフの位置にすると本機の電源もオフになります。

エンジンが動作中の場合は、 キーを押し続けると電源がオフになります。



エンジン動作中に再度  キーを押すと、電源がオンになります。



- ・ データが破損する場合があるため、本機が次の処理を行っているときは電源をオフにしないでください。
 - ・ メモリ地点をハードディスクに保存処理中
 - ・ メモリ地点をハードディスクから読み込み処理中
 - ・ メモリースティックとハードディスク間でのファイルのコピー処理中
 - ・ メモリースティックへMusic Cellarを書き出し処理中
 - ・ メモリースティックのフォーマット処理中
 - ・ ハードディスクのファイルを編集中
 - ・ Gracenote CDDBのデータ更新中



- ・ 携帯電話や無線機などの電気・電子機器を本機のモニター部に近付けると、モニターの表示が乱れることがあります。モニター部と電気・電子機器はできるだけ離して使用してください。

操作パネルの開閉と角度の調整

DVD、CD、MD（HDV-910のみ）およびメモリースティック（HDV-910のみ）は、操作パネルを開いて挿入します。ここでは、操作パネルの開閉のしかたと表示角度の調整のしかたを説明します。

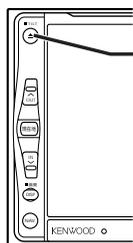
操作パネルの開き方



キー（HDV-910）を軽く押し離すと、操作パネルが開きます。



キー（HDV-810）を軽く押し離すと、操作パネルが開きディスクのイジェクト動作をします。



キー（HDV-910）

キー（HDV-810）

● HDV-910



キーをもう一度押すと、操作パネルが閉まります。

● HDV-810



キーをもう一度押すと、ディスクが挿入口にあるときはディスクを引き込み操作パネルが閉まります。ただし、オープニング画面中は動作しません。



- ・ モニター部の開閉動作中は、動作部分に触らないでください。指をはさまれたりしてケガをする場合があります。
- ・ モニター部を手動で開閉しないでください。



- ・ 表示される画面がみやすい角度に、モニター部の角度を調整してください（➡P.1-7）。
- ・ モニター部がせり出てくる途中でシフトレバーなどの障害物に当たったときや、収納中に物を挟んだときなどは、安全機能が働いてモニター部の動作が止まります。このようなときは障害物を取り除いたあと、再度 （HDV-910） / （HDV-810）キーを押してください。
- ・ 操作パネルが開いているときは、ボリューム調整と  /  キー以外の操作はできません。またタッチパネルの操作もできません。

操作パネルの角度調整

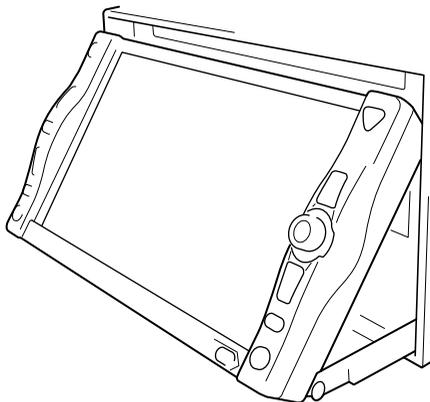
1

最初にお読みください

- 1  (HDV-910) /  (HDV-810) キーを押し続けると、タッチパネルに角度調整のための画面が表示されます。



- 2 タッチパネル上で、設定したい傾きを表しているボタンを押すと、操作パネルが選択した角度に傾きます。



- 3  を選択すると角度調整が終了します。

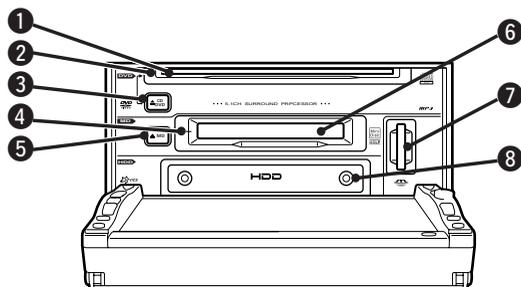


- 電源をOFFにすると操作パネルはいったん閉じ、電源をONにすると設定した傾きに戻ります。

操作パネル裏側の各部の名称と機能

操作パネルを開くと、DVDなどのディスクの挿入口とメモリスティックの挿入口が現れます。

● HDV-910

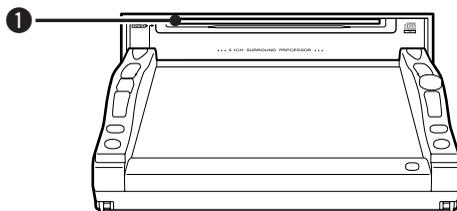


① DVD、CD挿入口	DVD、CDを挿入するためのスロットです。
② DVD、CDインジケータ	DVD、CDが挿入されているときに点灯します。
③ DVD、CDイジェクトボタン	DVD、CDを取り出すときに押します。
④ MDインジケータ	MDが挿入されているときに点灯します。
⑤ MDイジェクトボタン	MDを取り出すときに押します。
⑥ MD挿入口	MDを挿入するためのスロットです。
⑦ メモリスティックスロット	メモリスティックを挿入するためのスロットです。
⑧ HDDスロット	ハードディスクのスロットです。



・ 地図などのデータは、本体内蔵のハードディスクに収録されています。

● HDV-810



① DVD、CD挿入口	DVD、CDを挿入するためのスロットです。
-------------	-----------------------



・ HDDを取り出す必要がある場合は、ACCオフの状態TILTで \triangle キーを押し続けてください。操作パネルが下まで完全に開き、HDDのスロットが見えるようになります。ACCオンにしてもう一度 \triangle キーを押すと操作パネルが閉じます。

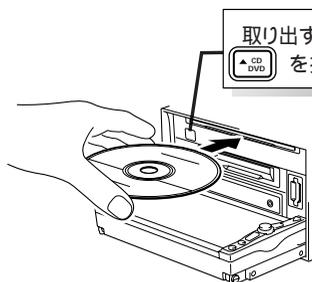
DVD/CD/MDの挿入とイジェクト

DVD、CD、MD (HDV-910のみ) は挿入口に差し込むと自動的に引き込まれます。

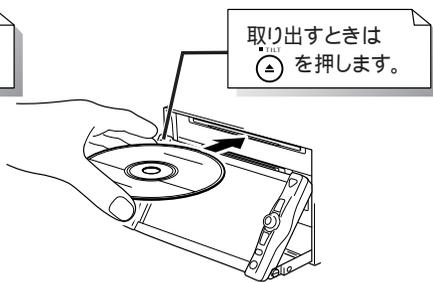
DVD/CDの挿入とイジェクト

DVD、CDを挿入するときは、文字や絵が印刷された面が上になるように持って挿入します。その際、データの記録面（下側の光沢面）には触れないようにしてください。

● HDV-910



● HDV-810

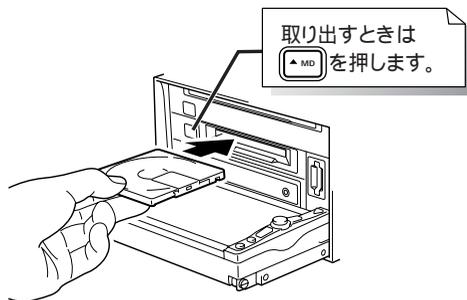


- HDV-810で [EJECT] キーを押してもディスクがイジェクトされないときに [EJECT] キーを押しつづけると、強制的にディスクをイジェクトします。

MDの挿入とイジェクト



MDを挿入するときは、ディスクの表面に示された矢印の方向に挿入します。



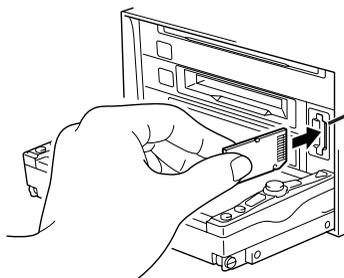
- DVD、CDはディスク挿入口に水平に挿入してください。斜めに入れるとディスクを傷付けたり、故障が発生する場合があります。
- DVD、CD、MD (HDV-910のみ) を取り出すときは、イジェクトボタンを押してから完全に取り出すまで、操作パネルを閉じないでください。イジェクト中に操作パネルを閉じると、ディスクに傷が付く場合があります。
- ACCオフのときはDVD、CD、MDをイジェクトすることができません。

メモリスティックのセットと取り外し

メモリスティックをセットして、地点データなどを保存したり、メモリーから本機に読み込んだりすることができます。

メモリスティックは、メモリスティック挿入口に挿入します。

メモリスティックの切り欠き(四角形の角が欠けている部分)が前方下側になるように持ち、カチッと音がするまで押し込んでください。



取り出すときは、メモリスティックを軽く押すと、カチッと音がして排出されます。



- ・ 次の処理を行っているときには、メモリスティックを取り出さないでください。

データが破損する場合があります。

- ・ メモリスティックとハードディスク間でのファイルのコピー処理中および移動処理中
- ・ Music Cellarの書き出し処理中
- ・ メモリスティックのフォーマット処理中
- ・ Gracenote CDDDBのデータ更新中



- ・ 本機にはメモリスティックは付属していません。メモリスティック規格に準拠したメモリスティックを別途お買い求めください(ソニー株式会社製を推奨)。ただし、メモリスティックプロは使用できません。
- ・ メモリスティックは、端子面を右にしてセットしてください。
- ・ マジックゲートメモリスティックは、メモリスティックとしては使用できますが、マジックゲート機能は使用できません。
- ・ 本機で読み込めるメモリスティックのフォーマットはFAT (FAT16)のみです。また、本機で初期化してから使用してください(▶P.6-65)。
- ・ メモリスティックを無理に引き出さないでください。
- ・ メモリスティックを挿入口から排出した状態で操作パネルを閉じないでください。

ナビ画面の基本操作

ナビ機能を使用するための前面パネルの基本操作です。

現在地の表示

現在地の地図が表示されます。



1

最初にお読みください

画面の表示内容

走行中の画面には、地図上にさまざまな情報が表示されます。

方位マーク / 地図縮尺表示

車の進行方向の方位を示すマークが表示されています。地図の方向を北上に固定すると  マークが表示されます (➡P.1-14)。
数字は、地図のスケールを表しています。例えば、「100」と表示されているときは、このマークの幅が地図上の100mに相当します。

料金案内表示

ルート案内中に有料道路の料金所に近づくと、そこで支払う有料道路料金が表示されます。

VICSマーク / VICS受信時刻表示

表示中のVICS情報を受信した時刻が表示されます。

次交差点名称表示 / 渋滞メッセージ

次の交差点の名称が表示されます。また、VICS情報による渋滞情報がある場合もここに表示されます。

パルス学習中/デモ走行中表示

この位置には、車速パルス数の学習中に「パルス学習中」、デモ走行中に「デモ走行中」と表示されます。また時計表示が大のとき時計を表示します (➡P.6-19)。



自車マーク

車の現在位置を示すマークです。



- 初めてナビゲーションシステムの電源をオンにしたときには、プログラム読み込み中の画面が表示されたのちに、GPS情報を受信すると現在の場所（現在地）付近の地図が表示されます。初めて使用するときはGPS情報を受信するのに時間がかかることがありますが、2回目以降はすぐに現在地が表示されます。
- 使用状況や電源電圧の変動によってプログラムが消去されてしまい、電源をオンにしたときにプログラムの読み込みから始まる場合があります。このような場合には、各種の設定も消去されている場合があります。

レーン案内表示

(ルートガイド中のみ)

ルート案内中に、次に通過する交差点の通行区分が表示されます。

道路名称、カーブ警告、合流警告、踏切警告の表示

高速道、都市道、有料道、国道、都道府県道を走行中、カーブ接近、合流ポイント接近、または踏切接近時にマークが表示されます。

現在時刻の表示

現在の時刻が表示されます。表示の大きさや表示位置を変更することもできます(▶P.6-19)。

GPSマーク

GPS衛星からの電波を正常に受信しているときに表示されます。

ショートカット

画面表示の変更などナビ機能をワンタッチで設定できるショートカットボタンを表示します(▶P.1-15)。

時刻距離表示

(ルートガイド中のみ)

目的地までの到着時刻と距離が表示されます。

スカイマップ切り替え

現在地の航空写真を表示できます。もう一度選択すると元の地図表示に戻ります(▶P.1-17)。

次ガイドポイント案内表示

(ルートガイド中のみ)

次のガイドポイントまでの距離とそこの進行方向が表示されます。



- ・プログラム読み込み後から現在地図画面が表示されるまでの間にナビゲーション本体を動かすと車位置が正しく表示されないことがあります。このようなときは、ナビゲーション本体の電源をオフ/オンにしてください。
- ・GPSマークは、デモモードがオン中は常に表示されます。
- ・表示される道路は地図の縮尺によって異なります。
- ・細街路(幅員5.5m未満の道路)は、細街路以外の道路を走行中は表示されません。また、細街路を走行中であっても、スケールによっては表示されません。

地図の方位の選択

地図の表示する方向を設定します。

- ・ 北を常に上方向にする（ノースアップ）



 マークが表示されているときに、マークを選択するとマークが変わりノースアップに設定されます。



- ・ スケールが25km以上のときは北向き固定になります。

- ・ 進行方向を常に上方向にする（ヘディングアップ）



 が表示されているときに、マークを選択するとマークが変わりヘディングアップに設定されます。



- ・ ヘディングアップ時には、自車マークは画面の下から約1/3の位置に表示され、進行方向の地図が広く表示されます。
- ・ 地図を3D表示しているときには、地図の向きはヘディングアップに固定されます。
地図の向きを切り替えるときは、いったん2D表示にしてから操作してください。

ショートカットの表示と選択

画面右側の  を選択すると、ショートカットメニューが表示されます。よく使う機能をショートカットとしてメニューに登録しておけば、1ステップの操作で各種の機能を設定できます。

お買い上げ後の初期（デフォルト）状態では、ショートカットメニューから以下のショートカットを選択できます。



- ・ ショートカットには、デフォルト機能以外に様々な機能を登録できます。詳細については、「ショートカットを設定する」(▶P.6-4)をご覧ください。



2D/3D画面切り替え

地図表示が2Dと3Dに交互に切り替わります。

画面分割切り替え

1画面地図と2画面地図に交互に切り替わります。

ウォークスルー切り替え

3D表示の地図上を移動するときに、歩いているときと同じような感覚で移動できるウォークスルーモードに切り替わります。



- ・ 通常のメニュー (▶P.1-24) は走行中には使用できませんが、ショートカットメニューの中には、走行中でも使用できる機能があります。(▶P.6-4)
- ・ 約3秒間何も操作しないと、ショートカットメニューは自動的に閉じます。

ナビ画面の地図表示

2D/3D切り替え

ショートカットの  を選択すると、地図表示が2Dと3Dに交互に切り替わります。



2D

3D

 を選択

画面分割切り替え

ショートカットの  を選択すると、地図表示が1画面地図と2画面地図に交互に切り替わります。



1画面地図

2画面地図

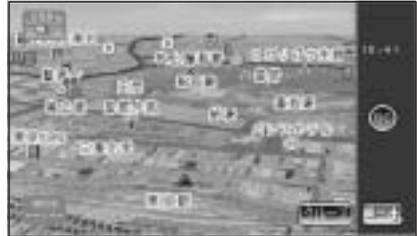
 を選択



- ・ 2画面地図の左右の画面は別々に表示範囲、2D/3Dの切り替えができます。スクロールできるのは右画面のみです。

スカイマップ（航空画面）への切り替え

 を選択すると、地図画面が航空写真画面(スカイマップ)に切り替わります。



 を選択

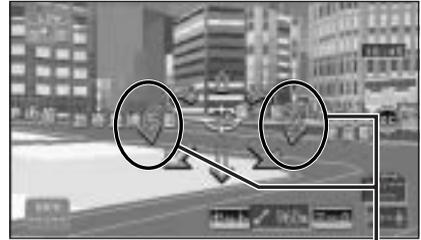
通常の地図画面からスカイマップに切り替えた直後は、切り替え前の地図画面の俯角(視点の高さ)とスケール(地図の表示範囲)で表示されます。



- ・ 撮影した日時の違いや航空写真の特性により、色合いが実際と異なったり、建物が不連続になっている部分や歪んで見える部分があります。
- ・ 航空写真と道路データの差異により、自転車マークやルートが道路からずれて表示される場合があります。

ウォークスルー切り替え

3D表示地図をスクロールする場合の移動方式を「ウォークスルーモード」に切り替えます。「ウォークスルーモード」とは、歩いているときと同じ感覚で地図をスクロールするモードのことです。



詳細3D表示

ウォークスルーモード

 を選択

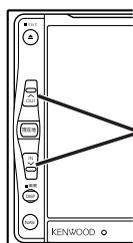
移動方向の矢印に、視点を回転させるための回転矢印が追加されます。



- ・ウォークスルー切り替えは、3D地図のスクロール中だけ使用できます。
- ・ウォークスルーモードは、スクロール地図画面が3D表示のとき、またはシティークルーズビューのときに表示できます。

地図の表示範囲や視点の変更

地図の縮尺を変更して、表示される範囲や視点（3Dの場合）を変更します。



キーを押すと表示範囲が広がります。



キーを押すと表示範囲が縮小します。

広範囲を表示したいときは、 キーを押して地図表示を縮小し、地図の細かい部分を見たいときは  キーを押して地図表示を拡大します。

平面図の場合

 キーを押すと、地図表示が拡大し細かい表示が見えます。 キーを押すと、地図表示が縮小し細かい表示が見えなくなります。



広域表示



詳細表示



- ・  キーまたは  キーを押し続けると、無段階に連続して地図を拡大/縮小できます。
- ・ 市街図（25m、10mスケール）は場所によっては収録されていない場合があります。
- ・ 地図の縮尺によって表示される道路は異なります。
- ・ 地図を3D表示しているときに25mスケールよりも詳細にすると、シティークルーズビュー表示になります。

3Dの場合

 キーを押すと、地図表示が拡大し細かい表示が見え、視点が低い位置になります。 キーを押すと、地図表示が縮小し視点が高い位置になります。



広域表示 / 高い視点



詳細表示 / 低い視点

地図上の移動

地図上の1点を選択すると、選択した地点が地図の中央に表示されるように画面がスクロールします。また、画面に表示されている矢印（スクロールボタン）を選択し続けると、矢印の方向に画面が連続してスクロールします。このとき、画面中央にカーソルとスクロールボタンが表示されます。この画面を [スクロール地図] 画面と呼びます。



現在地までの距離
カーソルから現在地までの
直線距離が表示されます。

スクロールボタン
矢印の方向に地図が移動します。

カーソル
操作の対象となる位置を示します。

住所/情報表示
カーソル位置の住所の情報が表示されます。

ボタン
カーソルが示す位置を目的地やメモリ地点として登録できる[検索結果から項目を選ぶ]画面が表示されます。

ボタン
カーソルに合っているマークの地点または施設の情報が表示されます。



- ・ 地図を2画面表示している場合、スクロールできるのは右画面だけです。
- ・ スクロール地図画面の地図の種類（2D/3D）は直前の現在地図画面と同じです。ただし、スクロール地図画面を常に2Dで表示するように設定することもできます（➡P.6-21）。
- ・ シティクルーズビュー（➡P.1-23）表示時と2D/3D表示時では、スクロール量が異なる場合があります。
- ・ スクロール方法は、8方向スクロールとポイントスクロールのどちらかのみ、または両方に設定することもできます（➡P.6-21）。ただし、ポイントスクロールのみに設定すると、カーソルの周囲の8方向の矢印は表示されません。
- ・ スクロール方法をポイントスクロールと8方向スクロールの両方に設定しているときには、スクロールボタン（8方向の矢印）にタッチしてもポイントスクロールされる場合があります。また、その逆の場合もあります。このような場合には、スクロール方法を「8方向」または「ポイント」に設定して操作してください（➡P.6-21）。

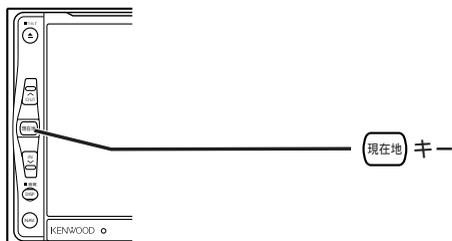
3Dでの移動

3Dでショートカットキーの「ウォークスルー切り替え」を選択すると方向を示す矢印に回転用の矢印が追加されます。



現在地へ戻る

現在地に戻るときは **現在地** キーを押します。



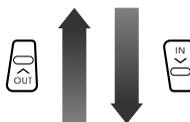
シティクルーズビュー

3D表示地図では、地図を拡大することによってフロントガラス越しに見る風景と同じように地図を表示できます。

さらに、拡大する程度を変えることでシティクルーズビューの俯角を調整できます。



通常の3D地図表示



1

最初にお読みください

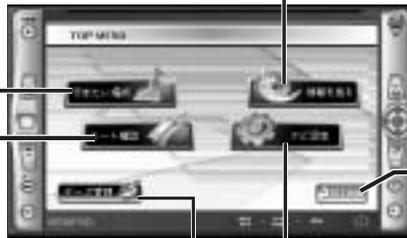
TOPメニューの表示と選択

ナビ機能の大部分の設定はTOPメニューから行います。
TOPメニューは  キーを押すと表示されます。



行きたい場所
目的地の設定を行うときに選択します
(⇒P.2-2)。

情報を見る
VICS情報、ドライブガイド、ゲームな
どの画面を表示するときに選択しま
す(⇒P.5-6)。



RETURN
元の地図画面に戻
ります。

ルート確認
目的地までのルートの確認や変更、
ルート案内の中止などを行うときに
選択します(⇒P.4-2)。

ナビ設定
ナビの詳細な機能設定を行うときに選
択します(⇒P.6-2)。

データ管理
音楽ファイルや地点ファイル、画像ファイルなどを操作
するときに選択します(⇒P.6-60)。

AV画面の基本操作

1

最初にお読みください

AV（オーディオ/ビジュアル）機能を使用するための操作パネルの基本操作を説明します。

ナビ画面の表示

ナビ画面で操作パネル左側の  キーを押すと、現在選択されているAVソースが小画面で表示されます。



オーディオインフォメーション表示画面

[AVコントロール] 画面の表示

ナビ画面で操作パネル右側の  キーを押すと、現在選択されているAVソースのコントロール画面が表示されます。



[AVソースセレクト] 画面

[AVコントロール] 画面で  キーを押すと、AVソースを選択するための [AVソースセレクト] 画面が表示されます。



HDV-910



HDV-810

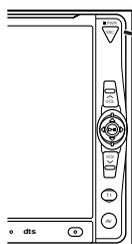
[AV設定メニュー] 画面

[AVコントロール] 画面と [AVソースセレクト] 画面に表示されている **AV設定** を選択すると、AV機能の詳細な設定を行うための [AV設定MENU] 画面が表示されます。



AVソースの切り替え

AVソースは、どんな画面が表示されているときでも、 キーで切り替えることができます。



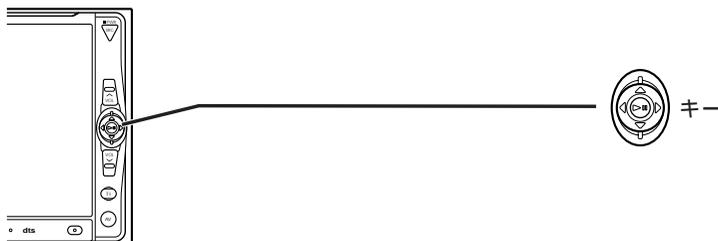
キーを押すたびに、次の順序でAVソースが切り替わります。



- HDD1/HDDはCDからHDDに録音した音楽データ、HDD2 (HDV-910のみ) はメモリースティック (HDV-910のみ) からHDDに読み込んだ音楽データです。
- ディスクが挿入されていない場合はDVD/CDとMD (HDV-910のみ) には切り替わりません。
- VIDEO/AUXはAV設定 (➡P.8-2) で外部入力をVIDEOまたはAUXに設定しないと切り替わりません。

十字キーによる操作

各AVソースは  キーで次の表の操作を行うことができます。



1
最初にお読みください

ソース	十字キー操作				
					
STANDBY	-	-	-	-	-
TUNER	FMに切り替え	AMに切り替え	受信周波数変更	受信周波数変更	-
DVD VIDEO	-	-	チャプターサーチ (押し続けると早送り)	チャプターサーチ (押し続けると早戻し)	再生 / ポーズの 切り替え
CD	-	-	トラックサーチ (押し続けると早送り)	トラックサーチ (押し続けると早戻し)	再生 / ポーズの 切り替え
MP3	フォルダ切り替え	フォルダ切り替え	ファイルサーチ (押し続けると早送り)	ファイルサーチ (押し続けると早戻し)	再生 / ポーズの 切り替え
MD (HDV-910のみ)	グループ切り替え	グループ切り替え	トラックサーチ (押し続けると早送り)	トラックサーチ (押し続けると早戻し)	再生 / ポーズの 切り替え
HDD1 (HDV-910のみ) HDD (HDV-810のみ)	フォルダ切り替え	フォルダ切り替え	ファイルサーチ (押し続けると早送り)	ファイルサーチ (押し続けると早戻し)	再生 / ポーズの 切り替え
HDD2 (HDV-910のみ)	フォルダ切り替え	フォルダ切り替え	ファイルサーチ (押し続けると早送り)	ファイルサーチ (押し続けると早戻し)	再生 / ポーズの 切り替え
TV	-	-	チャンネル 切り替え	チャンネル 切り替え	-
VIDEO/AUX	-	-	-	-	-

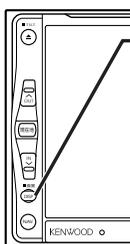
[AVコントロール] 画面の背景画像の切り替え

[AVコントロール] 画面の背景に表示される画像を変更することができます。

- 1  キーを押して [AVコントロール] 画面を表示します。
下図はTUNERソースの場合の [AVコントロール] 画面です。



- 2 目的の画面が表示されるまで  キーを数回押します。



 キー

 キーを押すたびに次の順序で画面が切り替わります。

ランダムモード (以下の10種類の画面が自動的に切り替わります。)
↓
5種類の静止画
↓
5種類の動画

Finish

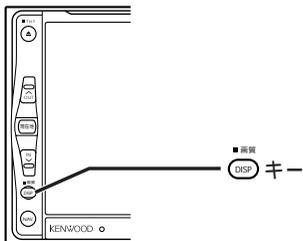


- ・ HDD2では動画を選択しても静止画として表示されます。

画質を設定する

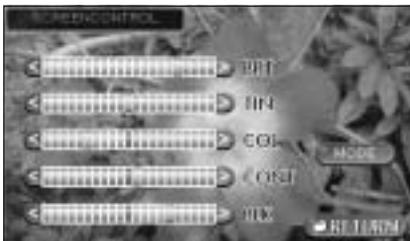
映像の画質を設定します。

1  DISP キーを押し続けます。



2 画面の   を選択して画質を調整します。

・テレビ、DVD、VIDEO映像の表示画面



・地図画面 / テレビ、DVD、VIDEO映像以外の表示画面



3  RETURN を選択します。
元の画面が表示されます。

1

最初にお読みください

Finish



- 調整できる項目は次のとおりです。

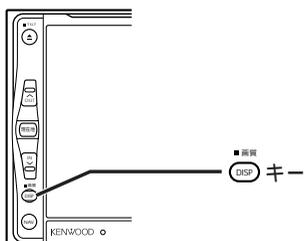
調整項目	設定内容	調整段階	備考
BRIGHT(明るさ)	暗 - 明	0 ~ 20	
TINT(色合い)	緑 - 赤	- 10 ~ + 10	NTSCのみ有効
COLOR(色の濃さ)	淡 - 濃	- 10 ~ + 10	NTSCのみ有効
CONTRAST(コントラスト)	弱 - 強	- 10 ~ + 10	
BLACK(黒レベル)	黒 - 白	- 10 ~ + 10	

- BRIGHTは昼と夜で別々に設定できます。
- 各項目とも地図画面、TV/DVD映像、VIDEO映像で個別に設定できます。
- 地図画面の文字などが見づらい場合は、コントラストや黒レベルを調整すると見やすくなります。

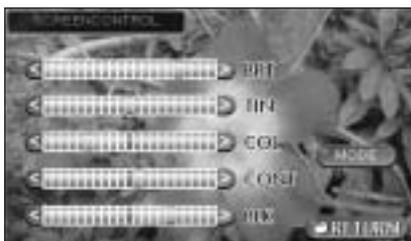
映像モードを設定する

テレビ、DVD、VIDEOの映像表示画面のサイズ、バランスを設定します。

1  キーを押し続けます。



2  を選択します。



3 表示したい映像モードのボタンを選択します。



4  を選択します。

元の画面が表示されます。



- TV、DVD、VIDEOの各ソースの画面ごとに映像モードを個別に設定できます。
- TV、DVD、VIDEO以外の画面(ナビ画面、他のAV画面、リアビューカメラ)は、FULLモード画面で常に表示されます。

1

最初にお読みください

タッチパネルを補正する

タッチ位置の補正をします。

1  キーを約2秒押し続けます。

2 画面に表示されるメッセージに従って、右上と左下のボタンを順に選択します。



 を選択するとお買い上げ時の設定になります。

中止する場合は  を選択します。元の表示画面に戻ります。

Finish



- ・ 画面をタッチしたときにボタンの位置がずれていると感じた場合、タッチ位置の補正をしてください。
- ・ 正確な補正をするために、できるだけ十字の中心を押してください。

2 目的地を見つける

ここでは、目的地を検索し、設定するまでの手順を説明します。最初に検索方法を選択し、次に地点を登録するという順序で操作を進めます。

検索方法を選択する	P.2-2
名称を入力して検索する	P.2-4
最寄り施設を検索する	P.2-9
施設を検索する	P.2-12
電話番号で検索する	P.2-15
住所で検索する	P.2-18
住所と氏名で検索する	P.2-21
マップコードで検索する	P.2-24
地図から検索する	P.2-26
自宅に帰る	P.2-28
過去の目的地から検索する	P.2-29
登録メモリ地点から検索する	P.2-31
地点を登録する	P.2-33
メモリ地点として登録する	P.2-34
通過点として登録する	P.2-35
周辺の駐車場を選択する	P.2-36
検索地点の詳細を見る	P.2-37
検索位置を調整/変更する	P.2-38
目的地として設定する	P.2-39



検索方法を選択する

目的地の設定は検索方法の選択から始めます。

[行きたい場所] メニューを表示する

TOPメニューから [行きたい場所] メニューを表示し、検索方法を選択します。

1  キーを押します。



2  を選択します。



3 検索方法を選択します。



好みの検索方法を選択します。

Finish

検索方法の種類

各検索方法の内容は次のとおりです。詳しい操作方法是参照ページをご覧ください。

アイコン	アイコン名	内容	参照ページ
	名称入力	50音入力キーを使って任意の名称を入力し検索します。	P.2-4
	住所	都道府県名から詳細な住所までを順に選択し検索します。	P.2-18
	施設	ジャンルと地域から施設を選択し検索します。	P.2-12
	最寄り	現在地、目的地、ルート沿い周辺の施設をジャンルを指定して検索します。	P.2-9
	メモリ地点	メモリ地点として登録された場所と過去に目的地として登録された場所のリストから選択し検索します。	P.2-31
	地図から	地図で探して目的地を指定します。	P.2-26
	自宅	自宅を目的地として指定します。自宅が未登録の場合は、[自宅未登録]と表示されます。最初に自宅登録を行ってください。	P.2-28
	訪問先	住所と氏名を入力してホームページから個人宅を検索します。	P.2-21
	番号	電話番号またはマップコードで目的地を検索します。電話番号が収録されている個人、会社、施設はピンポイントで検索できます（個人所有の場合は所有者の苗字を入力する必要があります）。電話番号が収録されていない場合は、市内局番が該当する地域のほぼ中央が検索されます。マップコードが設定されている場所はピンポイントで検索できます。	P.2-15 (電話番号) P.2-24 (マップコード)

2

目的地を見つける



- ・ マップコードについては下記のホームページを参照するか、株式会社デンソーまでお問い合わせください。
インターネットURL <http://www.e-mapcode.com>
電話：0566-61-4210 株式会社デンソー MCプロジェクト
マップコードは株式会社デンソーの登録商標です。
- ・ 電話番号で検索できるのはホームページまたはタウンページに登録してあるものだけです。

名称を入力して検索する

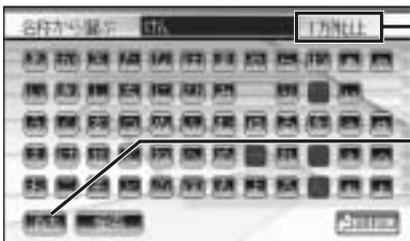
施設の名称を入力して検索します。名称で検索した結果をさらにエリアまたはジャンルで絞り込むことができます。



1  を選択します。



2 施設名の読みを入力します。



入力時点での絞り込み該当件数を表示します。

文字を誤って入力した場合は、 を選択して最後の文字を消去します。

3  を選択します。



4 施設を選択します。



検索結果が複数ある場合は、リストから選択します。目的の施設が表示されるまで◀▶を選択します。



・ エリアやジャンルで検索結果の絞り込みをすることができます (→P.2-6)。

5 検索結果を確認します。



検索結果が目的の場所と異なる場合は、**詳細**を選択すると「施設を選ぶ」画面に戻ります。



地点を登録する

P.2-33

検索された地点を目的地や通過地点などとして登録します。

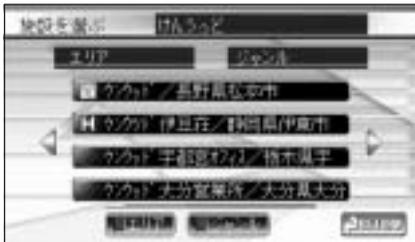
2

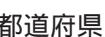
目的地を見つける

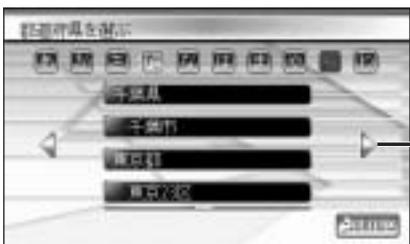
検索方法を選択する : 名称を入力して検索する

● エリアで絞り込み検索をする場合

1  を選択します。



2  都道府県を選択します。



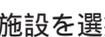
リストに目的の都道府県が表示されていないときは、まず都道府県の頭文字( ~ )を選択し、次に目的の都道府県が表示されるまで  を選択します。

3  市区町村を選択します。



リストに目的の市区町村が表示されていないときは、まず市区町村の頭文字( ~ )を選択し、次に目的の市区町村が表示されるまで  を選択します。

 ・ 都道府県の全域をエリアとして指定する場合は  を選択します。

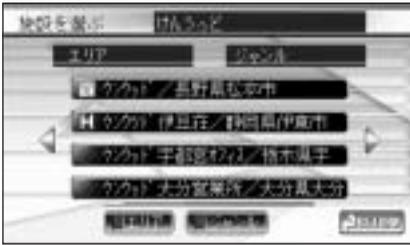
4  施設を選択し、検索結果を確認します。

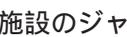
Finish

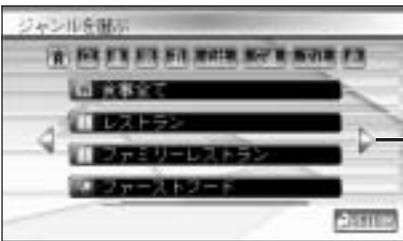
 ・  を再度選択すると、エリアによる絞り込みはキャンセルされます。

● ジャンルで絞り込み検索をする場合

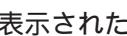
1  を選択します。



2  施設のジャンルを選択します。



画面上部のジャンルの大分類を選択すると、リストに分類内のジャンルが表示されます。目的のジャンルが表示されるまで  を選択し、ジャンル名を選択します。

3  表示された施設リストから目的の施設を選択します。



目的の施設が表示されるまで  を選択し、目的の施設名を選択します。

4  検索結果を確認します。



  次のページへ

2

目的地を見つける

検索方法を選択する：名称を入力して検索する



- ・  を再度選択すると、ジャンルによる絞り込みはキャンセルされます。
- ・ 大分類のジャンルの内容は次のとおりです。

大分類の略号	内 容
食	食事をする場所。例：レストラン、ラーメン店など。
店	販売店舗。例：コンビニ、デパート、専門店など。
車	自動車関係の施設。例：ガソリンスタンド、駐車場など。
宿	宿泊場所。例：旅館、ホテルなど。
遊	レジャー施設。例：スポーツ施設、カラオケ、動植物園など。
公共	公共施設。例：役所、図書館、警察、病院など。
交通	交通関係の施設。例：駅、空港、港など。
文化	文化施設。例：名所旧跡、美術館、神社仏閣など。
他	生活全般関連の施設。例：銀行、美容院、郵便局など。

- ・ 絞り込み検索は、最初にエリアで絞り込み、さらにジャンルで絞り込みをするというように組み合わせて使用できます。



次の操作

地点を登録する

P.2-33

検索された地点を目的地や通過地点などとして登録します。

最寄り施設を検索する

現在地、目的地、またはルート沿いの周辺にある施設をジャンル別のリストから選択します。



1  を選択します。



2 検索の基準を選択します。



3 施設のジャンルの大分類(「食」「店」など)を選択します。



画面上部のジャンルの大分類を選択すると、リストにジャンルの小分類が表示されます。

検索方法を選択する：最寄り施設を検索する

4 ジャンルの小分類を選択します。



目的のジャンルが表示されるまで◀▶を選択し、ジャンル名を選択します。選択したジャンルのインジケーターが点灯します。



- ・ ジャンルは5種類まで選択できます。
- ・ 選択したジャンルを再度選択すると選択が解除されます。すべて選択解除する場合は「**すべて解除**」を選択します。

5 **検索** を選択します。



6 表示された施設リストから目的の施設を選択します。



施設リストは現在地または目的地からの距離が近い順に表示されます。目的の施設が表示されるまで◀▶を選択し、目的の施設名を選択します。



- ・ **種類別** を選択すると、施設を種類別に並べ替えたリストが表示されます。また、**距離近い順** を選択すると、距離が近い順に表示されます。
- ・ 施設名の横に現在地からの方角と距離が表示されます。



- ・ 目的地が設定されていないときは、現在地周辺の施設のみが検索できます。

7 検索結果を確認します。



検索結果が目的の場所と異なる場合は、「施設を選ぶ」を選択すると「施設を選ぶ」画面に戻ります。

Finish



- ・ 大分類のジャンルの内容は次のとおりです。

大分類の略号	内 容
食	食事をする場所。例：レストラン、ラーメン店など。
店	販売店舗。例：コンビニ、デパート、専門店など。
車	自動車関係の施設。例：ガソリンスタンド、駐車場など。
宿	宿泊場所。例：旅館、ホテルなど。
遊	レジャー施設。例：スポーツ施設、カラオケ、動植物園など。
公共	公共施設。例：役所、図書館、警察、病院など。
交通	交通関係の施設。例：駅、空港、港など。
文化	文化施設。例：名所旧跡、美術館、神社仏閣など。
他	生活全般関連の施設。例：銀行、美容院、郵便局など。

- ・ 目的地を設定し、ルート案内を開始するまでは、手順2で または を選択することはできません。



次の操作

地点を登録する

P.2-33

検索された地点を目的地や通過地点などとして登録します。

2

目的地を見つける

施設を検索する

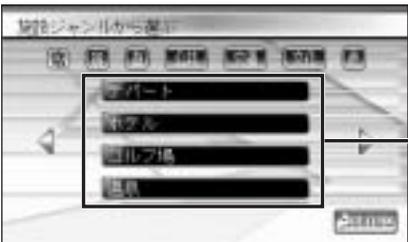
ジャンルと所在地の都道府県を元に施設を検索します。



1  を選択します。



2 施設のジャンルの大分類(「店」「宿」など)を選択します。



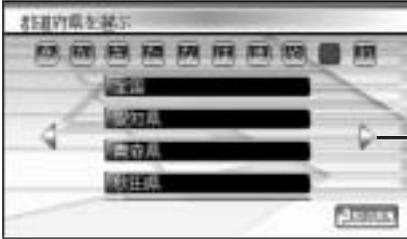
画面上部のジャンルの大分類を選択すると、リストにジャンルの小分類が表示されます。

3 ジャンルの小分類を選択します。



目的のジャンルが表示されるまで◀▶を選択します。

4 所在地の都道府県を選択します。



リストに目的の都道府県が表示されていないときは、まず都道府県の頭文字( ~ )を選択し、次に目的の都道府県が表示されるまで  を選択します。

5 表示された施設リストから目的の施設を選択します。



目的の施設が表示されるまで  を選択し、目的の施設名を選択します。

6 検索結果を確認します。



検索結果が目的の場所と異なる場合は、  を選択すると[施設を選ぶ]画面に戻ります。

Finish

検索方法を選択する：施設を検索する



- ・ 大分類のジャンルの内容は次のとおりです。

大分類の略号	内 容
店	販売店舗。例：デパート。
宿	宿泊場所。例：ホテル。
遊	レジャー施設。例：ゴルフ場、温泉、動植物園など。
公共	公共施設。例：役所、図書館、警察、病院など。
交通	交通関係の施設。例：駅、空港、港など。
文化	文化施設。例：名所旧跡、美術館、神社仏閣など。
他	生活全般関連の施設。例：式場。



次の操作

地点を登録する

P.2-33

検索された地点を目的地や通過地点などとして登録します。

電話番号で検索する

電話番号で目的地を検索します。電話の所有者が個人の場合は、所有者の苗字を入力するとピンポイントで検索できます。



1 を選択します。



2 電話番号を市外局番から入力します。



番号を入れ間違えたときは、 を選択して末尾から1文字ずつ消去し、入れ直します。

・ 最低限、市外局番と市内局番を入力すればおおよその位置が検索できます。

3 を選択します。

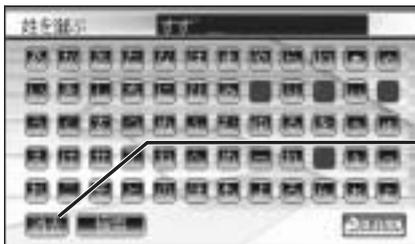


電話を所有しているのが個人以外の会社や施設などの場合や、電話番号を市外局番と市内局番だけ入力した場合は、手順6の[検索結果から項目を選ぶ]画面が表示されます。

次のページへ

検索方法を選択する : 電話番号で検索する

- 4 50音キーで電話所有者の苗字を入力します。



文字を入れ間違えたときは、 を選択して末尾から1文字ずつ消去し、入れ直します。

- 5  を選択します。



- 6 検索結果を確認します。



検索結果が目的の場所と異なる場合は、 を選択すると手順2の[番号から選ぶ]または[姓から選ぶ]画面に戻ります。

Finish

 次の操作 **地点を登録する**

P.2-33

検索された地点を目的地や通過地点などとして登録します。



- ・電話番号がデータに収録されていてもピンポイントで検索できない場合があります。
- ・複数の施設が検索された場合は、表示されたリストから目的の施設を選択してください。
- ・最低限、市外局番と市内局番を指定すると検索できます。
- ・指定した電話番号と一致するデータがない場合、市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
- ・検索する電話番号データはタウンページのデータベースを元に作成されています。データの整備状況によっては、一部のデータを検索できない場合があります。
- ・電話番号が個人宅の場合、検索結果画面には名前と電話番号は表示されますが、住所とマップコードは表示されません。



目的地を見つける

住所で検索する

住所で場所を検索します。都道府県（例：東京都）、市区町村（例：八王子）、地名（例：石川町）、番地（丁目、番、号 例：967-3）を指定できます。



1  を選択します。



2 表示されている都道府県以外を検索するときは画面下部の都道府県名のボタンまたは  を選択します。



近隣の県が表示されます。

現在表示されている都道府県で検索するときは手順4から操作します。

3 都道府県を選択します。



目的の都道府県が表示されるまで◀▶を選択します。

4 市区町村名を選択します。



リストに目的の市区町村が表示されていないときは、まず市区町村の頭文字(都 ~ 都)を選択し、次に目的の市区町村が表示されるまで◀▶を選択します。

5 地名を選択します。



リストに目的の地名が表示されていないときは、まず地名の頭文字(都 ~ 都)を選択し、次に目的の地名が表示されるまで◀▶を選択します。

6 番地名を選択します。



リストに目的の番地名が表示されていないときは、まず番地名の頭文字(都 ~ 都)を選択し、次に目的の番地名が表示されるまで◀▶を選択します。



- 地名選択で「〇〇区主要部」を選択すると、以降の指定を省略して検索できます。この場合、主要施設（都道府県や市区町村の役所）または指定されている住所のほぼ中央が検索されます。

検索方法を選択する : 住所で検索する

7 番地（丁目）を選択します。



目的の番地が表示されるまで ◀▶ を選択します。



・ 地域によって指定できる番地が異なります。

8 画面の表示に従って残りの番地を入力します。



◻️◻️◻️ を選択すると、番地を数字で直接入力できます。

9 検索結果を確認します。



検索結果が目的の場所と異なる場合は、◻️◻️◻️ を選択すると『番地を選ぶ』画面に戻ります。

Finish



- ・ 郡の指定は不要です。都道府県に続けて郡の後に続く住所を指定してください。
- ・ 指定した住所のほぼ中央が表示されます。
- ・ 地域によって指定できる番地は異なります。
- ・ 手順8で ◻️◻️◻️ を選択すると、番地の数字をダイレクトに入力できます。

次の操作 **地点を登録する**

P.2-33

検索された地点を目的地や通過地点などとして登録します。

住所と氏名で検索する

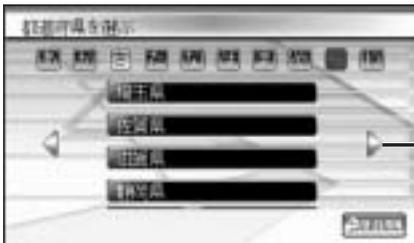
個人の訪問先を住所（都道府県と市区町村）、氏名で検索します。



1  を選択します。

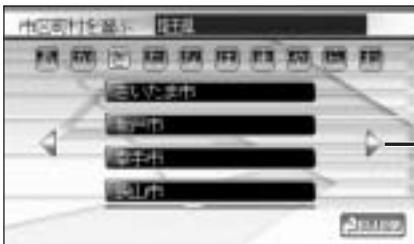


2 都道府県を選択します。



リストに目的の都道府県が表示されていないときは、まず都道府県の頭文字( ~ )を選択し、次に目的の都道府県が表示されるまで  を選択します。

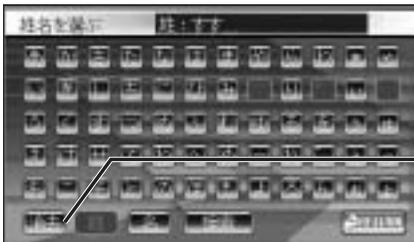
3 市区町村を選択します。



リストに目的の市区町村が表示されていないときは、まず市区町村の頭文字( ~ )を選択し、次に目的の市区町村が表示されるまで  を選択します。

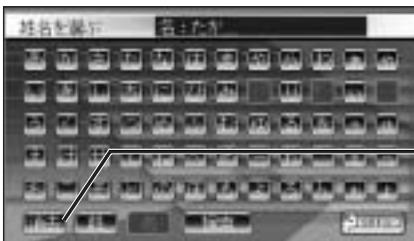
検索方法を選択する : 住所と氏名で検索する

4 苗字を入力します。



文字を誤って入力した場合は、 を選択して末尾から1文字ずつ消去し、入れ直します。

5  を選択して名前を入力します。



文字を誤って入力した場合は、 を選択して末尾から1文字ずつ消去し、入れ直します。

6  を選択します。



7 訪問先を選択します。



該当する結果が複数ある場合はリストから選択します。

8 検索結果を確認します。



検索結果が目的の場所と異なる場合は、**Finish** を選択すると手順7の「訪問先を選ぶ」画面に戻ります。

Finish

次の操作 地点を登録する

P.2-33

検索された地点を目的地や通過地点などとして登録します。



- ・ 手順4または手順5を省略して姓または名だけで検索することもできます。
- ・ 検索結果が複数ある場合は、表示されたリストから目的の訪問先を選択してください。
- ・ 検索できる個人宅は八ローページに掲載されているものだけです。
- ・ 収録されているデータによってはピンポイントで検索できない場合もあります。
- ・ 収録データの氏名の読みが実際と異なる場合があります。この場合は実際の読みを入力しても検索できません。
- ・ 個人宅のデータに戸建番号が収録されていない場合は、収録されているデータに従って地図表示されます。
- ・ 地点情報を表示する画面には電話番号は表示されません。

2

目的地を見つける

マップコードで検索する

旅行雑誌などに掲載されているマップコード(最大12桁の数字)を入力して施設を検索します。



1  を選択します。



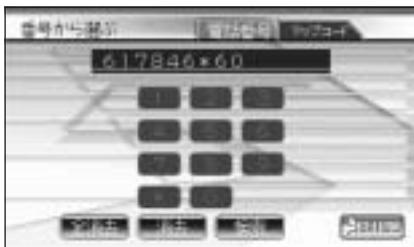
2  を選択します。



3 マップコードを入力します。



現在地または最近検索した場所のマップコードが入力された状態で表示されます。新しく入力する場合は、 を選択し入力内容をすべて消去してから入力します。番号を入れ間違えたときは、 を選択して末尾から1文字ずつ消去し、入れ直します。

4 **検索** を選択します。

5 検索結果を確認します。



検索結果が目的地の場所と異なる場合は、**検索結果**を選択すると手順3の「番号から選ぶ」画面に戻ります。

Finish



- ・ マップコードは下記のURLで検索できます。

インターネットURL <http://search.e-mapcode.com/>

i-mode <http://search.e-mapcode.com/i/>

また、下記の書籍、雑誌にも掲載されています。

プランニング秀巧社 『ユーブック 遊本九州』

『ポケちず ふくおか2002』

名古屋流行発信 『パーフェクトランチ』

『ファミリーレジャーガイド』

『THE SHOP 10.153』

日本自動車連盟 『JAFメイト』

- ・ マップコードを入力する画面が表示されたときには、現在地またはカーソル位置のマップコードが表示されています。検索するときは、表示されているコードを消してから入力してください。
- ・ **検索結果**を選択すると、表示されているマップコードをすべて消去できます。
- ・ マップコードに関するお問合せは、株式会社デンソーへお願いします。
インターネットURL <http://www.e-mapcode.com>
電話 0566-61-4210 (MCプロジェクト)



次の操作

地点を登録する

P.2-33

検索された地点を目的地や通過地点などとして登録します。

地図から検索する

地図画面上で目的地を指定します。地図を移動させて目的地を表示し、設定します。



1  を選択します。



2 地図をスクロールして目的地が地図中央のカーソル内に入るようにします。



3  を選択します。



4 検索結果を確認します。



検索結果が目的の場所と異なる場合は、**検索結果**を選択すると手順2の[スクロール地図]画面に戻ります。



次の操作

地点を登録する

P.2-33

検索された地点を目的地や通過地点などとして登録します。

2

目的地を見つける

自宅に戻る

出先から自宅に戻るときは自宅を目的地に指定します。



- ・ 自宅の位置を登録していない場合は、[行きたい場所] メニューの  を選択し、自宅の位置を登録してください。
- ・ 自宅の登録方法については、「自宅の位置を登録する」(➡ P.6-28) をご覧ください。

1

 を選択します。



2

ルートの選択をする画面が表示されます。



次の操作 **案内を開始する**

P.3-2

ルート案内を開始します。



- ・ 自宅へ帰るルートを探するには、自宅の位置を登録しておく必要があります (➡ P.6-28)。
- ・ 自宅探索はショートカットメニューに登録しておくこともできます (➡ P.6-4)。

過去の目的地から検索する

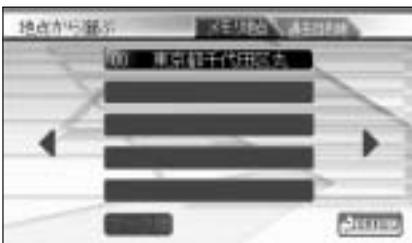
以前の目的地から検索します。過去の目的地は最新の20カ所までが自動的に登録されます。



1  を選択します。



2  を選択します。



3 リストから地点を選択します。



目的の地点が表示されるまで  を選択します。

検索方法を選択する : 過去の目的地から検索する

4 検索結果を確認します。



検索結果が目的の場所と異なる場合は、**OK** を選択すると手順2の画面に戻ります。



次の操作 地点を登録する

P.2-33

検索された地点を目的地や通過地点などとして登録します。



- ・ ルート探索後、実際に到達した場所が過去の目的地として記録されます。ルート探索しただけでは過去の目的地にはなりません。

登録メモリ地点から検索する

メモリ地点として登録した場所のリストから検索します。メモリ地点は100カ所まで登録しておくことができます。



1  を選択します。



2  を選択します。



3 リストから地点を選択します。



目的の地点が表示されるまで
 を選択します。

検索方法を選択する : 登録メモリ地点から検索する

4 検索結果を確認します。



検索結果が目的の場所と異なる場合は、**OK**を選択すると手順3の「地点から選ぶ」画面に戻ります。



- ・ あらかじめメモリ地点にマークを付けておくと、を選択してメモリ地点をマークの種類別に表示されます。詳細は「メモリ地点の情報を編集する」(▶P.6-41)をご覧ください。また、を選択すると、メモリ地点が登録された順に表示されます。
- ・ メモリ地点がまったく登録されていない場合には、は選択できません。
- ・ ハードディスクに保存されているメモリ地点から探す場合には、あらかじめ本機に読み込んでおいてください。本機には100カ所までのメモリ地点を登録できます。



次の操作

地点を登録する

P.2-33

検索された地点を目的地や通過地点などとして登録します。

地点を登録する

[行きたい場所] メニューの検索方法で検索した地点は、[検索結果から項目を選ぶ] 画面と地図上に表示されます。ただし、[行きたい場所] メニューで自宅を選択した場合は下記の画面は表示されずに、ルート案内開始の画面 (➡P.3-2) が表示されます。

[検索結果から項目を選ぶ] 画面では、各項目を選択することによって検索した地点を登録します。それぞれの詳しい操作方法、表示内容は参照ページをご覧ください。

通過点

表示されている地点を途中で立ち寄りたい場所として登録します (➡P.2-35)。

地点

表示されている地点をメモリ地点として登録します (➡P.2-34)。

駐車場

表示されている施設の専用駐車場または提携駐車場を検索します (➡P.2-36)。

地図

表示されている地点周辺の地図を表示し、地図上を移動することによって別の地点に移動します (➡P.2-38)。

目的地

表示されている地点を目的地として設定します (➡P.2-39)。

最寄り

表示されている地点の周辺の施設を検索します (➡P.2-9)。

詳細

表示されている地点が施設の場合、施設の詳細(例:ランドマークを選択しているとき)を表示します (➡P.2-37)。



-  が使用できるのは、名称入力、施設名または電話番号で検索された施設に提携先駐車場の情報がある場合だけです。それ以外の場合はボタンが無効になり選択できません。
-  が使用できるのは、名称入力、施設名、マーク選択または電話番号で検索された施設の詳細情報がある場合と、25mスケールで地図から検索した場合だけです。それ以外の場合はボタンが無効になり選択できません。
- メモリ地点は最大100カ所まで登録できます。既に100カ所登録されている場合は、 が無効になり選択できません。
- 通過点は最大5カ所まで登録できます。5カ所登録済みの場合は、 が無効になり選択できません。
- 最寄り検索、駐車場検索を行うと、 は無効になり選択できません。再度最寄り検索または駐車場検索を行いたいときは、もう一度検索をして [検索結果から項目を選ぶ] 画面を表示させてください。

2

目的地を見つける

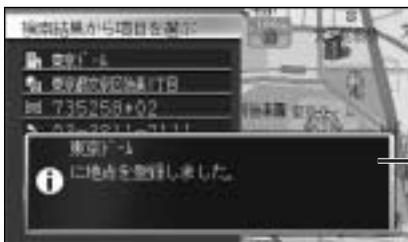
メモリ地点として登録する

検索地点または施設をメモリ地点として登録します。メモリ地点として登録した地点は、[行きたい場所]メニューの[メモリ地点]でリストから選択できます。

1  を選択します。



2 表示されるメッセージを確認します。



「**東京1-1**に地点を登録しました。」とメッセージが表示されます。

Finish

次の操作 検索方法を選択する

P.2-2

- ・ さらにメモリ地点または目的地を検索する場合
地点を検索するための方法を選択し、検索を開始します。
- ・ 操作を終了する場合
 キーを押して地図を表示します。



- ・ メモリ地点として登録できるのは最大100カ所です。
100カ所を超えるメモリ地点を使用する場合は、ハードディスクに地点ファイルとして保存してください。
- ・ 地図から選択して登録したメモリ地点には、自動的にその付近の地名が付けられ、地図に表示されます。また、マークやサウンド（近くを通過するときが発生する音声）、名称、読み仮名、電話番号を設定できます（➡P.6-41）。
- ・ メモリ地点の登録はショートカットにも登録できます。

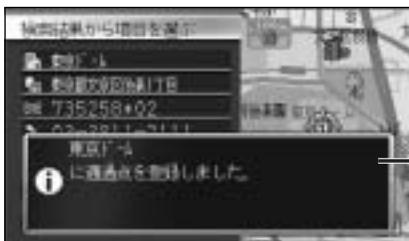
通過点として登録する

検索した地点を通過点として登録します。通過点を通して目的地に到着するルートが設定されます。

1 を選択します。



2 表示されるメッセージを確認します。



「 に通過点を登録しました。」とメッセージが表示されます。



次の操作 **検索方法を選択する** P.2-2

まだ目的地が登録されていない場合は、地点を検索するための方法を選択し、検索を開始します。

次の操作 **案内を開始する** P.3-2

目的地が登録されている場合は、ルートを確認しルート案内を開始します。



- 通過点として登録できるのは最大5カ所です。
- すべての通過点と目的地を消去し最初から検索しなおす場合は、ルートを削除してください。詳しい操作方法は、「ルートを削除する」(➡P.4-20)をご覧ください。
- ルート探索は、目的地を設定したときに行われます。すでに目的地が設定されているときに通過点を設定すると、その時点で自動的にルート探索しなおされます。
- 登録した順に ~ となり、ルート探索時にはその順に通過するルートが探索されます。
- 通過点の順番はあとから変更できます (➡P.4-14)。また、通過点の場所を変更したり (➡P.4-12)、消去することもできます (➡P.4-16)。

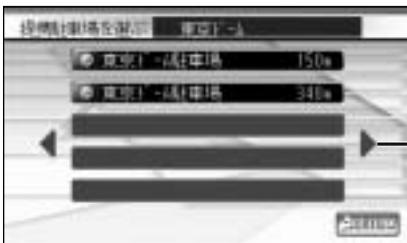
周辺の駐車場を選択する

検索した施設が提携している駐車場を検索します。

1  を選択します。



2 提携駐車場のリストから駐車場を選択します。



駐車場が近い順に表示され、リストにはその距離が表示されます。目的の駐車場が表示されるまで◀▶を選択し、目的の駐車場名を選択します。



画面右側に選択した駐車場の位置が表示されます。



 次の操作 **案内を開始する**

P.3-2

ルートを確認しルート案内を開始します。



- 提携または専用駐車場を探せるのは、地点検索機能を使ってピンポイントで位置を検索できた場合だけです。
- 目的地の施設の提携駐車場情報がない場合は、が無効になり、選択できません。
- あらかじめ車両情報（車体の大きさ）を登録しておく、と、利用できない駐車場をリストから除いて表示させることができます。詳しい操作方法は、「車両情報を設定する」(➡P.6-37)をご覧ください。

検索地点の詳細を見る

検索した地点、施設についての詳細な情報を表示します。例えば、検索した施設内のテナントの情報を表示できます。

1 **詳細** を選択します。



2 テナントを選択します。



目的のテナントが表示されるまで◀▶を選択します。

3 テナントの情報を確認したら **戻る** を選択します。
[検索結果から項目を選ぶ] 画面に戻ります。



次の操作 検索方法を選択する

P.2-2

検索した地点、施設を設定する項目を選択します。



- 施設の詳細情報がない場合は、**詳細** が無効になり、選択できません。
- テナントリストを表示できるのは、市街地図（25m、10mスケール）を表示しているときだけです。スケールが50m以上のときはブラウザで情報が表示されます。
- スクロール地図画面ではカーソル  がランドマークにきちんと合わないと、**戻る** を選択しても詳細情報（地名や電話）は表示されません。

検索位置を調整/変更する

検索した位置を地図移動画面に表示し、地図上を移動することによって検索位置の微調整や変更を行います。

1  を選択します。



2 目的の位置まで地図を移動します。



画面の任意の位置を選択し、
地図の表示範囲を移動させ
ます。

3  を選択して目的の位置を設定します。



Finish



・ 位置の変更を中止するときは、 を選択します。

▶ 次の操作 **地点を登録する**

P.2-33

検索された地点を目的地や通過地点などとして登録します。

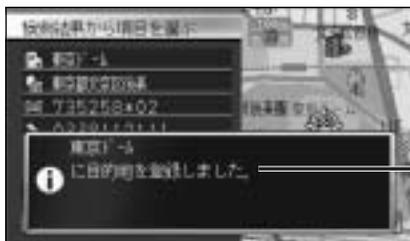
目的地として設定する

検索した地点、施設を最終目的地として設定します。

1 **目的地** を選択します。



検索した位置に目的地を示すマークが表示されます。



「**東京1-5**」に目的地を登録しました。」とメッセージが表示されます。



- ・目的地が設定されていないときにはルート探索できません。
- ・目的地として設定できる場所は1カ所だけです。すでに目的地が設定されているときにさらに目的地を設定すると、先に設定した目的地は消去され、後から設定した目的地が有効になります。
- ・目的地を設定するとルート探索が自動的に開始されるため、通過点と目的地を設定する場合には通過点を先に設定することをお勧めします。
- ・目的地を設定してルートを探るときに、先に設定された通過点の処理方法（通過点を通る/通過点を削除して通らない）を設定することができます（➡P.6-21）。
- ・ルート探索が完了したあとで通過点を変更（位置の変更、追加、消去、順番の変更）するときは、[ルートを選ぶ] 画面で を選択してください（➡P.3-6）。
- ・案内を開始した後で通過点を編集（位置の変更、追加、消去、順番の変更）するときは、[ルート確認] メニューの [ルート編集] を使ってください（➡P.4-9 ~ 4-20）。



次の操作 **案内を開始する**

P.3-2

ルート案内の設定を開始します。

2

目的地を見つける

3 ルート案内を使用する

ここでは、探索されたルートを選択し、最終目的地までのルート案内を利用する手順を説明します。

案内を開始する	P.3-2
ルートを比較選択する	P.3-4
案内を開始する	P.3-7
案内時の表示と音声	P.3-8
一般道での案内画面	P.3-8
高速道での案内画面	P.3-11
ガイドポイントでの音声案内	P.3-12
ガイドポイント接近時の画面表示	P.3-13
ルート外走行時の表示	P.3-14
ETC使用時の表示	P.3-15
渋滞時の案内	P.3-16
ルートのオンルートスクロール	P.3-18



案内を開始する

[ルートを選ぶ] 画面でルートを選択や編集などを行い、ルート案内を開始します。

[ルートを選ぶ] 画面の各部の名称と機能は以下のとおりです。



編集

インターチェンジの入口/出口の変更、通過点の追加、変更を行います(➡P.3-6)。

一覧

各探索条件においての距離、所要時間、料金をリスト表示します(➡P.3-4)。

詳細情報

ルート上の主要なポイント(有料道路の出入口、料金所、分岐点、通過道路の名称など)を表示します(➡P.3-5)。



- ・ 出発地(現在地)と目的地の位置関係によっては、5種類のルートが異なるものにならない場合があります。
- ・ ドライブガイドのコースは、標準ルートのみが探索されます。
- ・ 案内を開始した後でルートの種類を変更するときは、[ルート確認]メニューの (➡P.4-21)で案内を中止し(ルートは消去されます)してから、ルートを探索しなおしてください。
- ・ 通過点を設定されている場合には、ルートを選ぶたびに1ルートずつ探索されます。
- ・  は通過点または出入口ICが設定されている場合は選択できません。

時計

現在の時刻を示します。

探索条件

ルートを探査する条件を設定します。



：所要時間が最短となるルートを探査します。



：高速道路などの有料道路を優先的に使用するルートを探査します。



：距離が最短となるルートを探査します。



：一般道を優先的に使用するルートを探査します。



：別の別ルートを探査します。

探索結果表示

目的地までの距離、所要時間、有料道路使用時のインターチェンジの入口、出口、利用料金を表示します。

案内

ルート案内を開始します (➡P.3-7)。



- 幅員が5.5m未満の道路(細街路)はルートとして探索されませんが、現在地から探索対象道路までと、探索対象道路から目的地までの細街路はルート探索の対象になります。
ただし、細街路では交通規制が考慮されていません。走行時は実際の交通規制に従って運転してください。
- 正しい通行料金を表示するために、車両情報を設定しておいてください (➡P.6-37)。
- 使用するIC(入口/出口)を変更した場合は、標準ルートのみが探索されます。別のルートで探索を行いたい場合は指定解除を行って探索しなおしてください (➡P.4-4)。

ルートを比較選択する

探索条件ごとのルートの比較、ルートの詳細表示などの機能を使って、最適なルートを選択します。また、ルート案内を開始する前に、ルート編集機能を使って、通過点の追加/変更、インターチェンジの出入り口の変更を行うこともできます。

ルートの比較

ルートの距離、所要時間、通行料金をすべての探索条件についてリスト表示し、比較します。

1  を選択します。



2 表示内容を見終わったら、 を選択します。



ルートの条件ボタンを選択すると選択した条件のルートが設定され、「ルートを選ぶ」画面に戻ります。

「ルートを選ぶ」画面に戻ります。

Finish



- ・ 所要時間は予測です。実際に要する時間は、交通事情等によって変化します。
- ・ 正しい通行料金を表示するために、車両情報を設定しておいてください（➡P.6-37）。
- ・ 手順2のルートの一覧を見る画面でも、各ルートのボタンを選択してルートを選択することができます。
- ・ 予定到着時刻の算出には設定した平均車速が使用されます（➡P.6-30）。
- ・ ルートを編集（➡P.3-6）した場合は  は無効になり選択できません。

ルートの詳細表示

ルート上の主要なポイント、通過道路の名称などをルート案内を開始する前に確認します。

1  を選択します。



2 表示内容を見終わったら、 を選択します。



↑、↓を選択するとルート表示を上下にスクロールできます。

[ルートを選ぶ] 画面に戻ります。

Finish



- ・ 詳細が表示されるルートは、[ルートを選ぶ] 画面で選択されているルートです (▶P.3-2)。
- ・ 探索ルートでの走行をシミュレーションすることもできます (▶P.4-22)。
- ・ 詳細情報は、[ルート確認] メニューからも見ることができます (▶P.4-2)。

3

ルート案内を使用する

案内を開始する : ルートを比較選択する

● ルートを編集する

ルートの通過点の追加/変更、インターチェンジの出入り口の変更を行います。

1 **編集** を選択します。



2 変更する設定を選択します。

設定内容に応じて項目を選択します。

詳しい操作方法は、「ルートの一部を変更する」をご覧ください(➡P.4-9)。



- ・通過点の追加、変更、削除を行う場合
通過点編集 を選択し、[通過点を編集する]画面(➡P.4-12)で設定します。
- ・インターチェンジの入口を変更する場合
入口IC変更 を選択し、[入口ICを選ぶ]画面(➡P.4-10)で設定します。
- ・インターチェンジの出口を変更する場合
出口IC変更 を選択し、[出口ICを選ぶ]画面(➡P.4-10)で設定します。
- ・インターチェンジを利用しないルートの場合
入口IC変更 **出口IC変更** は無効になり選択できません。



案内を開始する

ルートが終了したら、ルート案内を開始します。

1 **案内** を選択します。



ルート案内画面が表示されます。



Finish



- ・ **案内** を選択する前に、**REVERSE** を選択したりナビゲーションシステムの電源をオフにすると、探索されたルートは消去されます（登録した通過点や目的地は記憶されています）。このような場合は、ルート確認メニュー画面からもう一度ルート探索してください（▶P.4-4）。
- ・ 目的地周辺に近づくと、「目的地周辺です。音声案内を終了します。」というガイドとともに、ルートが消えてルート案内は終了します。
- ・ ルート案内中に表示される料金は地図データ作成時点でのデータに基づいているため、実際とは異なる場合があります。また、ルート案内中に料金が表示されるのは、都市高速、都市間高速、ならびにその2つにつながっている有料道路です。

3

ルート案内を使用する

案内時の表示と音声

ルート案内中は、右左折する交差点（ガイドポイントと呼びます）や走行中注意を要する個所では画面に情報が表示され、音声ガイドが流れます。

一般道での案内画面

ルート案内中に一般道を走行しているときは、次のような情報が表示されます。

交差点の案内

ルート案内中は、次に通過する交差点が近づくと、その情報が表示されます。同時に音声ガイドが流れます。



- ・画面表示や音声で案内されるルートや進行方向は、実際の道路の状況や交通規制等と異なる場合があります。これは、収録された時点の地図データ、交差点情報、交通規制情報など現在のものとで差異が生じていることによります。
走行時には、実際の道路や交通規制などに従って運転してください。
- ・ルート探索時には、細街路（幅員5.5m未満）での交通規制は考慮されていません。
このため、探索ルートで目的地に到達できない場合があります。



- ・ 予定到着時刻は、あらかじめ設定した平均車速から算出されます。正確な予定到着時刻を算出するためには、あらかじめ平均車速を設定しておく必要があります（➡P.6-30）。
- ・ 距離時刻表示、次交差点情報、走行レーンの案内を表示しないように設定することもできます（➡P.6-20）。
- ・ 交差点情報に交差点名のない交差点は、次交差点案内では単に「交差点」と表示されます。
- ・ 距離時刻表示は、通常は道のり距離を表示しますが、ルートからはずれているときは直線距離を表示します。

3

ルート案内を使用する

警告表示

次のような場所では警告が表示され、音声ガイドが流れます。

・カーブ警告



進行方向に急なカーブがある場合に表示されます。

・合流警告



進行方向で道路が合流している場合に表示されます。

・踏切警告



踏切を通過する場合、その手前で表示されます。



- ・ ガイドポイントなどの案内と警告表示の案内が重なった場合は、ガイドポイントなどの案内が優先的に行われます。
- ・ 警告表示をさせないように設定することもできます (➡P.6-20)。

高速道での案内画面

ルート案内中に高速道路などの有料道路を走行しているときは、次のような情報が表示されます。この案内表示をハイウェイモードと呼びます。

スクロールボタン
施設案内を上下にスクロールします。



次施設案内
進行方向にサービスエリア(SA)やパーキングエリア(PA)がある場合は、そこまでの距離、予定通過時刻、各施設の設備などの情報が表示されます。

時刻距離表示
目的地までの予定到着時刻と距離が表示されます。

施設案内を上スクロールさせると、この位置に  ボタンが表示されます。このボタンを選択すると、現在の施設案内表示に戻ることができます。
( キーを押しても現在の施設案内表示に戻ります。)

次ガイドポイントの案内
次のガイドポイントの分岐点までの距離、進行方向が表示されます。

ハイウェイモードオン/オフボタン
表示されているハイウェイモード画面を通常画面に切り替えます。ハイウェイモードに戻すときは再度選択します。



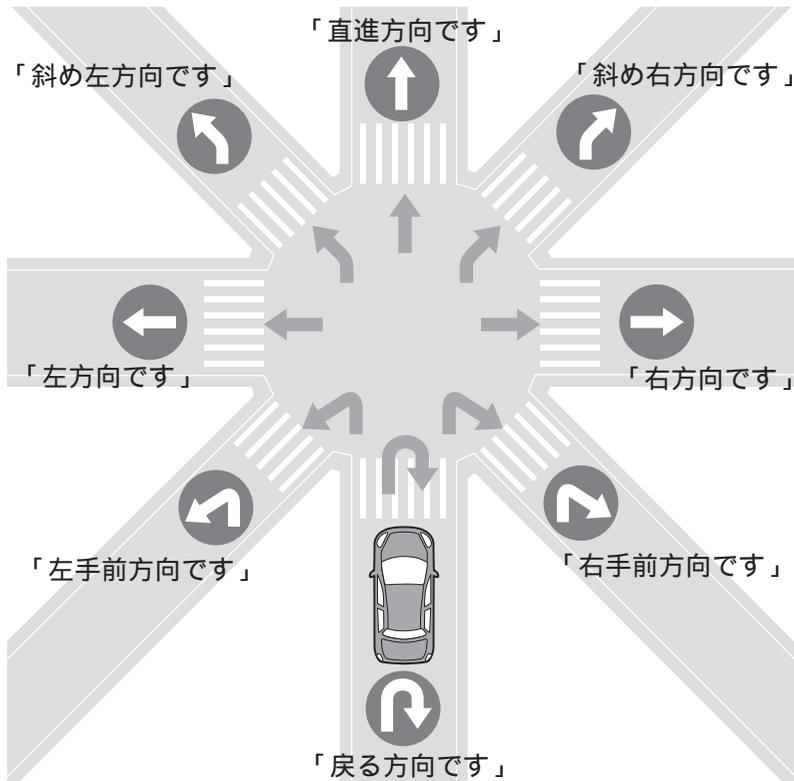
- ・ 高速道路に入っても自動的にハイウェイモードに切り替わらないよう設定することもできます (➡ P.6-21)。
- ・ 目的地、各IC/JCT、SA/PAへの予定到着時刻の算出には設定した平均車速が使用されます (➡ P.6-30)。
- ・ ルートガイドしていないときでも、高速道路等を走行しているときにはハイウェイモードが表示されます。ただし、道路によっては表示できない場合があります。

3

ルート案内を使用する

ガイドポイントでの音声案内

ガイドポイントに近づくと、進行方向に応じて音声ガイドが流れます。

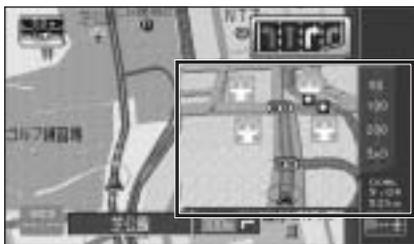


- ・ 本線を直進する場合でも、左（または右）に分岐路がある場合は、「斜め右（または左）方向です」と音声ガイドが流れることがあります。

ガイドポイント接近時の画面表示

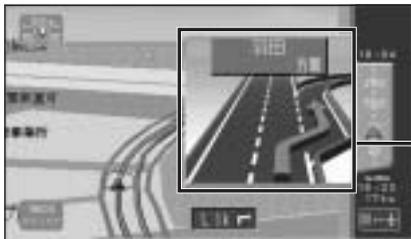
ガイドポイントに接近すると、ガイドポイントの種類によって次のような拡大画面が表示されます。

一般道の交差点



ガイドポイントの300m手前から交差点の拡大図が表示され、進行方向が示されます。

高速道のインターチェンジ（IC）とジャンクション（JCT）



約1km手前から、IC/JCTの拡大図が表示され、進行方向が示されます。

都市高速道の入口



東京、大阪、名古屋の都市高速道路の入口では、入口付近が3Dで表示されます。



- ・ 拡大図はガイドポイントを通過すると自動的に消去されます。通過前に消したいときは拡大図を選択します。ただし、一度消去した拡大図は再表示できません。
- ・ 交差点拡大図を2Dで表示することもできます（➡P.6-20）。
- ・ 上記拡大図が表示されているときには、地図の縮尺を変えることはできません。縮尺を変えるときには、表示されている拡大図を消してから行ってください。
- ・ 2画面表示中であっても、上記拡大図が表示されているときには、右画面の地図は見えなくなります。

3

ルート案内を使用する

ルート外走行時の表示

ルートから外れてしまった場合でも、しばらく走行すると元のルートに戻るルートが自動探索されます。この機能を「オートリルート」と呼びます。

・ オートリルート前



・ オートリルート後



オートリルートされた
ルート



- ・ オートリルートをオフにすることもできます(➡P.6-21)。意図的にルートを外れて走行する場合は、オートリルートをオフにしてください。
- ・ ルートガイド中に、いつも同じ場所でルートからはずれて、同じ場所でルートに復帰することが繰り返されると、ルートからはずれて走行した道筋が学習されてルート探索に反映されるようになります。学習が反映されたガイドルートの道筋は水色で表示されます。ただし、本来のルートの目的地に到達していない場合、または目的地に到達する前に本来のルートに復帰しない場合は学習されません。

ETC使用時の表示

別売品のETCユニットETC-2500が接続されている場合は、料金所付近になるとETC用の案内画面が表示されます。

料金表示

料金所を通過すると、徴収された料金が表示されます。



- ・ 地図データの作成時期との関係により、ETCガイドが実際と異なる場合があります。料金所のゲートを通過する際には、ゲートの表示に従って通過してください。



- ・ エンジンキーでACCをオンにすると音声ガイドでETCカードの挿入が促され、ACCをオフにすると音声ガイドでETCカードの取り外しが促されます。これらの音声ガイドをオフに設定することもできます（➡P.6-40）。
- ・ ETCガイドの割り込み表示や音声ガイドをオフに設定することもできます（➡P.6-40）。
- ・ ETCの予告案内表示は、料金所に予告アンテナが設置されていない場合は表示されません。
- ・ 地図をスクロールすると、料金表示は消えます。現在地図画面に戻ると再表示されます。
- ・ ETC予告レーンがある場合には、入口ゲートに進入すると、ゲート進入ガイドが表示されます。

3

ルート案内を使用する

渋滞時の案内

VICS情報から通行規制や渋滞の情報が取得されると、渋滞や規制が発生したことが音声ガイドで通知されます。このような場合は、自動または手動でルートを一時的に変更し、回避することができます。

自動渋滞回避がオンの場合

自動渋滞回避機能（➡P.6-23）をオンにしておくと、音声案内がされ、渋滞をできるだけ回避するルートが探索されます。

探索が自動的に行われない場合は、次の項で説明する手動操作でルートを再探索することもできます。

自動渋滞回避がオフの場合

自動渋滞回避機能（➡P.6-23）をオフにしてある場合は、次の操作でルートを再探索し、渋滞を回避します。

音声案内がされ、が選択できるようになります。

1 を選択してVICS渋滞情報を表示します。



2 必要な場合は を選択してルートを再探索します。



渋滞を回避するルートが探索されます。

Finish



- ・ 渋滞を進んだほうが早い場合や渋滞を回避できるルートが見つからない場合には、再探索しても同じルートになる場合があります。
- ・ 渋滞している場所を表示しているときはノースアップになります。
- ・ 渋滞が長い場合は、それらがすべて見えるように自動的に地図のスケールが縮小されるため、地図表示が見つらなくなる場合があります。
- ・ 表示させた渋滞している場所が現在地から遠い場合は、現在地（自車マーク）が見えなくなります。
- ・ 走行中はスクロールができません。

3

ルート案内を使用する

ルートのオンルートスクロール

ルート案内中は、ルートに沿って地図上をスクロール表示（オンルートスクロール）してルートを確認できます。

1 ルート案内中の地図画面を選択します。



スクロール地図にすると
▲▼が表示されます。

2 ▲を選択すると目的地方向に移動し、▼を選択すると出発地方向に移動します。



▲または▼を選択すると
□□に変わります。□□を選択
するとスクロールが一時停
止をします。

ルート案内の現在地画面に
戻の場合は **現在地** キーを押し
ます。

Finish



- ・ オンルートスクロールができる縮尺は3km～50mです。これ以外の縮尺時にはスクロールボタンがグレー表示になって選択できません。
- ・ オンルートスクロールは2画面表示中や3D画面表示中は使用できません。また、3D画面表示中には2D表示に切り替わります。
- ・ オンルートスクロール中に地図を手動でスクロールしてルートが画面から見えなくなってしまうと、オンルートスクロールができなくなります。ルートが画面に表示されるように手動でスクロールして戻すと、再びオンルートスクロールができるようになります。

4 ルートを確認、変更する

ここでは、ルート案内を開始した後で、ルートの再探索やルートの変更、ルート案内の中止を行う場合の操作方法について説明します。

ルートの確認/変更方法を選択する	P.4-2
[ルート確認]メニューを表示する	P.4-2
ルートの確認/変更方法の種類	P.4-3
ルート全体を探索しなおす	P.4-4
迂回路を探索する	P.4-5
使用道路を変えて探索する	P.4-6
ルートを表示する	P.4-7
ルート全体を表示する	P.4-7
ルートの詳細を表示する	P.4-8
ルートの一部を変更する	P.4-9
入口/出口ICを変更する	P.4-10
通過点の位置を変更する	P.4-12
通過点の順序を変更する	P.4-14
通過点を削除する	P.4-16
通過点を追加する	P.4-18
ルートを削除する	P.4-20
案内を中止する	P.4-21
デモンストレーション走行をする	P.4-22

ルートの確認/変更方法を選択する

ルートの確認/変更方法を選択します。

[ルート確認]メニューを表示する

TOPメニューから [ルート確認] メニューを表示し、ルートの確認/変更方法を選択します。

TOPメニューから [ルート確認] メニューを表示し、ルートの確認/変更方法を選択します。

1  キーを押します。



2  を選択します。



3 ルートの確認/変更を選択します。



Finish

ルートの確認/変更方法の種類

各方法の内容は次のとおりです。詳しい操作方法については参照ページをご覧ください。

アイコン	アイコン名	内容	参照ページ
	再探索	現在地から目的地までのルートを探索し直します。通過点も含んだルートを探索します。ルートから大きく離れたときや、目的地設定後にルート案内を中止した場合など、ルート全体を再探索する場合に使用します。	P.4-4
	迂回路探索	現在地から現在走行中のルートとは別のルートを探索します。工事や臨時の交通規制などを迂回するルートを探索するために使用します。	P.4-5
	別道路探索	現在地付近で、一般道と高速道路を入れ替えたルートを再探索します。	P.4-6
	ルート詳細	通過道路名やIC名などのルートの詳細を表示します。	P.4-8
	ルート全体	出発地から目的地までのルートの全体を地図上に表示します。また、目的地や通過点の場所を確認することができます。	P.4-7
	ルート編集	高速道路の出入り口変更、通過点の追加、削除、順序変更、ルートの削除を行います。	P.4-9
	案内中止	ルート案内を中止し、ルートの設定を削除します。	P.4-21
	シミュレーション	現在地から目的地までのルートを模擬走行するデモンストレーション画面を表示します。実際のドライブの様子をあらかじめ確認するのに便利です。	P.4-22



- ・  は、パルス学習が完了した後に表示され、それまでは  と表示されます。

ルート全体を探索しなおす

ルートから外れたときに、残りの通過点を含めたルート全体を再探索します。



1  を選択します。



↓
「探索中」と表示されます。



現在地画面に新しいルートが表示され、ルート案内が再開されます。

Finish



- ・ ルートを探索しなおすと、すでに探索されているルートは消去され、探索しなおしたルートが現在のルートとなります。



- ・ 再探索時には、ルートの種類（標準ルート、距離優先ルートなど）は選択できません。探索されるルートの種類は、元のルートと同じ種類です。ルートの種類を変更したいときは、 を選択してルートを消去してから  を選択して検索しなおしてください（➡P.4-4）。
- ・ 通過点が設定されている場合、通過済み/未通過にかかわらず、すべての通過点を経由するルートが探索されます。未通過の通過点のみを経由するルートを探しなおすときには、通過点と目的地を設定しなおしてください。
- ・ ルート案内が中止された状態で、再探索を選択したときは [ルートを選ぶ] 画面が表示されます。

迂回路を探索する

工事、交通規制などを迂回するルートを探します。



1  を選択します。



「探索中」と表示されます。



現在地画面に新しいルートが表示され、ルート案内が再開されます。

Finish



- ・ ルートを探索しなおすと、すでに探索されているルートは消去され、探索しなおしたルートが現在のルートとなります。



- ・ 迂回路探索時には、ルートの種類（標準ルート、距離優先ルートなど）は選択できません。探索されるルートの種類は、元のルートと同じ種類です。
ルートの種類を変更したいときは、 を選択してルートを消去してから、 を選択して検索しなおしてください（➡P.4-4）。
- ・ ルートからはずれているときには、迂回路探索は行えません。

4

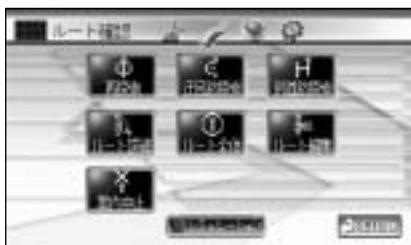
ルートを確認、変更する

使用道路を変えて探索する

一般道と高速道路を入れ換えたルートを探します。例えば地図上で一般道と高速道路が重なっている場合、実際に走行している道路とナビ画面上でルートとして設定されている道路が異なってしまふことがあります。このような場合に一般道と高速道路を入れ替えたルートを設定できます。



1  を選択します。



↓
「探索中」と表示されます。



現在地画面に新しいルートが表示され、ルート案内が再開されます。

Finish



- ・ ルートを探索しなおすと、すでに探索されているルートは消去され、探索しなおしたルートが現在のルートとなります。



- ・ 別道路探索時には、ルートの種類（標準ルート、距離優先ルートなど）は選択できません。探索されるルートの種類は、元のルートと同じ種類です。

ルートの種類を変更したいときは、 を選択してルートを消去してから  を選択して探索しなおしてください（➡P.4-4）。

- ・ ルートからはずれているときや高速道路と一般道が離れているとき、または別道路が周辺にない場合には、別道路探索は行えません。

ルートを表示する

ルートの全体または詳細を表示してルートを確認します。

ルート全体を表示する

ルート全体が1画面内に収まる地図の表示範囲が自動的に設定されます。また、表示された画面から各通過点、または目的地を確認することもできます。



1  を選択します。



2 通過点、または目的地を確認する場合は、 を選択します。



3 通過点、または目的地の位置を地図上で確認する場合は、確認する通過点を選択します。



4  を選択すると、[ルート全体地図]メニューに戻ります。



4

ルートを
確認、
変更する

ルートの詳細を表示する

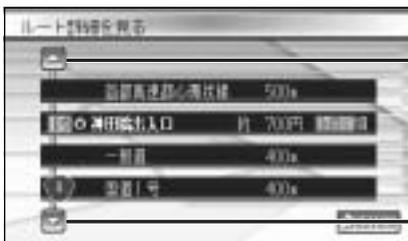
目的地までのルート上で通過する道路名、インターチェンジ名、通過点のリストを表示します。



1  を選択します。



2 ルートを確認したら  を選択します。



 を選択するとルート詳細リスト表示がスクロールします。

[ルート確認] 画面に戻ります。



ルートの一部を変更する

通過点の追加、削除、位置の変更、順序の変更や、インターチェンジの出入り口を変更します。通過点や目的地を消去してルートを削除することもできます。



1  を選択します。



2  編集項目を選択します。



中止する場合は、 を選択します。

Finish

 次の操作	入口/出口ICを変更する	P.4-10
	通過点の位置を変更する	P.4-12
	通過点の順序を変更する	P.4-14
	通過点を削除する	P.4-16
	通過点を追加する	P.4-18
	ルートを削除する	P.4-20

4

ルートを確認、変更する

入口/出口ICを変更する

インターチェンジの出入り口を変更します。



- ・ ルートによっては、この操作ではインターチェンジの出入り口を変更できない場合があります。そのときは、利用するインターチェンジの出入り口を通過点として登録してください。



- 1 **入口IC変更** または **出口IC変更** を選択します。



- 2 利用する入口または出口のインターチェンジを選択します。



入口インターチェンジを選択する画面の例です。
利用するインターチェンジが表示されるまで を選択します。



- ・ を選択すると設定操作を元に戻すことができます。
- ・ 手順2で または を選択すると、入口ICまたは出口ICを設定する画面に切り替わります。

3

OK を選択します。または中心の **XXX IC** を選択します。



自動的にルートが再探索されます。

Finish



- 選択できるインターチェンジは、探索されたインターチェンジの前後3カ所です。
- 手順3下の画面で **XXX IC** を選択してもルート探索しなおせません。
- 使用するインターチェンジを変更すると、探索されるルートの種類は標準になります。

4

ルートを確認、変更する

通過点の位置を変更する

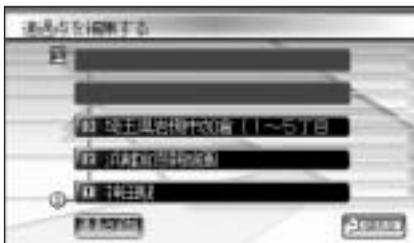
通過点の位置を地図上で変更します。



1 **通過点編集** を選択します。



2 通過点を選択します。



3 **通過点編集** を選択します。



4 地図をスクロールして変更したい位置にカーソルを合わせます。



移動する方向を選択します。

5  を選択します。



6 ルート案内を続ける場合は  を選択します。



地図に戻ります。

Finish



- 通過点の位置を変更すると、 や、 で変更した乗降ICの設定が解除されます。必要に応じて、設定しなおしてください（➡P.4-10）。
- 1つの通過点を変更するたびにルート探索がやりなおされます。複数の通過点を変更する場合は、手順6の[ルートを選ぶ]画面で を選択してください。

4

ルートを確認、変更する

通過点の順序を変更する

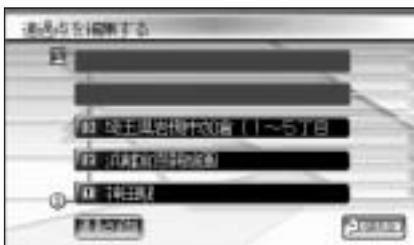
通過点の順序を変更します。



1 **通過点編集** を選択します。



2 順序を変更する通過点を選択します。



3 **▲** または **▼** を選択し、選択した通過点の順序を変更します。



4 **OK** を選択します。



5 ルート案内を続ける場合は **案内** を選択します。



地図に戻ります。



- ・ 通過点の順番を変更すると、**入口IC変更** や **出口IC変更** で変更した乗降ICの設定が解除されます。必要に応じて、設定しなおしてください (➡P.4-10)。
- ・ 通過点の順番を1つ変更するたびにルート探索がやりなおされます。複数の通過点を変更する場合は、手順5の「ルートを選ぶ」画面で **ルートを選ぶ** を選択してください。

4

ルートを確認、
変更する

通過点を削除する

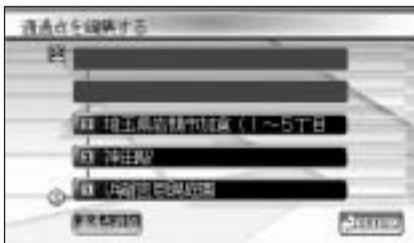
通過点を削除します。



1 **通過点編集** を選択します。



2 削除する通過点を選択します。



3 **削除** を選択します。



4 **はい** を選択します。



5 ルート案内を続ける場合は **案内** を選択します。



地図に戻ります。

Finish



- ・ 消去した通過点を元に戻す方法はありません。慎重に操作してください。
- ・ 通過点を消去すると、**入口IC変更** や **出口IC変更** で変更した乗降ICの設定が解除されます。必要に応じて、設定しなおしてください。(➡P.4-10)
- ・ 1つの通過点を消去するたびにルート探索がやりなおされます。続けて別の通過点を消去する場合は、手順5の [ルートを選ぶ] 画面で **案内** を選択してください。

4

ルートを確認、
変更する

通過点を追加する

通過点を追加します。



1 **通過点編集** を選択します。



2 **通過点追加** を選択します。



3 追加する通過点の場所の検索方法を選択し、地点を表示させます。



4 **通過点** を選択します。



5 ルート案内を続ける場合は **案内** を選択します。



地図に戻ります。

Finish



- 通過点を追加すると、**入口IC変更** や **出口IC変更** で変更した乗降ICの設定が解除されます。必要に応じて、設定しなおしてください。(➡P.4-10)
- 1つの通過点を消去するたびにルート探索がやりなおされます。続けて別の通過点を消去する場合は、手順5の[ルートを選ぶ]画面で **通過点** を選択してください。

4

ルートを確認、変更する

ルートを削除する

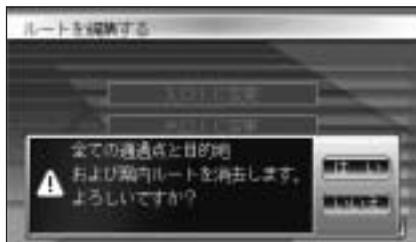
現在案内中のルートを削除します。



1 **ルート削除** を選択します。



2 確認画面で **はい** を選択します。



[ルート確認] 画面に戻ります。



- ・ 削除したルートを元に戻すことはできません。十分注意して削除してください。
- ・ ルートを削除すると、通過点や目的地も消去されます。このため、案内中止と異なり、ルートを探索しなおすことはできません。

案内を中止する



1  を選択します。



2 確認画面で  を選択します。



地図に戻ります。

Finish



- この操作で案内を中止しても、目的地と通過点は消去されません。
 でルートを探索しなおすことができます。また、この場合には、ルートの種類を選択できます。

4

ルートを確認、変更する

デモンストレーション走行をする

現在のルートに沿ってドライブのデモンストレーション画面を表示します。
走行時の道路の状況をあらかじめ確認しておくことができます。



1  を選択します。



2 確認画面で  を選択します。



3 デモンストレーションを中止する場合は  を選択します。または 、、 キーを押します。



Finish



- この機能を使用するためには、お買い上げ後に「パルス学習中」の表示が消えるまで実際に走行する必要があります。
- 上記の操作で開始されたドライブシミュレーションには、現在のルートが使用されます。
- ドライブシミュレーションを実行すると、シミュレーションはオンになります。
- 走行すると、シミュレーションは自動的にオフに切り替わります。

5 情報を表示する

ここでは、VICS情報、ドライブガイド、ETCの利用状況、ゲームなど、本機で利用できる情報サービスについて説明します。

VICS情報を表示する	P.5-2
VICS情報とは	P.5-2
VICS情報の表示と受信周波数の設定	P.5-6
VICS局を選局する	P.5-9
一般情報局を選局する	P.5-14
VICSの参考資料	P.5-20
ドライブガイドを見る	P.5-27
ETCの利用状況を見る	P.5-28
タッチゲームで遊ぶ	P.5-29
スカイガイドを利用する	P.5-30
画像を表示する	P.5-31
画像ファイルを表示する	P.5-31
画像をスライド表示する	P.5-33
画像のサムネイルを表示する	P.5-35
時計を表示する	P.5-37
カレンダーを表示する	P.5-38
電卓で計算する	P.5-39
割り勘機能の使い方	P.5-40

VICS情報を表示する

VICS情報受信機能によって、現在地地図画面上にVICS情報を表示します。また、VICS情報表示画面で、道路交通情報などのVICS情報やニュース、天気予報などの一般情報の表示、受信FM局の選局などの操作を行います。なお、VICS情報（電波ビーコン、光ビーコン）を受信するためには、別売品の光、電波ビーコンVICSアンテナVF-B500が必要です。

VICS情報とは

VICS (Vehicle Information and Communication System) は、財団法人日本道路交通情報通信システムセンターが走行中の車両にリアルタイムで交通情報を提供するシステムです。

VICS情報の内容と種類

渋滞情報、事故情報、臨時交通規制情報、所要時間情報、駐車場情報およびその他の緊急情報が提供されます。

提供されるVICSは次の3つのレベルの種類があります。

レベル1（文字情報）：情報が文字で表示されます。

レベル2（簡易図形情報）：道路地図の模式図で情報が表示されます。

レベル3（地図上表示）：ナビゲーション画面の地図上に情報が表示されます。

VICS情報の提供方法

VICS情報は、FM多重放送（NHK-FM）、電波ビーコン、光ビーコンの3通りの方法で提供されています。

VICS情報利用上の注意

以下の点に注意して利用してください。

FM多重放送

- ・各FM放送局のサービスエリア内で受信できます。
- ・サービスエリア外やトンネル内、電波環境が良くない場所（雑音、マルチパスなどによる）では、受信困難になることがあります。
- ・放送時間外の夜間は利用できません。

電波ビーコン

- ・主に高速道路に設置されています。
- ・高速道路の高架下の一般道を走行中に、電波ビーコンを受信してしまうことがあります。

光ビーコン

- ・主に一般道に設置されています。
- ・大型車両の併走などでビーコン発信器の光が遮られた場合、アンテナ受光面が汚れている場合、直射日光がアンテナ受光面に当たっている場合などは受信困難になることがあります。

5

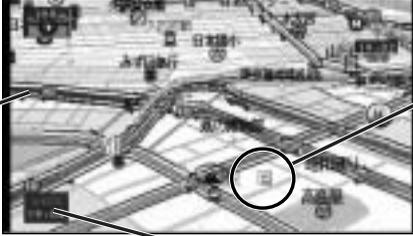
情報
を
表
示
す
る

VICS 情報を表示する : VICS情報とは

VICS情報の地図画面上の表示

走行中の地図画面には、受信したVICS情報がリアルタイムで表示されます。

● 地図表示型（レベル3）の情報を受信したとき



渋滞情報
赤色:渋滞
橙色:混雑
緑色:渋滞、混雑なし
黒色(夜間画面では白色):不明

VICS情報受信ボタン
現在の地図表示情報の取得時刻が表示されています。
案内中のルート上に渋滞箇所がある場合、このボタンを選択すると渋滞箇所を確認できます。

駐車場情報
赤色:満車
橙色:混雑
青色:空車
黒色:不明



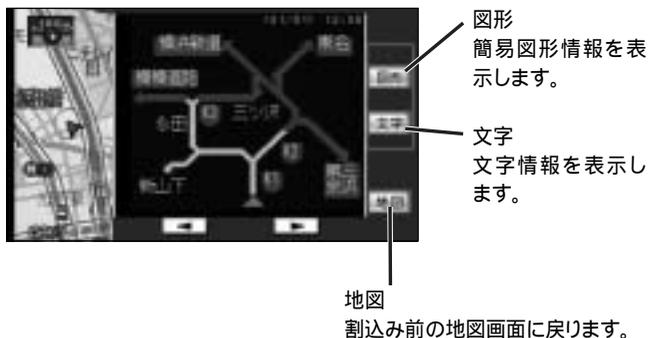
- ・ FM多重放送による情報は、電波の受信状態が悪いと表示されないことがあります。
- ・ 規制情報と駐車場情報を表示しないようにすることができます（→P.6-23）。
- ・ 規制情報と駐車場情報で使用される主要なマークは次のとおりです。

イベント	チェーン規制	火災	故障車	工事	作業	事故	車線規制	路上障害	渋滞
出口制限	徐行	進入禁止	速度規制	対面通行	大型通行止め	注意	通行止め/閉鎖	凍結	入り口制限
入り口閉鎖	片側交互通行	駐車場空き	駐車場満車	駐車場不明	駐車場閉鎖	SA/PA 空き	SA/PA 満車	SA/PA 不明	
		背景青色	背景赤色	背景黒色		背景青色	背景赤色	背景黒色	

- ・ マークの形状が変更されていたり、マークが追加になっている場合があります。
- ・ 車線規制や入口/出口マークの形状は実際の道路と異なります。

● VICS 割込画面の表示

現在地図画面を表示しているときに、光ビーコン、電波ビーコンで文字表示型（レベル1）または簡易図形表示型（レベル2）の情報を受信すると、下図のような [VICS 割込] 画面が表示されます。



- ・ 文字情報または簡易図形情報を表示しないように設定しておくこともできます（▶P.6-23）。ただし、緊急情報を受信すると、上記の設定に関係なく、[VICS 割込] 画面が表示されてその情報が表示されます。
- ・ [VICS 割込] 画面の表示時間は変更できます（▶P.6-23）。
- ・ [VICS 割込] 画面にタッチすると、元の地図の画面に戻ります。
- ・ ニュース、天気予報などの一般情報の表示で、メニューや交差点拡大図、IC / JCT 拡大図、スクロール地図画面が表示されているときには、[VICS 割込] 画面は表示されません。

VICS情報の表示と受信周波数の設定

VICS情報の表示と受信周波数の設定を行います。

VICS情報表示画面の表示

この操作までの流れ



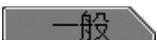
TOP MENU

1  を選択します。



2  を選択します。



3 、、 のいずれかを選択します。



Finish



- ・  は、電波ビーコンまたは光ビーコンによる情報を受信していないときは選択できません。
- ・ 音楽ファイルの再生中にはVICS情報の表示ができない場合があります。

● VICS 情報表示画面の種類

表示される内容は次のとおりです。

・ 一般情報



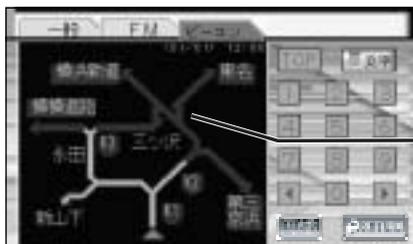
民放のFM多重放送を通じて受信される、ニュース、天気予報などの文字情報が表示されます。

・ VICS情報（文字表示）



文字によるVICS情報（レベル1）が表示されます。

・ VICS情報（簡易図形表示）



道路地図の簡易図形によるVICS情報（レベル2）が表示されます。



VICS情報を表示する : VICS情報の表示と受信周波数の設定

● 情報の種類を選択する

表示する情報の種類を選択します。



選択するたびに、VICS情報が文字情報(インジケーターが点灯)と簡易図形情報(インジケーターが消灯)に切り替わります。

情報媒体の種類を選択

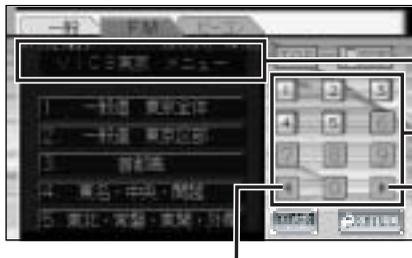
- 一般** : 一般情報を表示します。
- FM** : FM多重放送のVICS情報を表示します。
- ビーコン** : 光・電波ビーコンのVICS情報を表示します。



- ・ **ビーコン** は、電波ビーコンまたは光ビーコンを受信した場合だけ選択できます。

● 表示番組を選択する

表示番組を選択します。



最初の番組メニューが表示されます。

番組メニューの数字に対応するボタンを選択して番組を選択します。

表示ページが複数あるときにページを切り替えます。



- ・ 番組メニューのボタンを選択して番組を選択することもできます。

VICS局を選局する

VICS情報を受信するためのFM多重放送局を選局します。

自動選局

現在地で適切なVICS局を自動的に選局します。



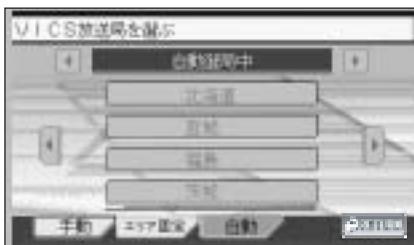
1 FM を選択します。



2 自動 ボタンを選択します。



3 自動 を選択します。



5
情報を表示する

VICS情報を表示する : VICS局を選局する

- 4  を選択します。
VICS情報表示画面に戻ります。



- ・自動選局時にVICS以外の放送局が一時的に選局されることがあります。
- ・VICS局の開局時期によって、VICS局を選局できない県や地域があります。開局状況については、下記のホームページを参照してください。
インターネットURL <http://www.vics.or.jp/>
- ・自動選局で受信できない場合は、手動で選局(▶P.5-12)してください。受信できる場合があります。

エリア内のVICS局に固定

VICS局を指定したエリアの放送局に固定します。



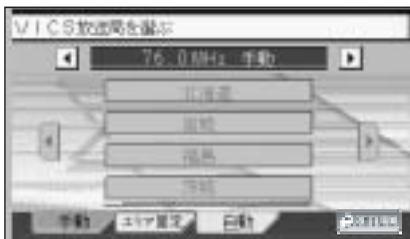
- 1  を選択します。



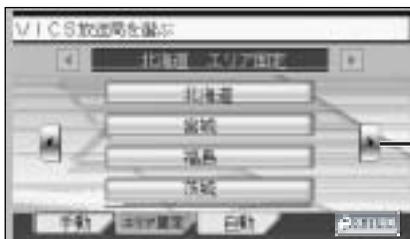
- 2  を選択します。



3 エリア固定 を選択します。



4 エリアを選択します。



目的のエリアが表示されるまで、 を選択します。

5  を選択します。
VICs情報表示画面に戻ります。

Finish



- ・ VICs局の開局時期によって、エリアとして選択できない県や地域があります。開局状況については、下記のホームページを参照してください。
インターネットURL <http://www.vics.or.jp/>
- ・ エリア固定にすると、設定したエリアから外れた場所では、情報を受信できなくなる場合があります。



情報
を
表
示
す
る

▶▶ VICS情報を表示する : VICS局を選局する

● 手動選局

VICS局を手動で選局します。



1 FM を選択します。



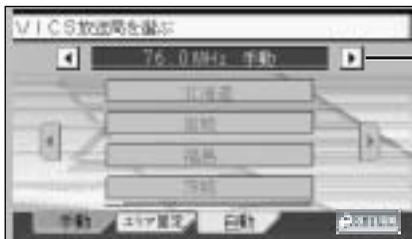
2 手動 を選択します。



3 手動 を選択します。



4 周波数を指定します。



目的の周波数が表示されるまで、◀▶を選択します。

5 を選択します。

VICS情報表示画面に戻ります。



- ・ VICS局の開局時期によって、VICS局のない県や地域があります。開局状況については、下記のホームページをご覧ください。
インターネットURL <http://www.vics.or.jp/>
- ・ 指定したVICS局からの電波を距離や地形の関係で受信できないと、VICS情報を受信できなくなる場合があります。



情報
を
表
示
す
る

一般情報局を選局する

一般情報を受信するためのFM多重放送局のプリセットと選局のための操作を行います。

自動プリセット

一般情報局を自動的にプリセットします。プリセットとは放送局を選局し、メモリに登録する操作のことです。



- 自動的にプリセットをすると、以前にプリセットしてあった放送局が消去される場合があります。



1 **一般** を選択します。



2 **FM** を選択します。



3 **オートメモリ** を選択します。



4 オートメモリの動作が終了したら **RETURN** を選択します。
VICS情報表示画面に戻ります。

Finish



- ・ 通常はオートメモリでプリセットする方法が便利です。
- ・ 一般情報局がプリセットされたボタンには、現在地を参考にして放送局名が表示されます。放送局名のデータがない場合は周波数が表示されます。
- ・ オートメモリの動作中は、リストが点滅します。

5

情報
を
表示
する

VICS情報を表示する：一般情報局を選局する

手動プリセット

一般情報局の周波数を手動で選択し、ボタンに登録します。



1 一般 を選択します。



2 一般 を選択します。



3 周波数を指定します。



目的の周波数が表示されるまで、◀ ▶ を選択します。

4 **メモリ** ボタンを選択します。



5 プリセット先のボタンを選択します。



6 **RETURN** を選択します。
VICS情報表示画面に戻ります。

Finish



- ・ 手動プリセットは、受信が悪い場合オートメモリではプリセットできなかった放送局をプリセットする場合に便利な機能です。
- ・ 一般情報局がプリセットされたボタンには、現在地を参考にして放送局名が表示されます。放送局名のデータがない場合は周波数が表示されます。

5

情報
を
表
示
す
る

VICS情報を表示する：一般情報局を選局する

プリセットされた放送局の選局

プリセットされた放送局を選局します。



1 **一般** を選択します。



2 **一般情報** を選択します。



3 受信する一般情報局のボタンを選択します。



4 **RETURN** を選択します。
VICS情報表示画面に戻ります。

Finish

プリセットされていない放送局の選局

プリセットされていない一般情報局の周波数を手で設定し、選局します。



1 一般 を選択します。



2 一般情報 を選択します。



3 周波数を指定します。



目的の周波数が表示されるまで、 を選択します。

4 を選択します。
VICS情報表示画面に戻ります。



- 通常はプリセットボタンで選局する方法が便利です。手動による選局はプリセットされていない放送局を一時的に受信する場合に使用すると便利です。



情報を表示する

VICISの参考資料

VICISサービスの問い合わせ先

VICISサービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- ・ VICISの仕組みやサービスエリア、今後の計画
- ・ 文字情報（レベル1）、簡易図形情報（レベル2）の情報表示

（財）VICISセンター（東京センター）

電話受付時間 9:30～17:45 （土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日は除く）

電話番号 0570-00-8831 （全国から市内通話料金でご利用になれます。）

携帯/PHS専用番号

（東京）03-3592-2033

（大阪）06-6209-2033

FAX受付時間 24時間

FAX番号 03-3592-5494

- ・ 当社VICIS関連商品の機能や使用方法
- ・ サービスエリア内の受信可否
- ・ 地図表示（レベル3）の情報表示

（株）ケンウッド・カスタマー・サポートセンター

電話受付時間 9:00～18:00
（土曜、日曜、祝祭日および当社休日は除く）

電話番号 045-933-5212

（大阪）06-6394-8085

FAX番号 045-933-5553

（大阪）06-6394-8308

- ・ VICISの最新情報
中継局や最新VICIS局情報などについては下記ホームページをご覧ください。
インターネットURL <http://www.vics.or.jp/>

VICSリンクの更新について

VICSセンターでは、情報の収集と提供に、VICSリンク（主要交差点毎に道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合は、VICSリンクの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。

この結果、新しいVICSリンクによる情報の提供が行われると、全体からみるとごく一部の地域で、変更前のVICSリンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前のVICSリンクに対しても変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。

このため、ナビゲーションまたは地図ソフト（CD-ROM、DVD-ROM）を購入後3年程度経過すると、地図画面上で渋滞情報（赤・オレンジ・緑の矢印等）などを表示できない場所が徐々に出てきます。2000年4月以降、96年～97年に発売された地図画面上で、初めて渋滞情報等を表示できなくなる場所が一部で発生しました。この現象は情報表示タイプのうち、地図表示型で発生し、文字表示型や簡易図形表示型では従来どおり表示されます。

今後毎年、道路交通状況に合わせてVICSリンクが更新されるので、できるだけ新しい地図を利用されることをお勧めします。

5

情報
を
表示
する

FM VICS情報放送周波数(NHK-FM)

手動で放送局の周波数を合わせるときは、地域によって次の周波数を使用してください。

地域名	局名	周波数
札幌地区	VICS札幌	85.2 MHz
旭川地区	VICS旭川	85.8 MHz
函館地区	VICS函館	87.0 MHz
北見地区	VICS北見	86.0 MHz
釧路地区	VICS釧路	88.5 MHz
青森県	VICS青森	86.0 MHz
秋田県	VICS秋田	86.7 MHz
岩手県	VICS盛岡	83.1 MHz
山形県	VICS山形	82.1 MHz
宮城県	VICS仙台	82.5 MHz
福島県	VICS福島	85.3 MHz
茨城県	VICS水戸	83.2 MHz
栃木県	VICS宇都宮	80.3 MHz
群馬県	VICS前橋	81.6 MHz
埼玉県	VICSさいたま	85.1 MHz
千葉県	VICS千葉	80.7 MHz
東京都	VICS東京	82.5 MHz
神奈川県	VICS横浜	81.9 MHz
新潟県	VICS新潟	82.3 MHz
石川県	VICS金沢	82.2 MHz
富山県	VICS富山	81.5 MHz
山梨県	VICS甲府	85.6 MHz
長野県	VICS長野	84.0 MHz
岐阜県	VICS岐阜	83.6 MHz
静岡県	VICS静岡	88.8 MHz
愛知県	VICS名古屋	82.5 MHz

地域名	局名	周波数
三重県	VICS津	81.8 MHz
滋賀県	VICS大津	84.0 MHz
福井県	VICS福井	83.4 MHz
京都府	VICS京都	82.8 MHz
大阪府	VICS大阪	88.1 MHz
兵庫県	VICS神戸	86.5 MHz
奈良県	VICS奈良	87.4 MHz
和歌山県	VICS和歌山	84.7 MHz
鳥取県	VICS鳥取	85.8 MHz
岡山県	VICS岡山	88.7 MHz
島根県	VICS松江	84.5 MHz
広島県	VICS広島	88.3 MHz
山口県	VICS山口	85.3 MHz
香川県	VICS高松	86.0 MHz
愛媛県	VICS松山	87.7 MHz
徳島県	VICS徳島	83.4 MHz
高知県	VICS高知	87.5 MHz
福岡県	VICS福岡	84.8 MHz
佐賀県	VICS佐賀	81.6 MHz
長崎県	VICS長崎	84.5 MHz
熊本県	VICS熊本	85.4 MHz
大分県	VICS大分	88.9 MHz
宮崎県	VICS宮崎	86.2 MHz
鹿児島県	VICS鹿児島	85.6 MHz
沖縄県	VICS沖縄	88.1 MHz

(2003年11月現在)

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICSサービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICSサービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4) VICSデスクランブラー

F M多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、別表1のとおりとします。

ただし、そのサービス提供区域内であっても、電波の伝わりにくいところでは、VICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

5

情報を表示する

▶▶ 次のページへ

VICS情報を表示する：VICSの参考資料

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表2に定める定額料金の支払いを要します。

なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事ややむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

- 2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。

また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

但し、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等に

より、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表1] 「サービスの提供区域」

東京都

23区及び昭島市、あきる野市、稲城市、青梅市、清瀬市、国立市、小金井市、国分寺市、小平市、狛江市、立川市、多摩市、調布市、西東京市、八王子市、羽村市、東久留米市、東村山市、東大和市、日野市、府中市、福生市、町田市、三鷹市、武蔵野市、武蔵村山市

神奈川県

厚木市、綾瀬市、伊勢原市、海老名市、小田原市、鎌倉市、川崎市、相模原市、座間市、逗子市、茅ヶ崎市、秦野市、平塚市、藤沢市、三浦市、南足柄市、大和市、横須賀市、横浜市

埼玉県

上尾市、朝霞市、入間市、岩槻市、桶川市、春日部市、加須市、上福岡市、川口市、川越市、北本市、行田市、久喜市、熊谷市、鴻巣市、越谷市、さいたま市、坂戸市、幸手市、狭山市、志木市、草加市、秩父市、鶴ヶ島市、所沢市、戸田市、新座市、蓮田市、鳩ヶ谷市、羽生市、飯能市、東松山市、日高市、深谷市、富士見市、本庄市、三郷市、八潮市、吉川市、和光市、蕨市

千葉県

我孫子市、市川市、市原市、印西市、浦安市、柏市、勝浦市、鎌ヶ谷市、鴨川市、木更津市、佐倉市、白井市、袖ヶ浦市、館山市、千葉市、銚子市、東金市、流山市、習志野市、成田市、野田市、船橋市、松戸市、茂原市、八街市、八千代市、四街道市

愛知県

安城市、一宮市、稲沢市、犬山市、岩倉市、大府市、岡崎市、尾張旭市、春日井市、蒲都市、刈谷市、江南市、小牧市、新城市、瀬戸市、高浜市、知多市、知立市、津島市、東海市、常滑市、豊明市、豊川市、豊田市、豊橋市、名古屋市、西尾市、日進市、半田市、尾西市、碧南市

大阪府

池田市、和泉市、泉大津市、泉佐野市、茨木市、大阪市、大阪狭山市、貝塚市、交野市、門真市、河内長野市、岸和田市、堺市、四条畷市、吹田市、摂津市、泉南市、大東市、高石市、高槻市、豊中市、富田林市、寝屋川市、羽曳野市、東大阪市、枚方市、藤井寺市、松原市、箕面市、守口市、八尾市

京都府

綾部市、宇治市、亀岡市、京田辺市、京都市、城陽市、長岡京市、福知山市、舞鶴市、宮津市、向日市、八幡市

長野県

飯田市、飯山市、伊那市、上田市、大町市、岡谷市、更埴市、駒ヶ根市、小諸市、佐久市、塩尻市、須坂市、諏訪市、茅野市、中野市、長野市、松本市

兵庫県

相生市、明石市、赤穂市、芦屋市、尼崎市、伊丹市、小野市、加古川市、加西市、川西市、神戸市、三田市、洲本市、高砂市、宝塚市、龍野市、豊岡市、西宮市、西脇市、姫路市、三木市

福岡県

飯塚市、大川市、大野城市、大牟田市、春日市、北九州市、久留米市、古賀市、田川市、太宰府市、筑後市、筑紫野市、中間市、直方市、福岡市、前原市、宗像市、柳川市、山田市、八女市、行橋市

広島県

因島市、尾道市、呉市、竹原市、廿日市市、広島市、福山市、府中市、三原市、三次市

宮城県

石巻市、岩沼市、角田市、気仙沼市、塩竈市、白石市、仙台市、多賀城市、名取市、古川市

北海道（札幌地区）

赤平市、芦別市、石狩市、岩見沢市、歌志内市、恵庭市、江別市、小樽市、北広島市、札幌市、砂川市、滝川市、伊達市、千歳市、苫小牧市、登別市、美唄市、三笠市、室蘭市、夕張市

静岡県

熱海市、伊東市、磐田市、御殿場市、静岡市、島田市、下田市、裾野市、天竜市、沼津市、浜北市、浜松市、袋井市、富士市、藤枝市、富士宮市、三島市、焼津市

群馬県

安中市、伊勢崎市、太田市、桐生市、渋川市、高崎市、館林市、富岡市、沼田市、藤岡市、前橋市

福島県

会津若松市、いわき市、喜多方市、郡山市、白河市、須賀川市、相馬市、二本松市、原町市、福島市

岡山県

井原市、岡山市、笠岡市、倉敷市、総社市、高梁市、玉野市、津山市、新見市

沖縄県

糸満市、浦添市、沖縄市、宜野湾市、名護市、那覇市

宮崎県

小林市、西都市、日南市、延岡市、都城市、宮崎市

岐阜県

恵那市、大垣市、各務原市、岐阜市、関市、高山市、多治見市、土岐市、中津川市、羽島市、瑞浪市、美濃加茂市、山県市、瑞穂市

三重県

伊勢市、尾鷲市、亀山市、桑名市、鈴鹿市、津市、久居市、松阪市、四日市市

山口県

岩国市、宇部市、小野田市、下松市、下関市、長門市、萩市、光市、防府市、美祿市、柳井市、山口市、周南市

茨城県

石岡市、笠間市、北茨城市、古河市、高萩市、土浦市、下館市、下妻市、日立市、常陸太田市、ひたちなか市、水戸市、結城市

北海道（旭川地区）

旭川市、士別市、名寄市、富良野市、留萌市

和歌山県

有田市、海南市、御坊市、新宮市、田辺市、和歌山市

滋賀県

大津市、近江八幡市、草津市、彦根市、守山市、八日市市、栗東市

奈良県

生駒市、橿原市、香芝市、御所市、桜井市、天理市、奈良市、大和郡山市、大和高田市

栃木県

足利市、今市市、宇都宮市、大田原市、小山市、鹿沼市、黒磯市、佐野市、栃木市、日光市、真岡市、矢板市

山梨県

塩山市、大月市、甲府市、都留市、韮崎市、富士吉田市、山梨市、南アルプス市

新潟県

小千谷市、柏崎市、加茂市、五泉市、三条市、新発田市、上越市、白根市、燕市、栃尾市、豊栄市、長岡市、新潟市、新津市、見附市、村上市、両津市

石川県

金沢市、小松市、珠洲市、七尾市、羽咋市、松任市、輪島市



情報を表示する

北海道（函館地区）

函館市

熊本県

荒尾市、牛深市、宇土市、菊池市、熊本市、玉名市、人吉市、水俣市、八代市、山鹿市

大分県

宇佐市、臼杵市、大分市、杵築市、佐伯市、竹田市、津久見市、中津市、日田市、別府市

香川県

坂出市、善通寺市、高松市、丸亀市、さぬき市、東かがわ市

愛媛県

今治市、伊予市、伊予三島市、宇和島市、大洲市、川之江市、西条市、東予市、新居浜市、松山市、八幡浜市

佐賀県

伊万里市、鹿島市、唐津市、佐賀市、多久市、武雄市、鳥栖市

長崎県

諫早市、大村市、佐世保市、島原市、長崎市、平戸市、福江市、松浦市

鹿児島県

阿久根市、出水市、指宿市、大口市、鹿児島市、加世田市、鹿屋市、国分市、川内市、垂水市、西之表市、枕崎市

徳島県

阿南市、小松島市、徳島市、鳴門市

高知県

安芸市、高知市、宿毛市、須崎市、土佐市、土佐清水市、中村市、南国市、室戸市

福井県

大野市、小浜市、鯖江市、武生市、敦賀市、福井市

富山県

魚津市、小矢部市、黒部市、新湊市、高岡市、砺波市、富山市、滑川市、氷見市

山形県

上山市、寒河江市、酒田市、新庄市、鶴岡市、天童市、長井市、南陽市、東根市、村山市、山形市、米沢市

秋田県

秋田市、大館市、男鹿市、能代市、本荘市、湯沢市

青森県

青森市、黒石市、五所川原市、十和田市、八戸市、弘前市、三沢市、むつ市

島根県

出雲市、江津市、大田市、浜田市、平田市、益田市、松江市、安来市

鳥取県

倉吉市、境港市、鳥取市、米子市

岩手県

一関市、大船渡市、釜石市、北上市、久慈市、遠野市、花巻市、宮古市、水沢市、盛岡市、陸前高田市

北海道（釧路地区）

釧路市、根室市、帯広市

北海道（北見地区）

網走市、北見市、紋別市

[別表2]

視聴料金 300円（消費税別）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

ドライブガイドを見る

観光案内などのデータを元にドライブコースを検索します。



1  を選択します。



2  表示されたメニューから項目を選択し、画面の表示に従って操作します。



3  目的の場所を選択します。



- ・画面に上下矢印が表示されるときは、表示範囲外にも情報があります。上下矢印を選択してスクロールしてください。
- ・  を使用してコースを設定すると、自動的にルート探索が開始されます。
- ・ドライブガイドでルートを設定すると、すでに探索されたルートや設定した通過点や目的地は消去されます。
- ・ドライブガイドのルートに通過点を設定することはできません。



情報を表示する

ETCの利用状況を見る

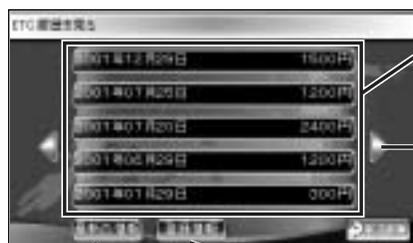
ETC (Electronic Toll Collection) ユニットETC-2500 (別売品) が接続されている場合は、ETCで過去に支払った通行料金の記録 (履歴) が表示されます。



1  を選択します。



2 記録のボタンを選択します。



選択するとETC履歴の詳細を表示します。

目的の記録が表示されるまで、 を選択します。

 を選択すると、最新の5件の記録が表示されます。

 を選択すると、ETCの登録番号や有効期限などの詳細な情報が表示されます。



- ETCユニットが接続されていないときは、[情報表示] 画面で  が無効になり選択できません。
- ETCカードの挿入や取り出し、ETC車載器の操作などについてはETCユニット付属のマニュアルを参照してください。
- 本機ではETCカードのカード情報は表示できません。

タッチゲームで遊ぶ

タッチパネル上のボタンなどを選択する練習を兼ねてゲームをプレイします。



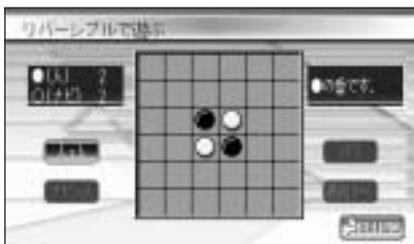
1  を選択します。



2  プレイするゲームを選択します。



3  ゲームをプレイします。



 を選択すると同乗者とプレイできます。
 を選択するとナビがゲームの相手をします。

Finish

5

情報を表示する

スカイガイドを利用する

航空写真のスポットガイドからドライブコースを目的地として登録できます。



1  を選択します。



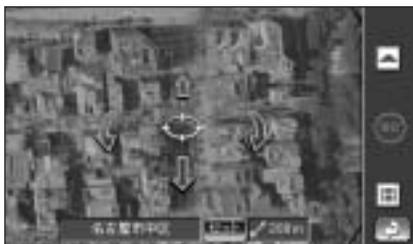
2 画面表示に従って操作を続けます。



Finish



・ スカイクルーズで最初に動いている間は  を選択できません。



画像を表示する

メモリスティックからハードディスクに読み込んだ画像データを3通りの方法で表示します。



- この操作を行う前に、次の操作を行っておく必要があります。
画像が保存されているメモリスティックをセットする (➡P.1-10)、
表示する画像をハードディスクに読み込む (➡P.6-62)。

画像ファイルを表示する



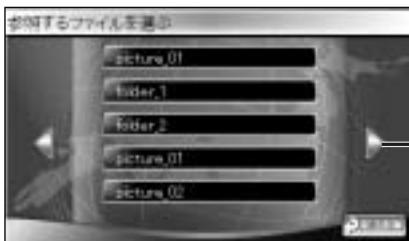
1  を選択します。



2  を選択します。



3  表示する画像ファイルのボタンを選択します。



目的の画像ファイルが表示されるまで、 を選択します。

 次のページへ

5

情報を表示する

画像を表示する : 画像ファイルを表示する

4 **次** または **前** を選択して画像を切り替えて表示します。



地図表示 を選択すると地図表示画面が表示されます。

5 画像を見終わったら、**もどる** を選択します。

[参照するファイルを選ぶ]画面に戻ります。



- ・ DCF (Exit拡張) フォーマットの画像を表示中に **地図表示** を選択すると、画像に記録されている位置情報にもとづいて地図画面を表示します。
- ・ 表示できる画像はJPEG、GIFおよびBMPフォーマットです。また、表示されるのは200ファイルまでです。201ファイル目以降の画像を表示したいときは、不要なファイルを削除するなどしてください。
なお、パソコンなどで編集した画像やJIS第1、第2水準以外の文字を使用したファイルは表示できない場合があります。
- ・ 本機で画像を表示すると、画質が多少劣化して見える場合があります。
- ・ 画面サイズによっては表示するまでに時間がかかります。

画像をスライド表示する



1  を選択します。



2  を選択します。



保存されている画像ファイルが連続して自動的に表示されます。

3  または  を選択すると表示中の画像を前後に切り替えることができます。



4  を選択します。
[画像表示方法を選ぶ] 画面に戻ります。

5

情報を表示する



画像を表示する : 画像をスライド表示する



- ・ 1つの画面表示時間や、全画像ファイルを表示し終わったときの処理（終了/ループ）は、P.6-19で設定できます。
- ・ 次の画像を表示するときは 、前の画像を表示するときは  を選択します。
- ・ 表示できる画像はJPEG、GIFおよびBMPフォーマットです。また、表示されるのは200ファイルまでです。201ファイル目以降の画像を表示したいときは、不要なファイルを削除するなどしてください。
なお、パソコンなどで編集した画像やJIS第1、第2水準以外の文字を使用したファイルは表示できない場合があります。
- ・ 本機で画像を表示すると、画質が多少劣化して見える場合があります。
- ・ 画面サイズによっては表示するまでに時間がかかります。

画像のサムネイルを表示する

この操作までの流れ ▶

NAV ▶



1  を選択します。

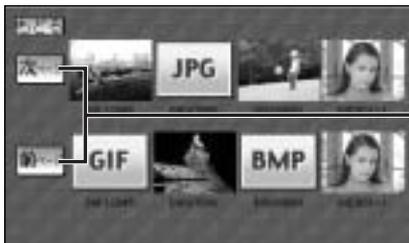


2  を選択します。



保存されている画像ファイルが8点ずつ小さく表示されます。

3  拡大表示したい画像のサムネイル画像を選択します。



 または  を選択すると、前後のサムネイル画像が表示されます。

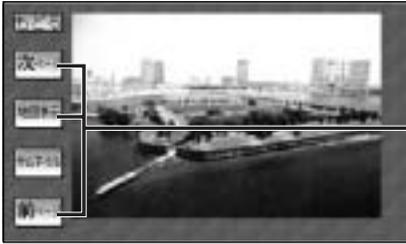
5

情報を表示する

画像を表示する : 画像のサムネイルを表示する

4

を選択すると手順3のサムネイル画像の表示画面に戻ります。



 または  を選択すると、前後の画像が表示されます。
 を選択すると地図画面が表示されます。

5

画像を見終わったら、 を選択します。

[画像表示方法を選ぶ] 画面に戻ります。



- ・ 手順3で、1画面にすべての画像を表示できないときには、 と  とが表示されます。これらを選択すると前または次のサムネイル表示画面を表示できます。
- ・ サムネイル表示されている画像を選択すると、その画像を大きく表示できます。
- ・ 表示できる画像はJPEG、GIFおよびBMPフォーマットです。また、表示されるのは200ファイルまでです。201ファイル目以降の画像を表示したいときは、不要なファイルを削除するなどしてください。
なお、パソコンなどで編集した画像やJIS第1、第2水準以外の文字を使用したファイルは表示できない場合があります。
- ・ サムネイル画像が記録されていない画像やファイルの保存状態によっては、ファイル名のみが表示されます。

時計を表示する

時計画面を表示します。4種類の画面を切り替えて表示できます。



1  を選択します。



2  を選択して画面を切り替え、好みの時計を表示します。



3  を選択すると [情報表示] メニューに戻ります。

5

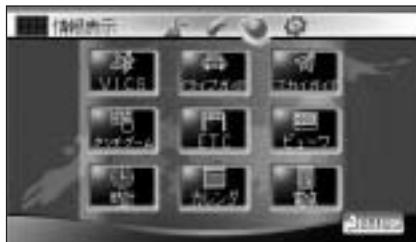
情報を表示する

カレンダーを表示する

カレンダー画面を表示します。4種類の画面を切り替えて表示できます。



1 を選択します。



2 を選択して画面を切り替え、好みのカレンダーを表示します。



各ボタンで表示される月を切り替えることができます。ボタンの機能は次のとおりです。

ボタン	機能
	選択すると、表示されている月の翌月が表示されます。カレンダーの種類によっては、このボタンの代わりに や が表示されます。
	選択すると、表示されている月の前月が表示されます。カレンダーの種類によっては、このボタンの代わりに や が表示されます。
	当月以外の月が表示されているときに選択すると、現在の月のカレンダーが表示されます。カレンダーの種類によっては、このボタンの代わりに や が表示されます。

3 を選択すると [情報表示] メニューに戻ります。

電卓で計算する

電卓を表示します。加減乗除などの通常の計算以外に消費税の計算や割り勘計算を行うことができます。



1  を選択します。



2 各ボタンを選択して計算します。



各ボタンの機能は次のとおりです。

ボタン	機能
	割り勘機能の画面を表示します。
	表示数値に消費税を加算した結果を表示します。
	表示数値をメモリに加算します。
	表示数値をメモリから減算します。
	メモリの内容をクリアします。
	メモリの内容を表示します。

3  を選択すると [情報表示] メニューに戻ります。



割り勘機能の使い方

割り勘機能を使うと、高額と低額の2種類の支払い金額で割り勘にする場合の割り勘計算を行うことができます。例えば、社会人と学生が数人で飲食をし、社会人は学生の2倍を支払うことにした場合の各自の支払い金額を計算することができます。

- 1 支払い金額の合計を計算し、**割り勘** を選択します。



- 2 **▲** **▼** を選択して割り勘をする人数と高額支払いと低額支払いの比を設定し、**決定** を選択します。



RETURN を選択すると、計算機画面に戻ります。

- 3 端数が出た場合は、**切上** **切下** を選択して、切りのいい金額にすることもできます。



切上 を選択すると人数、料金比の入力画面に戻ります。
切下 を選択すると、切上げ、切下げの計算結果を元の値に戻すことができます。

- 4 通常の電卓画面に戻る場合は **計算機** を選択します。

6 各種の設定をする

ここでは、ナビ機能の詳細な設定を行うための [ナビ設定] メニューと、ハードディスクやメモリスティック内のデータを管理するための [データ管理] メニューの使いかたについて説明します。

設定関連メニューの表示と内容	P.6-2
ショートカットを設定する	P.6-4
ランドマークを設定する	P.6-8
メンテナンス情報表示を設定する	P.6-10
システムの詳細な設定をする	P.6-16
地図画面の表示を設定する	P.6-24
地図画面の俯角を設定する	P.6-26
メモリ地点のパターンを設定する	P.6-27
自宅の位置を登録する	P.6-28
平均車速を設定する	P.6-30
本体の動作状態を確認する	P.6-31
音量を設定する	P.6-36
車両情報を設定する	P.6-37
ETCを設定する	P.6-39
メモリ地点の情報を編集する	P.6-41
過去の目的地を削除する	P.6-56
セキュリティコードを設定する	P.6-58
[データ管理] メニューの表示と内容	P.6-60
メモリスティックを操作する	P.6-61
ハードディスクのファイルを編集する	P.6-67
オープニング画面とナビメニューの 背景画面を設定する	P.6-77
Gracenote CDDDBデータを更新する	P.6-82

設定関連メニューの表示と内容

[ナビ設定]メニューと[データ管理]メニューの表示方法と各項目の内容は次のとおりです。詳細な操作方法や設定内容については参照ページをご覧ください。

●[ナビ設定]メニュー

[ナビ設定]メニューで、データ管理を除くナビ機能の大部分について詳細な設定を行います。

 この操作までの流れ 

1  を選択します。



2 目的の項目を選択します。



Finish

各項目の機能は次のとおりです。

メニュー項目	機能	参照ページ
	地図上に表示するマーク(ランドマーク)を設定します。	P.6-8
	あらかじめ設定した走行距離または日付に達したときに、オイル交換やバッテリー交換などのメンテナンスの通知の設定をします。	P.6-10
	地図画面に使用したいショートカットの機能を設定します。	P.6-4
	画面表示や、ルート案内設定、ナビ機能の設定、システム設定、VICS機能などナビゲーションシステムの各機能の設定を行います。	P.6-16
	メモリ地点の詳細設定、保存、読み込み、削除などを行います。	P.6-41
	ETC機能を設定します。	P.6-39
	本機の盗難を防止するための設定をします。	P.6-58



- ・ 本機にETCユニットETC-2500(別売品)が接続されていないときは、は選択できません。

6

各種の設定をする

ショートカットを設定する

よく使う機能（例：2D / 3D表示切替）をショートカットとして設定します。
最大6種類まで設定できます。



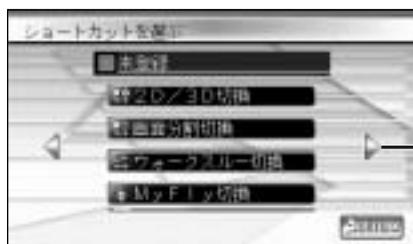
1  を選択します。



2 設定したい場所のショートカットボタンを選択します。

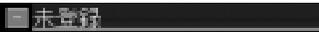


3 ショートカットボタンに設定する機能を選択します。



目的のショートカットが表示されるまで、 を選択します。



・ すでに登録されている機能を消去するときには
 を選択します。

4

 を選択します。



[ショートカットを設定する] 画面に戻ります。

 Finish

6

各種の設定をする

 次のページへ



- ・手順2と3を繰り返して複数の機能を設定します。
- ・ショートカットの設定をお買い上げ時の状態に戻すには、手順4でを選択します。
- ・ショートカットの自宅探索では標準ルートのみが探索されます。ルートを選択する場合はP.4-2でルートを選択してください。
- ・設定できるショートカットの機能は次のとおりです。各機能の詳細については参照ページをご覧ください。

機能名	アイコン	お買い上げ時設定機能	走行中に使用可能	参照ページ
2D / 3D切換				P.6-24
画面分割切換				P.6-24
ウォークスルー切換				P.1-18
My Fly切換				
視点切換				P.6-26
スクロール切換				P.6-21
メモリ地点を登録				P.2-34
案内音声発声				
渋滞表示切換				P.6-23
フォントサイズ変更				P.6-18
VICS 事例音声案内				
再探索				P.4-4
迂回路探索				P.4-5
別道路探索				P.4-6
自宅探索				P.2-28
VICS駐車場表示				P.6-23
VICS情報				P.6-23
最寄り検索 (現在地)				P.2-9

機能名	アイコン	お買い上げ 時設定機能	走行中に 使用可能	参照 ページ
最寄り検索（目的地）				P.2-9
最寄り検索（ルート沿い）				P.2-9
名称入力				P.2-4
訪問先				P.2-21
施設				P.2-12
住所				P.2-18
メモリ地点				P.2-31
番号				P.2-15 またはP.2-24
ルート詳細				P.4-8
ルート全体				P.4-7
ルート編集				P.4-9
案内中止				P.4-21
ドライブガイド				P.5-27
ランドマーク				P.6-8
メンテナンス情報				P.6-10
ETC				P.3-15
カレンダー				P.5-38
時計				P.5-37
電卓				P.5-39
未登録				

6
各種の設定をする

ランドマークを設定する

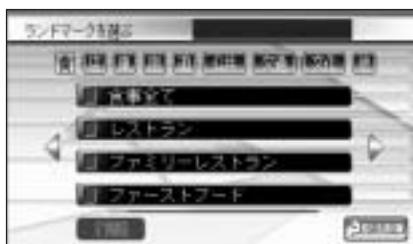
指定したジャンルの施設をランドマークとして地図上に表示します。最寄りの施設を探したい場合に便利です。



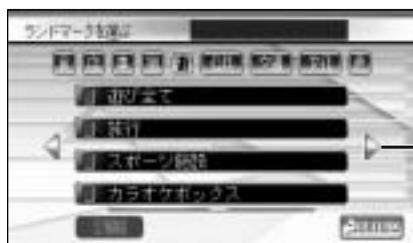
1  を選択します。



2 施設のジャンルの大分類(「食」、「店」など)を選択します。



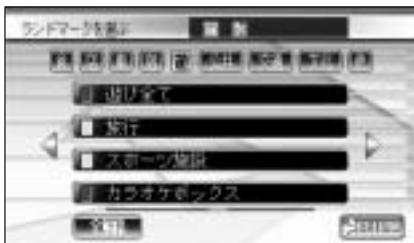
3 施設のジャンルを選択します。



目的のジャンルが表示されるまで  を選択し、ジャンル名を選択します。選択したジャンルのインジケータが点灯します。

4

 を選択します。



Finish



- ・ 手順2と3を繰り返して、複数のジャンルを5種類まで選択できます。
- ・ 選択を解除するときはジャンルを再度選択します。すべての選択を解除するときは  を選択します。

6

各種の設定をする

メンテナンス情報表示を設定する

あらかじめエンジンオイルの交換時期やタイヤの交換時期を走行距離や日付で設定しておく、ナビ起動時にメンテナンスのお知らせが表示されます。また、設定した日付や走行距離まで、あとどれくらいで到達するか確認することもできます。



1  を選択します。



2 メンテナンス情報を設定する項目（「エンジンオイル交換」など）を選択します。



目的の項目が表示されるまで
 を選択します。

3  を選択します。



- ・ 、 などの期間を示すボタンを選択することによって、当日から指定した期間が経過した後の日付をワンタッチで設定できます。表示されるボタンの期間は設定内容によって異なります。

4 数字ボタンを選択して日付を入力します。



- 数字を入れ間違えたときは、**消去** を選択して末尾から1文字ずつ消去し、入れ直します。
- 日付の設定を解除する場合は **戻る** を選択します。

5 **OK** を選択します。

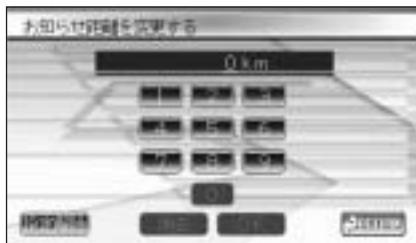


6 **お知らせ完了** を選択します。



6
各種の設定をする

7 数字ボタンを選択して距離 (km単位) を入力します。



- ・ 数字を入れ間違えたときは、**消去** を選択して末尾から1文字ずつ消去し、入れ直します。
- ・ 距離の設定を解除する場合は **設定解除** を選択します。
- ・ 設定する項目によっては距離の設定ができません。

8 **OK** を選択します。



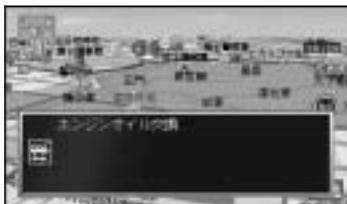
9 **RETURN** を選択します。



10 メンテナンス通知を行う場合は、[お知らせ]項目の **ON** を選択します。



- ここで設定した日付または距離に達した後に初めて本機の電源がオンにされたときに、音声案内と画面表示でお知らせが告知されます。



- 各項目に設定できる情報は次のとおりです。
「日付」はすべての機能で設定できます。

機能	距離	日付の期間
エンジンオイル交換		3ヶ月、6ヶ月、1年
オイルフィルター交換		3ヶ月、6ヶ月、1年
タイヤローテーション		3ヶ月、6ヶ月、1年
タイヤ交換		1年、2年、3年
バッテリー交換		1年、2年、3年
ブレーキパッド交換		1年、2年、3年
ブレーキフルード交換		1年、2年、3年
ATF交換		1年、2年、3年

機能	距離	日付の期間
冷却水 (LLC) 交換		1年、2年、3年
ハイポリマー		6ヶ月、1年、2年
定期点検		6ヶ月、1年、2年
車検		1年、2年、3年
保険満了		1年、2年、3年
免許更新		1年、3年、5年
ユーザ設定		1年、2年、3年

- 日付と距離の両方を設定できる項目でも、どちらか一方だけの設定も可能です。
- 手順2で、設定日または距離を過ぎている項目は、インジケーターが赤色に点灯します。
- ユーザ設定項目の項目名を設定することができます (➡P.6-14)。
- [メンテナンス情報を見る]画面で、距離または日付を設定した項目ではインジケーターの色が黒から青に変わります。さらに、設定した距離、日付に達するとインジケーターの色は赤色に変わります。

6
各種の設定をする

ユーザー設定項目の追加

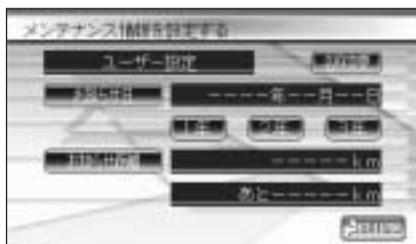
既存の項目以外にユーザー設定項目を追加することもできます。
ユーザー設定項目には自由な名称を付けることができます。



1 ユーザー設定 を選択します。



2 名称変更 を選択します。



3 ユーザー設定項目の名称を入力します。

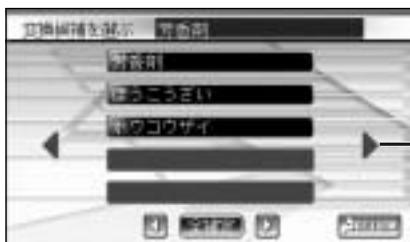
入力する際には、次のような各ボタンの機能を使用します。

入力欄最後の1文字を消去します。
 空白を入力します。
 入力できる文字の種類をかな 英字 カナ 数字・記号 かなの順に変更します。
 入力したひらがなを漢字に変換せずに確定します。

4 入力したひらがなを漢字に変換する場合は  を選択します。



5 漢字を選択すると入力画面に戻ります。



目的の漢字が表示されるまで  を選択します。



- ・ 漢字に変換するひらがなの範囲を変えたいときは、  を選択します。
- ・ [変換候補を選ぶ]画面で、表示されている漢字をそのまま入力すればよい場合は  を選択して漢字の変換を確定できます。

6  を選択します。



ユーザー設定項目の名称が変更されます。

7 「メンテナンス情報表示を設定する」(→P.6-10)の手順に従って各項目を設定します。



- ・ ユーザ設定項目の名称は最大8文字まで入力できます。
- ・ ユーザ設定項目は1つだけです。

システムの詳細な設定をする

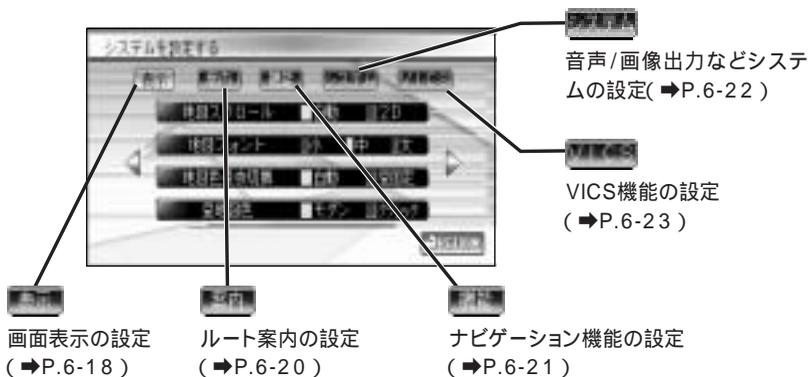
画面の表示、ルート案内時の動作、ナビゲーション機能の動作、音声/画像出力機能、VICS機能など、本機の全体的な動作の設定を行います。



1  を選択します。



2 設定項目の分類を選択します。



3 目的の項目を選択します。



目的の項目が表示されるまで  を選択します。
選択肢が表示されている項目は、選択するたびに選択状態(ON、OFFなど)が切り替わります。項目名だけが表示されている項目は、選択すると設定画面が表示されます。



- ・ 各設定項目の詳細については、次項の説明をご覧ください。

4 項目の設定がすべて完了したら  を選択します。
[ナビ設定]メニュー画面に戻ります。



6

各種の設定をする

設定項目一覧

各設定項目の内容は次のとおりです。項目を選択した後、さらに操作が必要な項目については、参照ページをご覧ください。

画面設定

項目	選択肢	内容
地図スクロール	2D	スクロール地図画面を常に2Dで表示します。
	自動*	スクロール地図画面を現在地図画面と同じ表示方法で表示します。
地図フォント	小	地名などの表示に使用する文字の大きさを設定します。
	中*	
	大	
地図色昼夜切換	自動*	ライトの点灯に連動して昼画面と夜画面が自動的に切り替わります。
	昼固定	常に昼画面が表示されます。
昼地図色	モダン*	昼画面の地図の色を設定します。
	クラシック	
夜地図色	モダン*	夜画面の地図の色を設定します。
	クラシック	
ビジュアルクルーズ	ON*	道路を縁取りし、施設の地図記号に色を付けて表現します（50mスケールよりも広域表示の場合）。
	OFF	表現しません。
画面設定		地図の表示を設定します。設定についてはP.6-24をご覧ください。
スカイ情報表示	ON*	航空写真画面に地図情報を表示します。
	OFF	表示しません。
メモリ地点名表示	ON*	メモリ地点に設定した名称を地図上に表示します。
	OFF	表示しません。
道路名称	ON*	走行中の道路の名称を現在地図画面に表示します。
	OFF	表示しません。
3Dランドマーク	ON*	3Dランドマークを地図上に表示します。
	OFF	表示しません。

項目	選択肢	内容
軌跡表示	ON*	走行した道の軌跡を地図上に表示します。
	OFF	表示しません。
時計表示	無	現在地図画面 / スクロール地図画面上での時計の表示の有無と、表示サイズを設定します。
	小*	スクロール地図では常に時計は「小」表示
	大	
スライドショー： ループ (HDV-910のみ)	する	画像をスライド表示する際にループ表示（先頭に 戻って繰り返し）します。設定について詳しくは P.5-33をご覧ください。
	しない*	ループ表示しません。
スライドショー： 間隔 (HDV-910のみ)	短い（15秒）	画像をスライド表示する際の画像の表示時間を設 定します。設定について詳しくはP.5-33をご覧 ください。
	長い*（30秒）	
地図マーク設定		メモリ地点のマークの色やデザインを5つのシリ ーズから選択します。設定について詳しくはP.6- 27をご覧ください。
オーディオインフォ メーション表示	自動*	状態に変化があると、選択中のオーディオソース を示す小画面を地図画面に自動的に表示します。
	手動	操作をしたときに小画面を地図画面に表示します。

*はお買い上げ時の設定状態



- ・ 軌跡表示をOFFにすると、その時点までに記憶された軌跡はすべて消去されます。なお、軌跡を記憶できる距離は最大50kmです。
- ・ バルスの学習中は [バルス学習中] の表示が優先されるため、時計表示を にしても のサイズと位置で表示されます。この場合、バルス学習が終了すれば時計は のサイズで表示されます。

6

各種の設定をする

ルート案内設定

ルート案内時の画面や音声の設定を行います。

項目	選択肢	内容
通過交差点案内	ON*	通過する交差点名を現在地図画面に表示します(➡P.3-8)。
	OFF	表示しません。
次案内交差点	ON*	次のガイドポイントの交差点の名称、交差点までの距離、交差点での進行方向を現在地図画面に表示します(➡P.3-8)。
	OFF	表示しません。
交差点拡大図	2D	ガイドポイントの交差点に近づいたときに、交差点拡大図を2Dで表示します。
	3D*	ガイドポイントの交差点に近づいたときに、交差点拡大図を3Dで表示します(➡P.3-8)。
レーン案内	ON*	通過交差点での通行区分と推奨レーンを、画面表示と音声で案内します(➡P.3-8)。
	OFF	案内しません。
距離時刻表示	ON*	目的地までの距離と予測到着時刻を現在地図画面に表示します。
	OFF	表示しません。
警告お知らせ	ON*	急カーブ、踏み切り、または合流があるときに、その手前で画面表示と音声で通知します(➡P.3-10)。
	OFF	通知しません。
ナビ画面割込	ON	AV画面の表示中であっても、ガイドポイントが近づくとナビゲーションシステムの画面に自動的に切り替わります。
	OFF*	切り替わりません。
ナビ音声割込	ON*	AVの音声を聞いているときであっても、ガイドポイントが近づくとナビゲーションシステムの音声ガイドに自動的に切り替わります。
	OFF	切り替わりません。

*はお買い上げ時の設定状態



- ・ ナビ画面割込機能によってナビ画面に切り替わった場合は、ガイドポイントを通過後に元のソース画面に戻ります。

ナビゲーション機能設定

ナビゲーション機能のための詳細な設定を行います。

項目	選択肢	内容
自宅登録		自宅の位置を登録/変更します。設定について詳しくはP.6-28をご覧ください。
最適時間考慮探索	ON	VICSセンターから送信される旅行時間を考慮してルートを探索します。
	OFF*	考慮されません。
信号考慮探索	ON	ルート探索時に、信号の通過が少なくなるように考慮して検索します。
	OFF*	考慮されません。
季節時間考慮探索	ON	ルート探索時に、季節限定の交通規制（冬季閉鎖など）のある道路を使わないルートを探索します。
	OFF*	考慮されません。
オートリルート	ON*	ルートからはずれたときに、元のルートに戻る道筋を自動的に探索します。
	OFF	自動的に探索しません。
ハイウェイモード	ON*	高速道路を通行中に、インターチェンジ（IC）、ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）/パーキングエリア（PA）をモード図で表示します。
	OFF	表示しません。
ボイスアドバイザー	ON*	表示されている画面の操作を音声でガイドします。
	OFF	ガイドしません。
タクシーモード	ON	電源をオンにしたときに、自動的にタクシー機能（▶P.9-4）を作動させます。
	OFF*	タクシー機能を作動させません。
目的地：通過点削除	無	目的地を設定してもそれまでに設定した通過点は削除されず、探索されたルートはそれらの通過点を通ります。
	確認*	目的地を設定したときに、通過点の処理方法を選択できます。
	有	目的地を設定したときにすべての通過点が削除され、探索されたルートは通過点を通りません。
スクロール切換	8方向	スクロール地図画面に8方向の矢印を表示し、矢印を選択するとその方向に地図がスクロールされます。
	ポイント	スクロール地図画面で、選択した地点にカーソルが合うように地図がスクロールされます。8方向の矢印は表示されません。
	両方*	上記2方法のスクロールを可能にします。
平均車速設定		予定到着時刻を算出するための平均速度を設定します。設定について詳しくはP.6-30をご覧ください。

*はお買い上げ時の設定状態

6

各種の設定をする

システム詳細設定

接続状態の確認、音量調整などシステムの詳細を設定します。

項目	選択肢	内容
接続確認		本機の各コードや別売品の接続状況を確認します。設定について詳しくはP.6-31をご覧ください。
音量調整		音声ガイドの音量を調整します。設定について詳しくはP.6-36をご覧ください。
オーディオATT	2ch*	音声ガイド時に、フロントスピーカーのオーディオの音量を一時的に下げます。
	4ch	音声ガイド時に、フロントスピーカーとリアスピーカーのオーディオの音量を一時的に下げます。
	OFF	音量を下げません。
リバースATT	ON	車両を後退する際にギヤをバックに入れると、オーディオの音量を一時的に下げます。
	OFF*	音量を下げません。
車速パルス	アナログ	アナログの車速パルスを使用します。
	デジタル*	デジタルの車速パルスを使用します。
車両情報設定		車両の各種の情報を設定します。設定について詳しくはP.6-37をご覧ください。

*はお買い上げ時の設定状態



・ [車速パルス] は、通常はデジタルに設定してください。

VICS設定

VICS機能の詳細な設定を行います。

項目	選択肢	内容
VICS規制情報表示	ON*	臨時の通行規制情報を地図上に表示します。
	OFF	表示しません。
VICS駐車場表示	ON*	駐車場の位置と状態を地図上に表示します。
	OFF	表示しません。
VICS表示	高速	高速道路のVICS情報だけを地図上に表示します。
	一般	一般道のVICS情報だけを地図上に表示します。
	両方*	両方を表示します。
VICS渋滞情報表示	渋滞	VICSの渋滞情報を地図上に表示します。
	空き	VICSの空き情報を地図上に表示します。
	両方*	両方を地図上に表示します。
自動渋滞回避	ON*	ルート探索時には、VICSの渋滞情報を考慮して、ルート探索を行います。ルートガイド中に渋滞状況が変化したときは、自動的にルートを再探索します。
	OFF	考慮しません。
文字割込 (別売品VF-B500) 接続時	ON*	VICSの文字情報(レベル1)を割り込み表示します。
	OFF	割り込み表示しません。
図形割込 (別売品VF-B500) 接続時	ON*	VICSの簡易図形情報(レベル2)を割り込み表示します。
	OFF	割り込み表示しません。
VICS: モニター割込 (別売品VF-B500) 接続時	ON	ナビゲーション以外の画面を見ているときにVICS情報を受信すると、割り込み表示します。
	OFF*	割り込み表示しません。
VICS割込表示時間 (別売品VF-B500) 接続時	10	VICS情報を割り込み表示する時間(秒)を設定します。
	15*	
	20	

*はお買い上げ時の設定状態

6

各種の設定をする

地図画面の表示を設定する

画面分割の切り替えや地図の向きの表示方法を設定します。



1 **画面設定** を選択します。



表示設定 が表示されるまで  を選択します。

2 **1画面** または **2画面** を選択します。



3 **2画面** を選択した場合、アクティブ画面を切り替えるときは **アクティブ/切替** を選択します。



アクティブ/切替 を選択するたびにアクティブ画面が切り替わり、アクティブになる側の選択項目に水色の枠が表示されます。

- 4 地図を2Dで表示する場合は **2D**、3Dで表示する場合は **3D** を選択します。



- 5 常に北が上方向になる地図を表示する場合は **北上**、車両の進行方向が上方向になる地図を表示する場合は **進行** を選択します。

この項目は手順4で **2D** を選択したときだけ選択できます。



- 6 **RETURN** を選択します。

[システムを設定する] 画面に戻ります。

Finish



- ・ 2画面表示でのアクティブ画面の切り替えは、地図画面を表示しているときに画面を選択して行うこともできます。
- ・ 地図の向き (北上/進行) の切り替えは、現在地図画面を表示しているときに方位マークを選択して切り替えることもできます。
- ・ 各項目の設定は画面で設定した時点からナビの動作に反映されます。
- ・ ハイウェイモード中には、2D/3D表示を切り替えることはできません。ただし、2D/3D表示切替ボタンをショートカットメニューに登録しておく、ハイウェイモード中でも切り替えることができます。

地図画面の俯角を設定する

[画面設定]画面では3Dの俯角やMy Flyの俯角を設定できます。My Flyではスケールも設定できます。

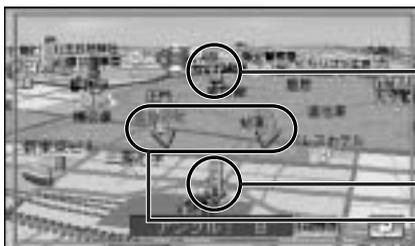


1 **俯角設定** (3Dの場合) または **スカイ設定** (My Flyの場合) を選択します。



2 俯角を調整します。

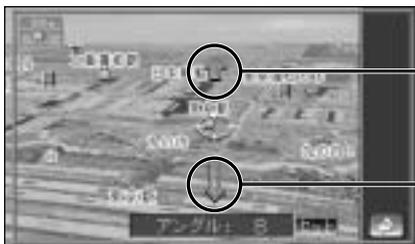
・ 3Dの場合



俯角は[↑]または[↓]で調整します。

視点は[↶]または[↷]で調整します。

・ My Flyの場合



俯角は[↑]または[↓]で調整します(My Flyの場合)。

My Flyでは、[📏]または[📏]でスケールを調整できます。

3 **終了** を選択します。

[地図画面を設定する]画面に戻ります。



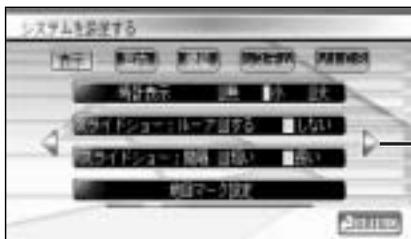
- スクロール地図画面を表示中に上記の操作でスカイ設定を行った場合、現在地のMy Flyが表示されます。また、現在地にMy Flyのデータがない場合は、東京駅付近のMy Flyを表示します。

メモリ地点のパターンを設定する

メモリ地点に表示するマークのパターンを設定します。

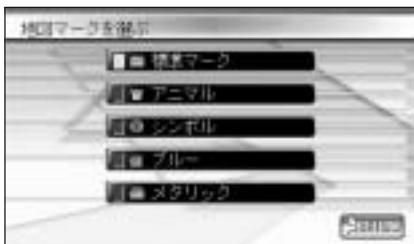


1 **地区マーク設定** を選択します。



地区マーク設定が表示されるまで◀▶を選択します。

2 表示するマークのジャンルを選択します。



3 **RETURN** を選択します。

[システムを設定する]画面に戻ります。

Finish

6

各種の設定をする

自宅の位置を登録する

自宅の位置の登録 / 変更を行います。



1 **自宅登録** を選択します。



2 自宅の位置を検索する方法を選択します。



3 選択した検索方法で自宅の位置を検索します。

4 **+** を選択します。



[システムを設定する] 画面に戻ります。

Finish



- ・すでに自宅が登録されている場合に **自宅登録** を選択すると、登録情報を変更する画面が表示されます。この画面で **変更** を選択すると位置を変更でき、**消去** を選択すると登録情報が消去されます。



- ・自宅の位置を検索する際に表示されるスクロール地図画面のスクロール方法は、スクロール切り替えで設定した方法によります (▶P.6-21)。
- ・自宅を設定すると地図上に家のアイコンが表示されます。



平均車速を設定する

目的地の到着予定時刻を算出するために使用する平均速度を、道路の種類ごとに設定します。



1 **平均車速設定** を選択します。



平均車速設定 が表示されるまで を選択します。

2 各道路ごとに を選択して、平均速度を設定します。



・ を選択すると、お買い上げ時の設定に戻ることができます。

3 **RETURN** を選択します。

平均車速が設定されて、[システムを設定する] 画面に戻ります。

Finish



・ 平均速度として法定速度以上のスピードを設定できますが、実際の走行時には交通法規を守って運転してください。

本体の動作状態を確認する

本体への車速パルス、GPSなどの信号入力状態を表示します。



1  を選択します。



 が表示されるまで  を選択します。

2 目的の項目を確認します。



目的の項目が表示されるまで  を選択します。



・  と  の使い方については、下記をご覧ください。

 → P.6-33

 → P.6-34

3 見終わったら  を選択します。
[システムを設定する]画面に戻ります。

Finish

 次のページへ



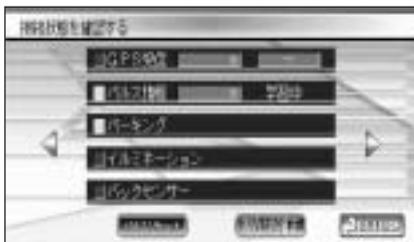
- 各信号の状態は項目のインジケーターの色で表示されます。
水 色：信号が入力されている状態（信号がオン）です。
黒 色：信号が入力されていない状態（信号がオフ）またはコードが未接続です。
- の項の数字は車速パルス数です。画面が表示した時点で0からカウントアップされます。右側には学習状態が表示されます。
- の信号の状態は次の色で表示されます。
緑 色：受信しています。
深緑色：受信してはいるが測位はできていない状態です。
黒 色：GPSアンテナが接続されていません。
- の項の数字は受信中のGPS衛星の数、右側の欄の「2D」または「3D」は「2次元測位」または「3次元測位」を表します。

パルスリセット

タイヤを交換した場合は、車速パルス数をリセットして新しいタイヤで学習しなおします。



1 **パルスリセット** を選択します。



2 確認画面で **はい** を選択します。



[接続状態を確認する] 画面に戻ります。

Finish



- 通常はパルス数をリセットする必要はありません。タイヤ交換を行ったときなどに行ってください。
- 本機では、現在装着されているタイヤでの車速パルス数と距離の関係が学習され最適化されます。
- 車速パルス数をリセットすると、自転車位置がずれることがあります。車速パルス数をリセットしたときは、しばらく走行すると新しい車速パルス数が学習されます。
- 車速パルスの学習は、受信しているGPS衛星の数が4個以上で3次元測位中に行われます。上空のGPS衛星の配置状態が悪い場合は学習に時間がかかります。

6

各種の設定をする

● 現在地の補正

GPS衛星の電波を受信できない場合に、地図上の自転車マークの位置を実際の位置に合わせます。



1 **現在地補正** を選択します。



2 現在地を検索する方法を選択します。

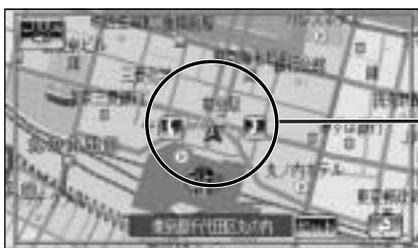


3 それぞれの方法で現在地を検索します。

4  を選択します。



5  矢印を選択して車両の向きを設定します。



この矢印で車両の向きを左右に変更します。

6  を選択します。

[システムを設定する]画面に戻ります。

Finish

6



- ・ GPS衛星の電波を受信して測位が可能になると、補正した現在地は無効になり、GPS衛星のデータを使って算出された位置が現在地となります。
- ・ 現在地を補正する際に表示されるスクロール地図画面のスクロール方法は、スクロール切り替えで設定した方法によります (▶P.6-21)。

各種の設定をする

音量を設定する

ナビの音量とビーブ音の音量を調整します。



1 **音量調整** を選択します。



音量調整
が表示されるまで **◀▶** を選択します。

2 各音源ごとの音量を調整します。



ナビの音量は **◀▶** を選択して調整します。
ビーブ音は **ON** または **OFF** を選択します。

3 **RETURN** を選択します

[システムを設定する] 画面に戻ります。

Finish

車両情報を設定する

通行料金の算出や駐車場の検索に使用するための車両情報を設定します。



1 **車両情報設定** を選択します。



車両情報設定が表示されるまで を選択します。

2 車両の種別を選択します。



大型車

普通乗用車

小型乗用車

軽自動車

3 を選択して車両の実際の長さ、幅、高さを設定します。



・ を選択すると、お買い上げ時の設定に戻すことができます。

次のページへ

6

各種の設定をする

4

 を選択します

[システムを設定する] 画面に戻ります。



ETCを設定する

ETCに関する音声案内や警告表示の有無などの設定を行います。



1  を選択します。



2 目的の項目を設定します。



項目を選択するたびにON/OFFなどの選択が切り替わります。

3 設定が終了したら  を選択します。
[ナビ設定]メニュー画面に戻ります。



- ・ 必要な設定項目だけを設定できます。
- ・ 本機にETCユニットETC-2500（別売品）が接続されていないときは、 は選択できません。

6

各種の設定をする

設定項目一覧

各設定項目の内容は次のとおりです。

機能	選択肢	ETC-2500との初期値
ETC割込表示	ON*	ETCガイド（ETCレーン案内など）を割り込み表示します。
	OFF	表示しません。
ETC音声案内	ON*	ETCガイドを音声案内します。
	OFF	音声案内しません。
起動時警告表示	ON*	ACCがオンになったときに、ETCユニットの状態を表示します。
	OFF	表示しません。
起動時警告案内	ON*	ACCがオンになったときに、ETCユニットの状態を音声案内します。
	OFF	音声案内しません。
カード抜忘れ警告	ON*	ACCをオフにしたときETCカードがETCユニットに挿入されたままになっていると、音声案内で警告します。
	OFF	警告しません。

*はお買い上げ時の設定状態



- ・ お買い上げ時の設定状態は、購入されたETCユニットによって異なります。上記は、ETCユニットETC-2500の場合のものです。

メモリ地点の情報を編集する

メモリ地点の情報の保存、読み込み、削除、名称変更、マークの変更などの操作を行います。



1  を選択します。



2  を選択します。



3 編集する地点のボタンを選択します。



目的の地点が表示されるまで
 を選択します。



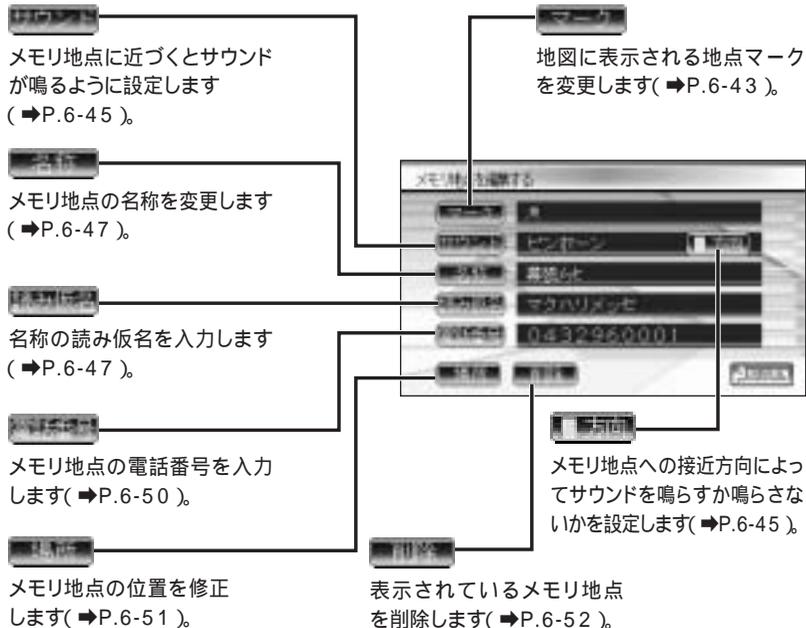
・  を選択すると、地点に付けられているマークごとに表示されます。また、 を選択すると登録した順に表示されます。

6

各種の設定をする

 次のページへ

4 編集項目を選択します。各項目の操作については参照ページをご覧ください。



Finish



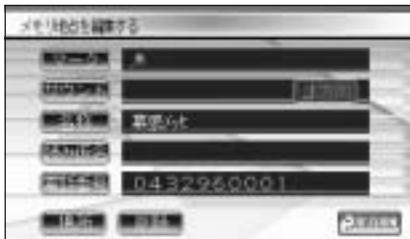
- ・ [地点を編集する] 画面で **保存** を選択すると、登録されているすべてのメモリ地点がハードディスクに保存されます (→P.6-53)。
- ・ [地点を編集する] 画面で **読み込み** を選択すると、ハードディスクに保存されている地点情報を本機に読み込むことができます (→P.6-54)。

メモリ地点のマークの変更

地図上に表示されるメモリ地点のマークを変更します。



1 **マーク** を選択します。



2 地点に付けるマークのボタンを選択します。



3 **RETURN** を選択します。



マークが変更され、[メモリ地点を編集する]画面に戻ります。



▶▶ 次のページへ

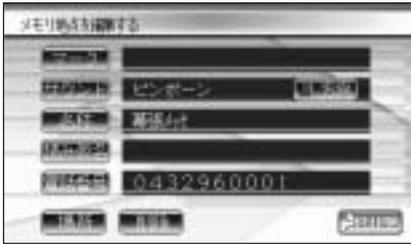
メモリ地点の情報を編集する : メモリ地点のマークの変更



- ・ 地図マーク設定を変えると (➡ P.6-27) 設定済みのメモリ地点のマークのデザインも変化します。
- ・ 過去目的地にはマークはつけられません。

メモリ地点の情報を編集する : メモリ地点へのサウンドの設定

- 4 特定の方向で接近した場合だけサウンドを鳴らすときは、**「方向」** を選択します。



- 5 **「上」** または **「下」** を選択して進入方向を設定します。



- 6 **「上」** を選択します。
[メモリ地点を編集する] 画面に戻ります。

Finish



- ・ 設定したサウンドはメモリ地点まで約500m以内に接近したときに鳴ります。
- ・ 過去目的地にはサウンドは付けられません。
- ・ 本機のハードディスク (HDD) に保存したメモリ地点を再度呼び出すと、メモリ地点編集で設定したサウンドと異なるサウンドが鳴ることがあります。

メモリ地点の名称変更

メモリ地点の名称は次の操作で変更します。



1 **名称** を選択します。



2 メモリ地点の名称を入力します。

入力する際には、次のような各ボタンの機能を使用します。

削除 入力欄末尾の1文字を消去します。

空白 空白を入力します。

かな文字 入力できる文字の種類をかな 英字 カナ 数字・記号 かなの順に変更します。

ひらがな 入力したひらがなを漢字に変換せずに確定します。

6

各種の設定をする

▶▶ 次のページへ

メモリ地点の情報を編集する：メモリ地点の名称変更

3 入力したひらがなを漢字に変換する場合は  を選択します。



4 漢字を選択すると入力画面に戻ります。



目的の漢字が表示されるまで
 を選択します。

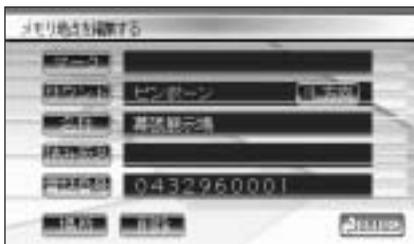


- ・ 漢字に変換するひらがなの範囲を変えたいときは、  を選択します。
- ・ [変換候補を選ぶ]画面で、表示されている漢字をそのまま入力すればよい場合は  を選択して漢字の変換を確定できます。

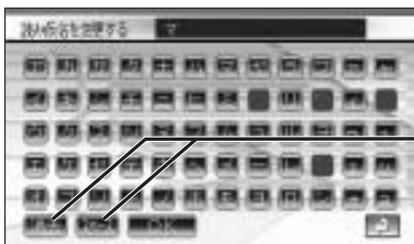
5  を選択します。



6 読み仮名を設定する場合は  を選択します。

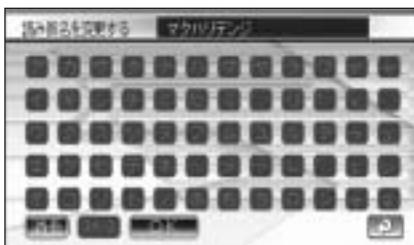


7 読み仮名を入力します。



 を選択すると入力した文字の末尾の1文字から順に消去できます。
 を選択すると空白が挿入できます。

8  を選択します。



Finish

6

各種の設定をする



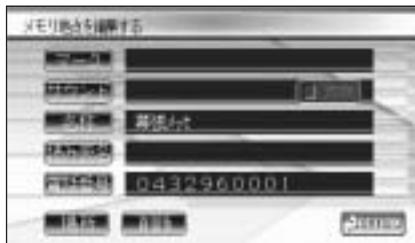
- ・メモリ地点名は全角文字で最大8文字まで設定できます。
- ・メモリ地点名を地図上に表示することもできます (➡ P.6-18)。
- ・読み仮名を設定しておく、ボイスコントロールでメモリ地点を検索できます。
- ・手順5や8では、必ず  を選択してください。  を選択せずに戻ると、メモリ地点の編集は無効になります。
- ・過去目的地には名前を付けることはできません。

メモリ地点の電話番号設定

メモリ地点に電話番号を設定します。



1 **電話番号** を選択します。



2 電話番号を入力します。



番号を入れ間違えたときは、**削除** を選択して末尾から1文字ずつ消去し、入れ直します。

3 **OK** を選択します。

[メモリ地点を編集する] 画面に戻ります。



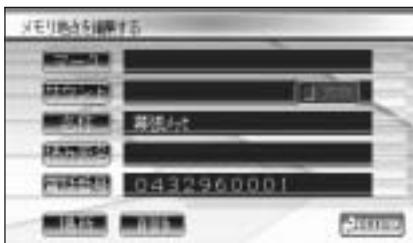
- ・手順3では、必ず **OK** を選択してください。 **OK** を選択せずに戻ると、メモリ地点の編集は無効になります。
- ・メモリ地点に電話番号を登録しておくと、電話番号検索の対象となります。
- ・登録できる電話番号は14桁までです。ただし、検索対象となるのは11桁までの数字だけです。
- ・過去目的地に電話番号を登録することはできません。

メモリ地点の位置の修正

メモリ地点の位置を地図上で修正します。



1 **場所** を選択します。



2 変更したい位置にカーソルを合わせます。



3 **決定** を選択します。
[メモリ地点を編集する]画面に戻ります。

Finish



・ 過去目的地の位置は修正できません。

6
各種の設定をする

メモリ地点の削除

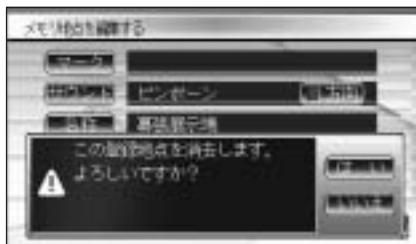
現在表示されているメモリ地点を削除します。



1 [削除] を選択します。



2 確認画面で [はい] を選択します。



[メモリ地点を編集する] 画面に戻ります。

Finish



- 削除したメモリ地点は元に戻せません。削除する場合は、十分注意して行ってください。

メモリ地点の保存

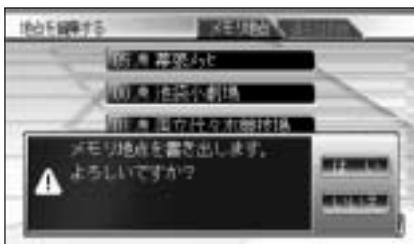
メモリ地点のデータをハードディスクに保存します。



1 **保存** を選択します。



2 確認画面で **はい** を選択します。



Finish



- メモリ地点の保存中に電源をオフにしないでください。データが破損する場合があります。



- すべてのメモリ地点が1つのメモリ地点ファイルとして保存されます。
- ハードディスクに保存されたメモリ地点に対しては、目的地に設定するなどの操作を行うことはできません。操作を行う場合は、その前にハードディスクから読み込む必要があります(➡P.6-54)。
- ハードディスクには100個までのメモリ地点ファイルを保存できます。ただし、ハードディスクの容量が不足している場合は、保存できるメモリ地点ファイル数が少なくなります。
- 地点ファイルには、KWNV0000～KWNV9999の名称が順に付けられます。

6

各種の設定をする

メモリ地点の読み込み

メモリ地点のデータをハードディスクから読み込みます。



1 **読み込み** を選択します。

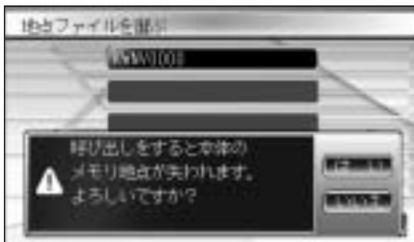


2 地点ファイルを選択します。



目的の地点ファイルが表示されるまで を選択します。

3 確認画面で **はい** を選択します。



[地点を編集する] 画面に戻ります。





- ・ メモリ地点の読み込み中に電源をオフにしないでください。データが破損する場合があります。



- ・ 地点ファイルには、KWNV0000～KWNV9999の名称が番号順に付けられています。
- ・ メモリ地点のデータをハードディスクから読み込むと、その時点で登録されていたメモリ地点は消去されます。必要なメモリ地点は、あらかじめハードディスクに保存しておいてください。

6

各種の設定をする

過去の目的地を削除する

登録されている過去の目的地を削除します。



1  を選択します。



2  を選択します。



3 削除する過去の目的地のボタンを選択します。

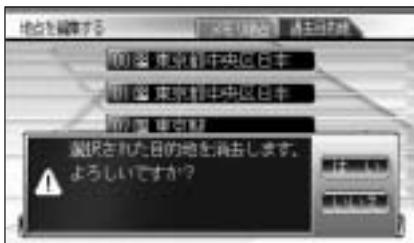


目的の地点が表示されるまで
◀▶ を選択します。



・  を選択すると、すべての過去の目的地が削除されます。

4 確認画面で **はい** を選択します。



リストから指定した地点が削除されます。

5 **RETURN** を選択します。

[ナビ設定]メニュー画面に戻ります。



- ・ 削除した過去目的地は元に戻せません。削除する場合は、十分注意して行ってください。
- ・ 過去目的地は目的地に到着したとき、自動的に登録されます。
- ・ 過去目的地はハードディスク (HDD) に保存することはできません。

6

各種の設定をする

セキュリティコードを設定する

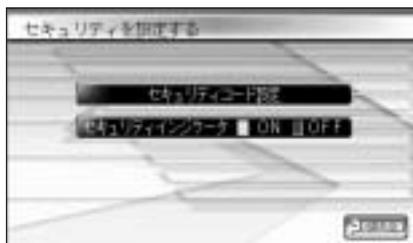
本機をバッテリーから外したときやリセットボタンを押したときにコード入力を求めることによって、本機の盗難を抑制します。



1 **この操作** を選択します。



2 セキュリティコードを設定する場合は、**セキュリティコード設定** を選択します。



3 4桁のコードを入力します。



入力したコードを修正したい場合は、**リセット** を選択します。末尾の1字が消去されます。

4 **OK** を選択します。

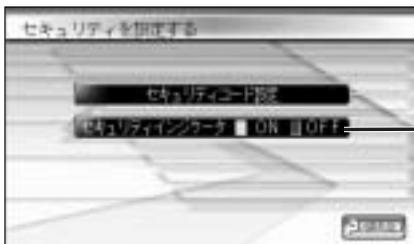


5 確認のため再入力を求められるので、手順3で入力したコードを再入力して **OK** を選択します。



- ・ 2度目に1度目と異なるコードを入力すると、再度入力を求められます。

6 **セキュリティインジケータ** ON OFF のONまたはOFFを選択します。



セキュリティインジケータ ON OFF

をONにすると、ACCをオフしたときにLEDが点滅し、盗難防止ランプの代用として使用できます。

7 **RETURN** を選択します。

[ナビ設定]メニュー画面に戻ります。

Finish



- ・ 本機の起動時に間違ったセキュリティコードを入力すると、「セキュリティコードが間違っています。正しいコードを入力して下さい。」というメッセージ画面が表示され、起動できません。
- ・ 手順3～5で入力を中止する場合は **RETURN** を選択します。
- ・ セキュリティコードは一度設定すると変更または削除ができません。忘れないようにメモしておいてください。メモは他の人に知られないような場所に保管してください。
- ・ セキュリティコードを忘れた場合は、ケンウッドサービスセンターへご相談ください。

6

各種の設定をする

[データ管理] メニューの表示と内容

[データ管理] メニューでは、ハードディスクやメモリースティックのデータの読み込み、保存、削除、画像データの表示設定などを行います。

 この操作までの流れ ▶

NAV

1  を選択します。



2 目的の項目を選択します。



Finish



・  を選択するとHDD1/HDDまたはHDD2の再生が停止します。

各項目の機能は次のとおりです。

メニュー項目	内容	参照ページ
	メモリースティックまたはCDからデータを読み込んでGracenote CDDBを更新します。	P.6-82
	ハードディスク内の音楽データ、画像データ、地点データの移動、削除、コピー、保存を行います。	P.6-67
	ナビ起動時のオープニング画面の設定とメニュー画面の背景画面を設定します。	P.6-77
	メモリースティックからハードディスクへのデータの読み込みや音楽データ (Music Cellar) の書き出し、メモリースティックの初期化などの操作を行います (HDV-910のみ)。	P.6-61

メモリースティックを操作する

メモリースティックとハードディスクの間のデータのやり取りや、メモリースティックの初期化を行います。



・メモリースティックが挿入されていない場合は、この操作は行えません。



この操作までの流れ



1



を選択します。



2

操作する項目を選択します。

各操作方法については参照ページをご覧ください。

MSからHDDに読み込み

メモリースティックのデータをハードディスクに読み込みます(➡P.6-62)。



Music Cellar書き出し

KENWOOD Sound Formatの音楽ファイルを作成するパソコン用のプログラムを、メモリースティックに書き出します(➡P.6-64)。

MSフォーマット

メモリースティックを本機で使用できるように初期化します(➡P.6-65)。

3

設定が終了したら **RETURN** を選択します。

[データ管理] 画面に戻ります。

6

各種の設定をする



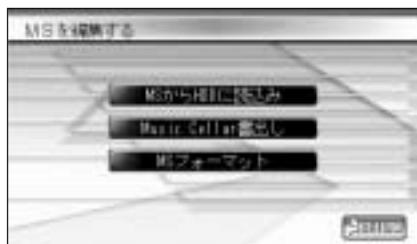
メモリースティックのデータの読み込み



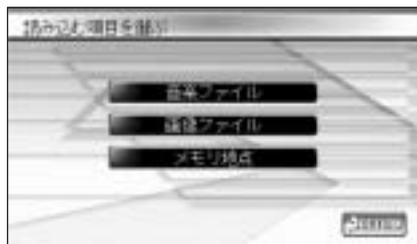
メモリースティック内のデータをハードディスクに読み込みます。パソコンで作成した画像やMusic Cellarで作成した音楽データ、地点データ、などを本機に読み込みます。



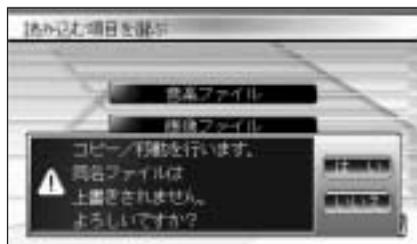
1 MSからHDDに読み込み を選択します。



2 読み込むファイルの種類を選択します。



3 確認画面で「はい」を選択します。



[MSを編集する] 画面に戻ります。





- ・ ファイルの読み込み中にメモリースティックを取り外したり、本機の電源をオフにしないでください。データが破損する場合があります。



- ・ 上記の操作により、音楽ファイルは移動されます（読み込んだ音楽ファイルはメモリースティックから削除されます）。画像ファイルと地点ファイルはコピーされます。
- ・ メモリースティックから読み込みもうとした音楽ファイルや画像ファイルまたはフォルダと同名のフォルダ/ファイルがハードディスクにすでにある場合、それらのフォルダ/ファイルは読み込まれません。また、読み込みもうとした地点ファイルと同名の地点ファイルがハードディスクにすでにある場合には、ハードディスクにある地点ファイルのファイル名が「TEMPxxxx」と変更されてから読み込まれます。
- ・ メモリースティックで読み込める音楽ファイルは、Music Cellarで作成したKENWOOD Sound format (KSF) 形式の音楽ファイルだけです。Music Cellarのインストール方法や使用方法については10-24ページをご覧ください。
- ・ 他のカーナビゲーションシステムやパソコン用のナビゲーションプログラムで作成したメモリ地点 (poiファイル) を、メモリースティック経由で読み込むこともできます。ただし、パソコンで作成したpoiファイルは読み込めない場合もあります。
- ・ 振動により、走行中はハードディスクへ読み込めない場合があります。安全な場所に車を停車させてから読み込んでください。
- ・ メモリースティックから1度に読み込めるファイル数は、1ディレクトリにつき200ファイル（フォルダを含む）までです。
- ・ デジタルカメラやパソコンのアプリケーションソフトなどでメモリースティックに保存したファイルは、パソコンなどでディレクトリを変えないでください。

各ファイルは以下のディレクトリにないと正しく読み込まれません。

- ・ 画像ファイル：root\DCIM
- ・ 音楽ファイル：root\MS_KWD\KSF
- ・ 地点ファイル：root\POSITION\POI
- ・ Gracenote CDDDB差分データ：root\MS_KND\CDDB

また、JIS第1、第2水準以外の文字を使用したファイルは読み込めない場合があります。

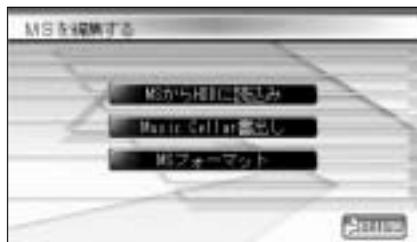
Music Cellarプログラムの書き出し



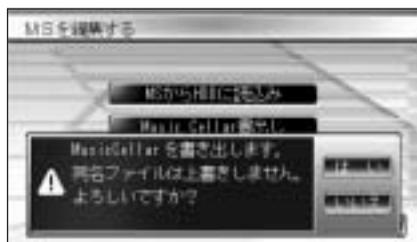
本機で再生する音楽データ（KENWOOD Sound Format形式）を作成するためのプログラムMusic Cellarをメモリースティックに書き出し、メモリースティック経由でパソコンにインストールします。



1 Music Cellar書き出し を選択します。



2 確認画面で はい を選択します。



Music Cellarがメモリースティックにコピーされます。



- Music Cellarのコピー中にメモリースティックを取り外したり、本機の電源をオフにしないでください。データが破損する場合があります。



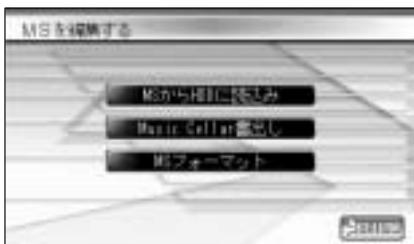
- Music Cellarをコピーするためには、メモリースティックに約5MBの空き容量が必要です。
- Music Cellarのコピー中は、**停止** を選択する以外の操作はできません。また、他の画面に移動することもできません。
- Music Cellarを保存したメモリースティックをパソコンにセットし、Music Cellarをパソコンにインストールしてください（➡P.10-24）。
- メモリースティックで読み込める音楽ファイルは、Music Cellarで作成したKENWOOD Sound format（KSF）形式の音楽ファイルだけです。Music Cellarのインストール方法や使用方法についてはP.10-24をご覧ください。
- Music Cellarの書き出しは何度でも行えます。

メモリースティックの初期化

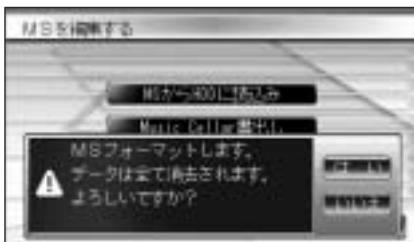
メモリースティック（MS）を本機で使えるようにフォーマットします。



1 MSフォーマットを選択します。



2 確認画面で「はい」を選択します。



メモリースティックがフォーマットされます。

Finish



- メモリースティックのフォーマット中にメモリースティックを取り外したり、本機の電源をオフにしないでください。データが破損する場合があります。



- メモリースティックはお買い上げの状態ですすでにフォーマットされており、フォーマットする必要はありません。上記の操作は、パソコンでフォーマットしたメモリースティックを本機で使用する際に行ってください。
- メモリースティックをフォーマットすると、保存されているデータはすべて消去されます。必要なデータはあらかじめパソコンなどにコピーしておいてください。
- 一度消去されたデータは元に戻せません。十分注意してフォーマットを行ってください。
- 本機では、FAT16以外にフォーマットされたメモリースティックは使用できません。

Music Cellarの利用手順



Music Cellarは次の手順で使用します。

- 1** Music Cellar専用アプリケーションのインストーラをメモリースティックに書き出します (⇒P.6-64)。
- 2** Music Cellarをパソコンにインストールします (⇒P.10-24)。
- 3** 音楽CDやインターネットなどから入手した音楽をMP3ファイルに変換します。
- 4** MP3ファイルをMusic Cellar専用アプリケーションに読み込み、音楽ファイル (KSF) の再生/編集を行います。
- 5** メモリースティックに音楽ファイル (KSF) を保存し、パソコンからメモリースティックを取り外します。
- 6** メモリースティックを本機にセットして音楽ファイル (KSF) を転送します (⇒P.6-62)。

ハードディスクのファイルを編集する

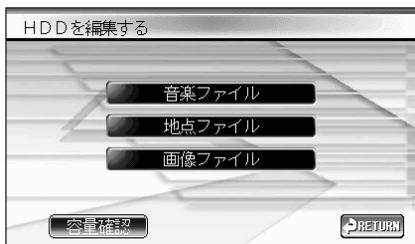
ハードディスクのファイルの削除、移動、コピーなどの他、フォルダの作成など、ハードディスク内のデータの編集を行います。



1 HDD編集を選択します。



2 編集するファイル項目を選択します。



- **容量確認** を選択すると、ハードディスクの空き容量を確認できます。
- **音楽ファイル** と **画像ファイル** は、HDV-910のみ選択できます。

3 ファイルまたはフォルダを選択します。



フォルダを選択した場合は、選択したフォルダ内のファイルリストからファイルを選択します。目的のファイルまたはフォルダが表示されるまで **◀▶** を選択します。複数のファイルを選択できます。選択されたフォルダまたはファイルのインジケーターが点灯します。



- フォルダを選択後、元のフォルダ階層に戻る場合は **📁** を選択します。

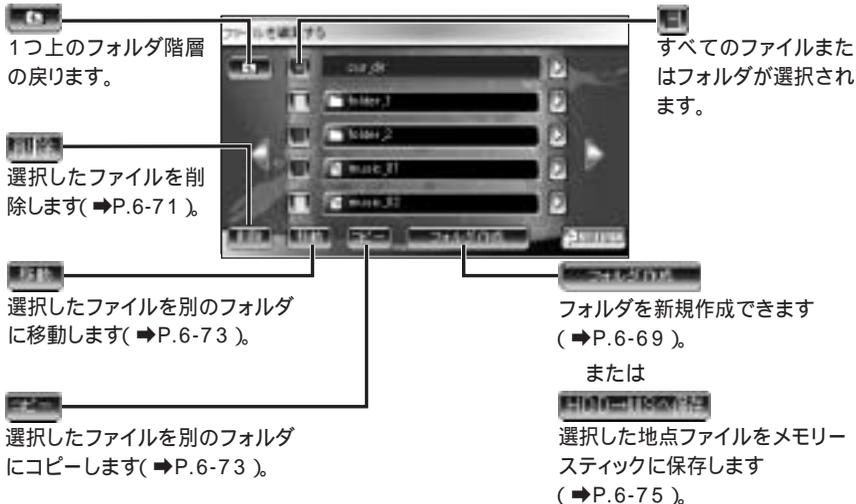
▶▶ 次のページへ

6

各種の設定をする

4 選択したファイル（またはフォルダ）に対して行う編集操作を次の中から選択します。

詳細な操作方法については参照ページをご覧ください。



5 **RETURN** を選択します。
[HDD編集] 画面に戻ります。



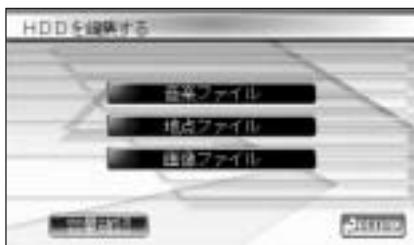
- memo**
- 手順2で **音楽ファイル** または **画像ファイル** を選択した場合は、編集操作のボタンとして、**削除**、**移動**、**コピー**、**新規作成** を使用できます。一方、**地点ファイル** を選択した場合は、**移動** と **新規作成** だけが使用可能になります。
 - 走行中は振動のためにファイル編集操作ができない場合があります。安全な場所に停車して操作を行ってください。
 - フォルダの作成や削除を行った場合は、必ず [ルートディレクトリ] 画面に戻ります。

フォルダの作成

ハードディスクの画面ファイルと音楽ファイルを分類して保存するためのフォルダを新規作成します。



1 **音楽ファイル** または **画像ファイル** を選択します。



2 ディレクトリを選択します。



フォルダを作成するディレクトリを選択します。



- ・ フォルダを選択後、元のフォルダ階層に戻る場合は  を選択します。
- ・ 現在表示されているフォルダ内にフォルダが作成されます。

6

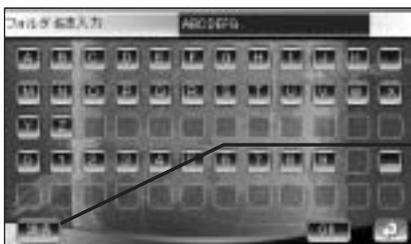
各種の設定をする

▶▶ 次のページへ

3 **フォルダ作成** を選択します。

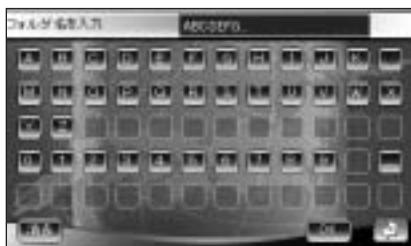


4 フォルダ名を入力します。



文字を入れ間違えたときは、**消去** を選択して末尾から1文字ずつ消去し、入れ直します。

5 **OK** を選択します。



[ファイルを編集する] 画面に戻ります。

Finish



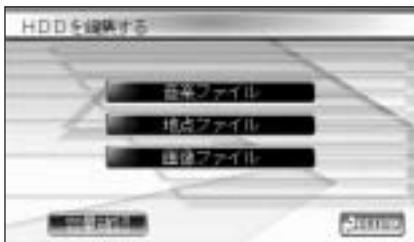
- 作成できるフォルダの階層は、音楽ファイル、画像ファイルとも7階層までです。
- 手順1で、**地点ファイル** は選択できません。地点ファイル用のフォルダは作成できません。
- 手順2で、**+** を選択すると、1階層上のフォルダがカレントフォルダ（操作対象とするフォルダ）になります。
また、フォルダを選択すると、そのフォルダがカレントフォルダになり、フォルダ名が最上段に表示されます。

● ファイルの削除

ハードディスクに保存されているファイルを削除します。



1 編集するファイル項目を選択します。



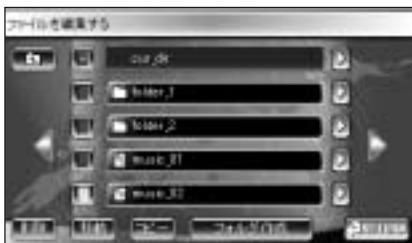
2 ファイル名またはフォルダ名の左側にあるインジケーター  を選択することによって、ファイルまたはフォルダを選択します。



フォルダを選択した場合は、選択したフォルダ内のファイルリストからファイルを選択します。目的のファイルまたはフォルダが表示されるまで  を選択します。複数のファイルを選択できます。

 **hint** ・ フォルダを選択後、元のフォルダ階層に戻る場合は  を選択します。

3  を選択します。

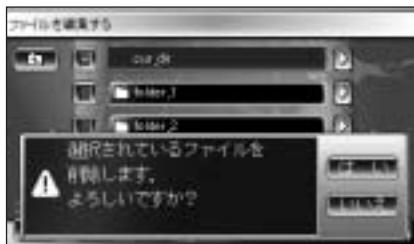


  次のページへ

6

各種の設定をする

4 確認画面で **はい** を選択します。



選択したファイルが削除されます。



- ・ ファイルの削除中に本機の電源をオフにしないでください。データが破損する場合があります。
- ・ 削除したファイルを元に戻す方法はありません。間違いのないように、慎重に操作してください。



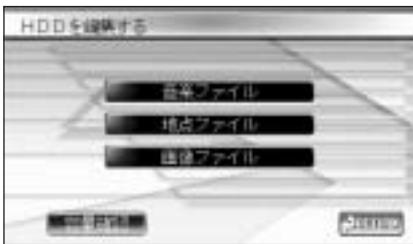
- ・ 手順2で **上** を選択すると、1階層上のフォルダがカレントフォルダ（操作対象とするフォルダ）になります。
また、フォルダを選択すると、そのフォルダがカレントフォルダになり、フォルダ名が最上段に表示されます。
- ・ 手順4で削除中の画面が表示されているときに、**中止** を選択するとファイルの削除を中止します。
- ・ 画像ファイルの“アニメサファイヤ”と“アクアシーン”は削除できません。

ファイルの移動 / コピー

ハードディスクに保存された音楽ファイルまたは画像ファイルを、別のフォルダに移動、コピーします。



- 1 **音楽ファイル** または **画像ファイル** を選択します。



- 2 ファイル名またはフォルダ名の左側にあるインジケータ  を選択することによって、ファイルまたはフォルダを選択します。



フォルダを選択した場合は、選択したフォルダ内のファイルリストからファイルを選択します。目的のファイルまたはフォルダが表示されるまで  を選択します。複数のファイルを選択できます。



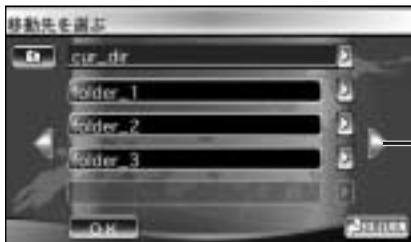
・ フォルダを選択後、元のフォルダ階層に戻る場合は  を選択します。

- 3 **移動** または **コピー** を選択します。



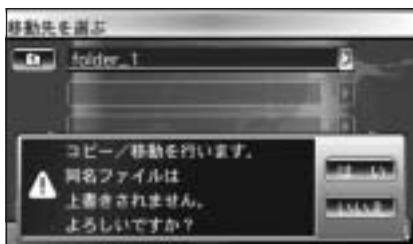
  次のページへ

4 移動先またはコピー先のフォルダを選択します。



目的のフォルダが表示されるまで
◀▶を選択します。

5 確認画面で **はい** を選択します。



ファイルの移動またはコピーが行われます。

Finish



- ・ ファイルの移動中またはコピー中に本機の電源をオフにしないでください。データが破損する場合があります。



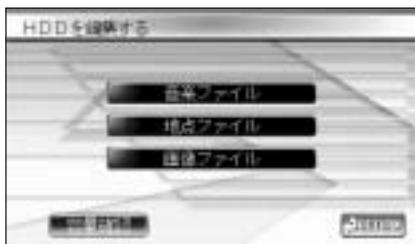
- ・ 手順2または4で **+** を選択すると、1階層上のフォルダがカレントフォルダ（操作対象とするフォルダ）になります。また、フォルダを選択すると、そのフォルダがカレントフォルダになり、フォルダ名が最上段に表示されます。
- ・ 手順5でコピー中の画面が表示されているときに、**中止** を選択するとファイルの移動またはコピーを中止します。
- ・ ハードディスクに保存されている音楽ファイルをメモリースティックに移動またはコピーすることはできません。
- ・ 移動先またはコピー先の同名のファイルがある場合には、それらは上書きされません。

地点ファイルのメモリスティックへの保存

ハードディスクに保存した地点ファイルをメモリスティックに保存します。



1 **地点ファイル** を選択します。



2 ファイル名の左側に表示されているインジケータ  を選択することによって、ファイルを選択します。選択するとインジケータが点灯します。



目的のファイルまたはフォルダが表示されるまで  を選択します。複数のファイルを選択できます。

3 **HDD→MSへ保存** を選択します。

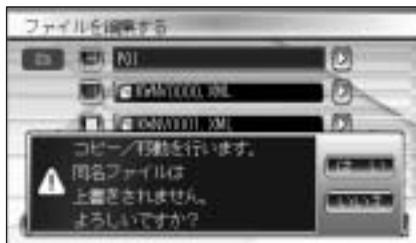


6

各種の設定をする

▶▶ 次のページへ

4 確認画面で **はい** を選択します。



メモリースティックに地点ファイルがコピーされます。



- ・メモリースティックにファイルを保存中にメモリースティックを取り外したり、本機の電源をオフにしないでください。データが破損する場合があります。



- ・ハードディスクに保存されている音楽ファイルと画像ファイルはメモリースティックにコピーできません。
- ・メモリースティックに同名のファイルがある場合はコピーされません。

オープニング画面とナビメニューの背景画面を設定する

本機の電源をオンにした時に表示されるオープニング画面の設定と [ナビ設定] メニュー画面の背景に表示される画像の設定を行います。



1  を選択します。



2 オープニング画面を設定する場合は項目を選択します。

 オープニング設定

オープニング画面を設定します(➡P.6-78)。



 メニュー背景設定

[ナビ設定]メニュー画面の背景画像を設定します(➡P.6-81)。

3 設定が終了したら  を選択します。

[データ管理] 画面に戻ります。

 Finish



- ・ 画像の設定を行うためには、あらかじめ使用する画像をハードディスクに読み込んでおく必要があります(➡P.6-62)。

6

各種の設定をする

① オープニング画面の設定

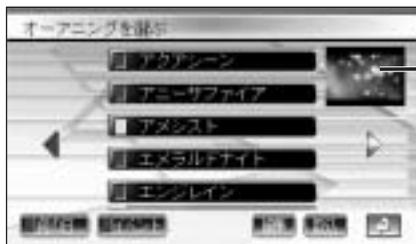
オープニング画面に表示される、背景画像、祝日などの記念日を表示する「何の日」表示、月ごとの画面変更やクリスマスなどのイベントを表示する「イベント」表示の設定を行います。



1 **オープニング設定** を選択します。



2 ハードディスク内の画像を利用したい場合は、**HDD** を選択します。画像を取り込む必要がない場合は手順5に進みます。



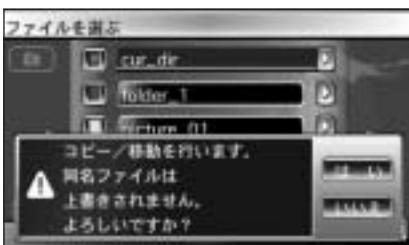
選択した画像の縮小表示を画面右上のプレビューで確認できます。

3 取り込む画像のボタンを選択します。



目的の画像が表示されるまで ◀▶ を選択します。
選択した画像を再度選択すると選択が解除されます。
複数の画像を選択できます。

4 確認画面で **はい** を選択します。

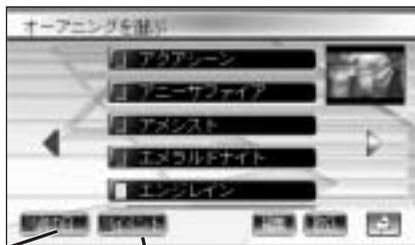


5 表示されているリストからオープニング画像を設定する場合は画像のボタンを選択します。



目的の画像が表示されるまで ◀▶ を選択します。

6 オープニング時の動作（「何の日」「イベント」）を設定する場合は次のボタンを選択します。



選択するとオープニング時に記念日などが表示されます。



選択すると各月ごとやイベントに対応したオープニング画面が表示されます。

7 を選択します。

[画像を設定する] 画面に戻ります。



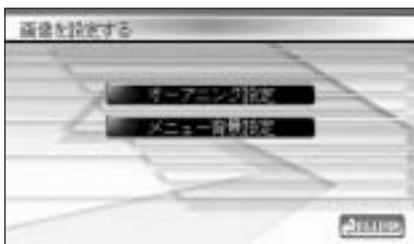
- ・ オープニングを選ぶ画面で、 を選択してインジケータを点灯させると、本機の電源をオンにするたびに、たとえば「子供の日」（5月5日）などの記念日を音声ガイドと画面表示でお知らせします。
 を選択してインジケータを点灯させると、各月ごとにオープニング画面を変えたり、「クリスマス」などのイベントの日にはその日用のオープニング画面が表示されます。
- ・ を選択すると、ファイルのコピー/移動（➡P.6-73）または削除（➡P.6-71）フォルダの作成（➡P.6-69）を行えます。
- ・ オープニング画面に使用する画像は、オープニング用のフォルダに保存しておいてください（➡P.6-67）。
- ・ 表示できる画像はJPEGフォーマットのみです。また、表示されるのは200ファイルまでです。201ファイル目以降の画像を表示したいときは、不要なファイルを削除するなどしてください。
なお、パソコンなどで編集した画像やJIS第1、第2水準以外の文字を使用したファイルは表示できない場合があります。

メニュー背景画面の設定

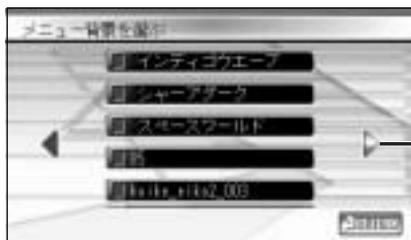
メニュー画面の背景として使用する画像を選択します。



1 **メニュー背景設定** を選択します。

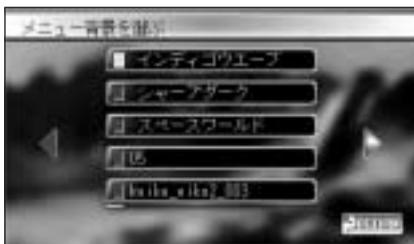


2 表示されているリストから背景画像を設定する場合は画像のボタンを選択します。



目的の画像が表示されるまで  を選択します。

3 **RETURN** を選択します。



[画像を設定する] 画面に戻ります。

6

各種の設定をする

Finish

Gracenote CDDBデータを更新する

CDの音楽データベースであるGracenote CDDBをメモリースティックまたはCD内のデータで更新します。



1  を選択します。



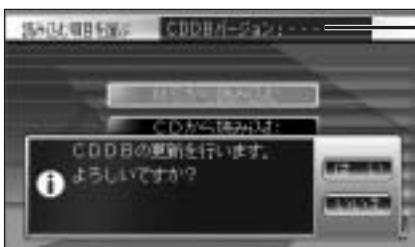
2 更新データの読み込み元を選択します。



メモリースティックで更新する場合には選択します。(HDV-910のみ)

CD-R/RWで更新する場合には選択します。

3  を選択します。



現在のGracenote CDDBバージョン情報を表示します。データが更新されると新しいバージョン情報が表示されます。

4  を選択します。
[データ管理] 画面に戻ります。



● Gracenote CDDBの更新データの入手方法

● メモリースティックを使用する場合（HDV-910のみ）

Music Cellar専用アプリケーションをパソコンにインストールします。

- 1 ナビゲーションシステムからMusic Cellarインストーラを書き出したメモリースティックをパソコンにセットします。
- 2 メモリースティックのルートディレクトリ\ms_kwdにある「SETUP.EXE」をダブルクリックします。
Music Cellarのインストーラが起動して、インストールが開始されます。
- 3 パソコンをインターネットに接続します。
- 4 Music Cellar専用アプリケーションを起動し、[サイト]をクリックします。
ウェブサイトのMusic Cellarサポートページが表示されるので、表示内容に従って更新データをダウンロードして取り込んでください。

● CD-R/RWを使用する場合

下記ウェブサイトのMusic Cellarサポートページより、更新データをダウンロードして取り込んでください。

インターネットURL <http://www.kenwood-musiccellar.com/index.html>



- ・ Gracenote CDDB更新には、数十分かかります。
その間、他の操作ができません。
- ・ Gracenote CDDB更新中は、電源を切らないでください。電源を切ると最初からやり直しになります。
- ・ 複数のGracenote CDDBアップデートファイルを1枚のメディアに書き込んだ場合は、古いファイルから順次更新していきます。1ファイルにつき数十分の更新時間がかかります。
- ・ 複数ファイルを更新中に電源を切ると、それまでに完了したファイルのみ有効になります。
Gracenote CDDBのバージョンが最新版になっていない場合は、再度更新の操作をしてください。

7 AV機能を使用する

ここでは、本機に装備されたAV（オーディオ／ビジュアル）機能の使い方について説明します。

ソースを選択する	P.7-2
AM/FM放送を受信する	P.7-4
DVD映像を再生する	P.7-9
音楽CDを再生する	P.7-19
音楽CDを録音する	P.7-25
MP3データを再生する	P.7-27
ハードディスク（HDD1/HDD）ソースを再生する	P.7-33
ハードディスク（HDD2）ソースを再生する	P.7-48
MDを再生する	P.7-54
テレビ放送を受信する	P.7-60
ビデオ／外付け装置の映像を表示する	P.7-68
交通情報を受信する	P.7-70
音響効果を設定する	P.7-71

ソースを選択する

 キーによりソースを切り替える方法または [AVソースセレクト] 画面でソースを選択する方法でソースを選択します。

キーによるソースの切り替え

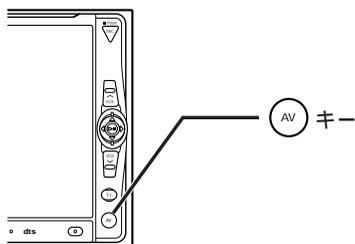
すべての画面で  キーを押すとソースが次の表の順序で切り替わります。各ソースの詳しい操作方法は参照ページをご覧ください。

ソース名	機能	参照ページ
STANDBY	すべてのソースがオフになります。	
TUNER	AM/FM放送の受信	P.7-4
DVD / CD / MP3	DVD、CD、MP3の再生	P.7-9、 P.7-19、 P.7-27
MD	MDの再生 (HDV-910のみ)	P.7-54
HDD1 (HDV-910) HDD (HDV-810)	CDからハードディスクに録音した音楽ソースの再生	P.7-33
HDD2	メモリースティックから読み込んだ音楽ソースの再生 (HDV-910のみ)	P.7-48
TV	テレビ放送の受信	P.7-60
VIDEO / AUX	外付けのビデオの再生、または外部音声入力 (AUX) の画面の表示	P.7-68

[AVソースセレクト] 画面でのソースの選択

AV機能の [AVソースセレクト] 画面から各ソースを直接選択できます。

1 [AVソースセレクト] 画面が表示されるまで  キーを1回または2回押します。



2 切り替えるソースを選択します。



リアモニター映像の選択（リアエンターテインメント）

DVD、TVまたはVIDEOソースを選択すると、接続しているリアモニターに選択したソースの映像を表示します。



- DVD、CD、MD（HDV-910のみ）のディスクを挿入すると各ソースに自動的に切り替わります。
- 本機で使用できるディスク形式は次のとおりです。

ソース表示	形式	参照ページ
DVD VIDEO	映像再生用DVD	P.7-9
CD	音楽CD	P.7-19
MP3	MP3データを収めたCD-ROM	P.7-27
MD	通常、LP2、LP4	P.7-54

- DVD、CD、MD（HDV-910のみ）がセットされていない場合は、DVD、CD、MDのボタンが無効になり選択できません。
- AV機能のメニュー画面が表示されている場合も、キーでソースを切り替えることができます。
- メニュー画面のを選択すると、データ管理を行うことができます。操作の詳細についてはP.6-60をご覧ください。
- HDD1/HDDまたはHDD2の再生中にを選択して、[HDD編集]画面にすると、HDD1/HDDまたはHDD2の再生は停止します。
- 機能設定でビデオ装置などの外部機器を「設定なし」または「リアビューカメラ」に設定すると、VIDEOまたはAUXのボタンは表示されません。
- 録音中はHDD1/HDDおよびHDD2のボタンが無効になり、選択できません。
- リアモニターにはナビゲーション映像は表示されません。
ナビ画面に切り替えても、リアモニターでは現在のソースを楽しむことができます。
- DVD、TVまたはVIDEOソース以外を選択中は、リアモニターには何も表示されません。



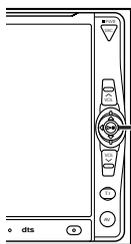
AM/FM放送を受信する

AM/FM放送の選局やプリセットは、TUNERソースの[AVコントロール]画面から行います。

1 次のいずれかの操作でTUNERソース画面を表示します。

- ・ **AV** キーを1回（AVソース画面表示時）または2回（ナビ画面表示時）押して[AVソースセレクト]画面を表示し **TUNER** を選択する。
- ・ TUNERソース画面が表示されるまで **POWER SRC** キーを繰り返し押す（ナビ画面表示時は最初に **AV** キーを1回押す）。

2 AMまたはFM放送を選択します。



十字キーを上を押すとFM放送、下を押すとAM放送が受信されます。ここでは説明のためにFM放送を受信します。

3 受信したい放送局を選局します。

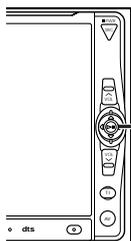
選局方式はプリセットボタンによる選局と十字キーによる手動選局の2通りがあります。

・プリセットボタンによる選局



プリセットボタンには、受信周波数、放送局名が表示されています。プリセットボタンのセット方法の詳細についてはP.7-7をご覧ください。

・十字キーによる手動選局



十字キーを左右に押して選局します。チューニング動作は **SEEK** で変更できません（→P.7-6）。



- ・ FM放送受信時にステレオ放送の受信状態がよくない場合に、を選択してモノラル音声に切り替えると、雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。
- ・ 現在地によっては異なった放送局名が表示されたり、放送局名が表示されないことがあります。



選局時の動作モード変更

十字キーで選局する場合、SEEK（検索）モードを変更することによって、選局操作方法を変更できます。

 この操作までの流れ  AM/FM放送を受信 (➡P.7-4)

1 **SEEK** を選択し、SEEKモードを切り替えます。



・ SEEKモードによる選局動作の違いは次のとおりです。

モード	動作
AUTO	次に受信可能な放送局が自動的に選局されます。
PRESET	プリセットボタンにセットされた放送局が順に選局されます。
MANUAL	十字キーを押している間、受信周波数が連続して変更されるので、放送局が選局された所で十字キーを離します。

放送局のプリセット

放送局のプリセットは、受信エリアに対応した放送局の自動セット、オートメモリーによる自動セット、手動操作によるセットの3通りの方法で行います。

 この操作までの流れ ▶▶ AM/FM放送を受信 (▶P.7-4)

● エリアメモリーによるプリセット

現在地付近の放送局のリストから、放送局を一度にプリセットする場合は、**AREA** を選択します。



受信エリアの放送局がプリセットされると「AREA」と表示されます。

● オートメモリーによるプリセット

受信可能な放送局を自動選局し選局順にプリセットする場合は、**AME** を約2秒押します。



AV機能を使用する

● マニュアルメモリーによるプリセット

手動選局した放送局をプリセットする場合は、プリセットするボタンに受信中の放送局周波数が表示されるまでボタンを押し続けます。



セットが完了すると、ボタンに受信周波数が表示されます。



- ・ **AREA** でプリセットされる放送局は、ナビの現在地がある受信エリアの放送局です。なお、現在地によっては、6局分表示されないことがあります。
- ・ 現在地周辺の放送局をプリセットすると、ボタンに放送局名が表示されます。
- ・ エリアメモリーまたはオートメモリー中はプリセットメモリーができません。
- ・ プリセットできる放送局の数はエリアメモリーでプリセットした6局と、オートメモリーまたはマニュアルメモリーでプリセットした6局の合計12局です。 **AREA** でプリセットした局の切り替えができます。

DVD映像を再生する

DVD映像を再生するときは次の操作で行います。

● DVDディスクが挿入されていない場合

DVDを挿入するだけでソースが自動的に切り替わり、映像が再生されます。

1 レーベル面を上にしてDVDを挿入します。



- ・すでにディスクがセットされているときに別のディスクを挿入しないでください。ディスクに傷が付く場合があります。

2 「再生中の操作方法」(→P.7-10)に従って操作してください。



- ・オープニング画面中はDVDを挿入してもソースが切り替わらないことがあります。

● DVDディスクが挿入されている場合

DVDが挿入されている場合は次の操作でDVDを再生します。

1 次のいずれかの操作でDVDソース画面を表示します。

- ・  キーを1回 (AVソース画面表示時) または2回 (ナビ画面表示時) 押して [AVソースセレクト] 画面を表示し  を選択する。
- ・ DVDソース画面が表示されるまで  キーを繰り返し押す (ナビ画面表示時は最初に  キーを1回押す)。

2 「再生中の操作方法」(→P.7-10)に従って操作してください。



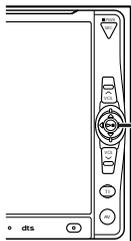
- ・「視聴制限の設定」(→P.8-18)で設定したレベルより厳しいレベルのディスクを再生しようとする、パスワードの入力を要求する画面が表示される場合があります。再生する場合はパスワードを入力してください。



AV機能を使用する

● 再生中の操作方法

再生中は十字キーで一時停止/再生の切り替え、チャプターの変更を行います。



DVDの再生中画面では十字キーの機能が常に使用できます。

十字キーを押す方向によって次の操作ができます。

キーを押す方向	操作
	再生 / 一時停止 (ポーズ) が切り替わります。
	無効
	(再生中) 前後のチャプターに切り替えます。 押し続けると早送り / 早戻しされます。
	(ポーズ中) 1画面ずつコマ送りされます。



- ・ 走行中の安全のため、走行中にDVDの映像を再生すると次の画面が表示されます。



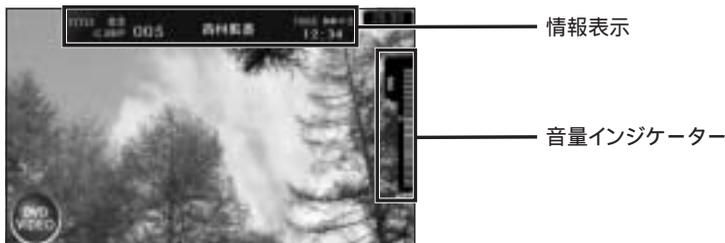
- ・ リージョン番号が「2」または「ALL」以外のDVDは再生できません。

再生中の設定画面の表示

再生中のDVDの設定操作は設定画面に切り替えて行います。

この操作までの流れ ▶ DVDを再生 (▶P.7-9)

1 再生中の画面の任意の部分タッチします。



2 ボタンを選択して設定操作を行います。



- ・ 情報表示と音量インジケータは同時に表示されません。
- ・ 情報表示が表示されているときに、画面の任意の部分タッチすると情報表示が消えます。再度、画面の任意の部分タッチすると設定画面に切り替わります。

7

A
V
機
能
を
使
用
す
る

▶▶ 次のページへ

DVD映像を再生する：再生中の設定画面の表示

各ボタンの機能は次のとおりです。

ボタン	機能	参照ページ
	[AVコントロール] 画面が表示されます。	P.7-14
	DVDメニューの表示と選択を行う画面が表示されます。	P.7-15
	DVD映像の移動とズームの設定画面が表示されます。	P.7-17
	DVDのタイトルサーチ画面が表示されます。	P.7-18
	[DVDイージーコントロール] 画面が表示されます。	P.7-13
	複数言語の字幕が記録されているときに、選択するたびに字幕の言語が切り替わります。	-
	複数言語の音声記録されているときに、選択するたびに再生音声の言語が切り替わります。	-
	 マークが表示されている画面で選択すると、画面表示のアングルが切り替わります。	-

3 画面中央付近を選択すると再生画面に戻ります。



- 再生画面の情報表示や音量インジケータは操作を行ったときだけ表示されます。実際の再生画面では両方同時に表示されることはありません。
- 走行中の安全のため、走行中にDVDの映像を再生すると次の画面が表示されます。



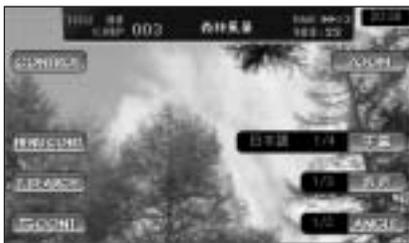
- 走行中は音響効果 (➡ P.7-71) は設定できません。
- ディスクや再生位置によっては操作できない機能があります。詳しくはディスクのマニュアルをご覧ください。

DVDの再生コントロール

再生中に停止、早送り、スロー再生などの操作を行うときは、設定画面を [DVD イージーコントロール] 画面に切り替えて行います。

この操作までの流れ ▶ DVDを再生 (▶P.7-9) ▶ 画面の任意の部分を選択

1 **とCONT** を選択します。



2 ボタンを選択してDVDの停止、早送り、スロー再生などの操作を行います。



イーザーコントロールボタン

各ボタンの機能は次のとおりです。

ボタン	機能
	再生方向と逆に3段階のスピードで倍速再生します。押すたびに再生速度が変わります。
	再生方向に3段階のスピードで倍速再生します。押すたびに再生速度が変わります。
	一時停止 (ポーズ) します。
	再生します。
	停止します。
	再生方向に3段階のスピードでスロー再生します。押すたびに再生速度が変わります。

3 **とCONT** を選択します。

[DVD イージーコントロール] 画面が解除されます。



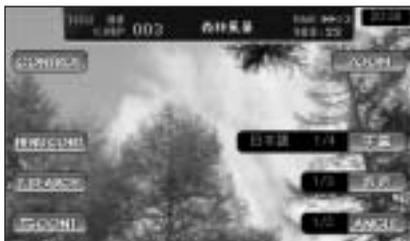
・ **とCONT** を選択すると、[AVコントロール] 画面が表示されます。

DVDのリピート再生設定

映像または音楽のリピート再生を設定します。

この操作までの流れ ▶ DVDを再生(▶P.7-9) ▶ 画面の任意の部分を選択

1 **CONTROL** を選択します。



2 ボタンを選択して映像または音楽のリピート再生を設定します。
・DVD VIDEOの場合



各ボタンの機能は次のとおりです。

ボタン	機能
C.REP	現在のチャプターを繰り返し再生します。もう一度選択するとリピート再生が解除されます。
T.REP	現在のタイトルを繰り返し再生します。もう一度選択するとリピート再生が解除されます。

3 **EXIT** を選択すると再生画面に戻ります。

Finish



- ・「タイトル」とは、DVDビデオディスクに保存されている映像や曲を区切る最も大きな単位のことです。また、「チャプター」とはタイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位のことです。
- ・ディスクによってはリピート再生ができない場合があります。

DVDディスクメニューの表示と選択

ディスクメニューの表示、選択を行います。

この操作までの流れ ▶ DVDを再生 (▶P.7-9) ▶ 画面の任意の部分を選択

1 **MENU CONT** を選択します。



2 **TOP MENU** または **MENU** を選択します。



3 カーソルキーを選択するメニュー項目の上に移動し、**ENTER** を選択して確定します。



↑ ↓ ◀ ▶ :
カーソルキーを上下左右に移動します。
ENTER :
カーソルキーのある位置のメニューを確定します。

メニューで指定した映像が再生されます。



- 指定したタイトルの再生中に **STOP/RETURN** を選択すると、ディスクで決められた位置にジャンプします。ただし、ディスクによっては無効な場合があります。

▶ ▶ 次のページへ

7
AV機能を使用する

4

 を選択すると設定画面に戻ります。



- ・ 画面のボタンがメニューに重なって選択しにくい場合は、 を選択するとボタンの位置が左右反対に切り替わります。



DVD映像のズーム

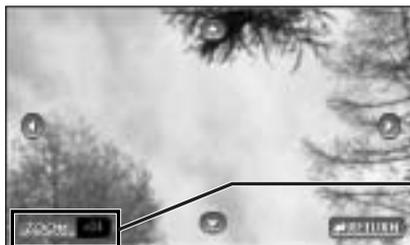
DVD映像のズームを行います。

この操作までの流れ ▶ DVDを再生 (▶P.7-9) ▶ 画面の任意の部分を選択

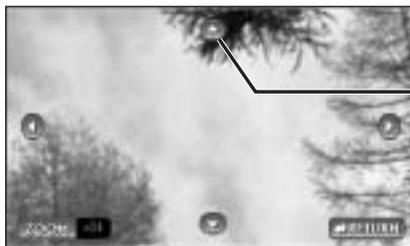
1 **ZOOM** を選択します。



2 **ZOOM** を選択して画面をズームします。



3 **↑ ↓ ← →** を選択して画面を上下左右にスクロールします。



4 **RETURN** を選択すると設定画面に戻ります。

Finish



- ・ズーム中は**RETURN** を選択できません。
- ・"ZOOM OFF"のときは、画面スクロールができません。

7
AV機能を使用する

DVDのタイトルサーチ

指定した番号のタイトルを再生します。

この操作までの流れ ▶ DVDを再生 (▶P.7-9) ▶ 画面の任意の部分を選択

1 **T. SEARCH** を選択します。



2 ボタンを選択してDVDタイトルを検索します。



サーチナンバー指定
サーチしたいタイトルナン
バーを入力し、**ENTER**
を選択します。



・ ディスクにないタイトルナンバーを指定するとサーチしません。

ボタン	機能
サーチナン バー指定	← → 10 10 : 右上 TITLE# 欄のタイトルナンバーを増減 します。
ENTER	指定したナンバーのタイトルを再生します。

3 **RETURN** を選択すると、設定画面に戻ります。



音楽CDを再生する

音楽CDを再生するときは次の操作で行います。AV画面では、音楽データベースのGracenote CDDbで検索したアルバム情報が表示されます。

● CDが挿入されていない場合

音楽CDを挿入するだけでソースが自動的に切り替わり、曲の再生が始まります。

1 レーベル面を上にしてCDを挿入します。



- ・すでにディスクがセットされている時に別のディスクを挿入しないでください。ディスクに傷が付く場合があります。

2 「再生中の操作方法」(→P.7-20)に従って操作してください。



- ・オープニング画面中はCDを挿入してもソースが切り替わらないことがあります。

● CDが挿入されている場合

CDが挿入されている場合は次の操作でCDを再生します。

1 次のいずれかの操作でCDを再生します。

- ・  キーを1回(AVソース画面表示時)または2回(ナビ画面表示時)押し、 を選択する。
- ・ CDが再生されるまで  キーを繰り返し押す。

2 「再生中の操作方法」(→P.7-20)に従って操作してください。

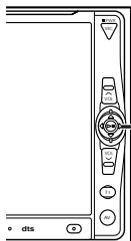


AV機能を使用する

●再生中の操作方法

1 ナビ画面が表示されている場合は  キーを押して [CDコントロール] 画面を表示します。

2 十字キーで一時停止/再生の切り替え、再生トラックの変更を行います。



中央を押すと、再生 / 一時停止 (ポーズ) が切り替わります。



↑ ↓ 使用しません



← → 前後のトラック(曲)に切り替えます。
前のトラック(曲)に切り替えるときは2回押します。押し続けると早送り / 早戻しされます。



再生中のアルバムのタイトル、曲名、アーティスト名がGracenote CDDDBで検索され、表示されます。

3 Gracenote CDDDBでタイトルの候補が複数検索された場合は、メッセージが表示されます。



- 4 表示されているタイトルが正しくない場合は **♪別候補** を選択してタイトルを変更します。



タイトルが長すぎるために一部が表示されない場合は、タイトルの左ボタン (**DISC** など) を選択すると、タイトルをスクロールして残りの部分を表示できます。

- 5 表示されるタイトル一覧から該当するタイトルを選択します。最初に過去に録音したことがあるタイトル一覧が表示されます。該当するタイトルがない場合は **該当なし** を選択すると、オリジナルのGracenote CDDDBのタイトル一覧が表示されます。



該当するタイトルを選択すると、タイトル表示が切り替わります。

選択したアルバム情報が表示されます。

Finish



- 再生中の十字キーによる操作はすべての画面で行えます。
- 他のソースに切り替えたり、一時停止操作をしない限り、CDの最後の曲まで再生が終わると、最初の曲に戻って繰り返し再生します。
- 正しいタイトル表示がされない場合は **該当なし** を押して表示を消すことができます。
- 検索されたタイトルが一つの場合でも複数候補リストが表示されます。**該当なし** を選択することで、"No Title"に変更できます。
- ディスクによっては再生まで時間がかかることがあります。
- CDまたは曲によって取得できない情報があります。
- 同一タイトルが複数検索される場合があります。正しいと思われるタイトルを選択してください。



AV機能を使用する

CDのいろいろな再生機能

スキャン再生、ランダム再生、リピート再生の3つの再生機能があります。

この操作までの流れ ▶ CDを再生 (▶P.7-19) ▶ (AV) を1回 (ナビ画面表示時)

スキャン再生

曲の先頭の部分を10秒間だけ順番に再生し、目的の曲を探します。

1 **SCAN** を選択します。



スキャン再生中は「SCAN」と表示されます。

曲の先頭10秒間が次々に再生されます。

2 目的の曲を見つけたら **SCAN** を再度選択します。
選択した曲が再生されます。



すべての曲のスキャン再生が終了するとスキャンは解除されます。

ランダム再生

CD内のすべての曲をランダムに再生します。

1 **RDM** を選択します。



ランダム再生中は「RDM」と表示されます。

2 ランダム再生を中止する場合は **RDM** を再度選択します。



・ランダム再生中は、ボイスコントロールによるダイレクト選曲はできません。

リピート再生

再生中の曲を繰り返し再生します。

1 **REP** を選択します。



リピート再生中は「REP」と表示されます。

2 リピート再生を中止する場合は **REP** を再度選択します。



AV機能を使用する

トラックリストからの選曲

トラック（曲）のリストから直接選曲します。

この操作までの流れ ▶ CDを再生（▶P.7-19）▶  を1回（ナビ画面表示時）

1  を選択します。



2 目的の曲名をリストに表示させます。



 を選択すると、現在再生中の曲を含むページのリストに戻ります。

現在再生中の曲を表示します。

  を選択すると、リストのページ切り替えができます。

3 目的の曲名を選択します。

選択した曲の再生が始まります。

4  を選択すると [CDコントロール] 画面に戻ります。

Finish



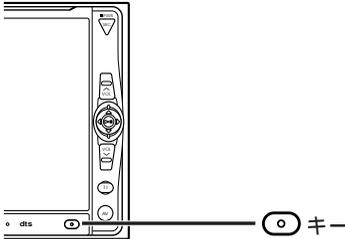
- ・ 選択した曲の再生が終了すると、次の曲の再生が始まります。選択した曲を繰り返し再生したい場合は、[CDコントロール]画面でリピート再生（▶P.7-23）を設定してください。
- ・ 表示されたタイトルが正しくない場合は  を選択してタイトルを変更できます。  は一つ以上のタイトルが検索されたときのみ表示されます。
- ・ スキャン再生中にトラックリストからの選曲を行うと、スキャン再生は解除されます。
- ・ ランダム再生中はトラックリストからの選曲ができません。

音楽CDを録音する

音楽CDの曲をハードディスクに録音します。ハードディスクに録音した曲はHDD1/HDDソースとして再生することができます(⇒P.7-33)。

 この操作までの流れ ▶ CDを再生(⇒P.7-19) ▶  を1回(ナビ画面表示時)

1  キーを押します。



2 録音するトラック(曲)を選択します。



  を選択すると、リストのページ切り替えができます。

選択した曲名には選択マークが表示されます。



- トラックを選択すると、画面右上の録音可能時間がトラックの録音時間の分だけ減少します。録音可能時間がゼロにならないように選曲してください。録音可能時間は目安です。録音完了後、録音可能時間が増減することがあります。

-  を選択すると既に録音済みの曲を除く全曲が選択されます。  を選択すると全曲の選択状態が解除されます。
- 走行中は振動により、ハードディスクに録音できない場合があります。
- 正しいタイトル表示がされないときは、  を選択してタイトル一覧

から別のタイトルを選ぶが、該当するタイトルがない場合は  を選択してください。

- 本機に収録されているデモ音楽は、削除しても支障ありません。削除することで、録音可能時間が約80分増えます。

3  または  を選択します。

 を選択した場合は曲を再生しながら録音が行われます。

 を選択した場合は標準の約2~3倍の速さで録音します。録音速度はナビの動作状態などにより変化します。録音中は、 表示となり、曲



AV機能を使用する

は再生されません。

- 4 録音中のトラックだけをキャンセルしたいときは **SKIP** を選択し、録音を中止したいときは **中止** を選択します。確認メッセージが表示されたら **はい** を選択します。



トラックの録音状態がマークで表示されます。マークの表示内容は下表のとおりです。

RECインジケーター

状態表示	表示内容
	録音が完了したことを示します。
	録音をスキップしたことを示します。
	現在録音中のトラックであることを示します。
	録音中にエラーが発生し録音できていないことを示します。
	これから録音されるトラックです。曲の再生時間が表示されます。

- 5 録音が終了したらメッセージが表示されます。 を選択すると [Finish] コントロール] 画面に戻ります。



- 録音を始める前に「録音についての注意」(▶P.xviii)をご覧ください。
- 録音中にACCをオフにした場合は、次にACCをオンにしたときに同じ曲から録音が再開されます。
- 録音中に キーを押すと、録音確認画面が表示されます。
- 録音を途中で中止しても、すでに録音済みの曲は保存されます。録音途中の曲は消去されます。
- 録音中はRECインジケーターが点灯します。
- 録音中もナビ画面や他のソースに切り替えることができます。
- 録音を途中で中止して再度録音をする場合は、同じCDのすでに録音済みの曲は録音されません。
- 本機はSCMS(シリアルコピーマネジメントシステム)に対応していません。CDレコーダなどでデジタル録音された複製ディスクを録音することはできません。録音しようとする、 と表示されます。
- MP3ファイル、およびDVDから録音することはできません。
- 一部のディスクは、正常に録音および再生ができない場合があります。
- 標準で録音を開始しても、他のソースに切り替えると高速に切り替わりします。

MP3データを再生する

MP3形式の音楽ファイルを記録したCD-ROM（CD-RまたはCD-RW）を再生するときは次の操作で行います。

● CD-ROMが挿入されていない場合

CD-ROMを挿入するだけでソースが自動的に切り替わり、音楽が再生されます。

1 レーベル面を上にしてCD-ROMを挿入します。



- ・すでにディスクがセットされているときに別のディスクを挿入しないでください。ディスクに傷が付く場合があります。

2 「再生中の操作方法」(→P.7-28)に従って操作してください。



- ・オープニング画面中はCD-ROMを挿入してもソースが切り替わらないことがあります。

● CD-ROMが挿入されている場合

CD-ROMが挿入されている場合は次の操作でCD-ROMを再生します。

1 次のいずれかの操作でCD-ROMを再生します。

- ・  キーを1回（AVソース画面表示時）または2回（ナビ画面表示時）押して [AVソースセレクト] 画面を表示し  を選択する。
- ・ CD-ROMが再生されるまで  キーを繰り返し押す。

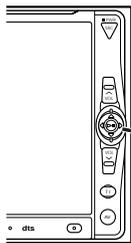
2 「再生中の操作方法」(→P.7-28)に従って操作してください。



AV機能を使用する

●再生中の操作方法

1 十字キーで一時停止/再生の切り替え、再生ファイルの変更を行います。



中央を押すと、再生 / 一時停止(ポーズ)が切り替わります。



現在再生中のフォルダの前[↓]または後[↑]のフォルダ内の先頭のファイルから再生します。



前後のファイルの再生に移ります。前のファイルを再生するときは2回押します。押し続けると早送り / 早戻しされます。



再生中のファイルのフォルダ名、ファイル名、曲名、アーティスト名などが表示されます。

タイトルが長すぎるために一部が表示されない場合は、タイトルの左ボタン(**TITLE** など)を選択すると、タイトルをスクロールして残りの部分を表示できます。

Finish



- 再生中の十字キーによる操作はすべての画面で行えます。
- 他のソースに切り替えたり、一時停止操作をしない限り、CDの最後の音楽ファイルまで再生が終わると、最初のフォルダの最初のファイルに戻って繰り返し再生します。
- ファイルフォーマットに異常のあるMP3データは再生されません。
- ディスクによっては再生するまでに時間がかかることがあります。
- タイトルの表示内容

ボタン	機能
FOLDER	フォルダ名を表示します。
FILE	ファイル名を表示します。
TITLE	ID3-Tag情報のタイトル名を表示します。
ALBUM	ID3-Tag情報のアルバム名を表示します。
ARTIST	ID3-Tag情報のアーティスト名を表示します。

MP3のいろいろな再生方法

スキャン再生、ランダム再生、リピート再生、フォルダリピート再生の4つの再生機能があります。

この操作までの流れ ▶ CD-ROMを再生 (▶P.7-27) ▶  を1回 (ナビ画面表示時)

スキャン再生

音楽ファイルの先頭の部分を10秒間だけ順番に再生し、目的のファイルを探します。

1 **SCAN** を選択します。



スキャン再生中は「SCAN」と表示されます。

ファイルの先頭10秒間が次々に再生されます。

2 目的のファイルを見つけたら、**SCAN** を再度選択します。
選択したファイルが再生されます。

Finish



- 再生中のフォルダ内のファイルのみスキャン再生します。
- フォルダ内のすべての音楽ファイルのスキャン再生が終了すると、スキャンは解除されます。

7

AV機能を使用する

ランダム再生

CD-ROM内のすべてのファイルをランダムに再生します。

1 **RDM** を選択します。



ランダム再生中は「RDM」
と表示されます。

2 ランダム再生を中止する場合は **RDM** を再度選択します。



- ・再生中のフォルダ内のファイルのみランダム再生します。
- ・ランダム再生中は、ボイスコントロールによるダイレクト選曲はできません。

リピート再生

ファイルを繰り返し再生します。2通りのリピート再生機能を切り替えることによって、1ファイルのみ、またはフォルダ別に繰り返し再生できます。

リピート再生機能	内容
REP	再生中のファイルを繰り返し再生します。
F.REP	再生中のフォルダ内のファイルを順に繰り返し再生します。

- 1** 目的のリピート再生機能を選択します。 **REP** または **F.REP** を選択します。



選択したリピート再生機能を示す「REP」、「F.REP」のいずれかが表示されます。

- 2** リピート再生を中止する場合は、再度 **REP** または **F.REP** を選択します。

Finish

7

AV機能を使用する

ファイルリストからの選曲

ファイルリストから直接選曲します。

この操作までの流れ ▶ CD-ROMを再生 (▶P.7-27) ▶ (AV) を1回 (ナビ画面表示時)

1 (≡) を選択します。



2 目的のファイルが収納されているフォルダを選択します。



再生中のファイルを含むフォルダ内のリストが表示されます。
(≡) を選択すると、1つ上の階層のフォルダ内が表示されます。

(◀) (▶) を選択すると、リストのページ切り替えができます。



- ・ ファイルの再生中にリストから別のフォルダを選択してもそのフォルダ内のファイルは表示されません。そのような場合は、(≡) を選択するとリストが表示され、フォルダの最初の曲が再生されます。

3 目的のファイル名をリストから選択します。

選択したファイルの再生が始まります。

4 (▶) を選択すると [MP3コントロール] 画面に戻ります。

Finish



- ・ スキャン再生中にファイルリストからの選曲を行うと、スキャン再生は解除されます。
- ・ ランダム再生中はファイルリストからの選曲はできません。

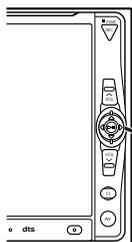
ハードディスク (HDD1/HDD) ソースを再生する

HDD1/HDDソースでは音楽CDから録音した音楽ファイルが再生されます。音楽ファイルに付加されたアルバム (CDタイトルに相当)、トラック (曲に相当)、アーティストのデータに基づいて選曲することができます。

1 次のいずれかの操作で [HDD1/HDDソース] 画面を表示します。

- ・  キーを1回 (AVソース画面表示時) または2回 (ナビ画面表示時) 押して [AVソースセレクト] 画面を表示し  を選択する。
- ・ [HDD1/HDDソース] 画面が表示されるまで  キーを繰り返し押す (ナビ画面表示時は最初に  キーを1回押す)。

2 十字キーで一時停止/再生の切り替え、再生アルバム/トラックの変更を行います。



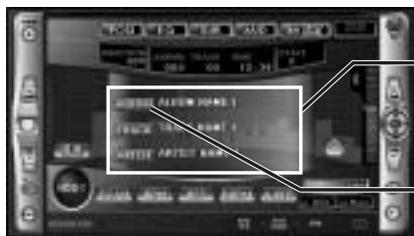
中央を押すと、再生/一時停止 (ポーズ) が切り替わります。



↑ 現在再生中のアルバムの前 ↓ または後 ↑ ↓ のアルバム内の先頭のファイルから再生します。



前後のトラックの再生に移ります。押し続けると現在再生中のトラックが早送り/早戻しされます。



再生中のファイルのアルバム名、トラック名、アーティスト名などが表示されます。

タイトルが長すぎるために一部が表示されない場合は、タイトルの左ボタン ( など) を選択すると、タイトルをスクロールして残りの部分を表示できます。

Finish



- ・ 再生中の十字キーによる操作はすべての画面で行えます。
- ・  を選択すると、アルバム情報などを編集することができます (→P.7-39)。
- ・ 早送りはトラックが切り替わると解除されます。早戻しは現在再生中のトラックの先頭までしかできません。
- ・ 他のソースに切り替えたり一時停止操作をしない限り、HDD1/HDDの最後のトラックまで再生が終わると、最初のトラックに戻って繰り返し再生します。

7

AV機能を使用する

HDD1/HDDのいろいろな再生機能

スキャン再生、ランダム再生、リピート再生の3つの再生機能があります。

この操作までの流れ ▶▶ HDD1/HDDを再生 (▶P.7-33) ▶▶ (AV) を1回 (ナビ画面表示時)

ランダム再生

トラックをランダムに再生します。

ランダム再生機能	内容
RDM	再生中のアルバムからランダムに再生します。
D.RDM	ハードディスク内の全曲からランダムに再生します。

1 目的のランダム再生機能の **RDM** または **D.RDM** を選択します。



選択したランダム再生機能を示す「RDM」、「D.RDM」のいずれかが表示されます。

2 ランダム再生を終了する場合は、再度 **RDM** または **D.RDM** を選択します。

Finish

リピート再生

トラックを繰り返し再生します。2通りのリピート再生機能を切り替えることによって、1曲のみ、アルバム別に繰り返し再生できます。

リピート再生機能	内容
	再生中の曲を繰り返し再生します。
	再生中のアルバム内の曲を順に繰り返し再生します。

- 1 目的のリピート再生機能を選択します。  または  を選択します。



選択したリピート再生機能を示す「REP」、「A.REP」のいずれかが表示されます。

- 2 リピート再生を中止する場合は、再度  または  を選択します。

Finish

7

AV機能を使用する



● スキャン再生

アルバム内のトラックの先頭の部分を10秒間だけ順番に再生し、目的のトラックを探します。

スキャン再生機能	内容
SCAN	アルバム内の全曲を順に10秒間だけ再生します。

1 **SCAN** を選択します。



選択したスキャン再生機能を示す「SCAN」が表示されます。

曲の先頭10秒間が次々に再生されます。

2 スキャン再生を中止し、見つけたトラックの再生を開始する場合は、**SCAN** を選択します。



- ・  (十字キー) を押してもスキャン再生を中止し、見つけたトラックの再生を開始します。

プレイリストによる再生

アーティスト名、アルバムタイトル、トラック名のリスト（プレイリスト）から再生する曲をグループ単位で選曲し再生します。

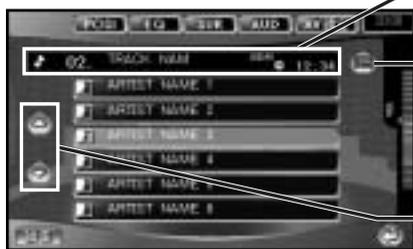
この操作までの流れ ▶ HDD1/HDDを再生（▶P.7-33） ▶ AV を1回（ナビ画面表示時）

1  を選択します。



まずトラックリストが表示され、別のアーティストやアルバムを選択したい場合にアーティストリストやアルバムリストを表示させます。

2  曲を再生するアーティスト名を選択します。



（アーティストリスト画面）

現在再生中のトラックを表示します。

 を選択すると、再生中のトラックが含まれるトラックリストの一覧が表示されます。

  を選択すると、リストのページ切り替えができます。

選択したアーティストのアルバムリストの一覧が表示されます。

7
AV機能を使用する

▶▶ 次のページへ

▶▶ ハードディスク (HDD1/HDD) ソースを再生する : プレイリストによる再生

3 手順2で選択したアーティストのアルバムを選択します。



(アルバムリスト画面)

 を選択すると、再生中のトラックが含まれるトラックリストの一覧が表示されます。

 を選択すると、[アーティストリスト]画面に戻ります。

 を選択すると、リストのページ切り替えができます。

選択したアルバムのトラックリストの一覧が表示されます。

4 手順3で選択したアルバム内のトラックを選択します。



(トラックリスト画面)

 を選択すると、再生中のトラックがリストに表示されます。

 を選択すると[アルバムリスト画面]に戻ります。

 を選択すると、リストのページ切り替えができます。

選択したトラックが再生されます。

5  を選択すると [HDD1/HDDコントロール]画面に戻ります。

Finish



- ・トラックを選択した時点で、再生する曲が切り替わります。
- ・スキャン再生中にプレイリストによる再生を行うと、スキャン再生は解除されます。

音楽情報データの編集

アルバム、トラックに付加する情報の編集を行います。

この操作までの流れ ▶ HDD1/HDDを再生 (▶P.7-33) ▶ **AV** を1回 (ナビ画面表示時)

1 **編集** を選択します。



・ **編集** はHDD1/HDDソースの [AVコントロール] 画面と [リスト] 画面で選択できます。

2 ボタンを選択して編集操作を行います。



3 **RETURN** を選択するとHDD1/HDDのコントロール画面または [リスト] 画面に戻ります。

● 編集項目一覧

次の編集操作が可能です。

編集項目	内容	参照ページ
ALBUM情報編集	アルバム名、アーティスト名および読みを修正します。	P.7-40
TRACK情報編集	トラック名、アーティスト名および読みを修正します。	P.7-44
ALBUM削除	アルバムを削除します。	P.7-43
TRACK削除	トラックを削除します。	P.7-46

7
AV機能を使用する



アルバム情報の編集

アルバム名、アーティスト名とその読みを設定します。

この操作までの流れ ▶ HDD1/HDDを再生 (▶P.7-33) ▶ を1回 (ナビ画面表示時) ▶

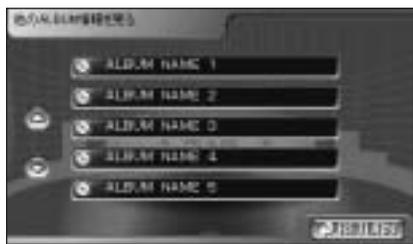
1 を選択します。



2 現在表示されているアルバムと違うアルバムを編集したい場合は を選択します。表示されているアルバムを編集する場合は手順4から操作します。



3 アルバムを選択します。



- 4 表示されているアルバムに関して、Gracenote CDDDBを検索してデータを設定する場合は **CDDB検索** を選択します。



- 5 検索されたデータから該当するアルバムを選択します。該当するデータがない場合は **該当なし** を選択します。



- 6 表示情報を変更する場合は **ALBUMNAME** を選択します。



- 7 アルバム名を入力して **OK** を選択します。



8 手順6と7を2箇所の **読み** と **ARTIST NAME** についても繰り返します。

9 **RETURN** を選択すると [MUSIC DATA 編集] 画面に戻ります。



- ・ 50音入力画面の詳細な使用方法についてはP.10-2をご覧ください。
- ・ アルバム名とアーティスト名の読みを設定しておく、音声入力でアルバム名またはアーティスト名を言うだけで曲を再生することができます。
- ・ ジャンルの表示は本機オリジナルの表記をしています。
- ・ 検索を行う前にGracenote CDDBの更新操作 (➡P.6-82) を行って、最新のデータで検索することをお勧めします。
- ・ ジャンル名と録音日を編集することはできません。
- ・ 曲が一曲も録音されていない場合は、 **削除** を選択できません。
- ・ 検索されたアルバムデータに該当するデータがなく、 **削除** を選択すると録音日のアルバム情報に変更されます。
- ・ 表示および入力できる文字数は全角15文字、半角30文字までです。
- ・ 再生中のトラックを含むアーティストのアルバム以外は編集できません。

アルバムの削除

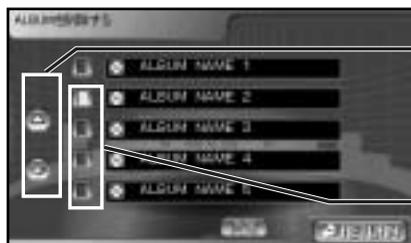
不要なアルバムを削除します。

この操作までの流れ ▶ HDD1/HDDを再生(▶P.7-33) ▶ **AV** を1回(ナビ画面表示時) ▶ 

1 **ALBUM 削除** を選択します。



2 削除するアルバムを選択します。



  を選択すると、リストのページ切り替えができます。

選択したアルバムには選択マークが表示されます。
選択したアルバムを再度選択すると、選択状態が解除されます。

3 **決定** を選択します。

4 削除するかどうかの確認が求められるので **はい** を選択します。
選択したアルバムが削除されます。

5 **RETURN** を選択すると [MUSIC DATA 編集] 画面に戻ります。

Finish



- ・ 中止する場合は **RETURN** を選択すると [MUSIC DATA 編集] 画面に戻ります。
- ・ 削除中は、HDD1/HDDの再生が停止します。
- ・ 削除が完了するまでに数十秒かかることがあります。
- ・ 削除中は電源を切らないでください。ハードディスク故障の原因となる場合があります。
- ・ 再生中のトラックを含むアーティストのアルバム以外は削除できません。

7
AV機能を使用する

トラック情報の編集

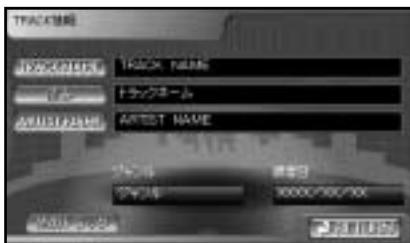
トラック名、アーティスト名とトラック名の読みを設定します。

 この操作までの流れ ▶ HDD1/HDDを再生 (→P.7-33) ▶  を1回 (ナビ画面表示時) ▶ 

1 **TRACK情報編集** を選択します。



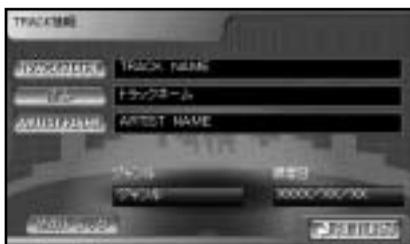
2 表示されているトラック (曲) と違うトラック (曲) を編集したい場合は **他のトラック** を選択します。表示されているトラックを編集する場合は手順4から操作します。



3 トラックを選択します。



4 **TRACK NAME** を選択します。



5 トラック名を入力して **OK** を選択します。



6 手順4と5を2箇所の **読み** と **ARTIST NAME** について繰り返します。

7 **RETURN** を選択すると [MUSIC DATA 編集] 画面に戻ります。

Finish



- ・ 50音入力画面の詳細な使用方法については、P.10-2をご覧ください。
- ・ トラック名とアーティスト名の読みを設定しておく、音声入力でトラック名またはアーティスト名を発声するだけで曲を再生することができます。
- ・ 曲が一曲も録音されていない場合は **無音** を選択できません。
- ・ 表示および入力できる文字数は全角15文字、半角30文字までです。
- ・ 再生中のトラックを含むアルバム内のトラック以外は編集できません。



AV機能を使用する

トラックの削除

不要なトラックを削除します。

この操作までの流れ ▶ HDD1/HDDを再生 (→P.7-33) ▶ **AV** を1回 (ナビ画面表示時) ▶ **変更**

1 **TRACK 削除** を選択します。



2 削除するトラックを選択します。



戻る **決定** を選択すると、リストのページ切り替えができます。

選択したトラックには選択マークが表示されます。
選択したトラックを再度選択すると、選択状態が解除されます。



・ **全選択** を選択するとすべてのトラックが選択されます。 **全解除** を選択するとすべての選択状態が解除されます。

3 **決定** を選択します。

4 削除するかどうかの確認が求められるので **はい** を選択します。
選択したトラックが削除されます。

5 **RETURN** を選択すると [MUSIC DATA編集] 画面に戻ります。

Finish



- ・ 中止する場合は **キャンセル** を選択すると [MUSIC DATA編集] 画面に戻ります。
- ・ 削除中は、HDD1/HDDの再生が停止します。
- ・ 削除が完了するまでに数十秒かかることがあります。
- ・ 削除中は電源を切らないでください。ハードディスク故障の原因となる場合があります。
- ・ 再生中のトラックを含むアルバム内のトラック以外は削除できません。



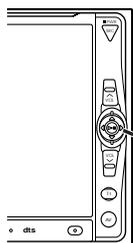
ハードディスク (HDD2) ソースを再生する

HDD2ソースでは、メモリースティックから読み込んだKENWOOD Sound Format (KSF) 形式の音楽データが再生されます。

1 次のいずれかの操作で [HDD2ソース] 画面を表示します。

- ・  キーを1回 (AVソース画面表示時) または2回 (ナビ画面表示時) 押し て [AVソースセレクト] 画面を表示し  を選択する。
- ・ [HDD2ソース] 画面が表示されるまで  キーを繰り返し押す (ナビ画面表示時は最初に  キーを1回押す)。

2 十字キーで一時停止/再生の切り替え、再生フォルダ/ファイルの変更を行います。



中央を押すと、再生 / 一時停止 (ポーズ) が切り替わります。



現在再生中のフォルダの前 [↓] または後 [↑] のフォルダ内の先頭のファイルから再生します。



前後のファイルの再生に移ります。押し続けると早送り / 早戻しされます。



再生中のファイルのフォルダ名、ファイル名、曲名、アーティスト名などが表示されます。

タイトルが長すぎるために一部が表示されない場合は、タイトルの左ボタン()などを選択すると、タイトルをスクロールして残りの部分を表示できます。

Finish



- ・再生中の十字キーによる操作はすべての画面で行えます。
- ・最大4階層までのフォルダ内のKSFデータが検索され、再生されます。
- ・ファイルフォーマットに異常のあるKSFデータは再生されません。
- ・本機で再生できるのは、KSF形式の音楽ファイルです。KSF形式の音楽ファイルを作成するソフト（Music Cellar）が本機に収録されています。
- ・ルート探索中は音楽ファイル（KSF）の再生が一時停止します。また、音楽ファイルの再生中には、ナビゲーションシステムの動作に影響を及ぼす場合があります。
- ・ を選択して、[データ管理]メニュー画面にした場合、再生ファイルの再生位置が先頭に戻ります。
- ・他のソースに切り替えたり、一時停止操作をしない限り、HDD2の最後の音楽ファイルまで再生が終わると、最初のフォルダの最初のファイルに戻って繰り返し再生します。



HDD2のいろいろな再生機能

スキャン再生、ランダム再生、リピート再生、フォルダリピート再生の4つの再生機能があります。

 この操作までの流れ ▶ HDD2を再生 (→P.7-48) ▶  を1回 (ナビ画面表示時)

スキャン再生

フォルダ内の音楽ファイルの先頭の部分を10秒間だけ順番に再生し、目的のファイルを探します。

1  を選択します。



スキャン再生中は「SCAN」と表示されます。

ファイルの先頭10秒間が次々に再生されます。

2 目的のファイルを見つけたら、 を再度選択します。
選択したファイルが再生されます。

Finish



- ・再生中のフォルダ内のファイルのみスキャン再生します。
- ・他のソースに切り替えると、スキャン再生は解除されます。

● ランダム再生

ADV-910

フォルダ内のすべてのファイルをランダムに再生します。

1 **RDM** を選択します。



ランダム再生中は「RDM」と表示されます。

2 ランダム再生を中止する場合は **RDM** を再度選択します。

Finish

7

AV機能を使用する

● リピート再生



ファイルを繰り返し再生します。2通りのリピート再生機能を切り替えることによって、1ファイルのみ、またはフォルダ別に繰り返し再生できます。

リピート再生機能	内容
	再生中のファイルを繰り返し再生します。
	再生中のフォルダ内のファイルを順に繰り返し再生します。

- 1** 目的のリピート再生機能を選択します。 または を選択します。



選択したリピート再生機能を示す「REP」、「F.REP」のいずれかが表示されます。

- 2** リピート再生を中止する場合は、再度 または を選択します。



ファイルリストからの選曲

ファイルリストから直接選曲します。

 この操作までの流れ ▶ HDD2を再生 (→P.7-48) ▶  を1回 (ナビ画面表示時)

1  を選択します。



2 リストのファイル名(またはフォルダ名)の左端にあるインジケータを選択して点灯させると、指定ファイル(またはフォルダ)が選択状態になり再生が始まります。



 を選択すると、現在再生中のファイルを含むファイルリストを表示します。

 を選択すると、1つ上の階層のフォルダ内が表示されます。

  を選択すると、リストのページ切り替えができます。

 を選択してインジケータを点灯すると、再生したいファイルの選択ができます。

3  を選択すると設定画面に戻ります。

Finish



- ・ 選択したファイルの再生が終了すると、次のファイルの再生が始まります。選択したファイルを繰り返し再生したい場合は、設定画面でリピート再生 (→P.7-52) を設定してください。

7
AV機能を使用する

MDを再生する

MDを再生するときは次の操作で行います。

● MDが挿入されていない場合

MDを挿入するだけでソースが自動的に切り替わり、音楽が再生されます。

1 レーベル面を上にしてMDを挿入します。

2 「再生中の操作方法」(➡P.7-55)に従って操作してください。



- ・ オープニング画面中はMDを挿入してもソースが切り替わらないことがあります。

● MDが挿入されている場合

MDが挿入されている場合は次の操作でMDを再生します。

1 次のいずれかの操作でMDを再生します。

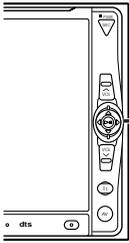
- ・  キーを1回 (AVソース画面表示時) または2回 (ナビ画面表示時) 押して [AVソースセレクト] 画面を表示し  を選択する。
- ・ MDが再生されるまで  キーを繰り返し押す。

2 「再生中の操作方法」(➡P.7-55)に従って操作してください。



● 再生中の操作方法

1 十字キーで一時停止/再生の切り替え、再生トラックの変更を行います。



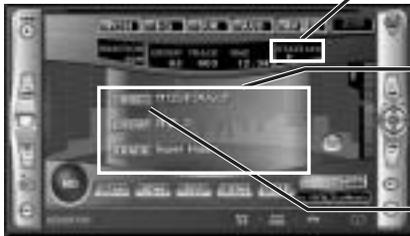
中央を押すと、再生 / 一時停止 (ポーズ) が切り替わります。



前後のグループに切り替えます。
↑ (MD GROUPの設定(→P.8-23)が ONのときにグループ対応ディスクを再生したとき)



前後のトラック(曲)に切り替えます。押し続けると早送り / 早戻しされます。



MDLP再生時にLP2またはLP4と表示されます。

再生中のMDのタイトル、曲名、アーティスト名が表示されます。

タイトルが長すぎるために一部が表示されない場合は、タイトルの左ボタン(**DISC** など)を選択すると、タイトルをスクロールして残りの部分を表示できます。

Finish



- ・ 再生中の十字キーによる操作はすべての画面で行えます。
- ・ 他のソースに切り替えたり、一時停止操作をしない限り、MDの最後の曲まで再生が終わると、最初の曲に戻って繰り返し再生します。

7

AV機能を使用する

MDのいろいろな再生機能

スキャン再生、ランダム再生、リピート再生、グループランダム再生、グループリピート再生の5つの再生機能があります。

 この操作までの流れ ▶ MDを再生 (▶P.7-54) ▶  を1回 (ナビ画面表示時)

スキャン再生

曲の先頭の部分を10秒間だけ順番に再生し、目的の曲を探します。



- ・ MD GROUPの設定 (▶P.8-23) がONのときはグループ内のトラックのみスキャン再生します。

1 **SCAN** を選択します。



スキャン再生中は「SCAN」と表示されます。

曲の先頭10秒間が次々に再生されます。



- ・ **GROUP** **GRP** はMD GROUPの設定 (▶P.8-23) がONのときに表示されます。

2 目的の曲を見つけたら、**SCAN** を再度選択します。
選択した曲が再生されます。

Finish

ランダム再生

MD内のすべての曲をランダムに再生します。

- 1 **RDM** を選択します。



ランダム再生中は「RDM」と表示されます。

- 2 ランダム再生を中止する場合は **RDM** を再度選択します。

Finish

リピート再生

再生中の曲を繰り返し再生します。

- 1 **REP** を選択します。



リピート再生中は「REP」と表示されます。

- 2 リピート再生を中止する場合は **REP** を再度選択します。

Finish

7

AV機能を使用する

● グループランダム再生



グループ内のトラックをランダムに選択し再生します。AV設定でグループ機能(→P.8-23)がONに設定されている場合だけ使用できます。

1 **G.RDM** を選択します。



ランダム再生中は「G.RDM」と表示されます。

2 グループランダム再生を中止する場合は**G.RDM**を再度選択します。



・ グループ対応ディスクを再生中でない場合は選択できません。

● グループリピート再生



グループ内のすべてのトラックを繰り返し再生します。AV設定でグループ機能(→P.8-23)がONに設定されている場合だけ使用できます。

1 **G.REP** を選択します。



リピート再生中は「G.REP」と表示されます。

2 リピート再生を中止する場合は**G.REP**を再度選択します。



・ グループ対応ディスクを再生中でない場合は選択できません。

トラックリストからの選曲

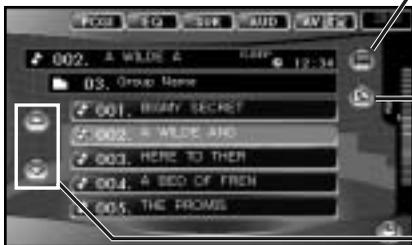
トラック（曲）のリストから直接選曲します。

この操作までの流れ ▶ MDを再生（▶P.7-54）▶ AV を1回（ナビ画面表示時）

1  を選択します。



2  目的の曲名をリストに表示させます。



 を選択すると、再生している曲を含むページが表示されます。

 を選択するとグループリストが表示されます。他のグループのトラックを再生するときはグループリストを表示させて、他のグループを選択します。

  を選択すると、リストのページ切り替えができます。

3  目的の曲名を選択します。
選択した曲の再生が始まります。

4  を選択すると [MDコントロール] 画面に戻ります。

Finish



- ・ 選択した曲の再生が終了すると、次の曲の再生が始まります。選択した曲を繰り返し再生したい場合は、[MDコントロール] 画面でリピート再生（▶P.7-57）を設定してください。

7
AV機能を使用する

テレビ放送を受信する

テレビ放送の選局やプリセットは、テレビ放送受信画面から行います。

1 次のいずれかの操作でTVソース画面を表示します。

- ・ **AV** キーを1回（AVソース画面表示時）または2回（ナビ画面表示時）押し
て[AVソースセレクト]画面を表示し  を選択する。
- ・ TVソース画面が表示されるまで  キーを繰り返し押す（ナビ画面表示時は
最初に **AV** キーを1回押す）。

2 画面の一部を選択します。



3 受信したいテレビ局を選局します。

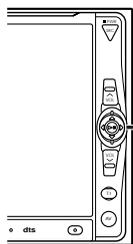
選局方式はプリセットボタンによる選局と十字キーによる手動選局の2通りがあります。

- ・ プリセットボタンによる選局



プリセットボタンには、チャンネル番号が表示されています。選択するとチャンネルをダイレクトに選局します。プリセットボタンのセット方法について詳しくはP.7-63をご覧ください。

・十字キーによる手動選局



十字キーを左右に押して選局します。
手動操作による選局動作は **SEEK** で
変更できます(→P.7-62)。



- ・ 走行中の安全を保つため、走行中はテレビの映像の代わりに次の画面が表示されます。



- ・ チャンネルは [TVコントロール] 画面でプリセットします。(→P.7-63)



選局時の動作モード変更

十字キーで選局する場合、SEEK（検索）モードを変更することによって、選局操作方法を変更できます。

この操作までの流れ ▶ テレビ放送を受信（▶P.7-60） ▶ 画面の一部を選択

1 **CONTROL** を選択します。



2 **SEEK** を選択し、SEEKモードを切り替えます。



3 を選択するとテレビ映像画面に戻ります。



SEEKモードによる選局動作の違いは次のとおりです。

モード	動作
AUTO	受信可能なテレビ局が自動的に選局されます。
PRESET	プリセットボタンにセットされたテレビ局が順に選局されます。
MANUAL	1チャンネルずつ変化します。

プリセットボタンのセット

プリセットボタンのセットは、受信エリアに対応したテレビ局の自動セット、オートメモリーによる自動セット、手動操作によるセットの3通りの方法で行います。

この操作までの流れ ▶ テレビ放送を受信 (▶P.7-60) ▶ 画面の一部を選択 ▶ **CONTROL**

エリアメモリーによるプリセット

現在地付近のテレビ局リストからテレビ局を一度にプリセットする場合は、**AREA** を押します。



受信エリアのテレビ局がプリセットされると「AREA」と表示されます。

オートメモリーによるプリセット

受信可能なテレビ局を自動選局し選局順にプリセットする場合は、**AME** を約2秒押します。



7
AV機能を使用する

▶▶ テレビ放送を受信する：プリセットボタンのセット

● マニュアルメモリーによるプリセット

手動選局したテレビ局をプリセットする場合は、プリセットするボタンに受信中のテレビ局周波数が表示されるまでボタンを押し続けます。



プリセットが完了すると、ボタンに受信チャンネルが表示されます。



- ・  を選択するとテレビ映像画面に戻ります。
- ・ **AREA** でプリセットされるテレビ局は、ナビの現在地がある受信エリアのテレビ局です。なお、現在地によっては8局分表示されないことがあります。
- ・ 現在地周辺のテレビ局をプリセットすると、ボタンにテレビ局名が表示されます。
- ・ エリアメモリーおよびオートメモリー中はプリセットメモリーができません。
- ・ プリセットできるテレビ局の数は、エリアメモリーでプリセットした8局と、オートメモリーまたはマニュアルメモリーでプリセットした8局の合計16局です。**AREA** を選択すると、プリセットした局を切り替えることができます。
- ・ 現在地によっては異なったテレビ局が表示されたり、テレビ局名が表示されないことがあります。

音声多重放送の切り替え

音声多重放送の主音声、副音声を切り替えます。

この操作までの流れ ▶ テレビ放送を受信 (▶P.7-60) ▶ 画面の一部を選択 ▶

CONTROL

1 **AUDIO** を選択します。



AUDIO を選択するたびに
音声が決まった順序で切り替わ
ります。



2  を選択するとテレビ映像画面に戻ります。

Finish



・ 音声多重放送を受信したときのみ音声を切り替えることができます。

7

AV機能を使用する

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。また、地上アナログ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。

地上デジタルテレビジョン放送開始に伴うアナログテレビ放送のチャンネル変更に関するお願い

2003年末から順次、地上デジタルテレビジョン放送が開始されており、それに伴いアナログテレビジョン放送のチャンネル変更が2003年2月9日より一部地域で順次、実施されております。このため、車載用テレビチューナに予めプリセットされているエリア別プリセットチャンネルがチャンネル変更されていた場合に、

エリア別プリセットチャンネルを選択しても受信できない。

この場合は、プリセットボタンのセット(➡P.7-63)をご覧のうえご希望のチャンネルを再設定してください。

放送局名が正しく表示されない。

等の現象が起きます。

地上デジタルテレビジョン放送とアナログテレビジョン放送のチャンネル変更詳細につきましては、下記の総務省関連ホームページ等をご参照ください。(アナログテレビジョン放送のチャンネル変更については各地域受信センターにお問い合わせください。)地上デジタルテレビジョン放送は、本機では受信できません。

< 総務省関連サイト >

【地上デジタルテレビジョン放送】

http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/whatsnew/digital-broad/index.html

【関東総合通信局(放送部放送課)】

<http://www.kanto-bt.go.jp/>

【東海総合通信局(放送部放送課)】

<http://www.tokai-bt.soumu.go.jp/>

【近畿総合通信局(放送部放送課)】

<http://www.ktab.go.jp/>

【報道資料アナログ周波数変更の受信対策の開始について】

http://www.soumu.go.jp/s-news/2003/030130_1.html

< 電波産業会サイト >

<http://www.arib.or.jp/>

< JEITA関連サイト >

http://home.jeita.or.jp/dha/tdb/tdb_top.htm

<アナログテレビチャンネル変更対策各地域受信対策センター>

名称	コールセンター	住所	対応時間
茨城地域受信対策センター	TEL:0120-771797 FAX:0120-038268 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:029-835-8267	〒300-0037 茨城県土浦市桜町 1-16-12 住友生命ビル7F	平日 9:00～21:00 土日祝 9:00～18:00
栃木地域受信対策センター	TEL:0120-401293 FAX:0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:044-829-2713	〒329-2162 矢板市末広町4-8	平日 9:00～21:00 土日祝 9:00～18:00
群馬地域受信対策センター	TEL:0120-357488 FAX:0120-357886 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:027-210-9381	〒371-0844 群馬県前橋市古市町 1-41-9 尾瀬林業ビル3F	平日 9:00～21:00 土日祝 9:00～18:00
埼玉地域受信対策センター	TEL:0120-401035 FAX:0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:044-829-2713	〒350-1122 川越市脇田町18-6 川越小川ビル4F	平日 9:00～21:00 土日祝 9:00～18:00
千葉地域受信対策センター	TEL:0120-401398 FAX:0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:044-829-2713	〒260-0028 千葉市中央区新町 22番地1 新町55ビル4F	平日 9:00～21:00 土日祝 9:00～18:00
東京・神奈川地域受信対策センター	TEL:0120-401350 FAX:0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:044-829-2713	〒215-0004 川崎市麻生区万福寺 1-1-1 新百合ヶ丘シティ ビルディング4F	平日 9:00～21:00 土日祝 9:00～18:00
岐阜地域受信対策センター	TEL:0120-124820 FAX:0120-124989 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:052-968-7300	〒500-8812 岐阜市美江寺町2-3	平日 9:00～21:00 土日祝 9:00～18:00
愛知・三重地域受信対策センター	TEL:0120-124826 FAX:0120-124851 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:052-968-7370	〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-6-41 リブビル 5F	平日 9:00～21:00 土日祝 9:00～18:00
滋賀・京都地域受信対策センター	TEL:0120-252639 FAX:0120-252682 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:075-602-1826	〒612-8386 京都市伏見区烏羽瀬女町 13番地 イクタ電気通信3F	平日 9:00～21:00 土日祝 9:00～18:00
大阪・奈良地域受信対策センター	TEL:0120-623522 FAX:0120-807404 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:06-6920-9276	〒530-0037 大阪市北区松が枝町 3番11号	平日 9:00～21:00 土日祝 9:00～18:00
兵庫地域受信対策センター	TEL:0120-540700 FAX:0120-807804 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:06-6966-7180	〒651-0083 神戸市中央区浜辺通 2-1-30 三宮国際ビル7F	平日 9:00～21:00 土日祝 9:00～18:00
和歌山地域受信対策センター	TEL:0120-815108 FAX:0120-548070 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:06-6966-7184	〒648-0073 和歌山県橋本市市脇 1-1-6 紀北川上農業協同 組合内	平日 9:00～21:00 土日祝 9:00～18:00
香川地域受信対策センター	TEL:0120-112064 FAX:0120-661271 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用:087-851-7880	〒760-0036 高松市城東町1-6-26 蓮井ビル3F	平日 9:00～21:00 土日祝 9:00～18:00



AV機能を使用する

ビデオ / 外付け装置の映像を表示する

ビデオ、外部音声入力、リアビューカメラなどの外部入力装置を利用する場合は、AV設定(➡P.8-2)で設定しておく必要があります。

外部入力装置には次のようなものがあります。

- ・ビデオ(音声/映像)
- ・リアビューカメラ(映像)
- ・AUX(音声)

ビデオ

[AVソースセレクト]画面でVIDEOソースに切り替えるとビデオ映像が表示されます。画面の中央付近を選択すると、[VIDEO CONTROL]画面が表示されます。

ビデオ映像



画面を選択します



[VIDEO CONTROL]画面



映像画面に戻ります。

[VIDEO CONTROL]画面ではオーディオ設定のみが行えます。



・接続したビデオ機器によっては、映像が表示できない場合があります。

リアビューカメラ

リアビューカメラの映像はギアをバックに入れると、自動的に表示されます。ソースの切り替えでは表示されません。

- ・ 車両後方の映像



- ・ 画面が表示されない場合はバックセンサーの接続を確認してください。
- ・ リアビューカメラの映像は後方確認の補助として使用し、実際の運転操作は直接後方を確認しながら行ってください。

AUX

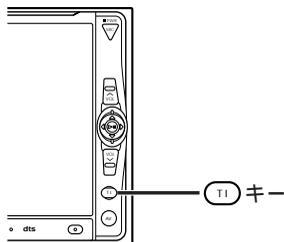
外部音声入力接続されていると、[AVソースセレクト] 画面でAUXソースに切り替えた時に音声が出力されます。[AUX CONTROL] 画面ではオーディオ設定のみが行えます。

- ・ [AUX CONTROL] 画面



交通情報を受信する

TI キーを押すと交通情報を聴くことができます。



周波数の設定

交通情報の周波数は、[TI CONTROL] 画面で設定できます。

この操作までの流れ ▶ AV をナビ画面時1回 ▶ AVコントロール画面 ▶ TI キー



設定する周波数のボタンを選択します。
◀▶でも周波数を切り替えられます。



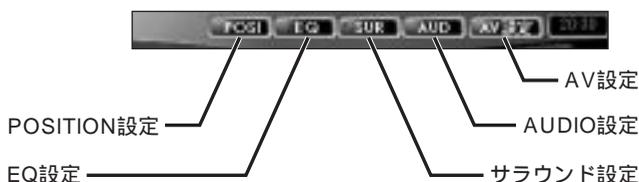
- TI キーを再度押すと、交通情報を終了し元のソースに戻ります。
- 交通情報を聴いているときは、オーディオ設定 (▶P.7-71) が一時的に交通情報を聴くために最適な状態に設定されます。

音響効果を設定する

各ソースのコントロール画面から行う、音響効果の詳細な設定方法を説明します。各設定項目の詳細な設定方法については、参照ページをご覧ください。

- ・ POSITION設定 (➡P.7-72)
- ・ EQ設定 (➡P.7-74)
- ・ サラウンド設定 (➡P.7-76)
- ・ AUDIO設定 (➡P.7-79)
- ・ AV設定 (➡P.8-2)

オーディオ設定は各ソースのコントロール画面から行います。



ソースによって設定できる項目とできない項目があります。

設定項目 \ ソース	STANDBY	TI	DVD/CD	その他のソース
POSITION設定	×	×		
EQ設定	×	×		
サラウンド設定	×	×		
AUDIO設定	×			
AV設定	[AV設定メニュー]画面による設定(➡P.8-2)をご覧ください。			

POSITION設定やEQ設定などの音響効果を設定する前に、AV設定のキャビンサイズやスピーカーの設定をしてください。



ポジションの選択

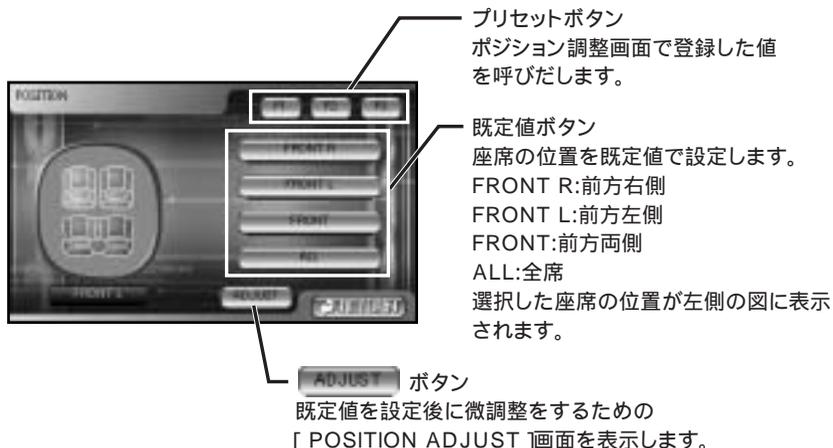
聴く位置に合わせて、ポジション（視聴位置）を設定します。

この操作までの流れ ▶

AV ▶

各ソースのコントロール画面 ▶

POSI



ポジションの調整

聴く位置とスピーカーとの距離をスピーカーごとに調整します。

1 **ADJUST** を選択します。

2 距離を調整するスピーカーのボタンを選択し、距離設定ボタンで距離を増減します。



Finish

ポジションのプリセット

調整したポジションを3種類までプリセットすることができます。

- 1 「ポジションの調整」の手順に従ってポジションを設定します。
- 2 ポジションを登録するプリセットボタンを選択し、約2秒間押し続けます。



- ・ ソースがSTANDBYまたは交通情報 (TI) に設定されている場合は、ポジションを選択できません。



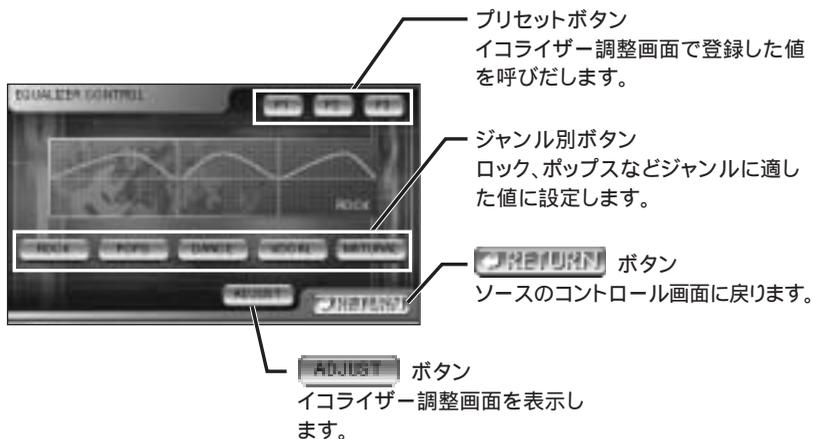
イコライザーの選択

ジャンル別に設定されたイコライザーカーブまたは中心周波数とゲインを設定して音質をコントロールします。

この操作までの流れ ▶

AV ▶ 各ソースのコントロール画面 ▶

EQ

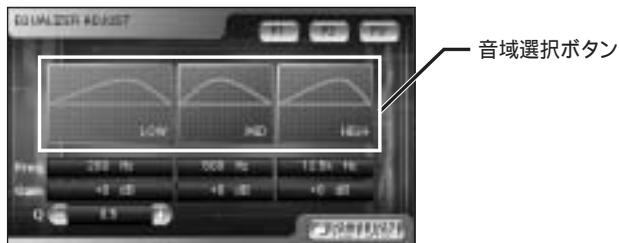


イコライザーの調整

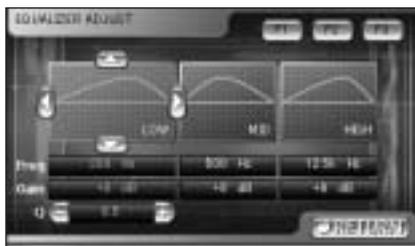
BAS（低音域） / MID（中音域） / TRE（高音域）のイコライザーを調整します。

1 ADJUST を選択します。

2 音域選択ボタンで設定したい音域を選択します。



- 3     で中心周波数とゲインを設定し、  でQファクターを設定します。



設定できる値は下記のとおりです。

中心周波数：

BASS : 60/70/80/100/120/140/160/200 (Hz)

MID : 500/1k (Hz)

TRE : 5.0/7.5/10.0/12.5 (kHz)

ゲイン : -10 ~ 10 (dB)

* 1dB間隔

Qファクター (BASSのみ) : 0.5/0.75/1.0/1.25



- ・ Qファクター (先鋭度) は数値が大きい程、中心周波数のゲインが強調されます。

イコライザーのプリセット

調整したイコライザーカーブを3種類までプリセットすることができます。

1 「イコライザーの調整」の手順に従ってイコライザーカーブを設定します。

2 イコライザーカーブを登録するプリセットボタンを選択し、約2秒間押し続けます。



- ・ ソースがSTANDBYまたは交通情報 (TI) の場合は、イコライザーの選択はできません。



AV機能を使用する

サラウンド設定

DOLBY PRO LOGIC 用のサラウンド設定を行います。STANDBYおよびTI-ソース以外の各ソースごとにサラウンド設定ができます。

DOLBY PRO LOGIC は、特に空間的な広がりや指向性、音の明瞭さに重点を置いて設計された新しいサラウンドシステムです。



この操作までの流れ



各ソースのコントロール画面



SUR

1 サラウンドコントロールモードを選択します



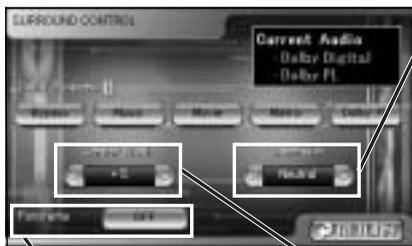
現在の設定状況を表示します。

サラウンドコントロールモード選択ボタン

ボタン	機能
	サラウンド設定を行わない場合に選択します。
	Musicモードに設定する場合に選択します。 Musicモードでは、「Dimension」「Center Width」「Panorama」モードコントローラによってサウンド空間を好みに合わせて最善の状態に調整できます。「Dimension」はサウンド空間の状態を前後の方向へ調整し、「Center Width」は左右およびセンタースピーカーのバランスを調整します。「Panorama」はサラウンドスピーカーを含めて前面のステレオ感を大きく拡大し、車全体を使って「音に包まれる」ような感覚を味わうことができます。 音楽CD等のステレオ信号再生時はこのモードを使用してください。
	Movieモードに設定する場合に選択します。 PRO LOGIC のMOVIEモードは、計算された質の高いサラウンドサウンドを再生するようプログラムされています。 マークのあるDVDビデオを再生する際は、このモードを使用してください。
	Matrixモードに設定する場合に選択します。 Matrixモードは、方向性強調回路がオフになっており、モノラル信号を強化して大きく見せることができます。FM/AM/TV等ステレオの受信状態が不安定でサラウンドの音が耳障りになる場合、またはモノラル信号再生時はこのモードを使用してください。
	PRO LOGIC モードに設定する場合に選択します。 PRO LOGIC モードは、ソースコンテンツが最良の音質でない場合や「聞き慣れた」音質でプログラムを聞きたい場合に使用してください。

2 MUSICモードを選択した場合は、さらに「Dimension」、「Center Width」、「Panorama」のモードコントローラを設定します。各モードコントローラには次のような特長があります。

- ・ Panoramaモード（PRO LOGIC MUSICモードのみ）
PANORAMAモードを使って、「音に包まれる」感覚を楽しめます。サラウンド感がないと感じる場合、ONに設定してください。
- ・ Dimensionモード（PRO LOGIC MUSICモードのみ）
DIMENSIONモードの調節で、全スピーカーのバランスを好みに合わせて変えることができます。
コントロール値Neutralを中心にF1 F2 F3にシフトさせるに従いフロント方向へ、R1 R2 R3にシフトさせるに従いリア方向に音場をシフトできます。
- ・ Center Widthモード（PRO LOGIC MUSICモードのみ）
DOLBY PL MUSICモードではCENTER WIDTH設定モードを使ってセンターチャンネルのサウンドを左右のフロントスピーカーに振り分けることができ、広がりのある音を楽しむことができます。
コントロール値3を中心に、0でセンター信号をセンターチャンネルのみで再生し、7でセンター信号をフロントL/Rチャンネルに振り分けます。



[Panorama]
パノラマ設定ができます。
ONにすると、左右方向へのレベル振り分けが強調されます。
DOLBY PL MUSIC以外のモードでは選択できません。

[Dimension]
フロント、リアの出力レベル差を調整するディメンジョンコントロールを設定できます。◀▶を選択して数値を増減します。DOLBY PL MUSIC以外のモードでは選択できません。また、リアスピーカーが接続されていない場合は無効になります。

[Center Width Level]
センタースピーカーに対する出力レベルの左右への振り分けレベルの調整（センターレベル幅調整）ができます。◀▶を選択して数値を増減します。DOLBY PL MUSIC以外のモードでは選択できません。また、センタースピーカーが接続されていない場合は無効になります。

STANDBYおよびTIソース以外の各ソースごとにサラウンド設定できます。

Finish

7

AV機能を使用する



- ・他のサラウンド再生モードから、DOLBY PRO LOGIC モードに切り替えた場合、DOLBY PRO LOGIC の特性上、音量が小さくなります。DOLBY PRO LOGIC モードから他のモードに切り替える場合は、音量を下げてから切り替えてください。
- ・モノラル信号再生時、MUSIC/MOVIE/PRO LOGIC モードでは、センタースピーカーのみ音は再生されフロントL/R及び、リアスピーカからは、音はほとんど再生されません。
(MUSICはCenter Width Levelで、フロントL/Rに割り振ることはできません。) その場合は、Matrixモードに切り替えてください。
- ・「スピーカーを設定する」(▶P.8-6) でフロントスピーカーのみの設定とした場合は、「サラウンド設定」は無効になります。

サブウーファーとフェダー/バランスの調整

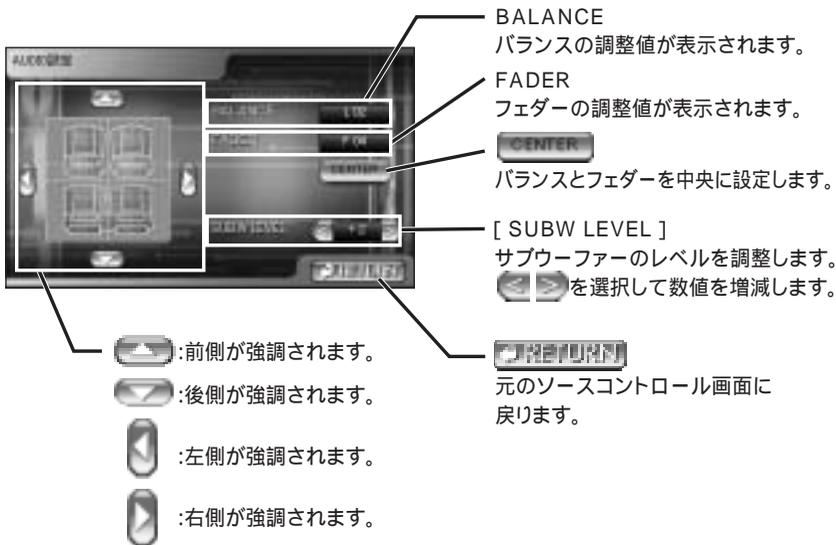
サブウーファー、フェダー/バランスを調整します。

この操作までの流れ

AV

各ソースのコントロール画面

AUD



調整位置を示すカーソルが表示されます。



- AV設定のスピーカー設定 (➡P.8-6) でサブウーファーを「NONE」に設定した場合は、サブウーファーの調整はできません。
- STANDBY時は設定できません。



AV機能を使用する

8 AV環境を設定する

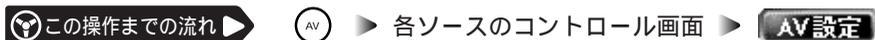
ここでは、本機のAV機能をより効果的に発揮させるための各種の設定方法について説明します。

AV設定メニュー画面による設定	P.8-2
キャビンサイズを設定する	P.8-3
スピーカーを設定する	P.8-6
チャンネルレベルを設定する	P.8-7
ソースレベルを設定する	P.8-8
オートボリュームを設定する	P.8-9
DVDの初期設定をする	P.8-10
その他の機能を設定する	P.8-23



AV設定メニュー画面による設定

各ソースのコントロール画面で **AV設定** を選択すると、[AV設定MENU] 画面が表示されます。この画面から主なAV環境の設定を行います。



各設定項目のボタンを選択します。

元のソースコントロール画面に戻ります。

この画面で設定できる項目は次のとおりです。詳細な設定方法については、各参照ページをご覧ください。

ボタン	内容	参照ページ
	車種を指定して車内空間のサイズを設定します。 STANDBY TIソース時は設定できません。	P.8-3
	接続されているスピーカーのサイズを設定します。 STANDBY TIソース時は設定できません。	P.8-6
	スピーカー個別の出力レベルを設定します。 STANDBY TIソース時は設定できません。	P.8-7
	ソース別にボリュームを設定します。	P.8-8
	車両の速度に応じてボリュームを変化させるモードを設定します。	P.8-9
	DVD特有の機能を設定します。	P.8-10
	外部入力（ビデオ/AUX/リアビューカメラ）、MD、CDに関する機能を設定します。 STANDBY時のみ設定できます。	P.8-23



- 、、 の3つの設定は、STANDBYおよびTIソースを選択しているときは設定できません。
- はSTANDBYソースの選択時のみ設定できます。

キャビンサイズを設定する

車内のスピーカー間の距離差を電子的に補正し、搭載車種のキャビンサイズにマッチした音場を形成します。車種を選択することで自動設定されたスピーカー間の距離差を実際のキャビンに合わせてさらに調整することもできます。

この操作までの流れ▶▶

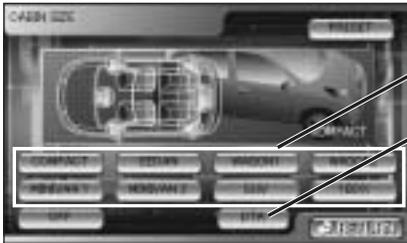
AV▶▶

各ソースのコントロール画面▶▶

AV設定▶▶



1 車種ボタンで車種を選択し、キャビンサイズを設定します。



車種ボタン

DTA

[DTA]画面を表示して、スピーカーの位置を微調整します。
(CABINで設定して、DTAで微調整します)

車種ボタンで設定できる車種は次のとおりです。

ボタン	車種
COMPACT	コンパクト車
SEDAN	セダン車
WAGON1	ワゴン車1 (リアスピーカーが荷室にある場合)
WAGON2	ワゴン車2 (リアスピーカーがリアドアにある場合)
MINIVAN1	ミニバン車1 (リアスピーカーがセカンドシート付近にある場合)
MINIVAN2	ミニバン車2 (リアスピーカーがサードシート付近にある場合)
SUV	エスユーブイ車
TRUCK	ワンボックス車
OFF	スピーカーの位置補正を行いません。

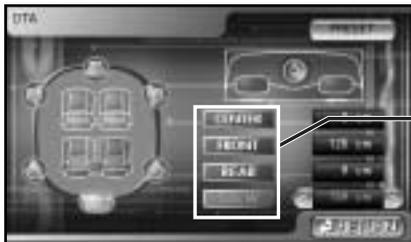
2 実際の車両に合わせてさらにスピーカー間の距離差を微調整する必要がある場合は [DTA] を選択します。

▶▶ 次のページへ

8

AV環境を設定する

- 3 スピーカーボタンを選択し、タイムディレイをスピーカーごとに設定します。



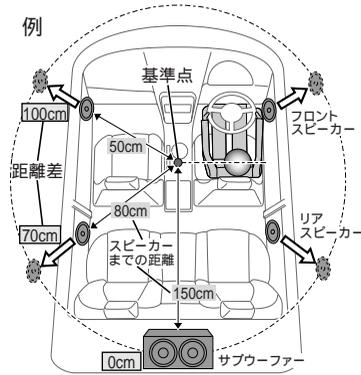
◀▶ を選択して数値を増減することによって距離差を設定します。

- 4 **PRESET** を約2秒押します。
- 5 **RETURN** を選択すると [CABIN SIZE] 画面に戻ります。
- 6 **RETURN** を選択すると [AV設定MENU] 画面に戻ります。

Finish



・ タイムディレイ



一番遠いスピーカーの距離に合わせて近いスピーカーの距離差（例では四角で囲まれた数字）を設定して、スピーカー間の距離差を無くします。



- ・ 基準点は、前後と高さをフロントシートに座った人の耳の位置に左右を車室内の中央に設定します。

スピーカーを設定する

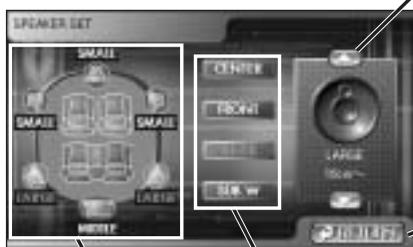
スピーカーのサイズと接続の有無を設定することによってクロスオーバーを設定します。クロスオーバーとは、スピーカーの特性に合わせてそれぞれのスピーカーに周波数帯域を分割することです。クロスオーバーを設定することによって音の歪みを抑制できます。

この操作までの流れ

AV

各ソースのコントロール画面

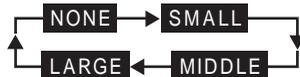
AV設定



サイズ指定

でスピーカーのサイズを設定します。

次の順序でサイズが切り替わります。



RETURN

[AV設定MENU]画面に戻ります。

スピーカー
サイズを設定するスピーカーを選択します。

設定した状況を表示します。



・ スピーカーのサイズの種別は、次の表のようなサイズを想定しています。

スピーカー種別	NONE	SMALL	MIDDLE	LARGE
Front	—	13cm程度	—	16cm以上
Rear/Center	未接続	13cm程度	—	16cm以上
SubWoofer	未接続	20cm以下	25cm程度	30cm以上

チャンネルレベルを設定する

スピーカーの設定位置別にボリュームを設定して、5チャンネルの音量レベルが同一になるように調整します。

この操作までの流れ ▶ AV ▶ 各ソースのコントロール画面 ▶ AV設定 ▶

TEST
 選択すると補助音が出力されます。各チャンネルの音の大きさを確認できます。再度選択すると補助音がオフになります。

レベル指定
 [+] [-] にタッチして、選択されているスピーカーの出力レベルを-10dB ~ +10dBの範囲で設定します。

RETURN
 [AV設定MENU] 画面に戻ります。

スピーカー
 出力レベルを設定するスピーカーを選択します。



- 各スピーカーボタンで次のスピーカーのボリュームを調整します。

- CENTER** : センタースピーカー
- FRONT R** : 前右側スピーカー
- FRONT L** : 前左側スピーカー
- REAR R** : 後右側スピーカー
- REAR L** : 後左側スピーカー
- SUB W** : サブウーファースピーカー

[SPEAKER SET] 画面 (▶P.8-6) で [NONE] に設定しているスピーカーは調整できません。

- 補助音が出力されているときは、レベルの調整ができません。
- サブウーファーからは補助音が出力されません。

8
AV環境を設定する

ソースレベルを設定する

各ソースごとに音量差がある場合に音量レベルを調整します。DVD/CDソースのボリュームを基準として1dB単位で値を増減することによって、各ソースごとにボリュームを調整できます。

この操作までの流れ▶▶

AV ▶▶ 各ソースのコントロール画面 ▶▶ AV設定▶▶



現在のソースを表示します。

ソース選択

ボリュームを設定するソースを選択し、**+** **-** でボリュームを増減します。増減可能な範囲は-10dB ~ +10dBです。



[AV設定MENU]画面に戻ります。



すべての設定値を初期値に戻します。



- **入力** はVIDEO / AUXの入力です。
- **HD** はHDV-910のみ表示されます。

オートボリュームを設定する

車両の速度に対応してボリュームを増加する割合を設定します。車速が上がることにより増大するロードノイズで音声が聞きにくくなるのを軽減できます。

この操作までの流れ ▶ AV ▶ 各ソースのコントロール画面 ▶ AV設定 ▶



モード選択
ボリュームの変更モードを選択します。
OFF を選択すると、設定が解除されます。

RETURN
[AV設定MENU]画面に戻ります



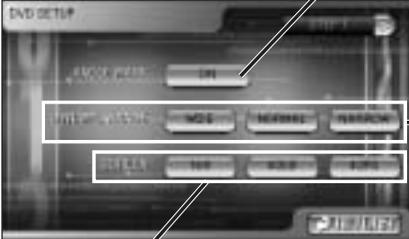
と順にボリューム増加量が大きくなります。

DVDの初期設定をする

DVD特有の動作環境を設定します。設定画面を切り替えて設定します。



- 1** アングルマークの有無、ダイナミックレンジ、画面比率と表示方式を設定します。



[ANGLE MARK]
アングルマークの表示の有無を設定します。ONに設定すると、複数アングルが記録されたシーンでアングルマークが表示されます。

[DYNAMIC RANGE]
再生時のダイナミックレンジを設定します。ドルビーデジタル対応のディスクを再生する場合に効果があります。

[SCREEN]
再生するDVD映像に合わせて画面比率と表示方式を設定します。

WIDE (ダイナミックレンジ広)
NORMAL (ダイナミックレンジノーマル)
NARROW (ダイナミックレンジ狭)

- 16:9 : ワイド版の映像を再生する場合。
- 4:3LB : レターボックス方式(上下に黒い帯がある画面)でワイド版の映像を再生する場合。
- 4:3PS : パン&スキャン方式(左右の切れた画面)でワイド版の映像を再生する場合。

- 2** **RETURN** を選択すると [AV設定MENU] 画面に戻ります。STANDBYのときに **RETURN** を選択すると、次の設定画面が表示されます。

Finish



・ [SCREEN] の設定はSTANDBYのときのみできます。

音声言語の設定

音声で優先する言語を指定します。



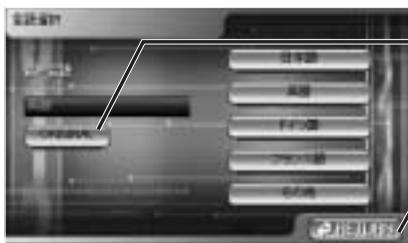
1 ▶ を1回選択します。

2 音声言語 を選択します。



設定言語
各項目に設定した言語が表示されます。

3 言語選択ボタンを選択します。



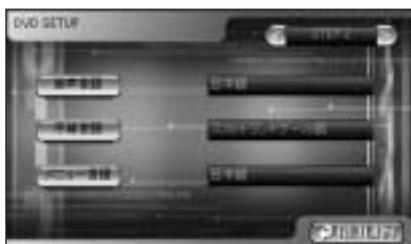
ORIGINAL
選択するとDVDに記録されているオリジナルの言語が選択されます。

RETURN
[DVD SETUP] 画面に戻ります。

4 RETURN を選択すると、[言語選択] 画面に戻ります。

5 RETURN を選択すると [AV設定MENU] 画面に戻ります。

▶ を選択すると、次の設定画面が表示されます。



Finish

8

AV環境を設定する

AV設定メニュー画面による設定 : DVDの初期設定をする



- 手順3の [言語選択] 画面で **その他** を選択すると、その他の言語を言語コードで入力する [言語コード入力] 画面が表示されます。



言語コード入力キー
言語コード(▶P.8-13)を
入力します。

例: 日本語(ja)
スコットランド
ゲール語(gd)

RETURN
[言語選択] 画面に戻ります。

OK : 入力した言語コードが設定され、[言語選択] 画面に戻ります。

CLEAR : 入力した文字を一文字消去します。

・ 言語コードの一覧は次のとおりです。

コード	言語	コード	言語	コード	言語
aa	アファル語	ie	国際語	rn	キルディ語
ab	アブバジア語	ik	Inupiak語	ro	ルーマニア語
af	アフリカーンス語	in	インドネシア語	ru	ロシア語
am	アムハラ語	is	アイスランド語	rw	キニヤルワンダ語
ar	アラビア語	it	イタリア語	sa	サンスクリット語
as	アッサム語	iw	ヘブライ語	sd	シンド語
ay	アイマラ語	ja	日本語	sg	サンゴ語
az	アゼルバイジャン語	ji	イディッシュ語	sh	セルビアクロアチア
ba	バシキール語	jw	ジャワ語	si	シンハラ語
be	ベラルーシ語	ka	グルジア語	sk	スロバキア語
bg	ブルガリア語	kk	カザフ語	sl	スロベニア語
bh	ビハリー語	kl	グリーンランド語	sm	サモア語
bi	ビスラマ語	km	カンボジア語	sn	ショナ語
bn	ベンガル語、バングラ語	kn	カナダ語	so	ソマリ語
bo	チベット語	ko	韓国語	sq	アルバニア語
br	ブルトン語	ks	カシミール語	sr	セルビア語
ca	カタロニア語	ku	クルド語	ss	シスワティ語
co	コルシカ語	ky	キルギス語	st	セストゥ語
cs	チェコ語	la	ラテン語	su	スンダ語
cy	ウェールズ語	ln	リンガラ語	sv	スウェーデン語
da	デンマーク語	lo	ラオス語	sw	スワヒリ語
de	ドイツ語	lt	リトアニア語	ta	タミール語
dz	ブータン語	lv	ラトビア語、レット語	te	テルグ語
el	ギリシャ語	mg	マダガスカル語	tg	タジク語
en	英語	mi	マオリ語	th	タイ語
eo	エスペラント語	mk	マケドニア語	ti	ティグリニヤ語
es	スペイン語	ml	マラヤーラム語	tk	トゥルクメン語
et	エストニア語	mn	モンゴル語	tl	タガログ語
eu	バスク語	mo	モルダビア語	tn	セツワナ語
fa	ペルシャ語	mr	マラータ語	to	トンガ語
fi	フィンランド語	ms	マレー語	tr	トルコ語
fj	フィジー語	mt	マルタ語	ts	ツォンガ語
fo	フェロー語	my	ミャンマー語	tt	タタール語
fr	フランス語	na	ナウル語	tw	トウイ語
fy	フリジア語	ne	ネパール語	uk	ウクライナ語
ga	アイルランド語	nl	オランダ語	ur	ウルドゥー語
gd	スコットランドゲール語	no	ノルウェー語	uz	ウズベク語
gl	ガルシア語	oc	プロバンス語	vi	ベトナム語
gn	グアラニ語	om	(アファン)オロモ語	vo	ボラビュク語
gu	グジャラート語	or	オリヤー語	wo	ウオロフ語
ha	ハウサ語	pa	パンジャブ語	xh	コーサ語
hi	ヒンディー語	pl	ポーランド語	yo	ヨルバ語
hr	クロアチア語	ps	パシュト語	zh	中国語
hu	ハンガリー語	pt	ポルトガル語	zu	ズール語
hy	アルメニア語	qu	ケチュア語		
ia	国際語	rm	ラエティ=ロマン語		



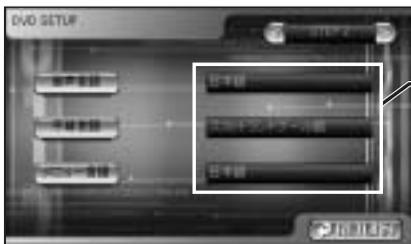
字幕言語の設定

字幕で優先する言語を指定します。



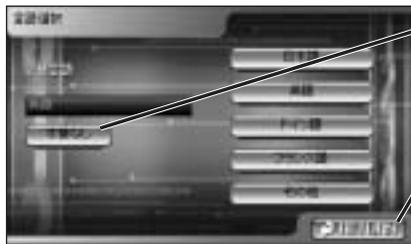
1 ▶ を1回選択します。

2 字幕言語 を選択します。



設定言語
各項目に設定した言語が表示されます。

3 言語選択ボタンを選択します。



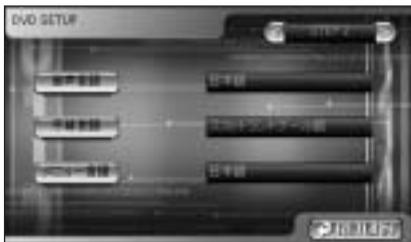
字幕なし
選択すると字幕が表示されなくなります。

RETURN
[DVD SETUP] 画面に戻ります。

4 RETURN を選択すると、[言語選択] 画面に戻ります。

5 RETURN を選択すると [AV設定MENU] 画面に戻ります。

▶ を選択すると、次の設定画面が表示されます。



Finish



- 手順3の [言語選択] 画面で **その他** を選択すると、その他の言語を言語コードで入力する [言語コード入力] 画面が表示されます。



言語コード入力キー
言語コード(▶P.8-13)を
入力します。

例: 日本語(ja)
スコットランド
ゲール語(gd)

RETURN
[言語選択]画面に戻ります。

OK :入力した言語コードが設定され、[言語選択]画面に戻ります。

CLEAR :入力した文字を一文字消去します。

- 言語コードの一覧についてはP.8-13をご覧ください。

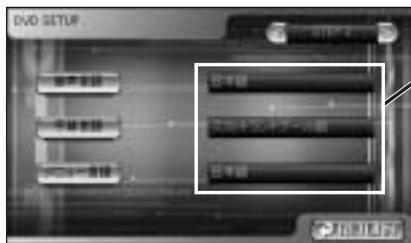
メニュー言語の設定

メニューで優先する言語を指定します。



1 ▶ を1回選択します。

2 ▶ **メニュー言語** を選択します。



設定言語
各項目に設定した言語が表示されます。

3 ▶ 言語選択ボタンを選択します。

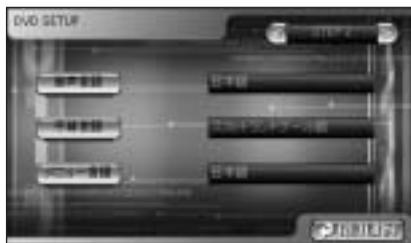


RETURN
[DVD SETUP]画面に戻ります。

4 ▶ **RETURN** を選択すると、[言語選択]画面に戻ります。

5 ▶ **RETURN** を選択すると [AV設定MENU]画面に戻ります。

▶ を選択すると、次の設定画面が表示されます。



Finish



- 手順3の [言語選択] 画面で **その他** を選択すると、その他の言語を言語コードで入力する [言語コード入力] 画面が表示されます。



言語コード入力キー
言語コード(▶P.8-13)を
入力します。

例: 日本語(ja)
スコットランド
ゲール語(gd)

RETURN
[言語選択]画面に戻ります。

OK :入力した言語コードが設定され、[言語選択]画面に戻ります。

CLEAR :入力した文字を一文字消去します。

- 言語コードの一覧についてはP.8-13をご覧ください。

● 視聴制限の設定

低年齢の児童などによる有害なコンテンツの視聴を制限するための設定を行います。設定した視聴制限レベルに応じて、DVDの再生が制限されます。

● パスワードの登録

初めて視聴制限レベルを設定する場合は最初にパスワードを登録します。パスワードの登録は次の手順で行います。

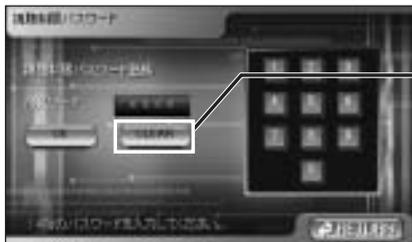


1 ▶ を2回選択します。

2 ▶ パスワード登録・変更 を選択します。



3 ▶ 4桁のパスワードを入力し、OK を選択します。



数字を誤って入力した場合は CLEAR を選択して消去してから入力直します。

- 4 確認のため、再度同じパスワードを入力し、**OK** を選択します。



- 5 視聴制限設定画面が表示されるので、次の項の設定手順に従って視聴制限を設定します。



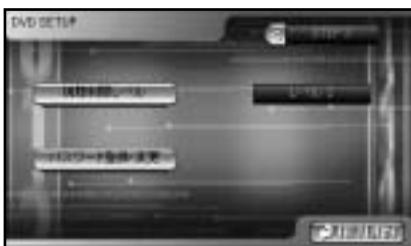
● 視聴制限の設定操作

すでにパスワードを登録してある場合は、視聴制限レベルの設定を行うことができます。



- 1 ▶ を2回選択します。

- 2 **視聴制限レベル** を選択します。



▶ ▶ 次のページへ

8

AV環境を設定する

- 3 4桁のパスワードを入力し、**OK** を選択します。



- 4 ◀ または ▶ を選択してレベルを設定します。



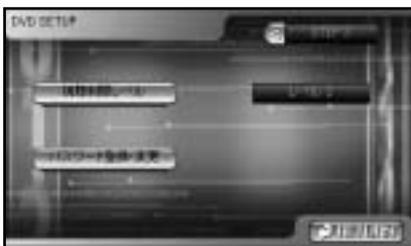
Finish

● パスワードの変更

登録済みのパスワードを変更する場合は次の手順で行います。

- 1 ▶ を2回選択します。

- 2 **パスワード登録・変更** を選択します。



- 3 4桁の現在のパスワードを入力し、**OK** を選択します。



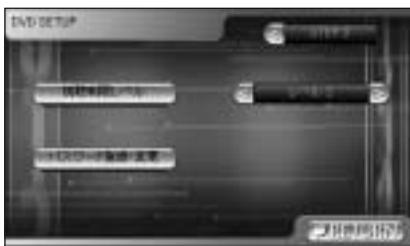
- 4 新しいパスワードを入力し、**OK** を選択します。



- 5 確認のため、再度同じパスワードを入力し、**OK** を選択します。



- 6 **RETURN** を選択します。



[AV設定MENU] 画面に戻ります。

Finish

8

AV環境を設定する



- ・ 初めて視聴制限を設定する場合は、手順1で **パスワード登録/変更** を選択し、パスワードを登録してください。
- ・ 視聴者制限レベルは8段階で設定できます。
[レベル1] ~ [レベル8] : 数字が大きくなるほど制限レベルが厳しくなります。
- ・ [OFF] : 視聴者制限を解除します。
- ・ 本機をリセットすると、パスワードは消去されます。

その他の機能を設定する

外部入力（ビデオ/AUX/リアビューカメラ）、MD（HDV-910のみ）に関する機能を設定します。



1 外部入力の種類、MDのグループ機能を設定します。

[外部入力]
以下から選択します。

- VIDEO** : ビデオデッキ、カメラなどのビデオ入力
- AUX** : 外部音声入力
- リアビューカメラ** : 後進時の監視カメラ
- 設定なし** : 外部入力機器なし

[MD GROUP]
MDのグループ機能の設定をします。

- ON** : MDのグループ機能が使用できます。
- OFF** : MDのグループ機能が使用できません。

2 **RETURN** を選択すると [AV設定MENU] 画面に戻ります。



- ・ 外部入力で **VIDEO** または **AUX** を選択すると、ソース切り替えでそれらのソースの表示、音声出力ができるようになります。
- ・ 外部入力で **リアビューカメラ** を選択するとギアをバックに入れたときに、自動的にリアビューカメラの映像を表示します。
- ・ [MD GROUP] 機能をONに設定すると、MDソースのグループ別再生（➡P.7-58）が可能になります。



9 音声で操作する

ここでは、音声で本機を操作するボイスコントロール機能について説明します。

ボイスコントロールとは	P.9-2
基本的な操作	P.9-3
ナビゲーションを操作する	P.9-4
タクシー機能を使う	9-4
施設名で検索する	9-5
住所で検索する	9-6
番号で検索する	9-7
タウンページから検索する	9-8
ナビ機能のボイスコマンド一覧	9-9
AV機能を操作する	P.9-12
ソースを切り替える	9-12
音楽を再生する	9-13
AV機能のボイスコマンド一覧	9-14



ボイスコントロールとは

ボイスコントロールマイクKNA-VM2300（別売品）を接続すると、本機のナビ機能とAV機能を音声でコントロール（ボイスコントロール）できるようになります。

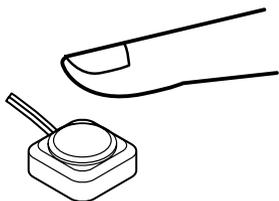


- ・ マイクには指向性があります。認識率を高めるためにマイク面に向かって声を出してください。
- ・ 自然な発声で話してください。
- ・ 車両の窓は閉めて外部の雑音が入らないようにしてください。
- ・ 車両環境やお客様の声質により、認識しにくい場合があります。

基本的な操作

ボイスコントロールの基本的な操作方法は次のとおりです。

1 トークスイッチを「ピッ」と音が出るまで軽く押します。



2 ボイスコマンドを発声します。

ボイスコマンドが認識されると、コマンドを復唱した後、コマンドに対応した応答音声が発せられます。



- ・ 使用できるボイスコマンドについては、ナビ機能についてはP.9-9、AV機能についてはP.9-14をそれぞれ参照してください。
- ・ 復唱されたボイスコマンドが発声内容と異なっている場合は、手順1の操作を繰り返してください。
- ・ ボイスコマンドによる操作を中止する場合は、「ピーッ」という音が出るまでトークスイッチを押し続けてください。
- ・ トークスイッチを押すとカーオーディオのボリュームが自動的に下がります。

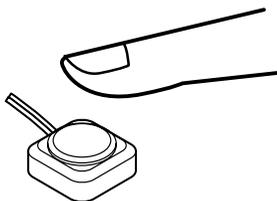
ナビゲーションを操作する

ナビゲーションではボイスコントロールで以下のような操作ができます。

タクシー機能を使う

目的地の検索からルート探索までを自動的に行います。

- 1** トークスイッチを「ピッ」と音が出るまで軽く押します。



- 2** 「タクシー」と言います。
「どちらに行きますか」とアナウンスされ、「ピッ」と音がします。

- 3** 行き先を言います。
行き先は、都道府県名と施設名（例：「千葉県 幕張メッセ」）または都道府県名からの住所（例：「東京都八王子石川町」）の形式で言います。
行き先が検索され、ルート探索が行われて、案内が開始されます。

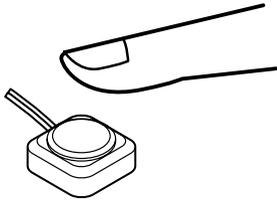


- ・ タクシー機能を使用したときの探索ルートは標準ルートだけです。
- ・ 地点検索だけを行う場合は、P.9-5～P.9-8を参照してください。
- ・ 地図画面で操作します。

施設名で検索する

施設名を言うと地点検索が行われます。

- 1 トークスイッチを「ピッ」と音が出るまで軽く押します。



- 2 「施設」と言います。
「施設をどうぞ」とアナウンスされ、「ピッ」と音がします。

- 3 検索する施設名を言います。
施設名は次の形式で言います。

道路施設 : 道路名と施設名を続けて言います。

(例: 「中央道 八王子インター」)

鉄道の駅 : 鉄道会社名、路線名、駅名を続けて言います。

(例: JR 中央線 八王子駅)

その他の施設: 都道府県名と施設名を続けて言います。

(例: 「千葉県 幕張メッセ」)

施設が地点検索されます。

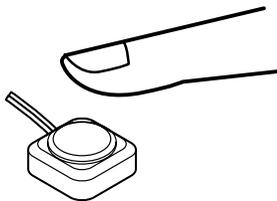


- ・ 現在地の都道府県内の施設または3Dランドマークが設定されている施設を検索する場合には、都道府県名を省略できます。
- ・ 交差点名は検索できません。
- ・ 復唱された施設名が間違っている場合は、手順1からやり直してください。
- ・ 認識できる施設名は、ボイスコマンド一覧(→P.9-9)には記載されていません。
- ・ 読みが登録されているメモリ地点も検索できます。
- ・ 地図画面で操作します。

住所で検索する

住所を言うと地点検索されます。

- 1 トークスイッチを「ピッ」と音が出るまで軽く押します。



- 2 「住所」と言います。
「住所をどうぞ」とアナウンスされ、「ピッ」と音がします。

- 3 検索する住所を言います。
住所は丁目までを一気に言います。
(例: 「東京都江東区有明3丁目」)
指定した住所付近の地図が表示されます。
このとき「番地が指定できます」と表示されている場合は手順4に進みます。
表示されていない場合は手順4以降は不要です。

- 4 「番地」と言います。
「番地をどうぞ」とアナウンスされ、「ピッ」と音がします。

- 5 番地を言います。
例えば、「15番6号」であれば「いちごのろく」と言います。
指定した番地の位置が表示されます。

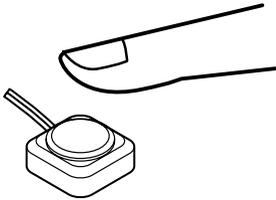


- ・ 番地/戸建番号を指定できない地域もあります。
- ・ 復唱された住所や番地が間違っている場合は、トークスイッチを押して言い直してください。
- ・ 認識できる住所は、ボイスコマンド一覧(➡P.9-9)には記載されていません。
- ・ 地図画面で操作します。

番号で検索する

検索方法（電話番号またはマップコード）と番号を言うと地点検索します。

1 トークスイッチを「ピッ」と音が出るまで軽く押します。



2 「電話番号」または「マップコード」と言います。
「電話番号をどうぞ」または「マップコードをどうぞ」とアナウンスされ、「ピッ」と音がします。

3 検索する電話番号またはマップコードを言います。
数字は一気に言っても、1桁ずつ言っても認識されます。
数字が認識されると「ピッ」と音が出ます。

4 「検索」と言います。
指定した番号の施設が表示されます。

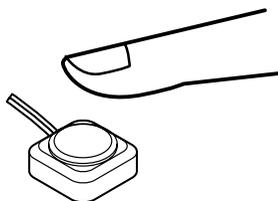


- ・ 復唱された番号が間違っている場合は、「消去」と言うと右端から1桁ずつ消去できます。
- ・ 地図画面で操作します。

タウンページから検索する

タウンページから地点検索をします。

- 1 トークスイッチを「ピッ」と音が出るまで軽く押します。



- 2 「ジャンル」と言います。
「ジャンルをどうぞ」とアナウンスされ、「ピッ」と音がします。

- 3 ジャンルの名称を言います。(例：「デパート」)
「<ジャンル名>を検索します。県名と市町村名をどうぞ」とアナウンスされ、「ピッ」と音がします。

- 4 都道府県名と市町村名を言います。(例：「東京都八王子市」)
「<都道府県名と市町村名>の<ジャンル>の名称をどうぞ」とアナウンスされ、「ピッ」と音がします。

- 5 施設の名称を言います。
指定した施設の位置が表示されます。



- ・ 検索できるのは最寄り検索 (→P.2-9) で選択できるジャンルだけです。
- ・ タウンページに登録されている正式な名称を言わないと検索できない場合があります。
- ・ 駅名や道路施設名では検索できません。施設名で検索 (→P.9-5) してください。
- ・ 地図画面で操作します。

ナビ機能のボイスコマンド一覧



- ・ 復唱されたコマンドが間違っている場合、「次の候補」と言うと次の候補を復唱します。

● 共通コマンド

コマンド	機能
現在地	現在地を表示します。
自宅へ帰る	自宅を目的地に設定します
電話番号	電話番号入力画面が表示されます。
マップコード	マップコード入力画面が表示されます。
次の候補	次の候補を復唱します。
番地	番地入力画面になります。
消去	1文字消去します。
検索	検索結果へ遷移。
ジャンル	ジャンル選択画面になります。
もどる	ジャンル認識モードを解除します。

● 表示コントロールコマンド

コマンド	機能
広域（または「縮小」）	地図を広域表示します。
詳細（または「拡大」）	地図を詳細表示します。
再音声	案内音声を再発声します。
2D（ニディーまたはツーディー）	2D表示に設定します。
3D（サンディーまたはスリーディー）	3D表示に設定します。
2画面表示	2画面表示に設定します。
1画面表示	1画面表示に設定します。
右画面アクティブ	右画面をアクティブにします。
左画面アクティブ	左画面をアクティブにします。
スカイマップ	スカイクルーズビューに設定します。
マップ	スカイクルーズビューから通常の地図画面を表示します。
ハイウェイモード	ハイウェイモードを表示します。
ハイウェイモード解除	ハイウェイモードを解除します。
VICS（ビックス）駐車場情報表示	VICS情報による駐車場を表示します。
VICS（ビックス）駐車場情報消去	VICS情報による駐車場の表示を消去します。
VICS（ビックス）割込情報表示	VICS割込み情報を表示します。
渋滞表示全部	すべての渋滞を表示します。
渋滞表示高速	高速道路の渋滞を表示します。
渋滞表示一般	一般道路の渋滞を表示します。

● 探索コントロールコマンド

コマンド	機能
目的地セット	目的地を設定します。
ルート探索	ルートを探索します。
タクシー	タクシー機能が動作します。
再探索	再探索を行います。
ルート案内中止	ルート案内を中止します。
迂回路探索	迂回路探索を行います。
メモリ地点	メモリ地点を登録します。

● ナビ音声コントロールコマンド

コマンド	機能
ナビボリュームアップ	ナビの音量を大きくします。
ナビボリュームダウン	ナビの音量を小さくします。
ボリュームミュート	ナビの音量をミュートします。
ボリュームミュート解除	ナビの音量のミュートを解除します。

● ランドマークの表示コマンド

コマンド	機能
ガソリンスタンド	ガソリンスタンドを表示します。
コンビニエンスストア(コンビニ)	コンビニエンスストアを表示します。
駐車場	駐車場を表示します。
銀行	銀行を表示します。
レストラン	レストランを表示します。
喫茶店	喫茶店を表示します。
ランドマーク消去	地図上のランドマークをすべて消去します。

● VICS情報コントロールコマンド

コマンド	機能
VICS(ピックス)表示	VICS情報を表示します。
VICS(ピックス)解除	VICS情報の表示を解除します。
VICS(ピックス)ピーコン情報	VICSピーコン情報を表示します。
VICS(ピックス)FM情報	VICS FM情報を表示します。
FM多重一般放送	FM多重一般放送を表示します。
目次(TOP)	TOPページを表示します。
次ページ	次のページを表示します。
前ページ	前のページを表示します。
(0~9)番組表示	番組 を表示します。(は番組番号)

● インフォメーションコマンド

コマンド	機能
あとどれくらい	目的地までおよそ 分で所要時間は 分です。
あと何分	目的地までおよそ 分です。
あと何キロ	目的地までおよそ キロです。
通過点にいつ着きますか	次の目的地への到着予想時刻はおよそ 分です。
通過点まであとどれくらい	次の目的地までおよそ 分で所要時間は 分です。
通過点まであと何分	次の目的地までおよそ 分です。
通過点まであと何キロ	次の目的地までおよそ キロです。
どこから乗るの	およそ 分 で 通過し所要時間は 分です。
どこで降りるの	およそ 分 で を降ります。所要時間は 分です。
この先渋滞は	この先 分 キロで 分 キロの渋滞があります。
次の施設は	およそ 分 で を通過し、その先 分 で を通ります。
次のSA(サービスエリア)は	およそ 分 で を通過し、その先 分 で を通ります。
今何時	ただ今、 時 分です。
今走っている道路は	現在走行している道路は 道です。
どっちに向いてるの	現在 方向にむかって走行中です。
今日は何日	今日は 月 日です。
今日は何の日	今日は の日です。
今の速度は	現在の時速はおよそ キロです。
おはよう	おはようございます。
こんにちは	こんにちは。
こんばんは	こんばんは。
おやすみ	おやすみなさい。
今日のラッキーカラーは	今日のラッキーカラーは 色です。
今日の運勢は	今日の運勢は 運勢です。

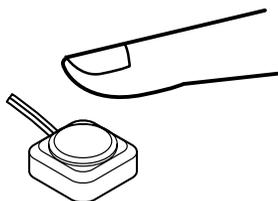
AV機能を操作する

AV機能では、ボイスコントロールで以下のような操作ができます。

ソースを切り替える

ソース名を言うと指定したソースに切り替わります。

- 1 トークスイッチを「ピッ」と音が出るまで軽く押します。



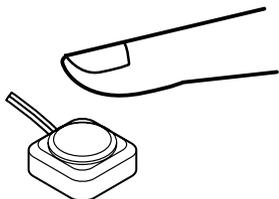
- 2 ソース名を言います。(例：CD)
「<ソース名>にします」とアナウンスされ、「ピッ」と音がします。
指定したソースに切り替わります。



音楽を再生する

HDD1/HDDの再生中に、曲名やアルバム名、アーティスト名を言うと指定した曲、アルバム、アーティストの曲が再生されます。

- 1** トークスイッチを「ピッ」と音が出るまで軽く押します。

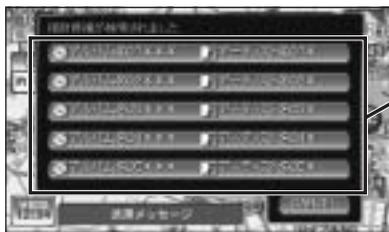


- 2** 「リクエスト」または「タイトル」と言います。
「リクエストをどうぞ」とアナウンスされ、「ピッ」と音がします。

- 3** 曲名（トラック名）、アルバム名、またはアーティスト名を言います。
「<曲名、アルバム名、またはアーティスト名>をかけます」とアナウンスされ、「ピッ」と音がします。
曲の再生が開始されます。



- ・ DVD/CD、MD、HDD2の再生時は、ボイスコントロールで再生する曲を指定することはできません。
- ・ アルバム名やアーティスト名を言うと、指定したアルバムまたはアーティストに属する1曲目を再生します。
- ・ 複数の曲が検索された場合は、次のようなリスト画面が表示され、リストの優先度の高い曲が再生されます。



目的の曲をリストから選択すると、選択した曲が再生されます。

該当する曲がない場合は、**CHANGE** を選択すると元の画面に戻ります。また、画面が表示されてから10秒間以上操作しない場合も自動的に元の画面に戻ります。

- ・ アーティスト名は、あだ名や略称でも認識できます。

▶▶ 次のページへ

AV機能のボイスコマンド一覧

以下の表の発音例に従って発生すると各コマンドを実行できます。発音例の欄の記号は以下のような意味を示しています。

- | : 前後どちらの発音も使用可能です。
- [] : カッコ内の発音は省略可能です。
- () : カッコ内で「|」で区切られたいずれの発音も使用可能です。

● オーディオモードの切り替えコマンド

コマンド	発音例	機能
スタンバイ	すたんばい おーるおふ	スタンバイに切り替えます。
チューナー	らじお ちゅーなー	チューナーに切り替えます。
FM	えふえむ [らじお]	FMに切り替えます。
AM	えーえむ [らじお]	AMに切り替えます。
CD	しーでー しーでいー	DVD/CDに切り替えます。
DVD	(でー でいー) (ぶい びー) (でー でいー)	DVD/CDに切り替えます。
MD (HDV-910)	えむ (でー でいー)	MDに切り替えます。
HDD1 (HDV-910)	はーどでいすく [みゅーじっく] いち えっち (でいー でいー でーでー) (いち わん)	HDD1に切り替えます。
HDD2 (HDV-910)	はーどでいすく [みゅーじっく] に えっち (でいー でいー でーでー) (に っー)	HDD2に切り替えます。
HDD (HDV-810)	はーどでいすく [みゅーじっく] えっち (でいー でいー でーでー)	HDDに切り替えます。
TV	てれび	テレビに切り替えます。
VIDEO	びでお	ビデオに切り替えます。
外部入力	がいぶにゆうりょく あっくす (えい えー) ゆーえっくす	外部入力に切り替えます。
交通情報	こうつうじょうほう ていーあい	交通情報を受信します。
交通情報解除	こうつうじょうほうかいじょ ていーあいかいじょ	交通情報の受信を解除します。

● 放送局の選択コマンド

コマンド	発音例	機能
NHKFM	えぬえちけーえふえむ	NHKFMを選局します。
NHK第一	えぬえちけーだいいち	NHK第一を選局します。
NHK総合	えぬえちけーそうごう	NHK総合を選局します。
<数字>チャンネル	いちちゃん[ねる] いっちゃん[ねる]	テレビのチャンネルが選局されます。
オートシーク	おーとしーく じどうせんきょく せんきょく	自動選局されます。
プリセット<数字>	ぷりせっと(いち わん)	プリセットボタンを指定します。



・ 放送局名は **AREA** を一度押した後に、有効になります。

● CD/DVD、HDD1/HDD2/HDDの再生コマンド

コマンド	発音例	機能
(アルバム名称)	(アルバム名よみ)	指定したアルバムの1曲目から再生します。
(アーティスト名称)	(アーティスト名よみ)	指定したアーティストの1曲目から再生します。
(曲タイトル名称)	(曲タイトル名よみ)	指定したタイトルの1曲目から再生します。
トラックアップ	とらっくあっぷ つぎのきょく	次のトラックを再生します。
トラックダウン	とらっく(だうん だう だん) あたまだし	現在のトラックの先頭から再生します。
前の曲	[ひとつ]まえのきょく いっきょくまえ	1つ前の曲を再生します。
チャプターアップ	ちゃぶたーあっぷ つぎのちゃぶたー	次のチャプターを再生します。
チャプターダウン	ちゃぶたー(だうん だう だん) ちゃぶたーあたまだし	現在のチャプターの先頭から再生します。
前のチャプター	[ひとつ]まえのちゃぶたー	1つ前のチャプターを再生します。
トラック<数字>	とらっく(いち)	指定した番号のトラックを再生します(トラック20まで)。
チャプター<数字>	ちゃぶたー(いち)	指定した番号のチャプターを再生します(チャプター20まで)。
フォルダーアップ	(ふぉ ほ)るだ[-]あっぷ	次のフォルダの先頭の曲から再生します。
フォルダーダウン	(ふぉ ほ)るだ[-](だうん だう だん)	前のフォルダの先頭の曲から再生します。
ファイルアップ	ふぁいるあっぷ	次のファイルを再生します。
ファイルダウン	ふぁいる(だうん だう だん)	現在のファイルの先頭から再生します。
ファイル<数字>	ふぁいる(いち わん)	指定した番号のファイルを再生します。

● オーディオ設定コマンド

コマンド	発音例	機能
VOLUME UP	ぼりゅーむあつぷ おおきく おんりょうあつぷ	音量を大きくします。
VOLUME DOWN	ぼりゅーむだうん ちいさく おんりょうだうん	音量を小さくします。
ATT ON	あってねーた [おん] みゅーと [おん] しずかに	「オン」ですべてのスピーカーの音量を下げます。
ATT OFF	(あってねーた みゅーと) (おふ かいじょ)	「オフ」でアッテネータを解除します。
ROCK	いこらいざーろっく いーきゅーろっく	イコライザーをROCKに設定します。
POPS	いこらいざーぼっぷす いーきゅーぼっぷす	イコライザーをPOPSに設定します。
DANCE	いこらいざーだんす いーきゅーだんす	イコライザーをDANCEに設定します。
VOCAL	いこらいざーぼーかる いーきゅーぼーかる	イコライザーをVOCALに設定します。
NATURAL	いこらいざーなちゅらる いーきゅーなちゅらる	イコライザーをNATURALに設定します。
プリセット <1-3の数字>	(いこらいざー いーきゅー) ぶりせつと (いち わん) (に っ) (さん すりー)	プリセット<数字>を設定します。
PL MUSIC	(びーえる ぶろろじっく) (に っ) みゅーじっく	DOLBY PL をMUSICに設定します。
PL MOVIE	(びーえる ぶろろじっく) (に っ) むーびー	DOLBY PL をMOVIEに設定します。
PL MATRIX	(びーえる ぶろろじっく) (に っ) まとり [っ] くす	DOLBY PL をMATRIXに設定します。
ProLogic	(びーえる ぶろろじっく) (に っ) ぶろろじっく	ProLogicに設定します。
BYPASS	(びーえる ぶろろじっく) (に っ) (ばいぱす おふ)	DOLBY PL をBYPASS(OFF)に設定します。

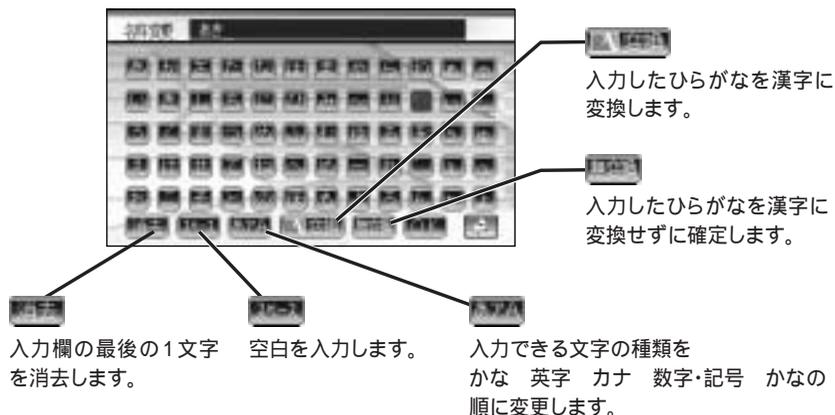
10 付録

名称入力画面の操作	P.10-2
故障かなと思ったら	P.10-3
MP3について	P.10-18
MD Groupについて	P.10-20
地図データベースについて	P.10-21
Music Cellar使用許諾契約書	P.10-22
Music Cellarについて	P.10-24
その他の資料	P.10-27
AV用語集	P.10-28
仕様一覧	P.10-31
保証とアフターサービス	P.10-36
用語索引	P.10-37



名称入力画面の操作

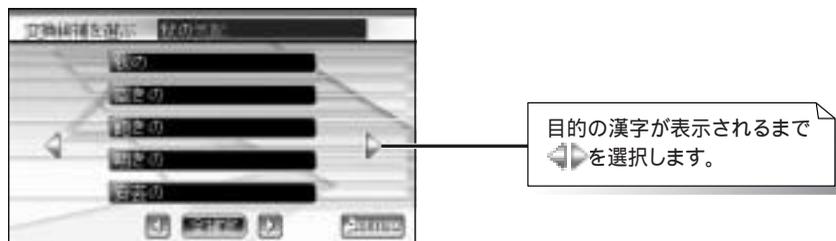
漢字、ひらがな、カタカナ、英数字を入力するための名称入力画面は次のように使います。



1 入力したひらがなを漢字に変換する場合は **変換** を選択します。



2 漢字を選択します。



Finish



- ・ 漢字に変換するひらがなの範囲を変えたいときは、**範囲** **変更** を選択します。
- ・ [変換候補を選ぶ]画面で、表示されている漢字ですべてよいときは、**確定** を選択して漢字の変換を確定することができます。

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。

● ナビ機能

症状	考えられる原因	対処方法
本機が動作しない。	本機の温度が低すぎる。	冬季などに本機の温度が下がりすぎると、保護機能が働いて作動しなくなる場合があります。周囲の温度が上がれば、保護機能が解除され通常動作に戻ります。
メモリスティックからハードディスクに読み込めない。	本機や周囲の温度が高すぎるか低すぎます。	適切な温度範囲で使用してください。
地図の向きを変更できない。	3Dの表示中は地図の向きを変更できません。	平面図表示にしてから地図の向きを変更してください。
スカイマップが表示できない。	表示中の地域に航空写真地図のデータがありません。	
市街地図を表示できない。	表示中の地域に市街地図がありません。	表示できる最も詳細なスケールで使用してください。
ルート探索の結果が消去された。	デモンストレーション走行中にアクセサリ回路（ACC）がオフ/オンされた。 [案内]を選択する前に、[もどる]を選択したり、電源がオフになった。	デモンストレーション走行中はアクセサリ回路（ACC）をオフ/オンしないでください。 目的地や通過点は保持されていますので、[再探索]を選択してルート探索をし直してください。
ランドマーク情報が表示されない。テナント情報が表示されない。	地図のスケールが不適切です。	ランドマーク情報を表示する場合は、800m以下のスケールに切り替えてください。 テナント情報を表示する場合は、25m以下のスケールに切り替えてください。
ランドマーク、VICISマークが表示されない。	地図のスケールが不適切です。	ランドマークが表示されるのは800m以下のスケール、VICISマークが表示されるのは200m以下のスケールで地図を表示している場合です。 また、地図を無段階に拡大すると、200mと400mの間のスケールで表示しているときも200mと表示されます。 この場合、実際は200m以上のスケールで表示しているためVICISマークは表示されません。

症状	考えられる原因	対処方法
メモリ地点を登録できない。	すでに100カ所登録されている。	不要なメモリ地点を削除するか、メモリ地点をハードディスクに保存してから削除してください。
通過点を登録できない。	すでに5カ所が登録されている。	不要な通過点を削除してください。
名称検索時に漢字が入力できない。		ひらがなで入力してください。
ルートの種類が選択できない。通過点を変更できない。	ドライブガイドのドライブコースを利用している。	ドライブガイドのドライブコースを使用しているときに探索されるルートの種類は「標準」のみです。また、通過点の追加、削除、変更はできません。
目的地が書き替えられた。	すでに目的地が登録されているときに、さらに目的地を登録した。	目的地を登録し直してください。
入口ICや出口IC変更で、使用したいインターチェンジを選択できない。	ルート探索で選ばれたインターチェンジの前後3つのインターチェンジまでを選択できます。	選択できるインターチェンジを指定してください。また、ルートによっては変更できない場合があります。
5種類のルートが同じになる。	出発地と目的地の位置関係による。	出発地と目的地の位置関係によっては同じになる場合があります。
住所検索で戸建番号を指定できない。	地域によっては戸建番号を指定できない場合があります。	付近を検索して、地図上で探してください。
ルート探索したが目的地が記憶されていない。	目的地に到達していない。	到達していない目的地は過去目的地としては記憶されません。
	目的地に到着したのが、最近の20カ所よりも古い。	過去目的地として記憶されるのは20カ所までです。
自車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y字路等を通じたときに、実際と異なる道路にマップマッチされた。	しばらく走行すると正しい位置に表示されます。
	「パルス学習中」が表示されている。	「パルス学習中」の表示中は、自車位置がずれることがあります。学習が終了するまでそのまま走行してください。

症状	考えられる原因	対処方法
自車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	テレビの56チャンネルを受信している。	56チャンネルの2倍の高調波がGPS衛星の受信周波数に近いため影響を受けやすくなります。56チャンネル以外のテレビを受信してください。
	GPSの測位誤差です。	4個以上のGPS衛星からの電波を受信できている状態で、現在地は三次元測位されます。この状態で、GPSの測位誤差は30～200mです。3個のGPS衛星からの電波しか受信できないときは、最後に三次元測位できたときの高度を元にして二次元測位されます。この状態では、三次元測位時よりも誤差は大きくなります。2個のGPS衛星からの電波しか受信できないときは測位できません。
自車マークが道路外や反対車線に表示される。	市街地図（25mまたは10mスケール）、シテイクルーズビュー、またはスカイマップを表示している。	市街地図などのまま走行すると、地図データ等の誤差により道路外に表示されてしまう場合があります。
自車マークの方向が実際と異なる。	本機の電源がオフのときに車両の向きが変わった。	しばらく走行すると正しい方向に表示されます。
VICSの地図表示情報（レベル3）が表示されない。	地図のスケールが不適切。	VICSの地図表示情報（レベル3）を表示できるのは800m以下のスケールです。
	スカイマップを表示している。	スカイマップ以外に表示を切り替えてください。
車速断線コーションが表示される。	車速コードが接続されていない。	正しく接続してください。
VICS情報が割込表示されない。	割込表示がオフに設定されている。	機能設定画面で割込表示をオンに設定してください。
	ビーコンアンテナが接続されていない。	別売品のビーコンアンテナVF-B500を接続してください。
VICS情報表示画面にVICS情報を表示できない。	情報の種類として「一般」（一般情報）が選択されている。	[FM]または[ビーコン]を選択してください。
	VICS局からの電波を受信できていない。	自動選局に切り替えるか、手動選局で受信可能な周波数にしてください。

症状	考えられる原因	対処方法
一般情報を表示できない。	情報の種類として「FM」または「ピーコン」が選択されている。	「一般」（一般情報）を選択してください。
自動渋滞回避をオンに設定しているが、渋滞している道路が回避されない。	他の道路よりも、現在のルート上の道路を通るほうが渋滞していても早い。	自動渋滞回避は、渋滞道路を回避するのではなく、渋滞を考慮に入れた上で最短時間になるように探索されます。
FM多重放送が受信できない。	ラジオアンテナが伸びていない。	ラジオアンテナを伸ばしてください。
すべてのメモリ地点が書き換えられた。	地点ファイルをハードディスクから読み込んだ。	地点ファイルを読み込むと、本機に登録されているメモリ地点は失われます。あらかじめ、ハードディスクに保存してください。
夜地図色が表示されない。	「昼固定」に設定されている。	「自動」に設定してください。
	イルミネーションコードが接続されていない。	正しく接続してください。
電源をオンにすると、すぐにシミュレーションが始まる。	シミュレーションがオンに設定されている。	ルート確認メニューでシミュレーションをオフに設定してください。
メモリースティックが使えない。	パソコンでフォーマットしたメモリースティックを使っている。	パソコンでフォーマットしていないメモリースティックを使うか、本機でフォーマットしなおしてください。
ボイスガイドされない。	音量が0に設定されている。	ボイスガイドの音量を調整してください。
	ボイスアドバイザが「OFF」に設定されている。	「ON」に設定してください。
[ETC]ボタンが表示されない。	ETCユニット ETC-2500（別売品）を接続していない。	ETCユニットを接続してください。

● AV機能

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
	入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。	「取付説明書」をご覧のうえ、正しく接続し直してください。
	操作パネルがフルオープンしている（HDV-810）。	車両ACCをオンにしてイジェクトボタンを押してください。
	HDDカバーが外れている。	HDDカバーを正しく取り付けてください。
音が出ない/音が小さい。	フェダー、バランスが片方に寄っている。	フェダーやバランスを正しく調整してください（⇒P.7-79）。
	入出力ケーブルなどの接続が間違っている。	「取付説明書」をご覧のうえ、正しく接続し直してください。
操作スイッチを押しても動作しない。	内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください（⇒P.xvi）。
	モニター画面に“⊘”が表示される。	ディスクにより禁止されている操作を行うことはできません。
	操作パネルが開いている。	操作パネルを閉じてください。
音質が悪い（音がひずむ）。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	スピーカーの配線を確認してください。
	スピーカーの配線が間違っている。	スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。
チューナーの感度が悪い。	自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナを十分に伸ばしてください。
	アンテナコントロール電源が接続されていない。	「取付説明書」をご覧のうえ、正しく接続し直してください。
	アンテナ入力がきちんと接続されていない。	アンテナ入力を確実に接続してください。

症状	考えられる原因	対処方法
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を観ることができません。
映像が乱れる。	コードやケーブルが干渉している。	TVモニターの配線の時はコードやケーブルが交差しないようにしてください。

● DVD/CD/MD (HDV-910のみ) /MP3再生

症状	考えられる原因	対処方法
SRCキーを押してもディスクが再生できない。	ディスクが入っていない。	再生するディスクを入れてください。
ディスクが入らない。	すでにディスクが入っている。	入っているディスクを取り出してから入れてください。
MDが引き込まれない。	MDを入れる方向が間違っている、または裏返しになっている。	正しい方向で入れてください。
ディスクの再生中に振動で映像や音が切れる。	取り付け角度が30°を超えている。	30°以下になるように取り付け直ししてください。
	取り付けが不安定になっている。	しっかりと取り付け直ししてください。なお、駐車車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。
DVD/CD/MP3を再生できない。	DVD/CD/MP3が裏返しである。	レーベル面を上にして入れ直してください。
	DVD/CD/MP3が異常に汚れている。	「DVD/CD/MDの挿入とイジェクト」(⇒P.1-9)をご覧ください。うえ、DVD/CD/MP3をクリーニングしてください。
	結露している。	しばらく放置してから使用してください。
	DVD/CD/MP3が内部的に検出されていない。	イジェクトボタンを押してDVD/CD/MP3を取り出しから、再度DVD/CD/MP3を挿入してください(⇒P.1-9)。
MDを再生できない。	結露している。	しばらく放置してから使用してください。
映像が乱れる。	早送り/早戻ししている。	多少乱れることがありますが、故障ではありません。
音声言語/字幕言語/アングルが切り替わらない/優先言語にならない。	複数の言語/字幕/アングルが記録されていない。	メニューで切り替えられる場合がありますので、ディスクのマニュアルをご覧ください。
DVDを選んで再生しない。	視聴制限がされている。	視聴制限を解除、または規制レベルを変更してください(⇒P.8-18)。

症状	考えられる原因	対処方法
選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない。	ランダム再生がオンになっている。	ランダム再生をオフにしてください(➡P.7-23)。
同じ曲を繰り返し再生するだけで、次の曲に進まない。	トラックリピート再生がオンになっている。	トラックリピート再生をオフにしてください(➡P.7-23)。
曲の先頭しか再生されない。	スキャン再生がオンになっている。	スキャン再生をオフにしてください(➡P.7-22)。
曲が順に再生されない。	ランダム再生がオンになっている。	ランダム再生をオフにしてください(➡P.7-23)。
DVD/CD/MP3がイジェクトできない。	ディスクがイジェクト途中で止まっている。	DVD EJECTボタンをDVD/CD/MP3がイジェクトするまで押し続けてください。
CD-R、CD-RWが再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーのマニュアルをご覧ください。
DVD-R、DVD-RWが再生できない。	VR Modeで録画している。	Video Modeで録画してください。
リピート再生、スキャン再生、ランダム再生がオフされない。	ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。	各機能をボタンでオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。
ディスクを取り出せない。	車両のACCスイッチがオフになっている。	ACCスイッチをオフにするとうディスクを取り出せません。再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

● MDグループ

症状	考えられる原因	対処方法
MDグループ機能が動かない。	「その他の機能を設定する」の「MD GROUP」項目を“OFF”に設定しているため、ディスクタイトルとグループタイトルとがすべて表示されている。	「その他の機能を設定する」(⇒P.8-23)の「MD GROUP」項目を“ON”に設定してください。
グループ登録済みMDが登録した順番どおりに再生されない。	グループ機能を搭載していない編集機などで編集を行った。	グループ機能を搭載した編集機などで、グループを登録しなおしてください。
	グループタイトルに“//”が付いている。	グループ情報が正しく認識できないため、グループタイトルに“//”は付けないでください。
ディスクタイトルが正しく表示されない。	「その他の機能を設定する」の「MD GROUP」項目を“OFF”に設定している。	“MD GROUP”項目を“OFF”に設定時はグループ情報が表示されます。
ディスクタイトルが表示できない。	ディスクタイトルとグループタイトルとが異なる種類の文字で登録されている。	ディスクタイトルとグループタイトルとが異なる種類の文字で登録されているMDでは、ディスクタイトルが表示できないことがあります。グループ機能を搭載した編集機などでディスクタイトルを登録し直してください。
聴きたい曲が選択できない。	グループに登録されていない。	聴きたい曲を何らかのグループに登録するか、「その他の機能を設定する」(⇒P.8-23)の「MD GROUP」項目を“OFF”に設定してください。
MDの再生が1曲目に戻る。	「その他の機能を設定する」の「MD GROUP」項目の設定を行った。	MDを再生中に「その他の機能を設定する」(⇒P.8-23)の「MD GROUP」の設定を行うとMDの再生が1曲目に戻ります。

● MP3

症状	考えられる原因	対処方法
MP3ファイルが再生できない。	ISO9660 level1/2, Joliet、またはRomeoに準拠して記録されていない。	ISO9660 level1/2, Joliet、またはRomeoに準拠したディスクを使用してください。
	MP3ファイルに拡張子が付いてない。	MP3ファイルには“.MP3”を付けてください。
	ディスクに傷や汚れがある。	「DVD/CD/MDの挿入とイジェクト」(⇒P.1-9)をご覧のうえ、ディスクをクリーニングしてください。
	ディスク内にGracenote CDDDBなどのアップデートファイルが書かれている。	MP3ファイル以外のファイルを同じディスクに書き込まないでください。
MP3ファイルを再生中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	「DVD/CD/MDの挿入とイジェクト」(⇒P.1-9)をご覧のうえ、ディスクをクリーニングしてください。
MP3ファイルを再生時に雑音が入る/音が出なくなる。	MP3ファイル以外のファイルに“.MP3”拡張子が付いている。	MP3ファイル以外のファイルに付いている“.MP3”拡張子を消去してください。
フォルダネーム/ファイルネームが正しく表示されない。	ISO9660 level1/2, Joliet、またはRomeoに準拠して記録されていない。	ISO9660 level1/2, Joliet、またはRomeoに準拠したディスクを使用してください。
	ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。	ライティングソフトのマニュアルをご覧のうえ使用できる文字で記録してください。
演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない。	MP3ファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。	
MP3ファイルを再生するまで時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。	最初にメディア内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。
MP3ファイルが順番どおりに再生されない。	再生させたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。	ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に“00”~“99”などと入力してから書き込むことで順番を設定できる場合があります。

症状	考えられる原因	対処方法
ID3 Tag情報が正しく表示されない。	ID3 Tagがv1.xに準拠して記録されていない。	ID3 Tagをv1.xに準拠して記録してください。
CD-RWに記録したMP3ファイルが再生されない。	CD-RWのフォーマットを簡易フォーマットで行ったため。	CD-RWをフォーマットするときは、フルフォーマットで行ってください。
ファイル検索できない。	最初の曲で前の曲へ、最後の曲で先の曲へファイルサーチしようとしている。	フォルダリピート中などを除き、最初の曲から最後の曲へ、最後の曲から最初の曲へはファイル検索できません。

● 共通

症状	考えられる原因	対処方法
セキュリティコード項目が表示されない。	すでにセキュリティコードを設定してある。	セキュリティコードを一度設定すると変更はできません。このため、ファンクションセット項目から削除されます。
セキュリティコードを忘れた。	セキュリティコードを調べることができません。	ケンウッドサービスセンターにご相談ください。
画面にタッチしても反応しない。	タッチパネルがズレている。	タッチパネルの補正をしてください。(➡P.1-32)
操作パネルが開かない。	車両のACCスイッチがオフになっている。	ACCスイッチをオンにして操作してください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	気温が低い場所に放置していた。	モニターユニットの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに液晶パネルの特性上、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
画面が見にくい。	見る角度によってコントラスト、明るさが変わります。	コントラスト、明るさを調整してください。(➡P.1-29)

● サウンドマネジメントシステム/サラウンドコントロール/イコライザーコントロール

症状	考えられる原因	対処方法
サウンドマネジメント効果が得られない。	2スピーカーシステムになっている。	4スピーカーシステムにしてください。
	フロントスピーカーとリアスピーカー、あるいは右スピーカーと左スピーカーが逆に接続されている。	「取付説明書」をご覧くださいのうえ、正しく接続し直してください。
	スピーカーの極性が逆に接続されている。	「取付説明書」をご覧くださいのうえ、正しく接続し直してください。
	フェダーまたはバランスの調整が片側に片寄っている。	「音響効果を設定する」(▶P.7-71)をご覧くださいのうえ、フェダーやバランスを中央に調整してください。
イコライザーを調整しても効果が現れない。	1つの周波数だけを調整している。	調整した周波数の周囲の周波数も調整してください。

● HDD1/HDD2/HDD

症状	考えられる原因	対処方法
録音できない。	SCMS対応のディスクを録音しようとしている。	SCMS対応のディスクは録音できません。
	本機の内部温度が高温もしくは低温になっている。	動作可能な温度になるまでお待ちください。
	CDが挿入されていない。	CDを挿入してください。
	ソースがCDモードになっていない。	ソースをCDモードにしてください。
再生できない。	本機の内部温度が高温もしくは低温になっている。	動作可能な温度になるまでお待ちください。
	ファイルを削除してしまった。	削除したファイルは再生できません。
	データ管理画面中である。	データ管理画面を終了してください。

本機では各種設定により設定ができなくなる機能があります。

「ポジションの選択」(⇒P.7-72)のリアスピーカーの設定ができない。

「スピーカーを設定する」(⇒P.8-6)でリアスピーカーを“NONE”に設定している。

「キャビンサイズを設定する」(⇒P.8-3)のリアスピーカーの設定ができない。

「チャンネルレベルを設定する」(⇒P.8-7)のリアスピーカーの設定ができない。

「ポジションの選択」(⇒P.7-72)のセンタースピーカーの設定ができない。

「スピーカーを設定する」(⇒P.8-6)でセンタースピーカーを“NONE”に設定している。

「キャビンサイズを設定する」(⇒P.8-3)のセンタースピーカーの設定ができない。

「チャンネルレベルを設定する」(⇒P.8-7)のセンタースピーカーの設定ができない。

「サラウンド設定」(⇒P.7-76)を“Dolby PL II”に設定できない。

「スピーカーを設定する」(⇒P.8-6)でセンタースピーカーとリアスピーカーを“NONE”に設定している。

「ポジションの選択」(⇒P.7-72)のサブウーファーの設定ができない。

「スピーカーを設定する」(⇒P.8-6)でサブウーファーを“NONE”に設定している。

「キャビンサイズの設定」(⇒P.8-3)のサブウーファーの設定ができない。

「チャンネルレベルを設定する」(⇒P.8-7)のサブウーファーの設定ができない。

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

● ナビ画面のメッセージ

・ハードディスク・ファイル関連のメッセージ

メッセージ	対処
低温！！ ハードディスクが温まるまで書き込みは行えません。再度操作を行ってください。	ハードディスクが低温のため、書込みを行うことができません。セット内部の温度が上がるまでお待ちください。
高温！！ ハードディスクが冷えるまで書き込みは行えません。再度操作を行ってください。	ハードディスクが高温のため、書込みを行うことができません。セット内部の温度が下がるまでお待ちください。
これ以上の下層フォルダを開くことが出来ません。	フォルダには階層に制限があります。規定の階層より下の階層を開くことはできません。

・メモリースティック関連のメッセージ

メッセージ	対処
メモリースティックのフォーマットができません。メモリースティックをご確認ください。	メモリースティックの誤削除防止スイッチが“LOCK”になっていないことを確認してください。

・その他のメッセージ

メッセージ	対処
車速パルスが入力されていません。	車速パルスの接続を確認してください。確認後、自車の動作がおかしい場合は、パルスリセットを行ってください。
GPSアンテナの接続が異常です。	GPSアンテナの接続を確認してください。
過去の日付を設定することはできません。	メンテナンス設定で、お知らせ日を現在日より過去に設定した時に表示されます。現在日以降の日付を設定してください。
設定可能な日付ではありません。範囲は2000年～2099年です。	メンテナンス設定で、ワンタッチボタンで2000年～2099年の範囲を超えるように設定した時に表示されます(例：設定日2099年の時に「1年」のワンタッチボタンを押した場合)。設定可能範囲内の日付を設定してください。

● AV画面のメッセージ

表示	説明	対処方法	対象ソース
リジョンコードエラーです。	地域コード不一致により再生できません。	<ul style="list-style-type: none"> 正しいディスクと交換してください。 正しいファイルを再生してください。 	DVD
ディスクが読めません。	読み込み不可のディスク、ディスクのアクセスエラーまたはHDDのアクセスエラーです。		DVD/CD/MD/HDD1/HDD2/HDD
このディスクは再生できません。	ディスク(DVD、CD、またはMD)の形式が不明です。		DVD/CD/MD
高温!! 冷えるまで再生できません。	高温のため装置が動作できません。	再生可能となるまでしばらくお待ちください。	DVD/CD/HDD1/HDD2/HDD
低温!! 温まるまで再生できません。	低温のため装置が動作できません。		HDD1/HDD2/HDD
ブランクディスクです。再生できません。	ブランクのMDです。	正しいディスクと交換してください。	MD
未録音ディスクです。再生できません。	MDに何も録音されていません。		MD
視聴制限エラー	現在の視聴制限設定のため再生できません。	再生するためには視聴制限を変更してください。	DVD
DVDメカにエラーが発生しました。	装置の異常です。	本機のリセットボタンを押してください。正常な使用で繰り返し発生する場合はお近くのケンウッドサービス窓口にご相談ください。	DVD/CD
MDメカにエラーが発生しました。	装置の異常です。		MD
HDDにエラーが発生しました。	装置の異常です。		HDD1/HDD2/HDD
エラーが発生しました。(ERROR **)	その他のエラーが発生しました。		DVD/CD/MD/HDD1/HDD2/HDD

MD、HDD1、HDD2はHDV-910のみ使用できます。

HDDはHDV-810のみ使用できます。

MP3について

本機はMP3ファイルを再生することができますが、使用できるMP3ファイルを記録したメディアやフォーマットには制限があります。MP3ファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。以下に記載されている制限文字数はいずれも1 byte文字を使用した場合の文字数です。

使用できるメディア

使用できるMP3を収録するためのメディアはCD-ROM、CD-R、およびCD-RWです。

再生できるMP3フォーマット

本機で再生できるMP3ファイルは、MPEG 1 Audio Layer 3, MPEG 2 Audio LSF Layer 3, MPEG 2.5規格のものです。

サンプリング周波数
: 8,11.025,12,16,22.05,24,32,44.1,48 (kHz)
ビットレート: 8 ~ 320 (kbps)

使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。フォーマット名の後ろの文字数は、ファイル名に付けられる最大文字数(区切り文字“.”と拡張子3文字を含む)です。

ISO 9660 Level 1: 12文字
ISO 9660 Level 2: 31文字
Joliet: 64文字
Romeo: 128文字

なお、ロングファイル名形式で書き込んだ場合は、80文字まで表示が可能です。

使用できる文字はライティングソフトのマニュアルおよび下記「ファイル名とフォルダ名の入力」を参照してください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

最大ディレクトリ階層: 8階層
1フォルダ中の最大ファイル数: 255
最大フォルダ数: 254
最大フォルダ名: 200文字

前記のフォーマット以外で書き込まれたMP3ファイルは、正常に再生されなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

圧縮ソフトとライティングソフトの設定

MP3ファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は“128kbps”の“固定”を推奨します。

何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、“Disc at Once”の設定をしてください。

ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数文字、カナ文字または日本語で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。また、ライティングソフトや使用するディスクのフォーマットによって表示できる文字が制限されます。詳しくはライティングソフトのマニュアルをご覧ください。

また、MP3ファイルと認識されて再生されるファイルは、“.MP3”の拡張子が付いたものだけです。MP3ファイルには、“.MP3”拡張子を付けて保存してください。



禁止 MP3以外のファイルに、“.MP3”の拡張子を付けると、MP3ファイルと誤認識して再生をしてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。

MP3以外のファイルに、“.MP3”拡張子を付けないようにしてください。

ID3 Tagについて

本機で表示できるID3 Tagは、ID3 Tag v1.x規格で記録された曲名、アーティスト名、およびアルバム名です。また、表示できる文字種は英数文字、カタカナ、日本語(シフトJIS)です。

ID3 Tagで表示できるのは、曲名、アーティスト名およびアルバム名の30文字までです。

メディアに書き込むファイルについて

MP3が収録されているメディアを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。

このため、再生するメディアに多くのフォルダやMP3以外のファイルを書き込むと、再生するまで長時間必要になります。

また、次のMP3ファイルの再生に移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

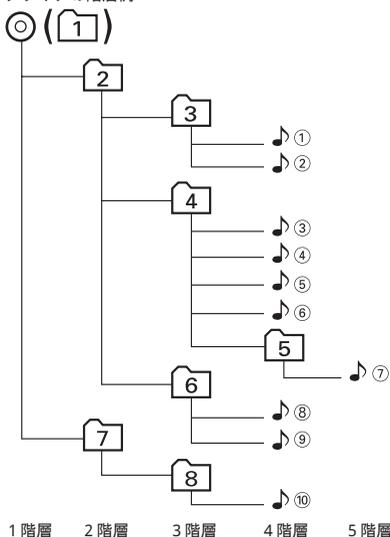
MP3ファイルを再生する順番

再生、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、再生されると予想していた順番と実際に再生される順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭に再生する順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、再生する順番を設定できることがあります。

以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は次のようになります。

メディアの階層例



♪④再生中にファイルサーチを行うと...

押すキー		
再生中のファイルNo.		
♪④	♪④の最初 ▶♪③	♪⑤ ▶♪⑥

♪④再生中にフォルダサーチを行うと...

押すキー		
現在のフォルダNo.		
④	⑤ ▶ ⑥ ▶ ⑦ ▶ ⑧ ▶ ① ...	③ ▶ ② ▶ ① ▶ ⑧ ...

音楽などの著作物を個人的に楽しむなどの場合を除き、著作権者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

地図データベースについて

- ・本機に搭載されている「地図」は、財団法人日本デジタル地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社ゼンリンの地理情報に基づいて、株式会社トヨタマップマスターと株式会社デンソーが製作したものです。
- ・この地図の作成に当たっては、国土交通省国土地理院発行の5万分の1地形図および2.5万分の1地形図を使用しました。
- ・この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において製作された、国土数値情報を使用しました。
- ・この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会の「全国デジタル道路地図データベース」を使用しました。
- ・この地図に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき設立された全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて、(財)日本交通管理技術協会(TMT)が作成したものを使用しています。(承認番号03-15)
- ・この地図に使用している交通規制データは、2002年4月現在のもので、本データが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等にしがってください。
- ・この地図に使用している交通規制データの著作権は、(財)日本交通管理技術協会が有し、株式会社デンソーは二次的著作物作成の使用実施権を取得しています。
- ・この地図に使用している交通規制データを無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- ・いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

<ご注意>

- ・本機には2003年3月現在の地図データを収録していますが、道路や地名は地図ディスク作成後、変更される可能性があり、実態と合わない場合があります。
- ・本機搭載の地図データには交通規制データが収録されています。現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・標示等にしがってください。
- ・本機搭載の地図データの内容は、予告なく変更されることがあります。
- ・本機搭載の地図データの誤字・脱字等の誤りに対して、取替え・代金の返却はいたしかねます。
- ・運転中の操作は危険です。必ず、安全な場所に自動車を停止させてから、操作してください。
- ・本機を使用したことによって生じた、お客様および第三者のいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねますのでご了承願います。
- ・尚、本機のご使用は、上記の内容を承諾された上での使用とみなさせていただきます。

「地図」の情報など内容についてのお問い合わせは、株式会社デンソーお客様相談窓口までご連絡ください。

フリーフォン : 0070 - 800 - 103179 (無料)

受付時間 : 10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 16:00 土・日を除く

製造元: 株式会社デンソー

〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1 1

販売元: 株式会社ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967 3

DENSO CORPORATION

ZENRIN CO.,LTD.

SHOBUNSHA PUBL.,INC.

DRMA

DAIKEI CO.,LTD.

©2003 MADE IN JAPAN

©2002 TMT

ソフトウェア使用許諾契約書

本書は、株式会社ケンウッド（以下「ケンウッド」）が著作権およびお客様に対して使用を許諾する権限を有するソフトウェアおよびそれに付属するマニュアル等の関連資料で構成される「本製品」に関するお客様のご使用条件等を定めたものです。

お客様は使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、ソフトウェアが納められている媒体（以下、「メディア」）の包装を開封していただくものとします。

お客様がメディアの包装を開封した時点で本契約が成立したものと看做されます（ご同意いただけない場合は、ご購入いただいた日より30日以内に、包装を開封せずに本製品を購入先までご返却ください）。

なお、本製品が弊社の特定の製品（以下、「対象製品」）を対象とするバージョンアップもしくは優待販売により提供されている場合には、ケンウッドは、対象製品をご使用いただいている方に対してのみ本製品の使用を許諾します。

第1条 定義

1. 「ソフトウェア」とは、本契約書と共に供されるすべてのコンピュータープログラム等をいいます。これらは一体としてお客様に供されるものであり、分離して複数人が使用することはできません。なお、ケンウッドが権利者の許諾のもとに本製品に組み込みまたは組み合わせている第三者の著作物に関しても、本契約書以外に特段の記載のない限り、本項に定める「ソフトウェア」に含まれるものとし、本契約が適用されます。
2. 「ソフトウェアの使用」とは、コンピューターのRAM等にソフトウェアを複製する行為、つまりソフトウェアをコンピューターにおいて実行あるいは利用することをいいます。

第2条 使用条件

1. ソフトウェアを1台のコンピューターに複製（インストール）して使用することができます。
2. ソフトウェアがお客様の占有し管理する1台のコンピューターにのみインストールされている場合に限り、お客様は、当該コンピューターにインストールされたソフトウェアを第三者に使用させることができます。

第3条 禁止事項

お客様は、以下の行為を行うことはできません。

- (1) ソフトウェアの複製物を複数のコンピューターにインストールする行為
- (2) 本製品を譲渡、賃貸、リース、再販売、配給、ネットワーク等をする行為
- (3) バックアップの目的以外で、本製品の一部又は全部を、ケンウッドの許諾なく複製する行為
- (4) ソフトウェアを改修、変更、翻案、併合、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等を行う行為

第4条 保証範囲

1. お客様が本製品を購入された日から90日以内に限り、メディアやマニュアルに物理的欠陥があった場合には無料で交換いたします。
2. 本製品の品質及び機能がお客様の使用目的に適合することを保証するのではなく、また本契約書に明示的に記載された以外、本製品についての瑕疵担保責任および保証責任を一切負いません。本製品の選択導入はお客様の責任で行っていただき、本製品の使用およびその結果についても同様とします。
3. 本製品の物理的瑕疵についての保証を行うものであり、本製品の使用または使用不能から生ずる直接的または間接的損害については一切責任を負いません。

第5条 有効期間

1. 本契約の有効期間は、本契約成立の時からお客様が本製品の使用を停止するまでとします。
2. お客様が、本契約の各条項に従わなかった場合またはケンウッドの著作権を侵害した場合は、ケンウッドからの通知に要することなく、本契約は直ちに終了します。
3. 終了時には、お客様は、本製品及びそれらの全ての複製物を速やかにお客様のご負担で破棄しなければなりません。

お客様は、本製品及びそれらの全ての複製物を破棄することにより、何時においても、本契約を終了させることができます。

第6条 国外持出の禁止

お客様は、事前にケンウッドの文書による許可がない限り、ソフトウェアを日本国外に持出し、あるいは送付してはならないものとします。

第7条 準拠法

本契約は、日本国法の下で解釈されるものとし、東京地方裁判所を第1審の管轄裁判所とします。

東京都八王子市石川町2967番地3
株式会社ケンウッド

Music Cellarについて

Music Cellarは、パソコンに保存されているMP3ファイル（ビットレート128kbps以下の音楽ファイル）を、ナビゲーションシステムで再生できる形式（KENWOOD Sound Format）に変換し、メモリースティックに保存します。

● Music Cellarの動作環境

次のハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

項目	必要条件	備考
本体	下記のOSに対応しているIBM PC/AT互換機（日本語版）	Macintoshでは使用できません。
CPU	MMX Pentium 233MHz以上	Pentium 400MHz以上を推奨
メモリ	64MB以上	
ハードディスク	10MB以上の空き容量	
サウンドボード	下記OSでサポートされているもの	
ディスプレイ	800×600ドット以上の解像度でHigh Color(16ビット)以上を表示可能なもの	
OS	下記のうちのいずれか ・ Windows 98 Second Edition ・ Windows Millenium Edition ・ Windows 2000 Professional ・ Windows XP Home Edition/Professional	Windows 95/ Windows 98/ Windows NT/ Windows 2000(Serverなど)では動作保証しません。
その他	・メモリースティックを読み書きできるデバイス ・ Internet Explorer 5.0以降、Windows Media Player 7.0以上、およびMicrosoft Direct X 8.0以上	

上記環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。



- ・ Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition/ProfessionalでMusic Cellarを動作させる場合は、以下の制限があります。
- ・ Windowsドメインユーザーアカウントから、ログオンして使用することはできません。
- ・ インストールには、Administrator権限が必要です。
- ・ Administrator権限のあるユーザーであっても、全角のユーザー名でログオンするとインストールが失敗する場合があります。その場合は、いったんログオフし、Administrator権限のあるユーザー名でログオンしてMusic Cellarをアンインストールした後、再度Administrator権限のあるユーザー名でログオンしてインストールしなおしてください。Music Cellarを使用するときは、Administrator権限またはPower User権限のユーザー名でログオンしてください。

● ナビゲーションシステムからメモリースティックへの書き出し

詳細については6-64ページをご覧ください。

● パソコンへのインストール

下記の手順で、Music Cellarをパソコンにインストールします。

- 1 ナビゲーションシステムからMusic Cellarインストーラを書き出したメモリースティックをパソコンにセットします。
- 2 メモリースティックのルートディレクトリ MS_KWDにある「SETUP.EXE」をダブルクリックします。

Music Cellarのインストーラが起動して、インストールが開始されます。

これ以降は、画面の表示に従って操作してください。

インストールが正常に終了したら、メモリースティック内の「SETUP.EXE」を削除してください。

● パソコンからのアンインストール

不要になったら、下記の手順でMusic Cellarをアンインストールできます。

- 1 [スタート]-[プログラム]-[Music Cellar]-[Music Cellarアンインストール]を選択します。

Music Cellarのアンインストーラが起動して、アンインストールが開始されます。

これ以降は、画面の表示に従って操作してください。

なお、Music Cellarをアンインストールしても、Music Cellarがデータ保存先として指定しているフォルダおよび今まで編集していたデータは残ります。必要に応じて、手動で削除してください。

● 音楽ファイル入りのメモリースティックの作成方法

- 1 本機で初期化したメモリースティック(⇒P.6-65)をパソコンにセットします。
- 2 音楽CD、インターネット等から入手した音楽データをMP3ファイルに変換します。
- 3 Music Cellar専用アプリケーションにMP3ファイルを取り込み、音楽ファイル(KSF)の編集を行います。
- 4 編集した音楽ファイル(KSF)をメモリースティックに保存します。

● Music Cellarの起動

Windowsの[スタート]-[プログラム]-[Music Cellar]を選択します。

なお、これ以降の使用方法は、Music Cellarのオンラインヘルプを参照してください。

● Music Cellarの使用上のご注意

- ・ Music Cellarで音楽を再生中に他のアプリケーションを使用すると、音切れが発生することがあります。
- ・ Music Cellarがインストールされているフォルダや音楽データが保存されているフォルダは、エクスプローラ等で操作しないでください。
- ・ メモリースティック内に作成されたフォルダやファイルは、エクスプローラなどで直接の編集を行わないでください。
- ・ パソコンによってはメモリースティックに音楽ファイルを転送するのに時間がかかる場合があります。
- ・ Music Cellarが対応しているID3 Tagはv1.x規格のみです。
- ・ メモリースティックに音楽ファイルを転送するときのファイル名は、ID3 Tagの曲名で保存されます。

● エラーについて

- ・ Music Cellar起動時にエラーが発生する場合
Windows Media Player をインストールしてください。
Windows Media Playerの最新版は、マイクロソフトのサポートページからダウンロードできます。
- ・ 再生時に音が出ない場合
サウンドデバイスが正常に動作していることやDirectXが正しくインストールされていることを確認してください。
DirectXの最新版は、マイクロソフトのサポートページからダウンロードできます。
上記の処置を行っても正常に動作しない場合は、下記のサポートセンターへご相談ください。

● サポートについて

- ・ Music Cellarのサポートおよび製品情報に関する情報は、ホームページをご覧ください。
インターネットURL=<http://www.kenwood.com/j/download/mulia/index.html>
- ・ Music Cellarの取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
- ・ カスタマーサービスセンター
電話(045)933-5212 FAX(045)933-5553
〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2
- ・ カスタマーサービスセンター大阪
電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308
〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22

ソフトウェア使用許諾書

- ・本ソフトを株式会社ケンウッドに無断で複写、複製、加工、改変または解析することはできません。
- ・本ソフトを有償で第三者に譲渡、レンタル、再使用許諾することはできません。
- ・本ソフトを使用、または使用できなかったことによる派生的、付随的、間接的損害については何らの責を負いません。
- ・本ソフトを業務用として使用することはできません。
- ・本ソフト内容は予告なく変更または改変されることがあります。
- ・本ソフトの使用許諾条件は、購入者および使用者、無償で譲り受けた転得者にも適用されます。

施設情報及び個人情報（電話番号）について

- ・個人情報は株式会社ダイケイのテレデータを使用しております。
- ・これらの情報は本ソフト作成後、変更されている場合があります。
- ・本ソフトに格納されるあらゆるデータ、個人情報については、購入者の責任において使用するものとし、当社は何らの責を負いません。また、これらの情報に誤りがあった場合でも、当社は何らの責を負いません。

なお、個人情報の削除・掲載・修正に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターに御連絡ください。

● 共通

MDLP

(エムディーエルピー)

MDの記録方式の規格です。本機ではMDLP2モードとMDLP4モードで録音されたMDを再生できます。

MP3

(エムピイスリー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。

使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「MP3について」(⇒P.10-18)をご覧ください。

タイトル

DVDビデオディスクに記録されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。

チャプター

タイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。

トラック

CDに収録されている曲の区切り(1曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラックナンバーと呼びます。

視聴規制(パレンタルロック)

視聴年齢制限をするためのDVDの機能。DVDによる制限のしかたは異なり、全く再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、差し替えたりして再生をします。

SCMS

(シリアルコピーマネジメントシステム)

音楽CDの著作権保護機能です。

各種デジタル録音機器でデジタル録音を行う場合、第二世代以降のデジタル録音ができないように規制されます。

本機では、デジタル録音により複製した音楽CDを録音することはできません。

KSF

(ケンウッドサウンドフォーマット)

MP3ファイルをナビゲーションシステムで再生できるように変換した音楽ファイル形式です。

● 音響効果の設定

Dolby Digital

(ドルビーデジタル)

ドルビー研究所の開発したデジタル音声の圧縮技術です。5.1チャンネル・サラウンドに対応しています。すべてのチャンネルを完全に分離した形で記録されているため、大量の音声データを効率良くディスクに収められ、またデジタルのため劣化しにくい特長があります。

Dolby Pro Logic

(ドルビープロロジック)

最新のデジタルマトリクス技術を応用し、これまでのDolby Pro Logicをさらに進化させたマトリクスデコード技術です。

ドルビーサラウンドをはじめ、CDのようなステレオ音源に対しても優れた5.1ch再生を実現します。サラウンドチャンネルはフルバンド化(20Hz~20kHz)、ステレオ化されたあらゆるステレオ音源を5.1chの迫力あるサウンドでお楽しみいただけます。再生するソースに合わせてMUSICモード、MOVIEモード、MATRIXモード、Pro Logicモードから選択できます。

MOVIE :ステレオ/サラウンド2chで録音されたDVD/VCD等を再生する時に使用します。

MUSIC :サウンド空間を好みに合わせて設計することができます。音楽CD時/ステレオ音声再生時に使用します。

MATRIX :Tuner等の受信状態が悪いときやモノラル音声再生時に使用します。

Pro Logic:Dolby Prologic技術を使った4chのサウンドで再生する時に使用します。

なお、Dolby Pro Logic IIに切り替えたときは、特性上音量が小さくなります。

Sound Management System

(サウンドマネジメントシステム)

キャビン(車種)とスピーカーサイズを選択することで簡単に使用環境(イコライザーカーブ(KBSカーブ)、タイムディレイ、クロスオーバー)を補正や設定ができます。これらの設定を管理する機能です。

● その他の機能

Dolby Pro Logic MUSIC

(ドルビープロロジック ミュージック)
「ドルビープロロジック サラウンド設定」で設定値の微調整ができます。

Panorama : ステレオ感を大きくし、音に包まれているような感覚を作ります。

Dimension : フロント/リアの配分を調整し、サラウンド環境の定位を設定します。

Center Width: センター音声の左右に振り分けられる配分を調整してボーカルイメージの位置を設定します。設定値が大きくなる程左右へ音声広がるような音場を作ります。

DTS : Digital Theater System

(デジタルシアターシステム)
デジタル・シアター・システムズ社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTSサウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTSは6本の独立した音声トラックを持ち、劇場公開映画などで使われている高品位の臨場感あふれるDTSサラウンドを楽しめます。

DTA

(デジタルタイムアライメント)

センター、フロント、リア、サブウーファーから出力される音を遅延させることにより、スピーカーの位置を擬似的にずらすことができる機能です。車種やスピーカー取り付け位置にとらわれずに最適な効果が得られます。

AUX

(エーユーエックス)

ビデオ/ナビゲーションなどの外部機器の出力を入力する機能です。

AUX端子から入力された音は、AUXソースに切り替えることにより、本システムを使って聴くことができます。

また、ファンクションセットで、ソース選択時にAUXソースも含めて切り替えるかを設定できます。AUX入力を使用していないときは、“OFF”に設定しておけば、AUXソースに切り替わらないので、スムーズなソース切り替えができます。

BEEP

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。押してすぐ離れたときには“ピッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押して機能をオンにしたときには“ピッピッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

なお、BEEP音はブリアウトからは出力されません。

MD Group

(エムディグループ)

この機能をオンにしておくと、グループ登録済みMDを再生中に、グループサーチ、グループリピート再生、グループランダム再生、およびグループセレクトのMDグループ機能を使うことができます。

このとき、グループに未登録の曲は再生されませんので、何らかのグループに登録するか、この機能をオフにしてください。

MDグループ機能については「MD Groupについて」(⇒P.10-20)もご覧ください。

リアエンターテインメント

リアモニター用の映像出力端子を装備しているので、リアシートにモニターを設置することでリアシートで映像が観られます。

また、本機でナビの映像を表示しながら、リアシートではDVDなどの映像を観ることもできます(⇒P.7-3)。

MONO設定

(モノラル設定)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなるときがあります。

Scroll

(スクロール)

ディスプレイにディスク/トラックタイトル、グループタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、曲名/アーティスト名、ボリュームラベルまたはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

SEEKモード

(チューニングモード)

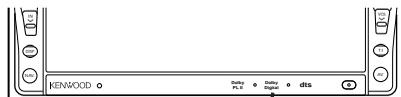
放送局の探し方を設定することができます。

- AUTO : 放送局を自動的に見つけ出します。
- PRESET : メモリーされている放送局を順番に受信します。
- Manual : 1ステップずつ周波数が変わります。

S.I機能

(セキュリティインジケータ機能)

この機能をオンにしておくと、ACCをOFFにしたときにLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。



セキュリティインジケータ

セキュリティ登録

セキュリティコードを設定しておくと、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

仕様一覧

●ナビゲーション部

	HDV-910	HDV-810
アンテナ方式	マイクロストリップ平面アンテナ	
受信方式	パラレル8チャンネル	
受信周波数	1575.42MHz (C/Aコード)	
受信感度	- 130dBm以下	
測定更新時間	約1秒/1回	
測定方式	GPS/GPS + 自立航法/ハイブリッド	

●モニター部

	HDV-910	HDV-810
画面サイズ	6.5V型ワイド 143.4 (幅) × 79.3 (高さ) × 165 (対角) mm	
表示方式	透過TN型	
駆動方式	TFTアクティブマトリクス	
画素数	280,800個 400H_RGB_234V	
画素配列	RGBストライプ配列	
使用光源 (照明方式)	冷陰極管	

●TV部

	HDV-910	HDV-810
受信チャンネル	(VHF) 1 ~ 12ch	(UHF) 13 ~ 62ch
選局方式	PLL周波数シンセサイザー方式	
復調方式	(映像) 擬似同期検波方式 (音声) スプリットキャリア方式	
アンテナ入力 (入カインピーダンス)	3ch ダイバシティー (75 / ミニジャック3.5)	

●FM部

	HDV-910	HDV-810
受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0MHz ~ 90.0MHz (100kHz)	
実用感度 S/N : 30dB	9.3dBf (0.8 μ v/75)	
S/N : 50d	15.2dBf (1.6 μ v/75)	
周波数特性 (\pm 3.0dB)	30Hz ~ 15kHz	
S/N比 (dB)	75dB (MONO)	
選択度	80dB以上 (\pm 400KHz)	
ステレオ・セパレーション	40dB (1kHz)	

●AM部

	HDV-910	HDV-810
受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522kHz ~ 1629kHz (9kHz)	
感度	28dB μ	
ステレオ・セパレーション		

●DVD部

	HDV-910	HDV-810
D/A コンバーター	24bit	
A/D コンバーター	20bit	
デコーダー	リニアPCM / Dolby Pro Logic II Dolby Digital / DTS / MP3	
ワウ/フラッター	測定限界以下	
周波数特性		
96kサンプリング時	8 ~ 44,000Hz	
48kサンプリング時	8 ~ 22,000Hz	
44.1kサンプリング時	8 ~ 20,000Hz	
高周波歪率	0.01% (1kHz)	
S/N比	95dB (DVD 96kHz)、93dB (CD)	
ダイナミックレンジ	95dB (DVD 96kHz)、93dB (CD)	
対応ディスク	DVD-Video、DVD-R/-RW (Video Mode)、 DVD+R/+RW (Video Mode)、CD、CD-R、CD-RW	
リージョン番号	2	
サンプリング周波数	8kHz/11.025kHz/12kHz/16kHz/22.05kHz/ 24kHz/32kHz/44.1kHz/48kHz/96kHz	
量子化ビット数	16/20/24bit	
MP3 デコード	MPEG-1.0/2.0/2.5 Audio Layer-3 準拠	
ステレオ・セパレーション	90dB (DVD 96kHz)、90dB (CD)	

●MD部

	HDV-910	HDV-810
レーザーダイオード	GaAlAs (=780nm)	
デジタルフィルター (D/A)	8 倍オーバーサンプリング	
D/Aコンバーター	1Bit	
回転数	400 ~ 900rpm (線速度一定)	
ワウ/フラッター	測定限界以下	
周波数特性	20-20k (± 1dB)	
高周波歪率	0.01% (1kHz)	
S/N比	90dB (1kHz)	
ダイナミックレンジ	90dB	
ステレオセパレーション	85dB	

●EQDSP部

	HDV-910	HDV-810
3バンドパラメトリックイコライザー		
BAND1 周波数 (Hz)	60/70/80/100/120/140/160/200	
BAND2 周波数 (Hz)	500/1k	
BAND3 周波数 (Hz)	5.0k/7.5k/10.0k/12.5k	
可変範囲 (dB)	± 10dB (± 10 STEP)	
尖鋭度 (BAND1のみ)	0.5/0.75/1.0/1.25	
クロスオーバー High Pass Filter周波数 (フロント/リア/センター 共通)	100Hz	
SLOPE	12dB/Oct	
Low Pass Filter周波数	80/100/120Hz	
SLOPE	12dB/Oct	
タイムアライメント フロントL/R、センター	0 ~ 3.4m	
リアL/R	0 ~ 5.1m	
サブウーファー	0 ~ 4.76m	
チャンネルレベル調整幅	± 10dB	

●オーディオ

	HDV-910	HDV-810
最大出力	50W × 4	
定格出力	30W × 4 (4 ,1kHz,10%THD)	
プリアウト・レベル (FM) (Center, Subwoofer 出力端子)	1.5V/10k	
プリアウト・インピーダンス (Center, Subwoofer 出力端子)	600 以下	
AV入力端子 (RCA × 1系統) 映像入力レベル	1Vp-p/75	
音声最大入力レベル	2.8V/22k	
ビデオ出力 映像出力レベル	1Vp-p/75	

●ビーコンレシーバー部

	HDV-910	HDV-810
電波ビーコンレシーバー部 受信周波数	2.4997GHz	
受信感度	- 40 ~ - 90dBm	
光ビーコンレシーバー部 受信波長	850 ± 50mm	
受信感度	0.75 μW/cm ³	
ダウンリンク伝送速度	1.024Mbps	
アップリンク伝送速度	64kbps	

●電源 / 寸法 / 重量

	HDV-910	HDV-810
電源電圧	14.4V (11V ~ 16V)	
最大消費電流	15A	
使用温度範囲	- 10 ~ + 60	
保存温度範囲	- 30 ~ + 85	
本体		
外形寸法 (W×H×D)	180mm × 100mm × 188mm	
埋込寸法 (W×H×D)	178mm × 100mm × 164mm	
重量	3.4kg	
GPSアンテナ		
外形寸法 (W×H×D)	34mm × 13.2mm × 38mm	
重量	25g以下 (ケーブル、コネクタを除く)	

●TVアンテナ (付属品)

	HDV-910	HDV-810
受信チャンネル (FM帯)	VICS	
(VHF帯)	1 ~ 12ch	
(UHF帯)	13 ~ 62ch	
周波数範囲	76 ~ 90MHz	
	90 ~ 108MHz	
	170 ~ 222MHz	
	470 ~ 770MHz	
ブースターゲイン (FM帯)	10dB	
(VHF帯)	10dB	
(UHF帯)	10dB	
出カインピーダンス	75 × 4 (3.5mm L型ミニプラグ)	
ケーブル長	アンテナ入力ケーブル : 3m	
	アンテナ出力ケーブル : 2m	
	電源ケーブル : 2m	
電源電圧	DC14.4V (10 ~ 16V)	
消費電流	245 ~ 310mA	
フィルムアンテナ部外形寸法	360 × 95 mm	
RFアンプ/電源ユニット部 外形寸法 (W×H×D)	77.6 × 48.6 × 13.7 mm	
重量	約1.0kg	

保証とアフターサービス

保証について

- ・保証書 この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- ・保証期間 お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」(▶P.10-3)を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にお問い合わせください。

(別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

- ・保証期間中は...
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。
本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。
- ・保証期間経過後は...
お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

- ・持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。
- ・製品を修理のために、お買い上げの販売店およびケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

- ・修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。)
技術料:故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代:修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

用語索引

数字

2D表示地図	1-16、6-25
3D表示地図	1-16、1-18、1-22、6-25
3Dランドマーク	6-18、9-5

英字

AM放送の受信	7-4
AUDIO設定	7-79
AUX	7-2、7-69、8-23
AVキー	1-3、1-25、1-28
AVコントロール画面	1-3、1-25
AVソースの切り替え	1-26、7-2
AVソースセレクト画面	1-25、7-2
DISPキー	1-2、1-29
DOLBY PL	1-3、7-76
DVD映像のズームと移動	7-17
DVD再生画面のサイズ設定	8-10
DVD視聴制限の設定	8-18
DVDの映像再生	7-9
DVDの再生コントロール	7-13
DVDのタイトルサーチ	7-18
DVDのリピート再生	7-14
DVDメニュー	7-15
EQ設定	7-74
ETC音声案内	6-39
ETCカード	6-40
ETC使用時の表示	3-15
ETCの履歴	5-28
ETC割込表示	6-40
FM VICS情報放送周波数	5-22
FM放送の受信	7-4
GPS	1-13、6-31、6-34
Gracenote CDDB	7-19
Gracenote CDDB更新	6-82
HDD1/HDDソース	7-33
HDD2ソース	7-48
INキー	1-2、1-19
MDグループ機能	8-23、10-20
MDの再生	7-54
MP3データの再生	7-27
Music Cellar	6-64、10-24
NAV.キー	1-2

OUTキー	1-2、1-19
POSITION設定	7-72
SRCキー	iv、1-3、1-5、1-26
TILTキー	1-2、1-7
TIキー	1-3
TOPメニュー	1-24
TVソース	7-60
VICS	5-2
VICS規制情報表示	5-4、6-23
VICS局の選局	5-9
VICS参考資料	5-20
VICS渋滞情報表示	5-4、6-23
VICS情報	5-2
VICS駐車場情報表示	5-4
VICS表示	6-23
VICSモニター割込	6-23
VICS割込画面	5-5、6-23
VICS割込表示時間	6-23
VOLキー	1-3

あ

アルバム情報の編集	7-39
アルバムの削除	7-43
アングルマークの表示	8-10
案内音声	3-8
案内中止	4-21
案内表示	3-8
イコライザーの調整	7-74
インターチェンジの入口 / 出口の変更	4-10
ウォークスルー	1-18
迂回路探索	4-5
オーディオATT	6-22
オーディオインフォメーション表示	1-25、6-19
オートボリュームの設定	8-9
オートリルート	3-14、6-21
オープニング画面	6-77
音楽情報データ	7-39
音楽CDの再生	7-19
音響効果の設定	7-71
音声言語の設定	8-11
音声多重放送の切替	7-65

音量調整	6-36
オンルートスクロール	3-18

か

カード抜忘れ警告	6-40
カーブ警告	1-13、3-10
ガイドポイント	1-13、3-12、3-13
外部入力を選択	8-23
過去目的地検索	2-29
過去目的地の削除	6-56
画質の設定	1-29
画像の表示	5-31
画面分割	1-16、6-24
カレンダー表示	5-38
軌跡表示	6-19
季節時間考慮探索	6-21
起動時警告案内	6-40
起動時警告表示	6-40
キャビンサイズの設定	7-71、8-3
距離時刻表示	3-8、6-20
グループランダム再生	7-58
グループリピート再生	7-58
クロスオーバー	8-6
警告お知らせ	6-20
ゲーム	5-29
現在地キー	1-2
現在地の補正	6-34
検索方法の選択	2-3
交差点拡大図	6-20
交差点の案内	3-8
高速道の案内画面	3-11
交通情報	7-70
合流警告	3-10

さ

再生インジケータ	1-3
再探索	4-4
最適時間考慮探索	6-21
サブウーファー	7-79、8-6
サラウンド設定	7-76
次案内交差点	6-20
次交差点名称表示	1-12、3-8
自車マーク	1-12

システム設定	6-16、6-22
施設検索	2-9
自宅検索	2-28
自宅登録	6-28
シティクルーズビュー	1-23
自動渋滞回避	3-16、6-23
字幕言語の設定	8-14
シミュレーション	4-22
車速パルス	6-22
車両情報設定	6-37
十字キー	1-3、1-27
住所検索	2-18
渋滞時の案内	3-16
渋滞メッセージ	1-12
ショートカット	1-15
ショートカットの設定	6-4
信号考慮探索	6-21
スカイガイド	5-30
スカイ情報表示	6-18
スカイマップ	1-13、1-17
スキャン再生	7-22、7-29、7-36、7-50、7-56
スクロール切換	6-21
図形割込	6-23
スピーカーサイズの設定	8-6
スライドショー	6-19
セキュリティインジケータ	10-30
セキュリティの設定	1-4、6-58
接続確認	6-31
操作パネル	1-2
操作パネルの開閉	1-6
操作パネルの角度調整	1-7
ソースの切り替え	1-26、7-2
ソースの選択	1-25、7-2
ソースボリュームの設定	8-8

た

タクシーモード	6-21
タッチゲーム	5-29
タッチパネル	1-2
タッチパネルの補正	1-32
地図画面の俯角	6-26
地図画面分割	6-24

地図色の昼夜切り替え	6-18
地図の拡大 / 縮小	1-19
地図のスクロール	1-21、6-18
地図フォント	6-18
地図方位の固定 / 固定解除	1-14
地図マーク	6-19
地点	2-33
地点の詳細表示	2-37
地点の登録	2-33
チャンネルレベルの設定	8-7
駐車場検索	2-36
通過交差点案内表示	6-20
通過点	2-35
通過点削除	4-16
通過点の変更	4-12
ディスクのイジェクト	1-9
ディスクの形式	7-3
ディスクの挿入	1-9
データ管理	6-60
テナント情報	2-37
デモンストレーション	4-22
テレビ放送の受信	7-60
電卓	5-39
電源オフ	1-5
電源オン	1-4
電話番号検索	2-15
時計表示	5-37、6-19
ドライブガイド	5-27
トラック情報の編集	7-44
トラックの削除	7-46
トラックリスト	7-24、7-37、7-59

な

ナビ音声割込	6-20
ナビ画面割込	6-20

は

ハードディスクのファイル編集	6-67
ハードディスクへの録音	7-25
ハイウェイモード	3-11、6-21
バランス	7-76、7-79
ビジュアルクルーズ	6-18
ビデオ映像の再生	7-68

昼画面	6-18
フェダー	7-79
フォルダリピート再生	7-29、7-31、7-50、7-52
俯角	1-17、1-23、6-26
踏切警告	3-10
再生リスト	7-37
平均車速設定	6-21
別道路探索	4-6
ボイスアドバイザ	6-21
ボイスコマンド	9-3、9-9、9-14
ボイスコントロール	9-2
方位マーク	1-12
訪問先検索	2-21
ポジションの調整	7-72

ま

マップコード	2-24
名称入力検索	2-4
メニュー言語の設定	8-16
メニュー背景画面	6-77
メモリスティック	1-10
メモリスティックの初期化	6-65
メモリスティックの読み込み	6-62
メモリ地点	2-34
メモリ地点検索	2-31
メモリ地点のサウンド	6-45
メモリ地点の削除	6-52
メモリ地点の情報編集	6-41
メモリ地点の電話番号	6-50
メモリ地点の保存	6-53
メモリ地点のマーク	6-27
メモリ地点の名称	6-18、6-47
メモリ地点の読み込み	6-54
メンテナンス通知	6-10
目的地	2-39
目的地削除	6-21
文字の大きさ	6-18
文字割込	6-23
最寄り検索	2-9

や

夜画面	6-18
-----	------

ら

ランダム再生7-23、7-30、7-34、7-51、7-57
ランドマーク6-8
リアエンターテインメント7-3、10-29
リアビューカメラ7-69
リバースATT6-22
リピート再生7-14、7-23、7-31、7-35、7-52、7-57
ルート案内3-2
ルート外走行時の案内3-14
ルートの確認4-2
ルートの削除4-20
ルートの詳細表示4-8
ルートの全体表示4-7
ルートの比較3-4
ルートの編集4-9
レーン案内6-20

本製品は、国内外の著作権、商標、トレードシークレット、特許に関する法律によって保護されるFlyover Technologies社独自の技術を使用しています。

「FlyOver」および「FlyOver」ロゴは、FlyOver Technologies社の商標です。



広域スケール画像は、国土交通省国土地理院において製作された50mメッシュ数値地図（標高データ）をもとに「カシミール3D」にて作成した直線です。

本製品は、デジタル・アース・テクノロジー社が提供する航空写真を使用しています。



マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。



訪問先検索および電話番号検索には、株式会社ダイケイのテレデータを使用しています。

「タウンページ」、「ハローページ」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。

BitSpirit (R) Internet Copyright 1995-2003 Aplix Corporation. All Rights reserved.

本製品で使用されているブラウザはBitSpirit (R) Internetです。

BitSpiritは株式会社アプリックスの登録商標です。

BitSpirit (R) Internetロゴは、株式会社アプリックスの商標です。



BitSpirit® Internet

本製品のかな漢字変換にはATOKを使用しています。

「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「ATOK」ロゴは、株式会社ジャストシステムの商標です。



「Microsoft」、「Windows」、「Windows NT」、「Windows Media」は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国や地域における登録商標または商標です。

「MMX」および「Pentium」は、Intel Corporationの商標または登録商標です。

「Music Cellar」および「Supreme」は、株式会社ケンウッドの商標です。

本機は、米国特許及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

ドルビーラポラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラポラトリーズの商標です。

"DTS" and "DTS Digital Surround" are registered trademarks of Digital Theater Systems, Inc.

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

 is a trademark of DVD format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S. Japan and other countries.

"Memory Stick" 及び  は、ソニー株式会社の商標です。

Gracenote CDDBについて

Gracenote is CDDB, Inc d/b/a "Gracenote."

CD and music-related data from Gracenote CDDB[®]

Music Recognition Service ©2000-2003 Gracenote.

Gracenote CDDB Client Software ©2000-2003 Gracenote, Inc.

米国特許番号 5.987.525, 6.061.680, 6.154.773, 6.161.132, 6.230.192, 6.230.207, 6.240.459, 6.330.593 その他特許取得済みまたは申請中。

CDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteロゴ及びロゴタイプ、Gracenote CDDBロゴ及びロゴタイプ、ならびに"Powered by Gracenote CDDB"ロゴは、Gracenoteの商標です。音楽認識サービスとMRSはGracenoteのサービスマークです。

音楽認識技術及び関連データは、Gracenote及びthe Gracenote CDDB Music Serviceにより提供されています。Gracenoteは音楽認識技術及び関連コンテンツ配信分野業界標準です。

より詳しい情報は、www.gracenote.comをご覧ください。



Gracenote CDDBによって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

本製品は、Macromedia, Inc.のMacromedia Flash™テクノロジーを搭載しています。

Copyright 1995-2004 Macromedia, Inc. All rights reserved.

Macromedia、Macromediaロゴ、Flash、Macromedia FlashはMacromedia, Inc.の米国内外における商標または登録商標です。





KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

カスタマーサポートセンター 電話 (045)933-5212 FAX(045)933-5553 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山 1-16-2

大阪 電話 (06)6394-8085 FAX(06)6394-8308 〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-1-22

受付時間 9:00 ~ 18:00 (土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます。)

アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。